

可児市  
市民意識アンケート調査  
調査結果報告書

平成30年9月

可 児 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>2</b>
1	全世代	2
	(1) 回答者属性	2
	(2) 可児市への居住理由について	12
	(3) 施策の重要度と満足度について	19
	(4) 可児市のイメージについて	78
	(5) 子育て環境について	99
	(6) 運動の推進について	104
2	若年層	110
	(1) 回答者属性	110
	(2) 可児市への居住理由について	118
	(3) 施策の重要度と満足度について	124
	(4) 可児市のイメージについて	186
	(5) 子育て環境について	208
	(6) 運動の推進について	214



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 27 年 10 月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

## 2 調査対象

可児市在住の 16 歳以上を無作為抽出

## 3 調査期間

平成 30 年 4 月 18 日から平成 30 年 5 月 2 日


## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
①16 歳以上の市民	2,000 通	781 通	39.1%
②①以外の 16 歳～ 39 歳までの市民	1,000 通	230 通	23.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

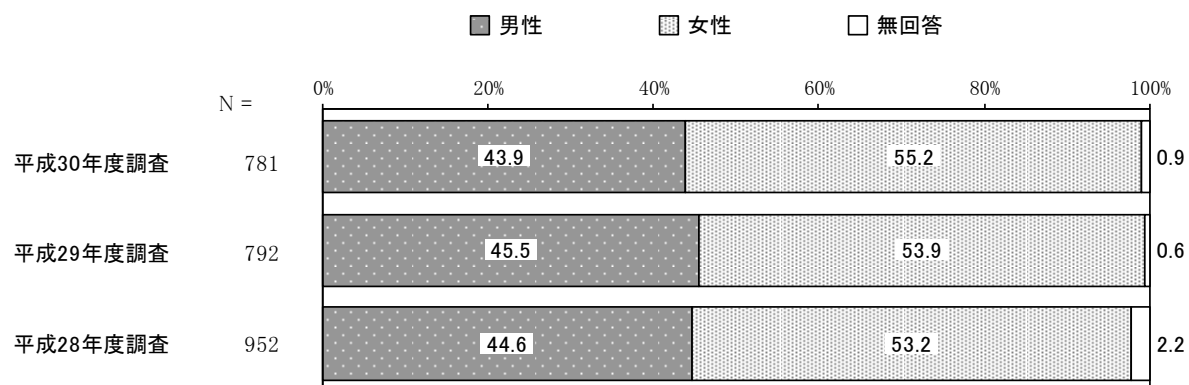
## II 調査結果

### 1 全世代

#### (1) 回答者属性

##### 問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

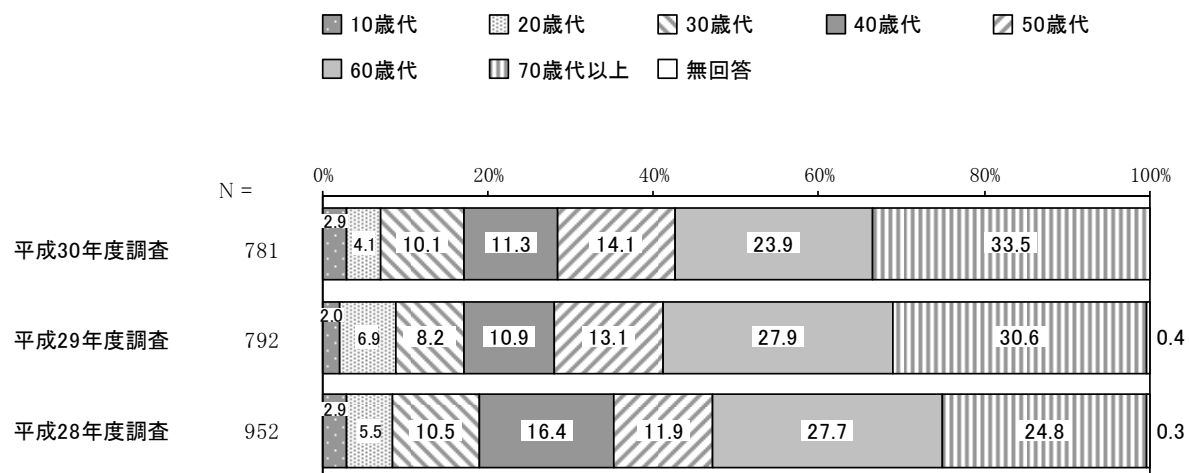
「男性」の割合が43.9%、「女性」の割合が55.2%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



##### 問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

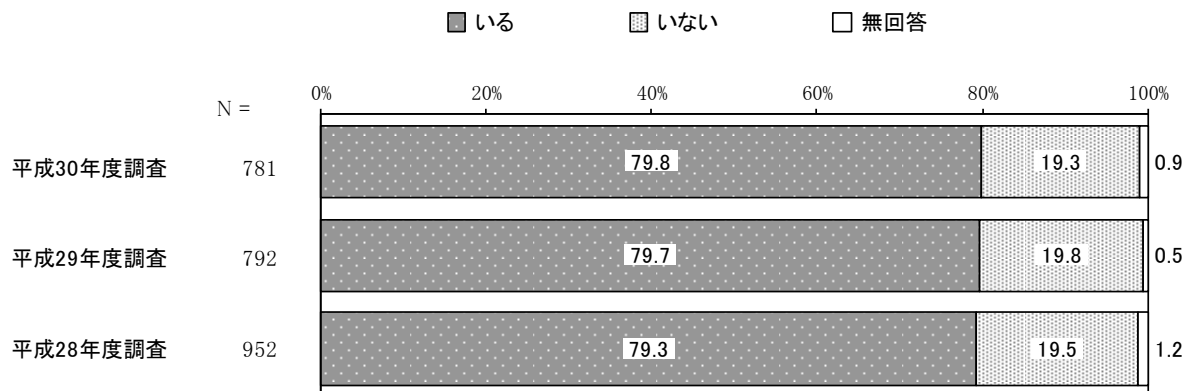
「70歳代以上」の割合が33.5%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が23.9%、「50歳代」の割合が14.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「70歳代以上」の割合が増加しています。一方、「40歳代」の割合が減少しています。



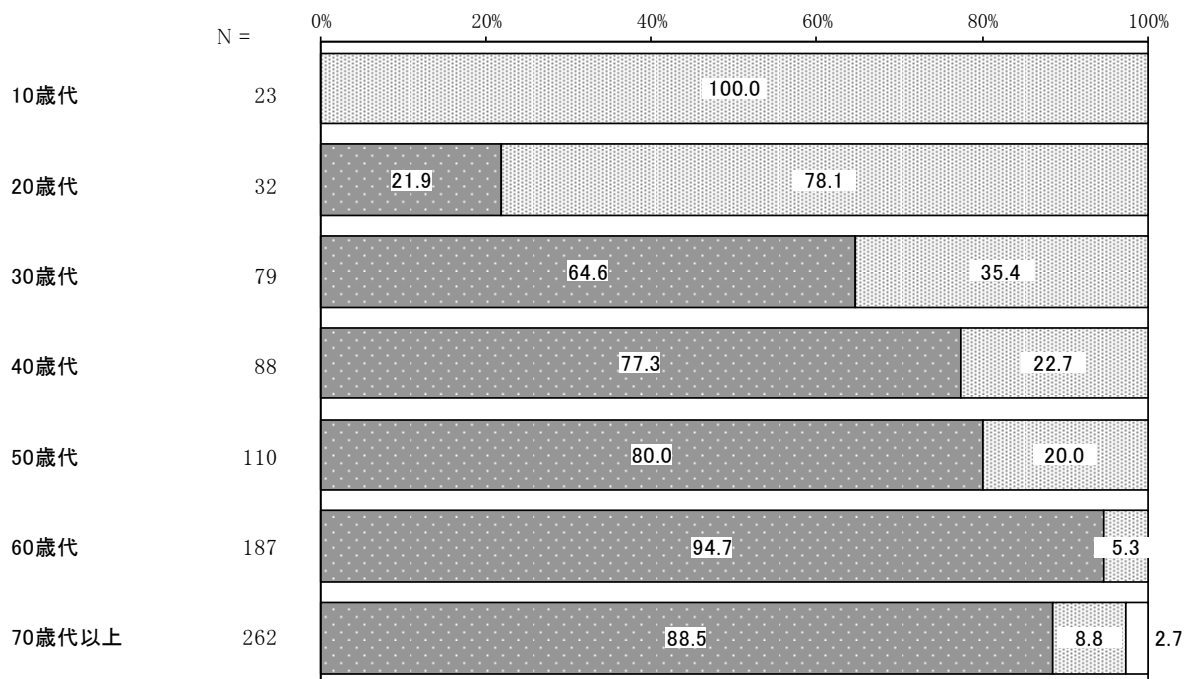
### 問3 あなたには、子どもはいますか。

「いる」の割合が79.8%、「いない」の割合が19.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【年代別】

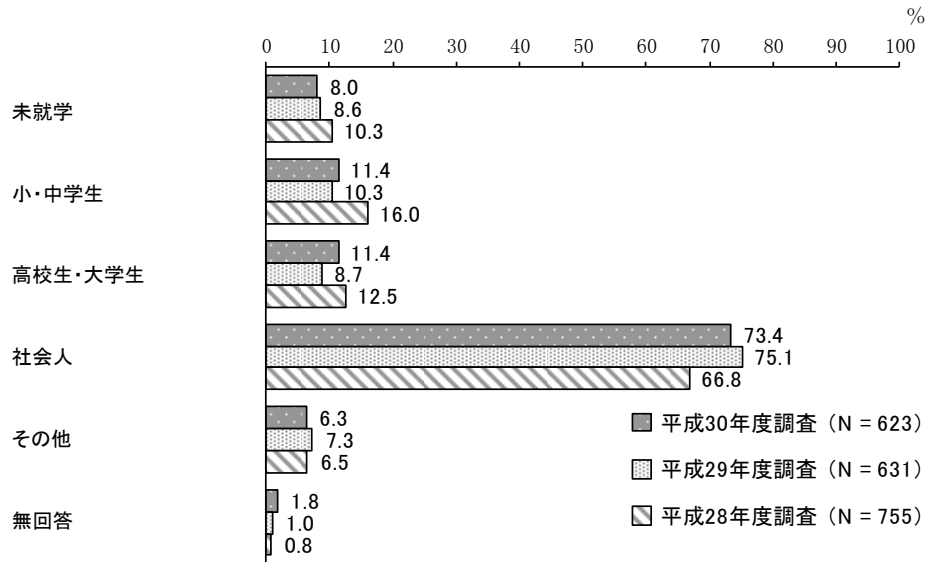
年代別で見ると、60歳代以下で年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、60歳代で9割台半ばとなっています。



## 子どもの世代

「社会人」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「小・中学生」、「高校生・大学生」の割合が 11.4%となっています。

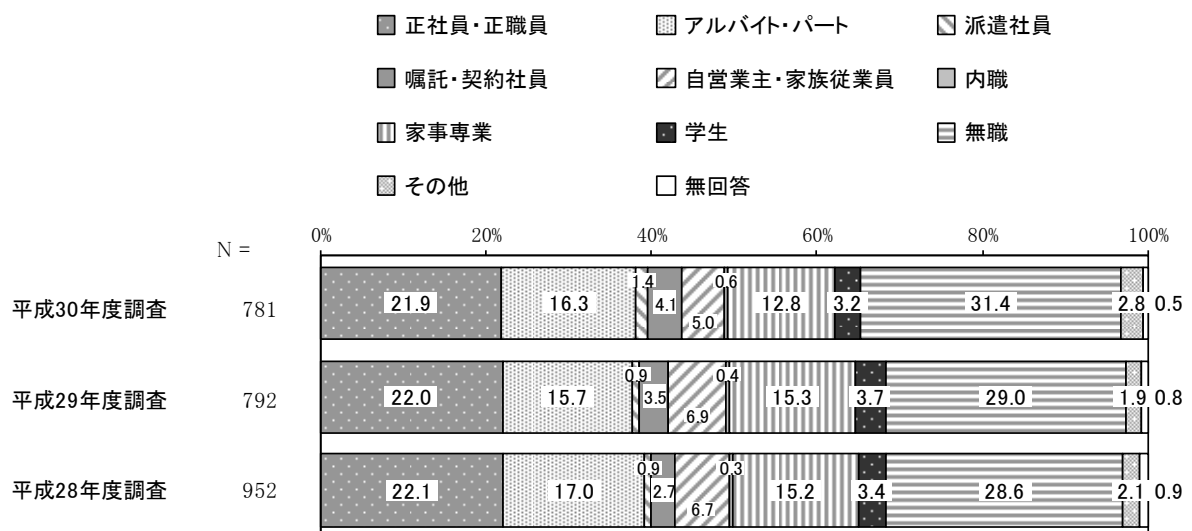
平成 28 年度調査と比較すると、「社会人」の割合が増加しています。



## 問 4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「無職」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が 21.9%、「アルバイト・パート」の割合が 16.3%となっています。

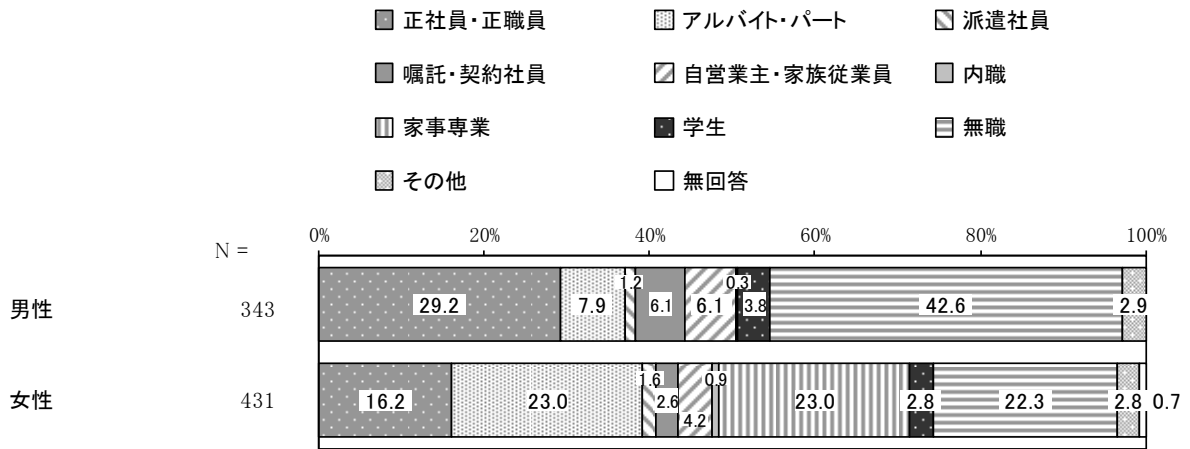
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。





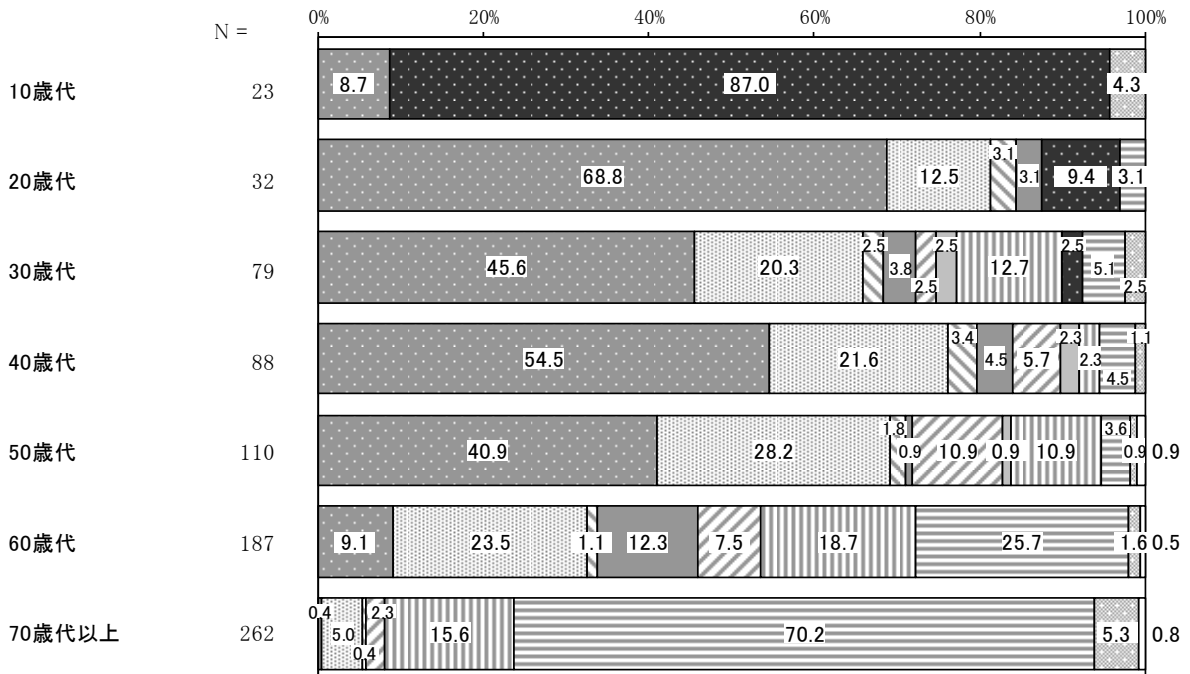
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

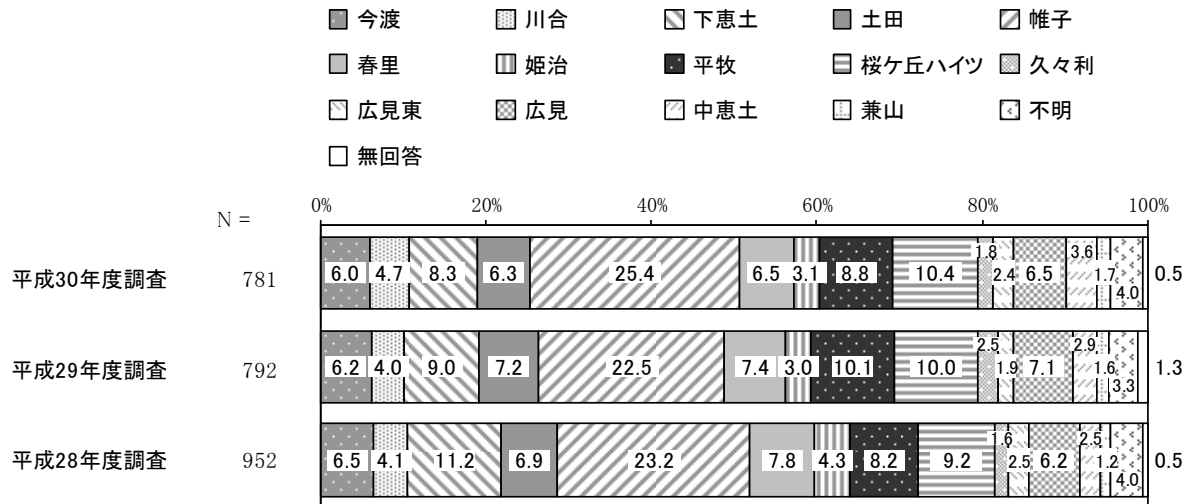
年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から50歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、特に20歳代で約7割となっています。また、70歳代以上で「無職」の割合が、50歳代で「アルバイト・パート」の割合が高くなっています。



**問5 あなたはどちらにお住まいですか。(自治連合会単位)**

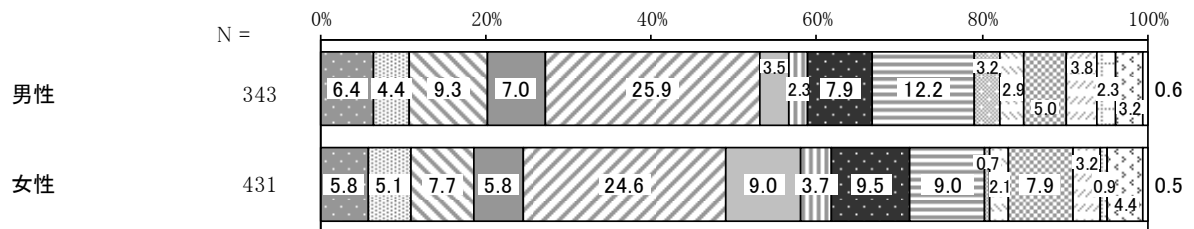
「帷子」の割合が25.4%と最も高く、次いで「桜ヶ丘ハイツ」の割合が10.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



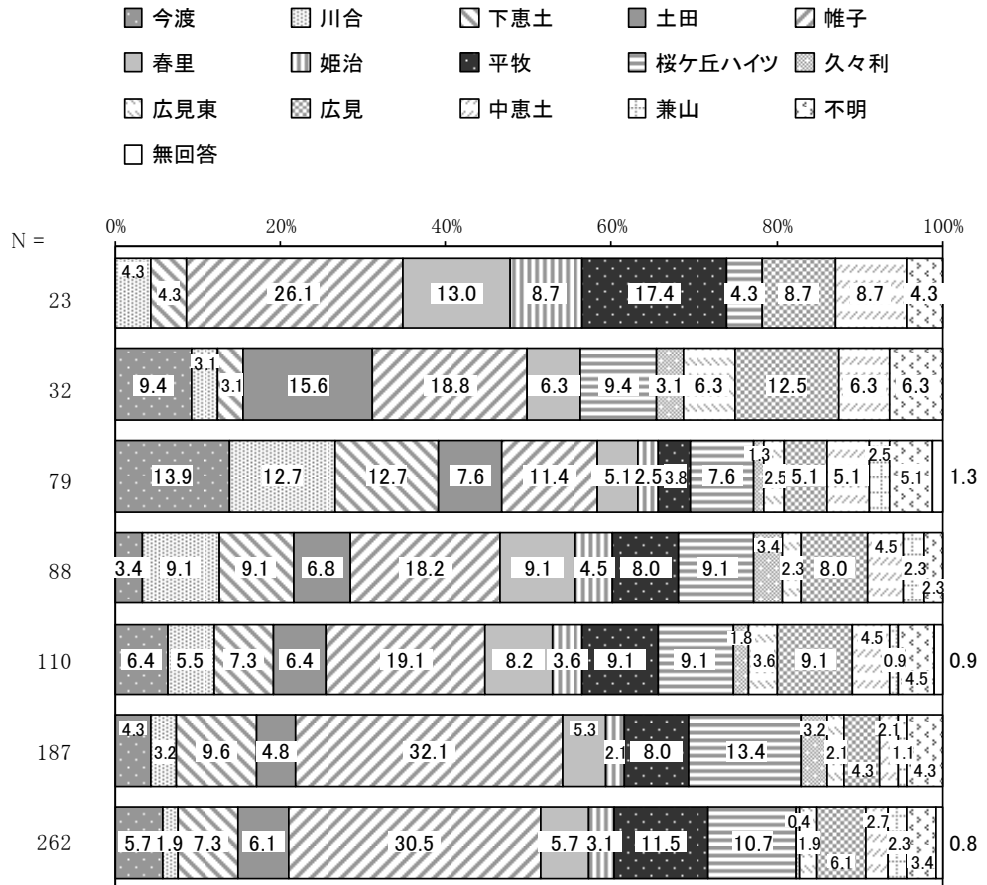
**【性別】**

性別で見ると、男性に比べ、女性で「春里」の割合が高くなっています。



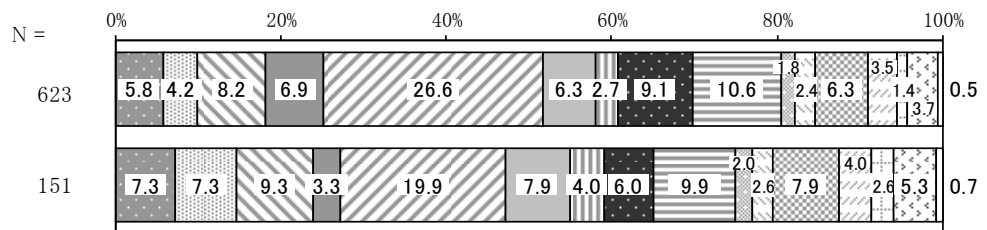
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代、70歳代以上で「帷子」の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代で「平牧」の割合が、30歳代で「今渡」の割合が高くなっています。



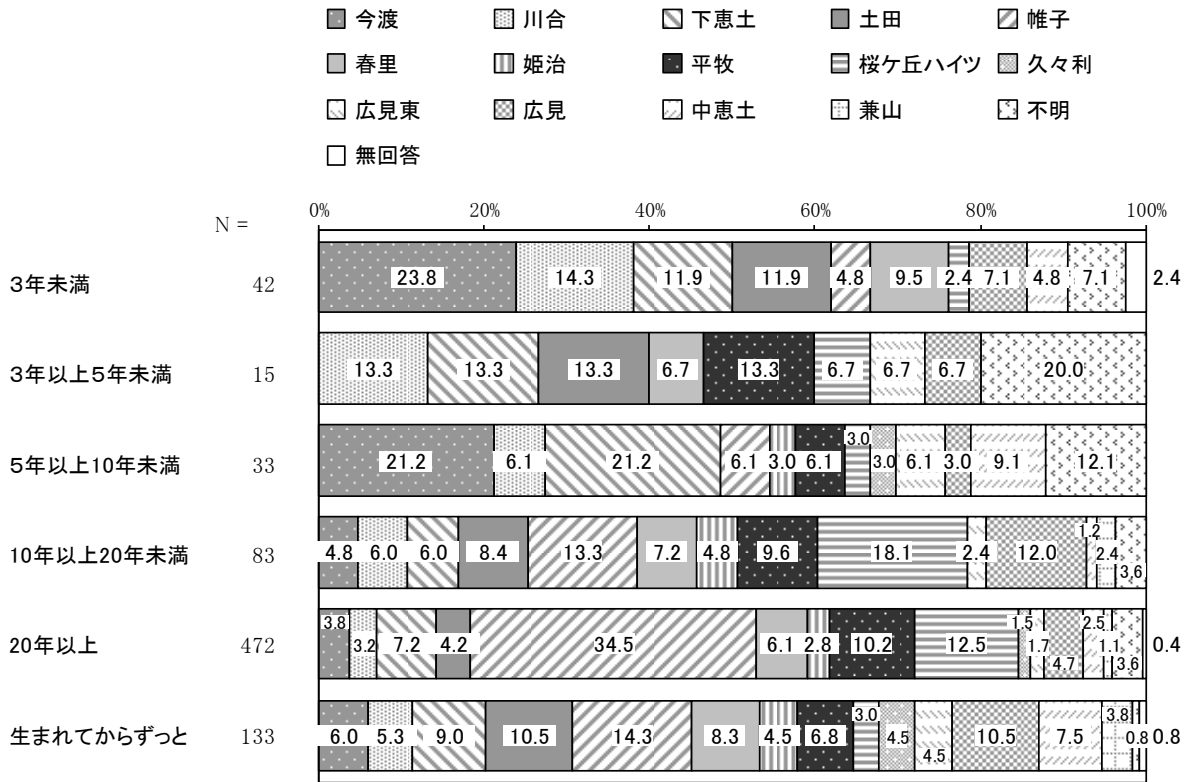
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「帷子」の割合が高くなっています。



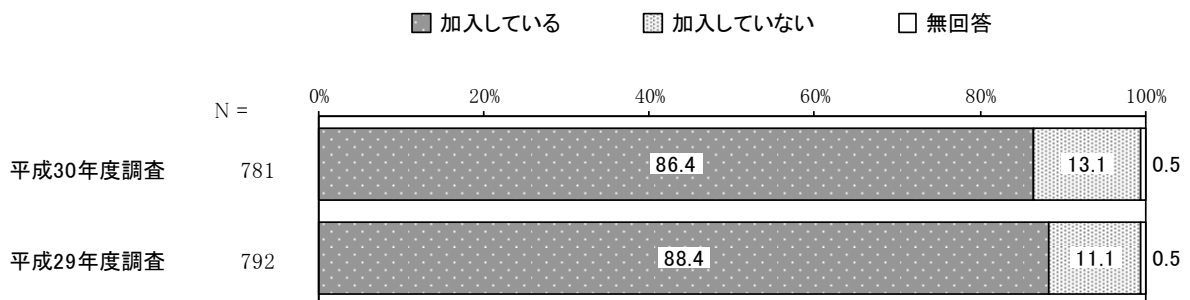
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上で「帷子」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、3年未満、5年以上10年未満で「今渡」の割合が、5年以上10年未満で「下恵土」の割合が、10年以上20年未満で「桜ヶ丘ハイツ」の割合が高く、約2割となっています。



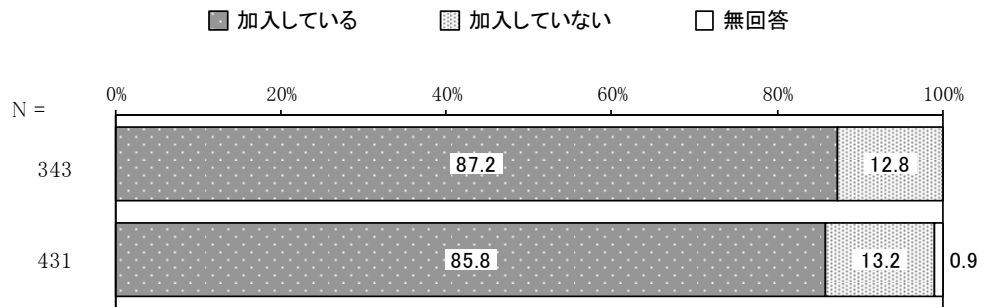
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

「加入している」の割合が86.4%、「加入していない」の割合が13.1%となっています。平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



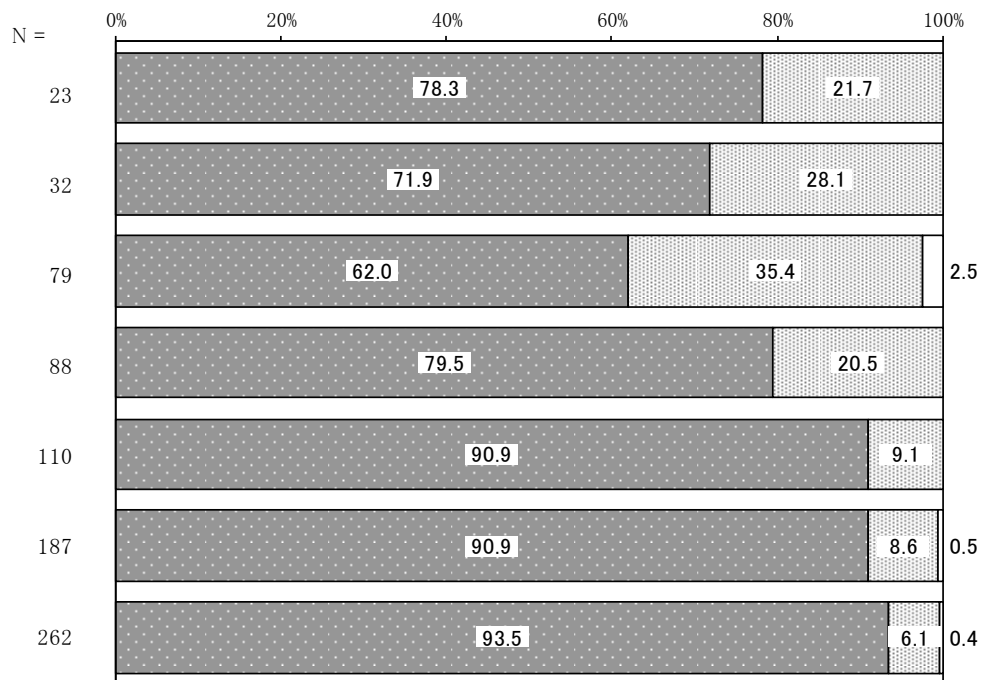
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



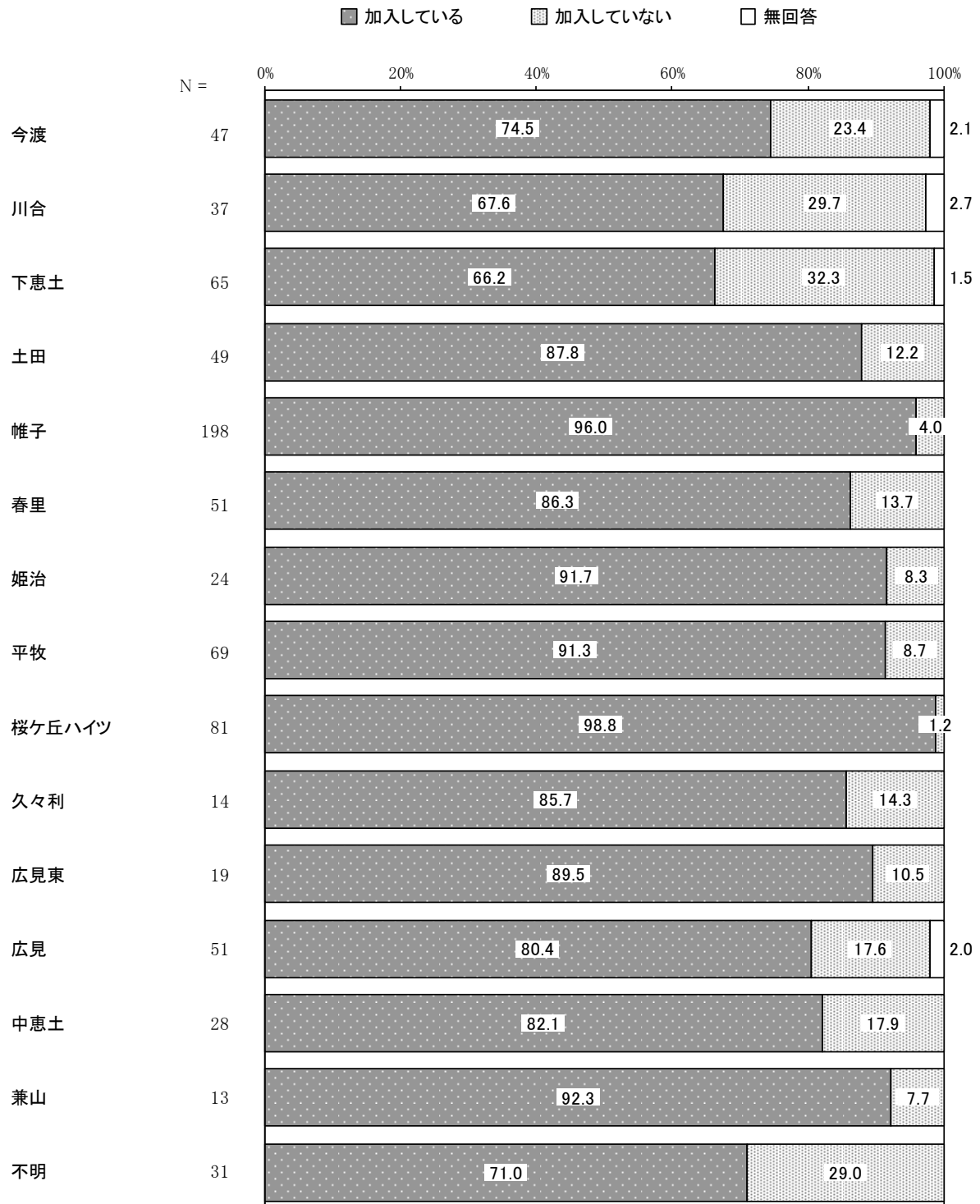
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代以上で「加入している」の割合が高く、約9割となっています。



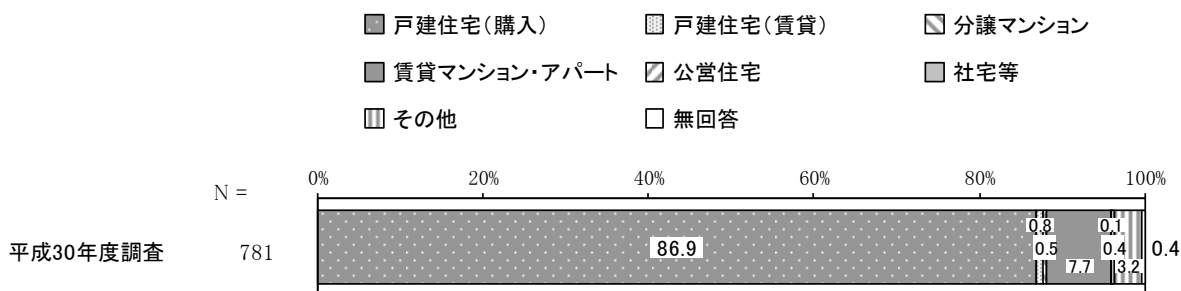
## 【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、帷子、姫治、平牧、桜ヶ丘ハイツ、兼山で「加入している」の割合が高く、9割を超えています。



**問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)**

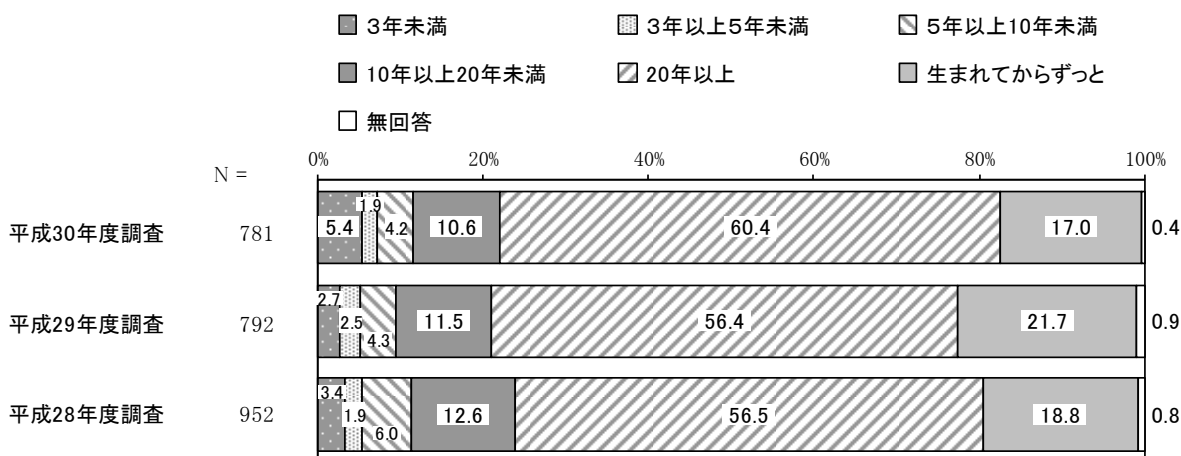
「戸建住宅（購入）」の割合が86.9%と最も高くなっています。



**問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。**

「20年以上」の割合が60.4%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が17.0%、「10年以上20年未満」の割合が10.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



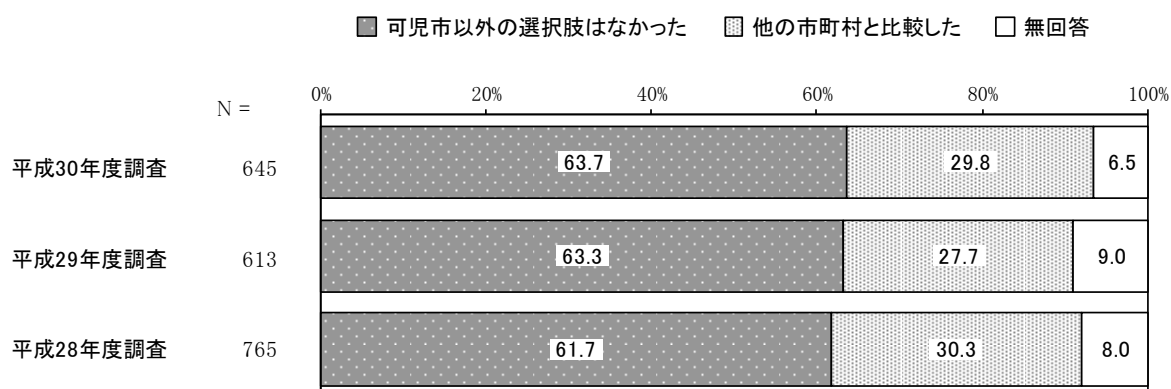
## (2) 可児市への居住理由について

【問8で1～5を選択された方に伺います】

### 問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(〇は1つだけ)

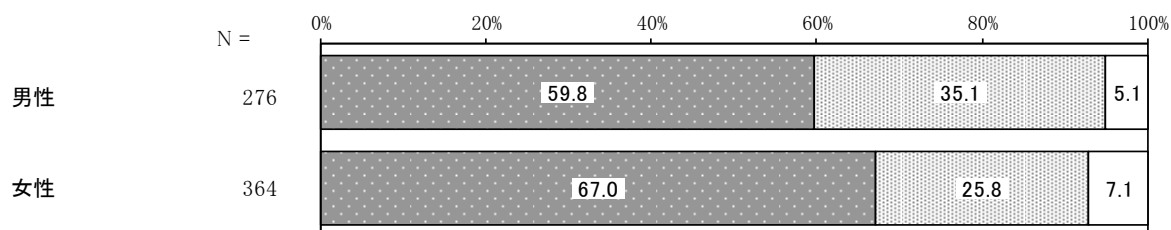
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が63.7%、「他の市町村と比較した」の割合が29.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【性別】

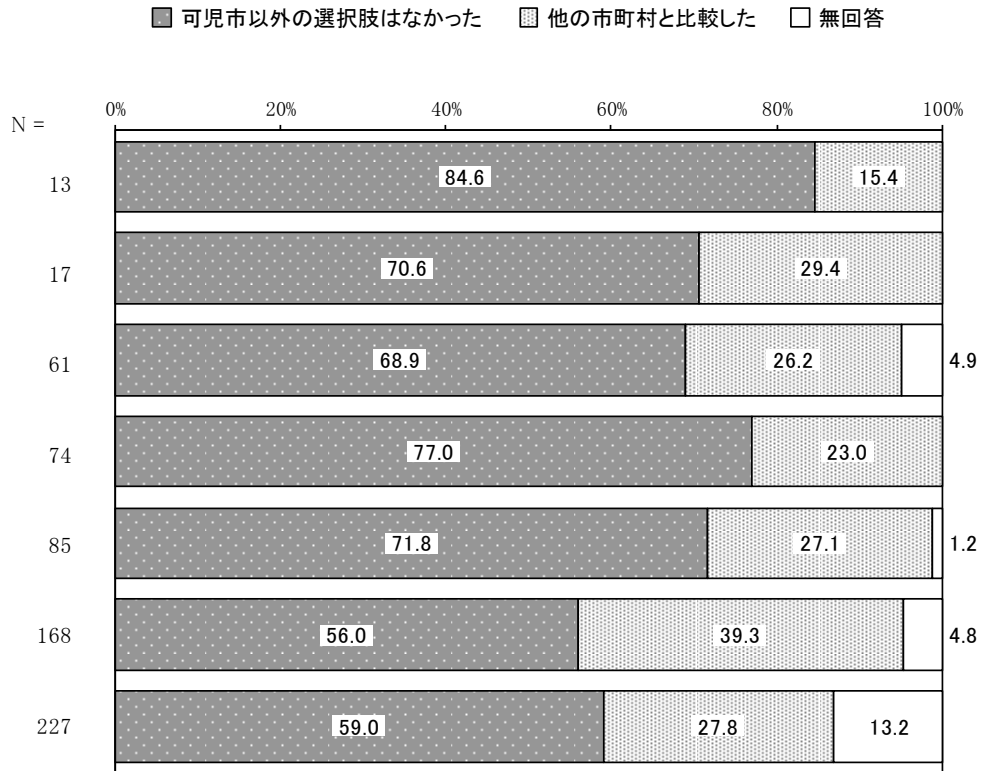
性別でみると、女性に比べ、男性で「他の市町村と比較した」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっています。





【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、60歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、約4割となっています。



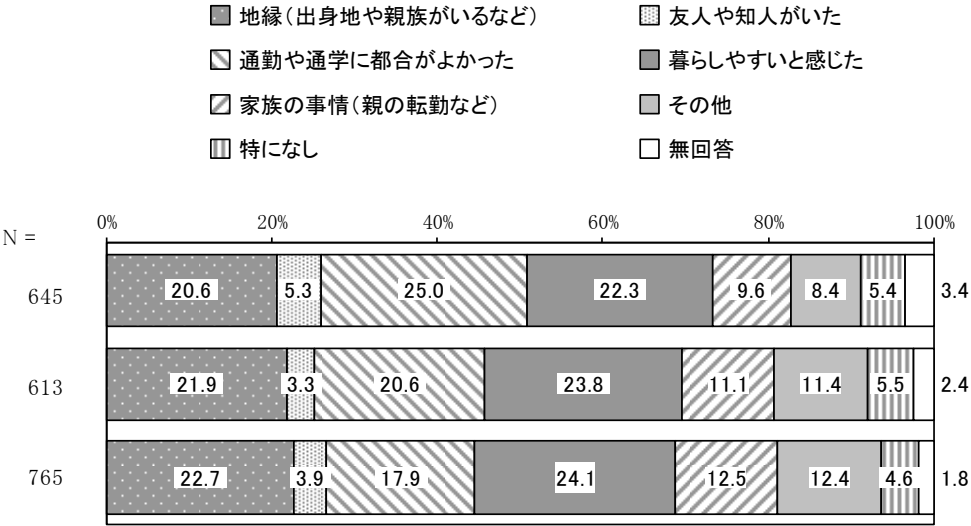
<比較した市町村>

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 犬山市 (57 件)   | 多治見市 (52 件)  | 小牧市 (38 件)  |
| 名古屋市 (29 件)  | 春日井市 (28 件)  | 各務原市 (18 件) |
| 美濃加茂市 (17 件) | 岩倉市 (11 件)   | 土岐市 (9 件)   |
| 江南市 (8 件)    | 関市 (7 件)     | 一宮市 (5 件)   |
| 大口町 (5 件)    | 扶桑町 (5 件)    | 御嵩町 (4 件)   |
| 瑞浪市 (4 件)    | 瀬戸市 (4 件)    | 知多市 (3 件)   |
| 八百津町 (3 件)   | 弥富市 (3 件)    | 可児市 (2 件)   |
| 桑名市 (2 件)    | 川辺町 (2 件)    | 東海市 (2 件)   |
| 美濃市 (2 件)    | さいたま市 (1 件)  | 稲沢市 (1 件)   |
| 岡崎市 (1 件)    | 蟹江町 (1 件)    | 刈谷市 (1 件)   |
| 岐阜市 (1 件)    | 三好市 (1 件)    | 常滑市 (1 件)   |
| 西春町 (1 件)    | 大安町 (1 件)    | 大垣市 (1 件)   |
| 大府市 (1 件)    | 知多郡共和町 (1 件) | 長久手市 (1 件)  |
| 津島市 (1 件)    | 豊山町 (1 件)    | 豊明市 (1 件)   |
| 北名古屋市 (1 件)  | 鳴海市 (1 件)    |             |

問 10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

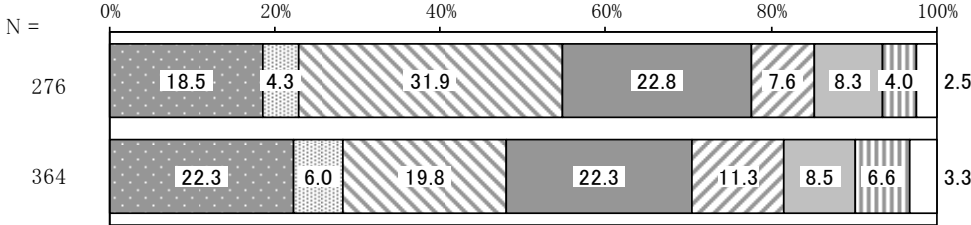
「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「暮らしやすいと感じた」の割合が 22.3%、「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 20.6%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が増加しています。



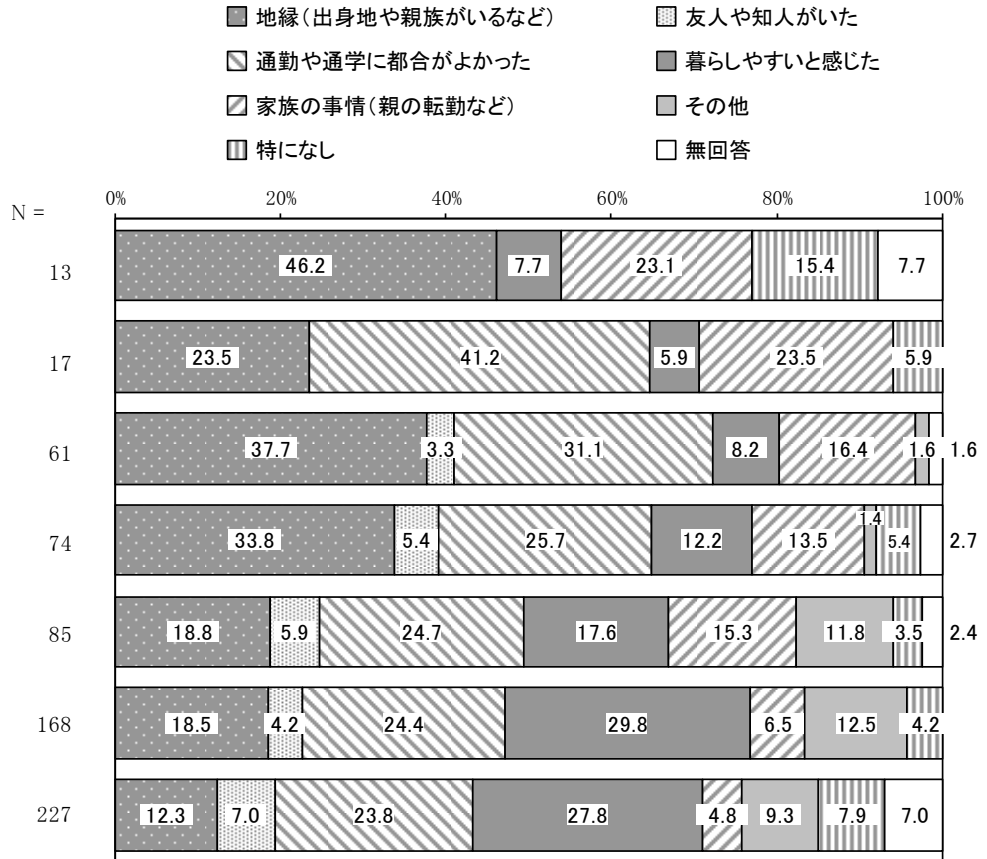
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、約3割となっています。



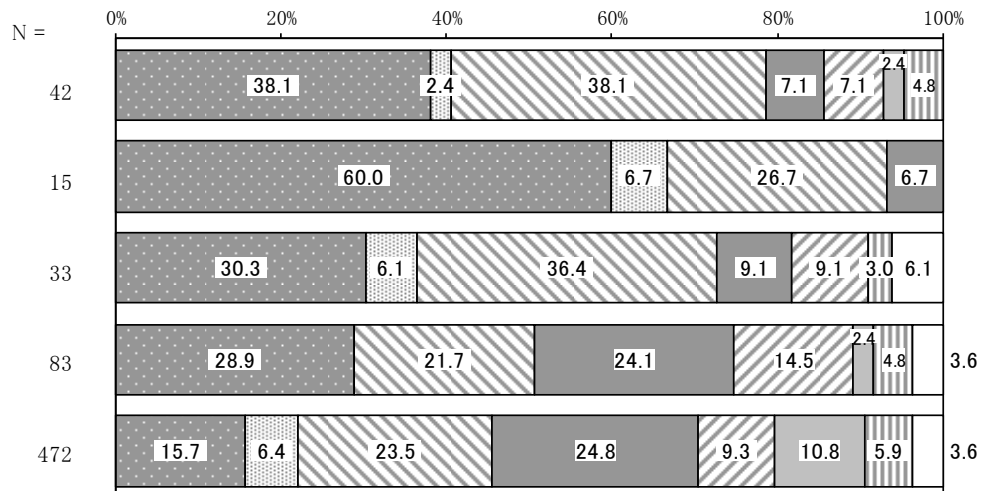
### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「暮らしやすいと感じた」の割合が、年代が低くなるにつれ「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、10歳代で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



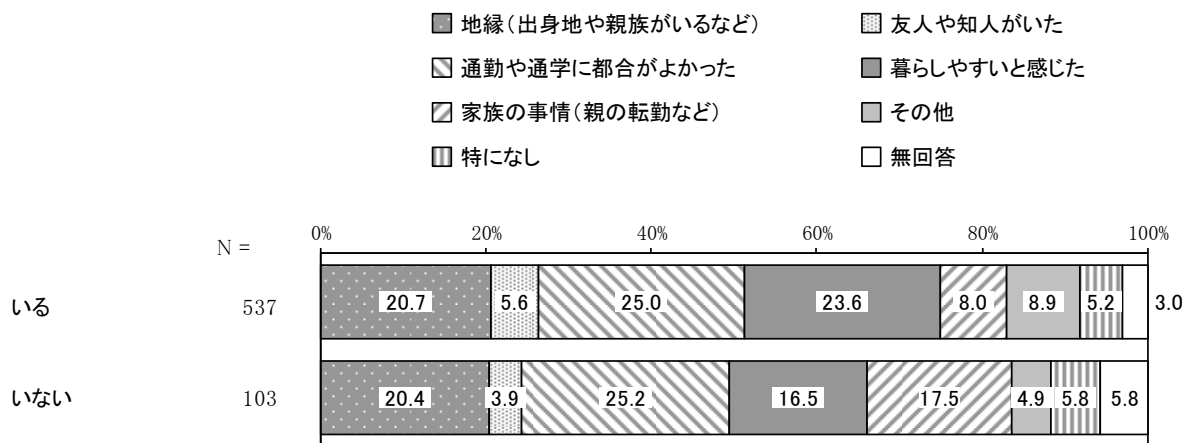
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、『3年未満』『3年以上5年未満』『5年以上10年未満』をあわせた“10年未満”で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっています。また、『10年以上20年未満』『20年以上』をあわせた“10年以上”で「暮らしやすいと感じた」の割合が、3年以上5年未満で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



## 【子どもの有無別】

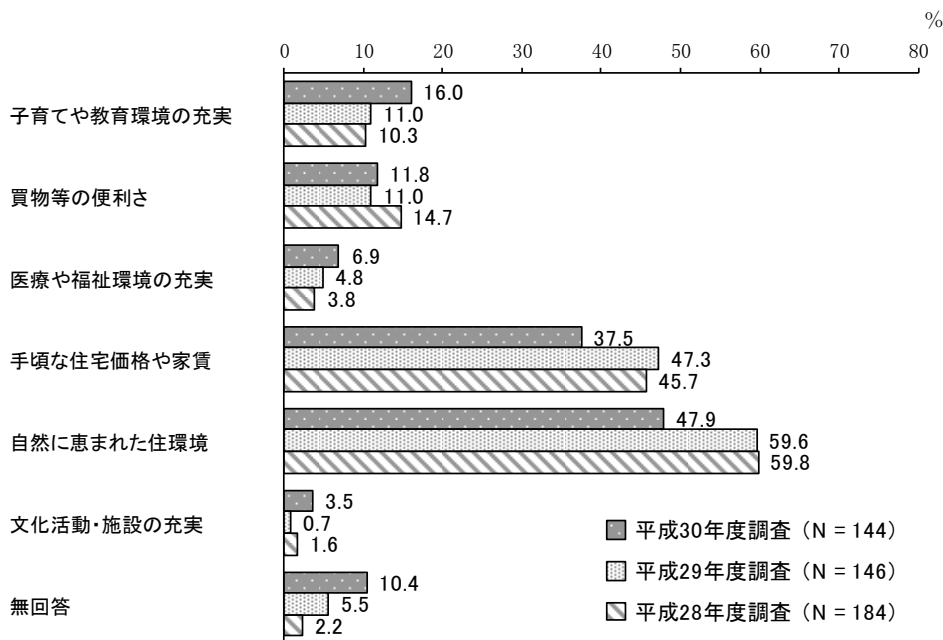
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「暮らしやすいと感じた」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



## 暮らしやすいと感じた理由

「自然に恵まれた住環境」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 37.5%、「子育てや教育環境の充実」の割合が 16.0%となっています。

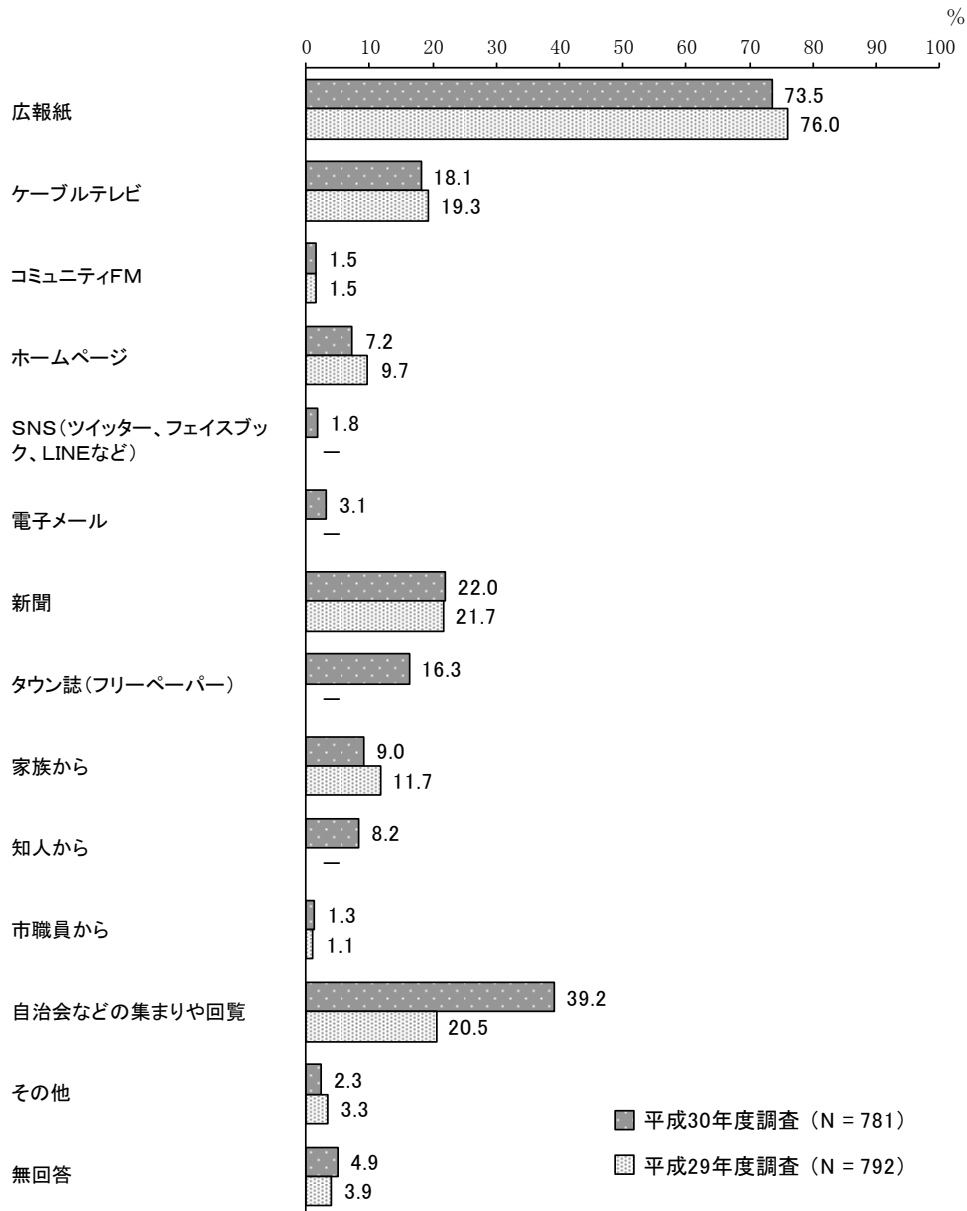
平成 28 年度調査と比較すると、「子育てや教育環境の充実」の割合が増加しています。一方、「手頃な住宅価格や家賃」「自然に恵まれた住環境」の割合が減少しています。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。

「広報紙」の割合が73.5%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が39.2%、「新聞」の割合が22.0%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「自治会などの集まりや回覧」の割合が増加しています。



※平成29年度調査には「SNS(ツイッター、フェイスブック、LINEなど)」「電子メール」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」の選択肢はありませんでした。

### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「タウン誌（フリーペーパー）」「知人から」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	343	74.3	16.3	1.5	8.5	2.0	3.5	24.2	9.9	9.6	5.0	1.5	40.8	2.6	3.8
女性	431	73.5	19.5	1.6	6.3	1.6	2.8	20.0	21.6	8.4	10.9	1.2	37.6	2.1	5.1

### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「広報紙」「新聞」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、10歳代で「家族から」の割合が、30歳代で「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が、40歳代以上で「自治会などの集まりや回覧」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

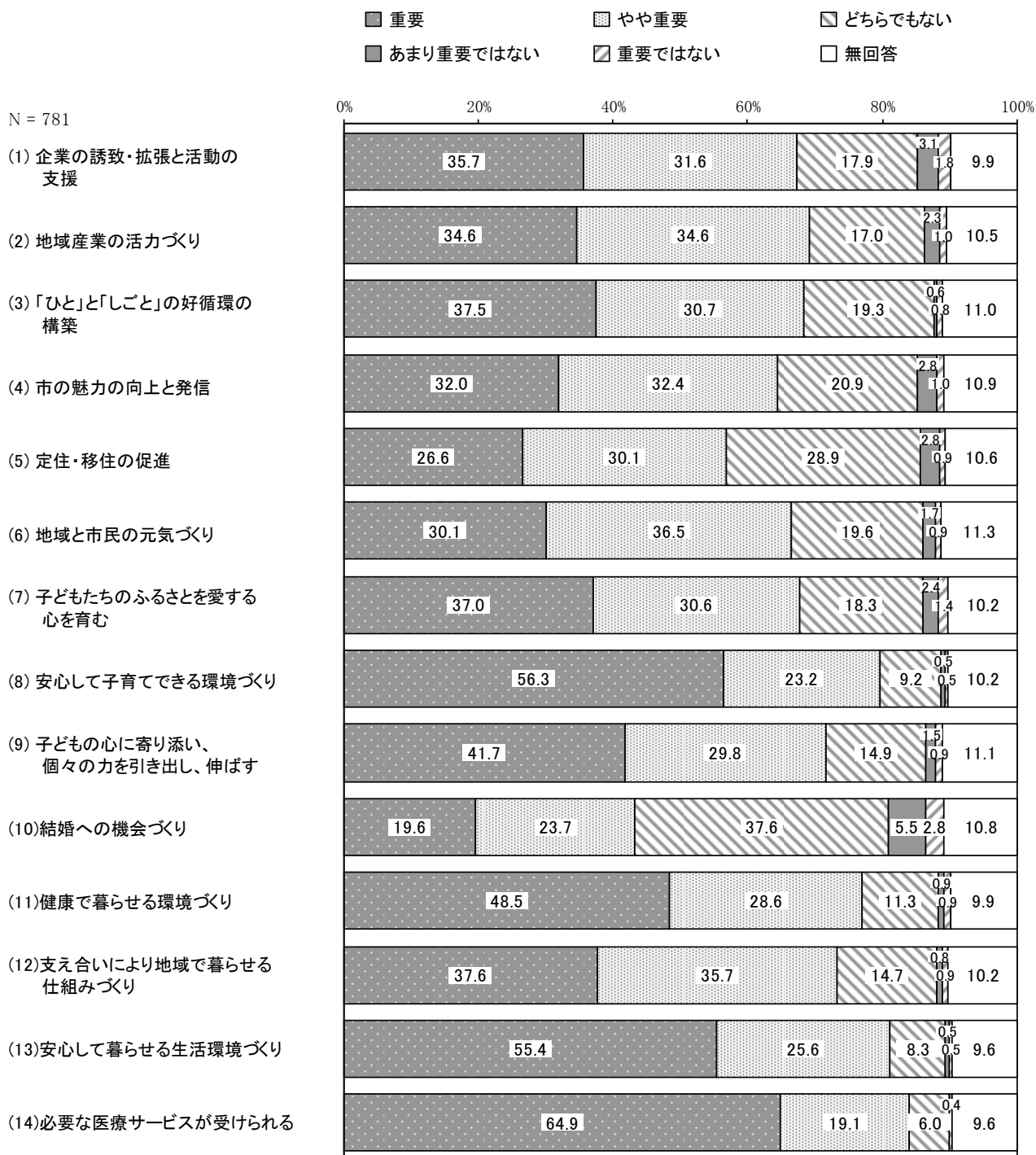
区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	23	26.1	26.1	—	—	8.7	4.3	8.7	—	43.5	—	—	13.0	—	4.3
20歳代	32	46.9	15.6	—	9.4	6.3	3.1	6.3	31.3	21.9	6.3	6.3	12.5	6.3	—
30歳代	79	63.3	12.7	1.3	15.2	5.1	7.6	7.6	38.0	16.5	11.4	2.5	29.1	5.1	1.3
40歳代	88	62.5	17.0	1.1	12.5	1.1	8.0	13.6	21.6	11.4	12.5	—	37.5	2.3	4.5
50歳代	110	73.6	17.3	3.6	7.3	1.8	4.5	20.0	22.7	4.5	10.9	1.8	42.7	0.9	3.6
60歳代	187	84.5	19.8	2.1	8.6	1.1	1.6	21.9	16.0	2.7	4.3	0.5	42.2	1.6	4.3
70歳代以上	262	79.8	18.7	0.8	2.3	0.4	0.4	33.2	5.0	7.6	8.4	1.1	44.7	2.3	7.6

### (3) 施策の重要度と満足度について

問 12 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。  
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

#### ① 重要度

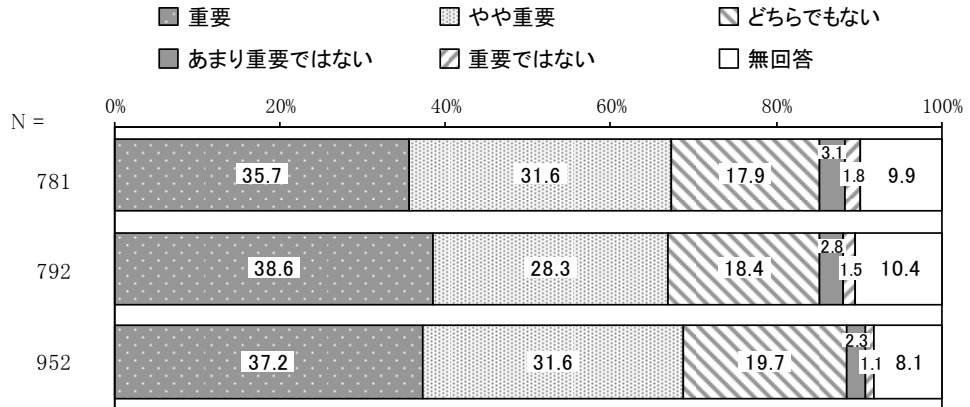
『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

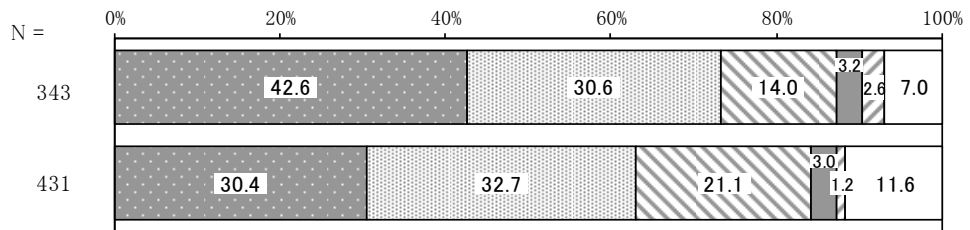
“重要”の割合が67.3%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません



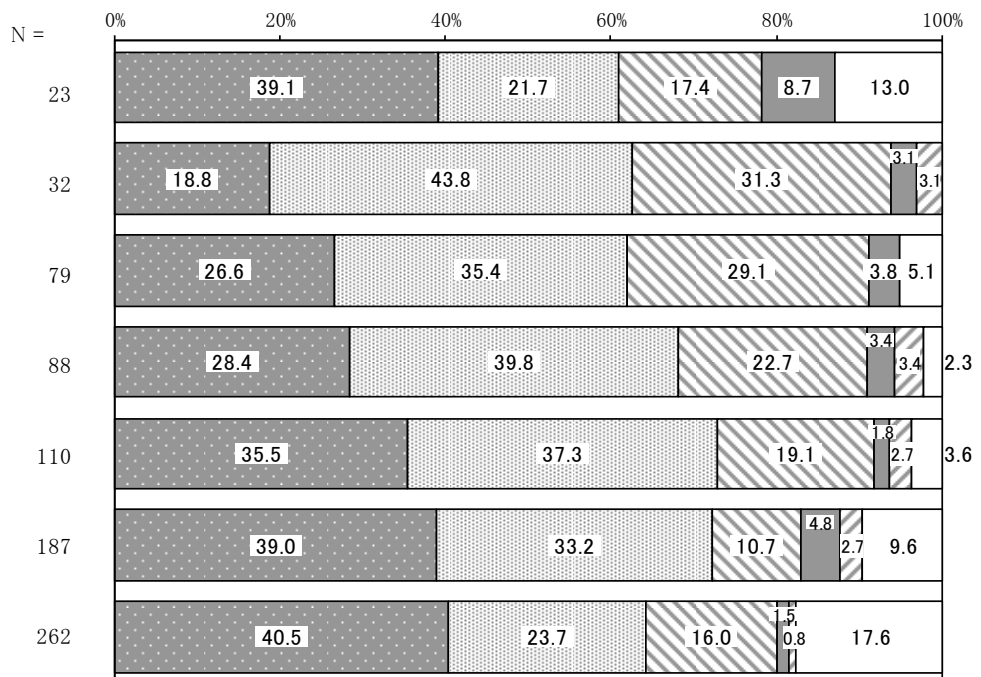
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【年代別】

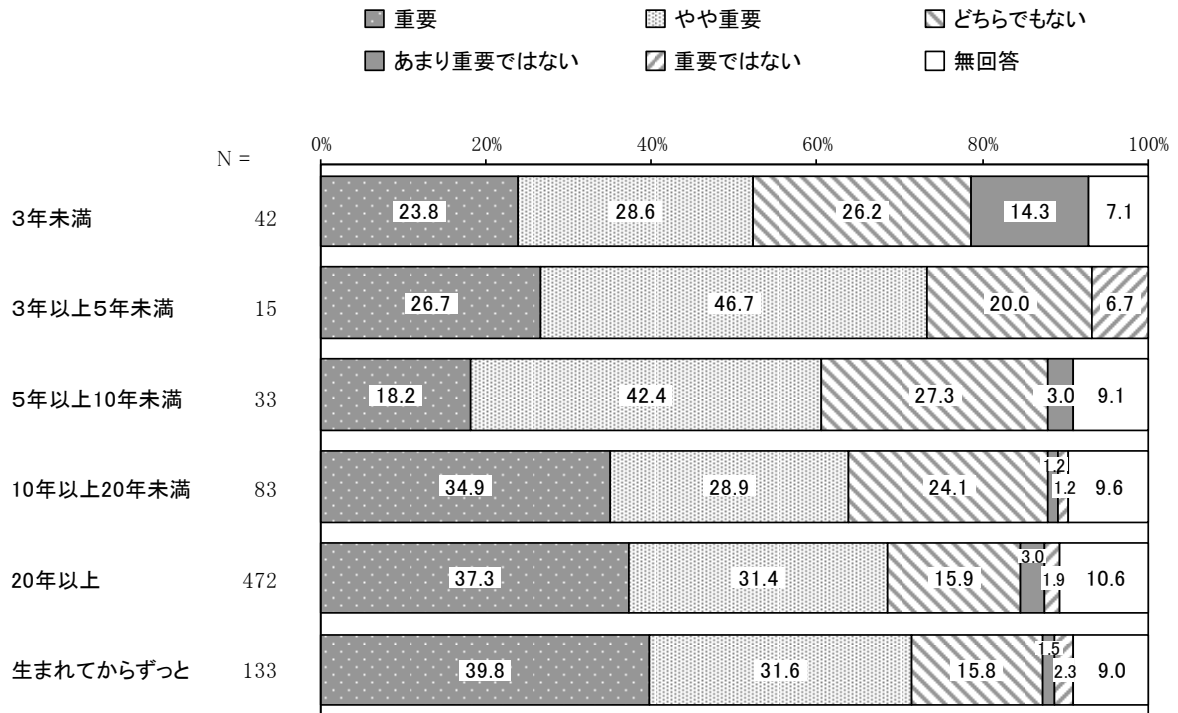
年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代から60歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。





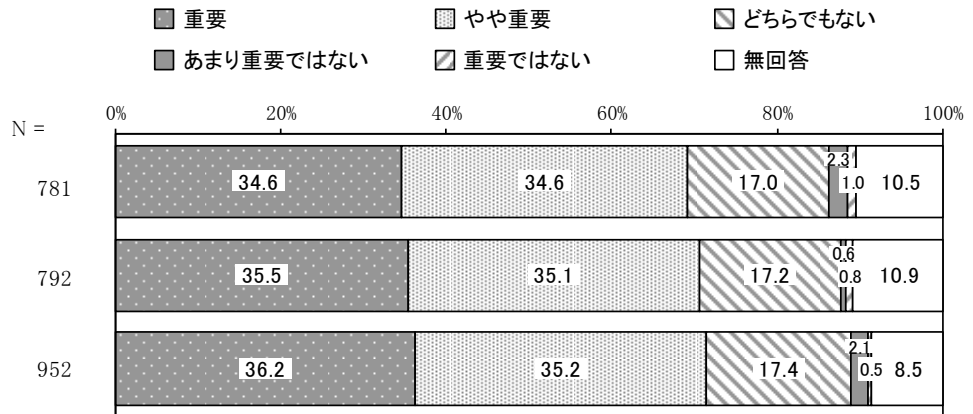
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約7割となっています。一方、3年未満で“重要ではない”の割合が高くなっています。



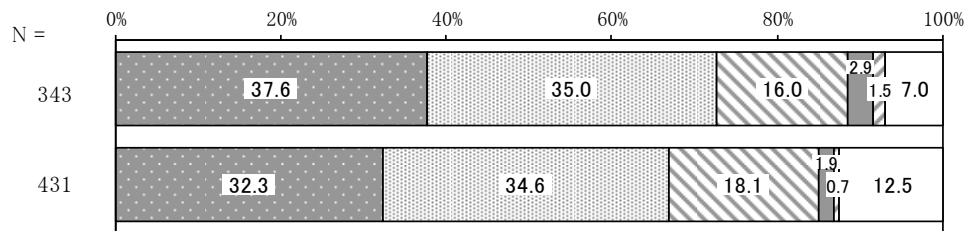
## (2) 地域産業の活力づくり

“重要”の割合が69.2%、“重要ではない”の割合が3.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



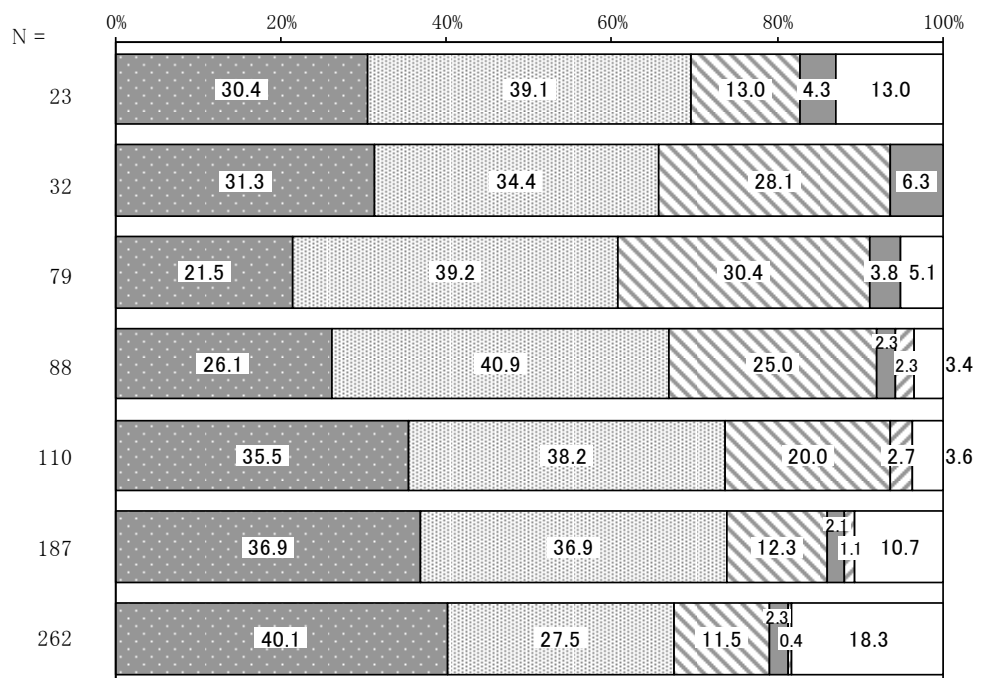
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



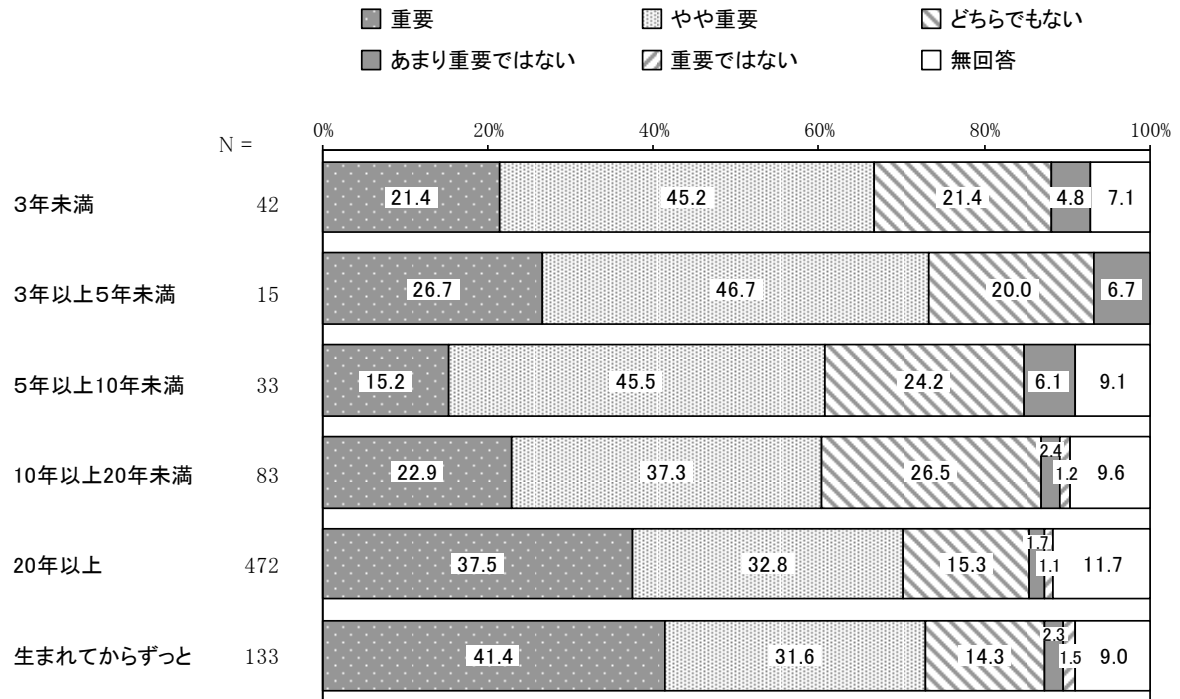
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



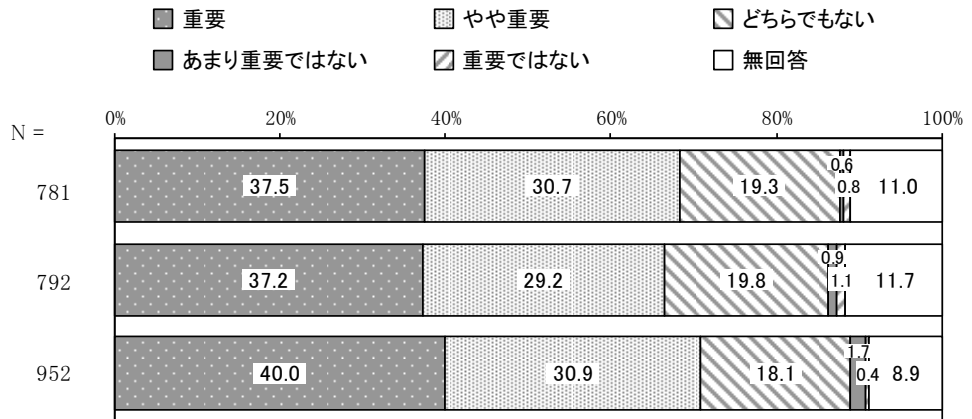
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約7割となっています。



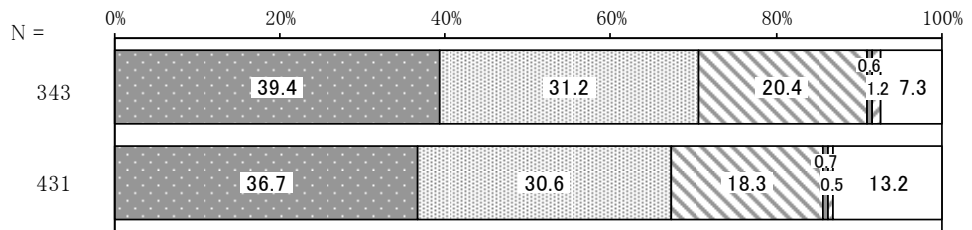
### (3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

“重要”の割合が68.2%、“重要ではない”の割合が1.4%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



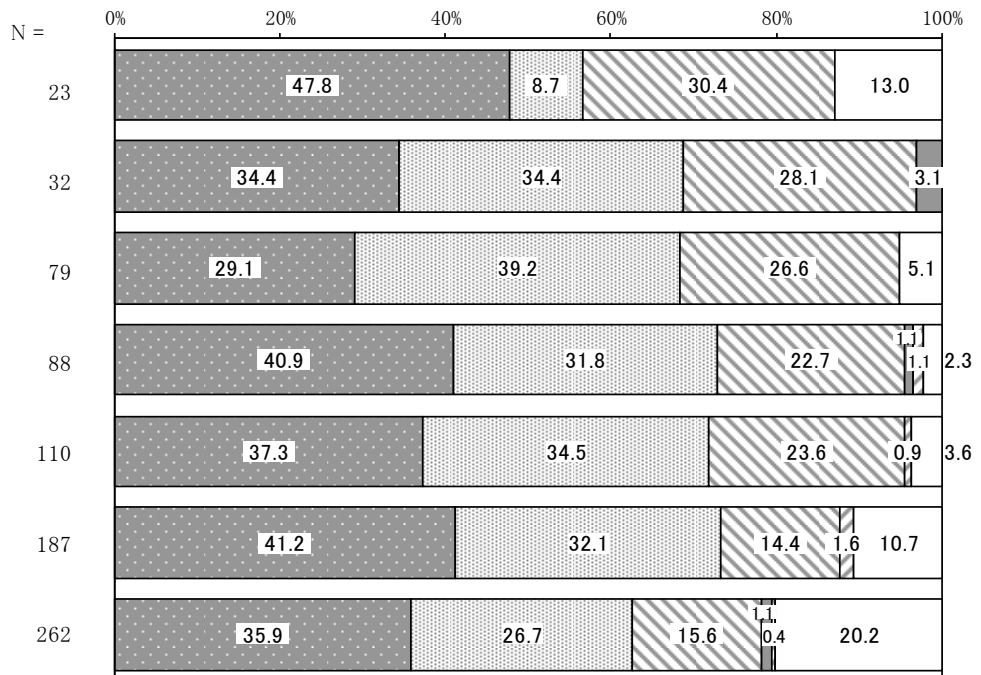
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



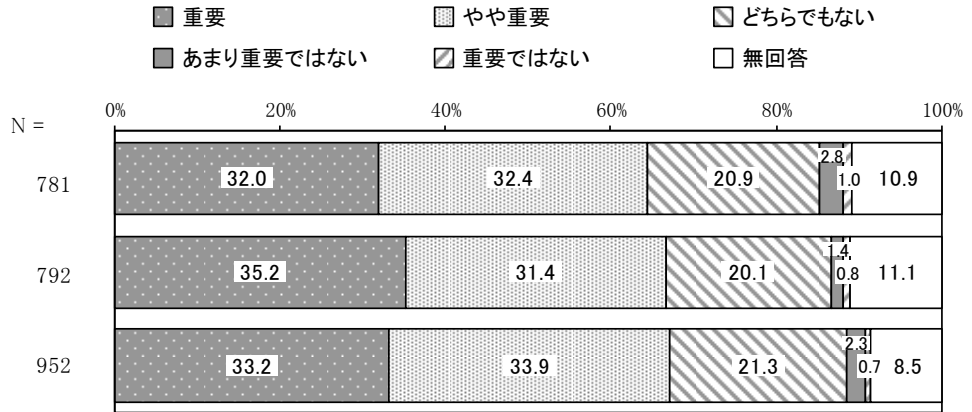
#### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が低く、6割未満となっています。



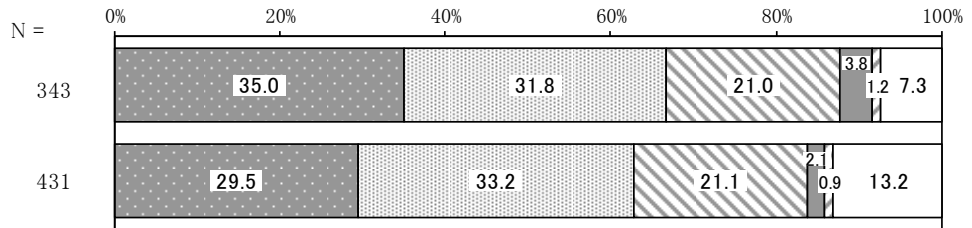
(4) 市の魅力の向上と発信

“重要”の割合が64.4%、“重要ではない”の割合が3.8%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



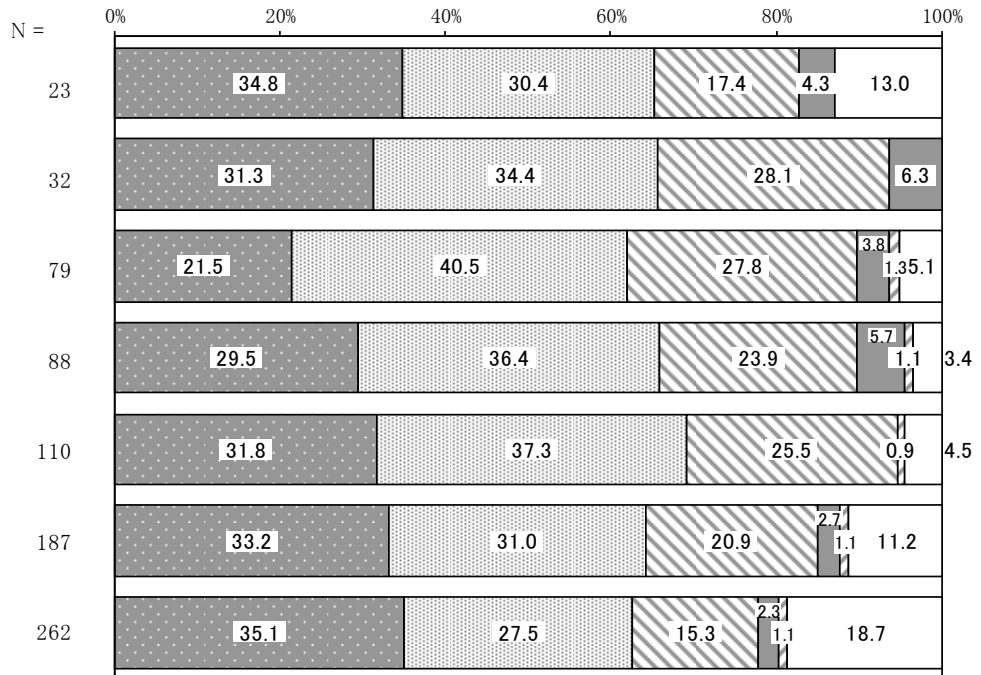
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



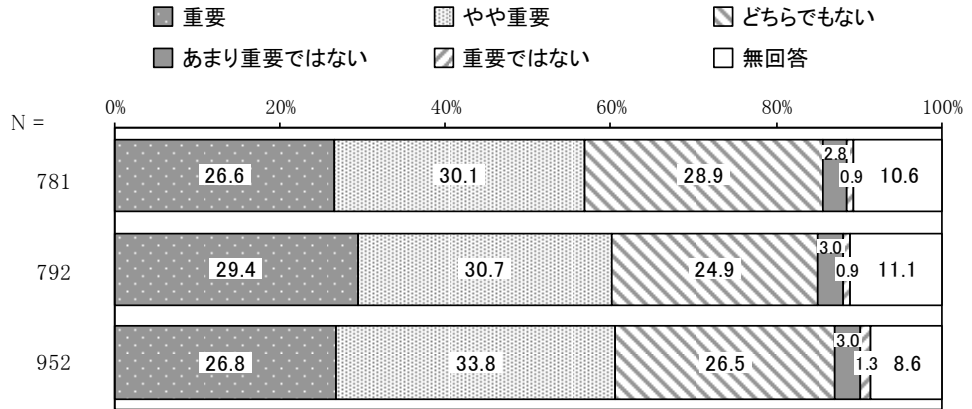
【年代別】

年代でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



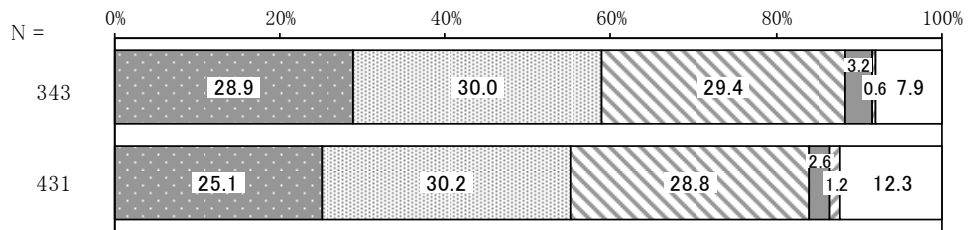
(5) 定住・移住の促進

“重要”の割合が56.7%、“重要ではない”の割合が3.7%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



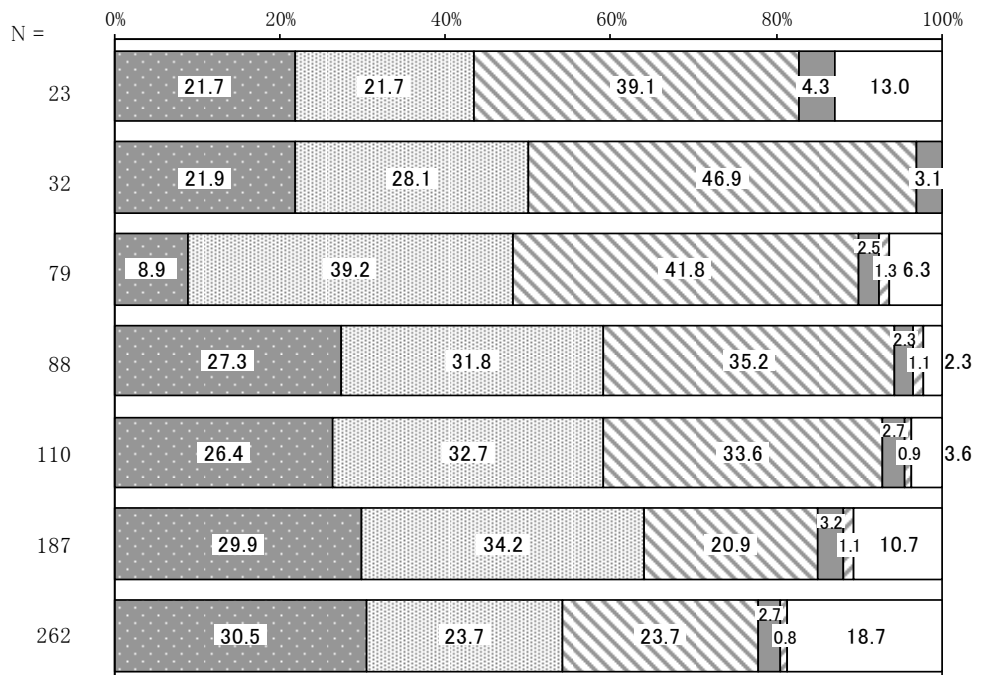
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



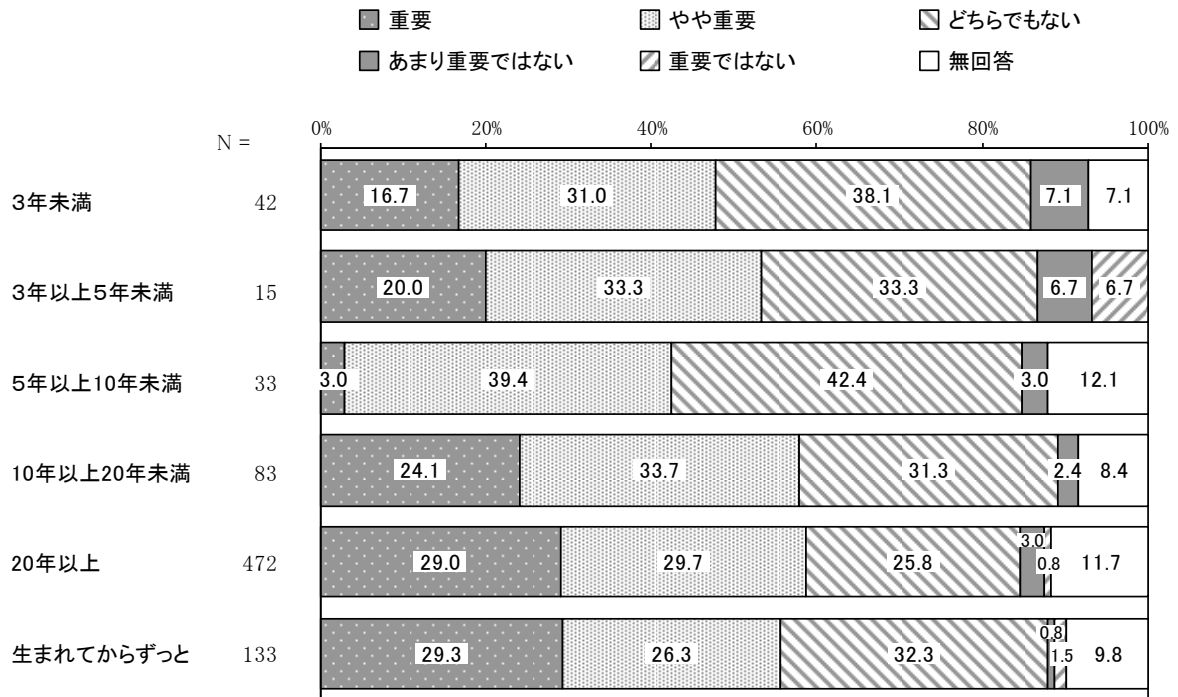
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



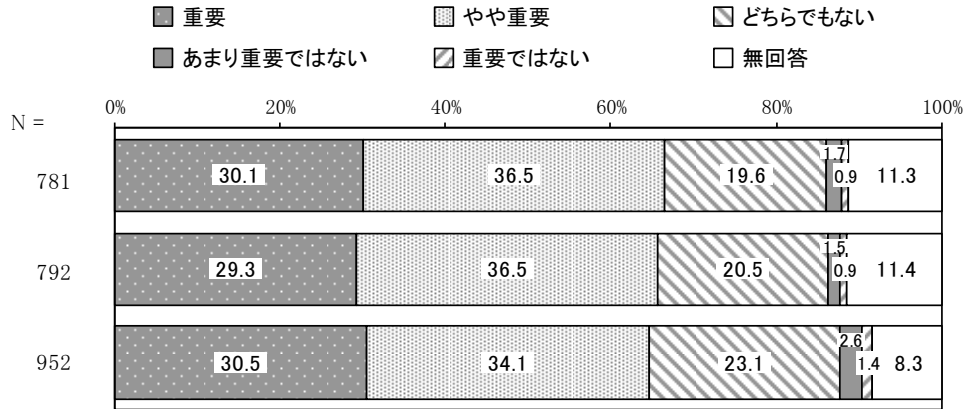
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



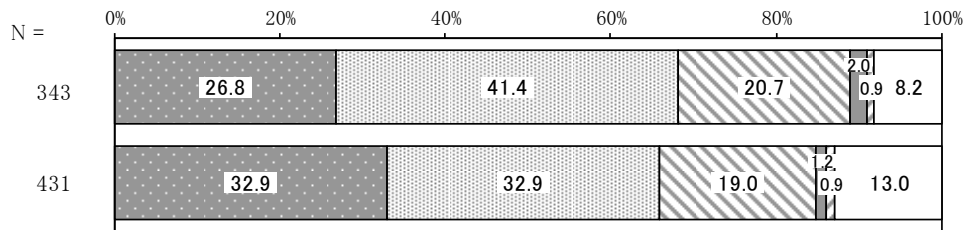
(6) 地域と市民の元気づくり

“重要”の割合が66.6%、“重要ではない”の割合が2.6%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



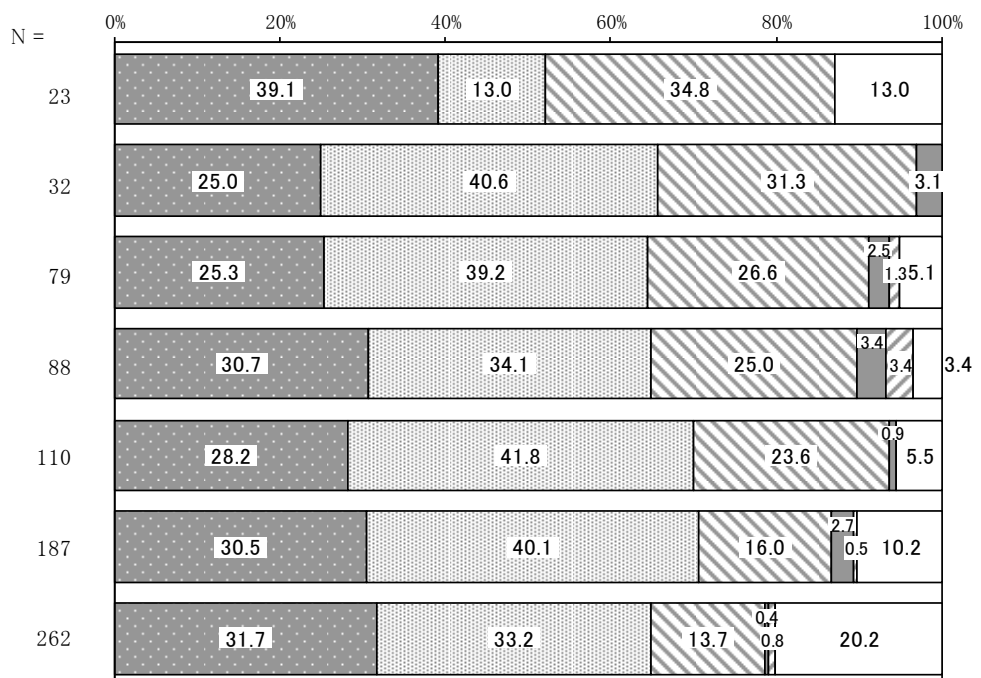
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません



【年代別】

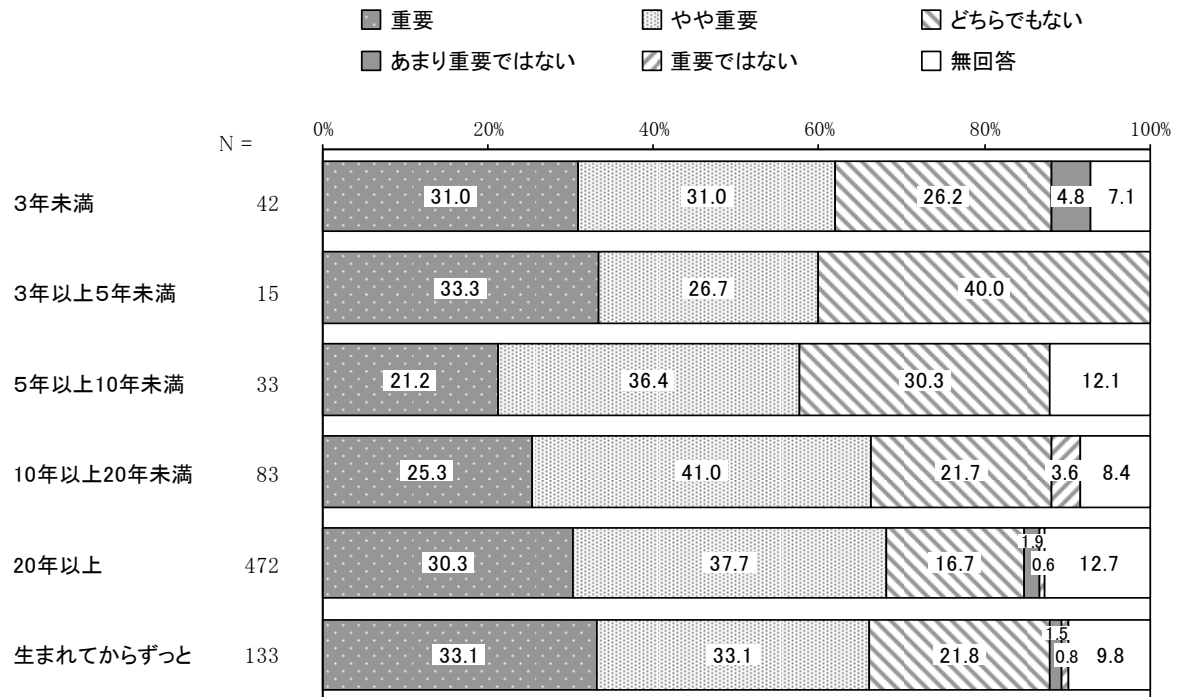
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。





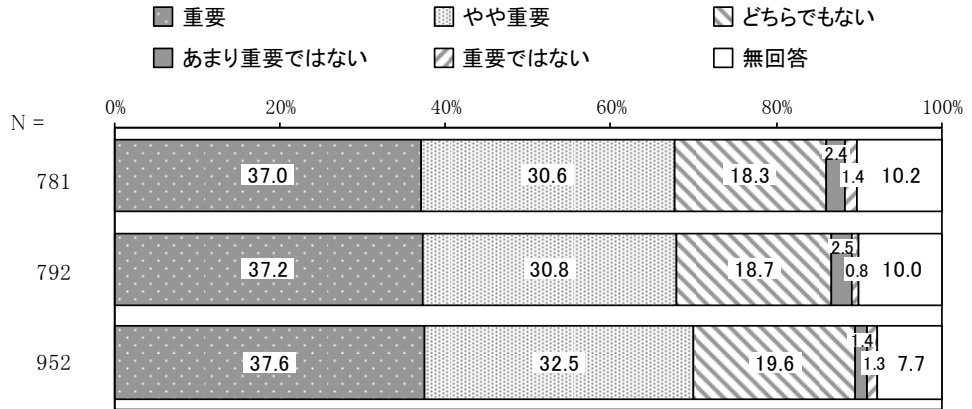
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、6割を超えています。



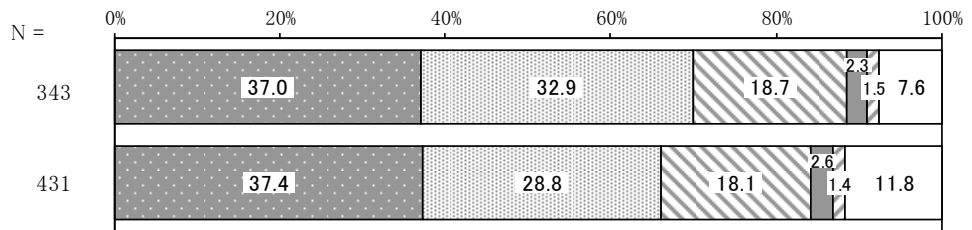
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

“重要”の割合が67.6%、“重要ではない”の割合が3.8%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



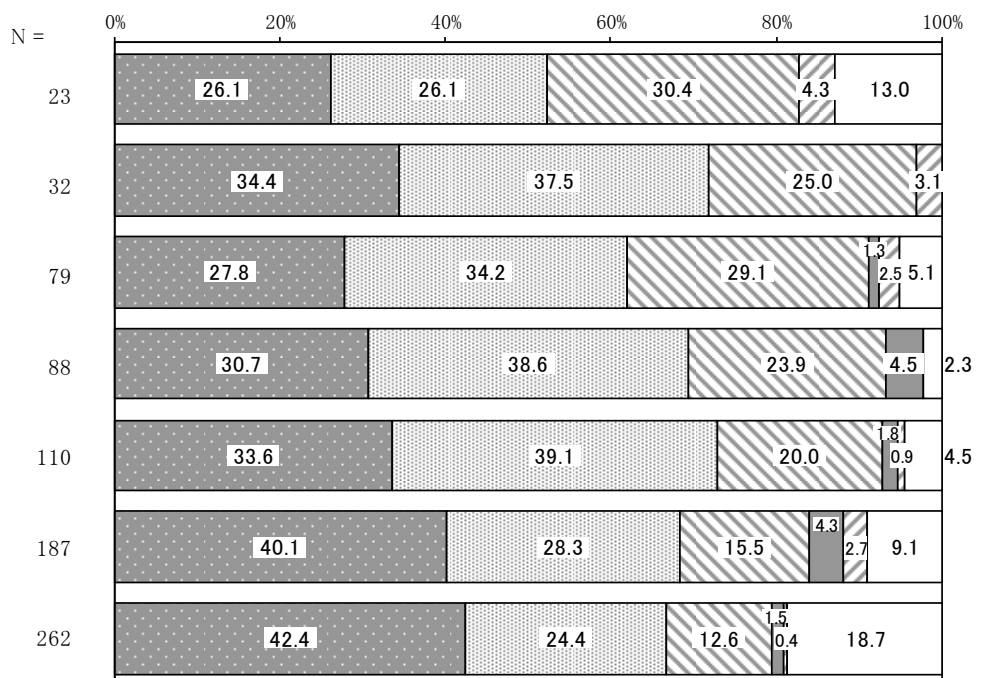
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



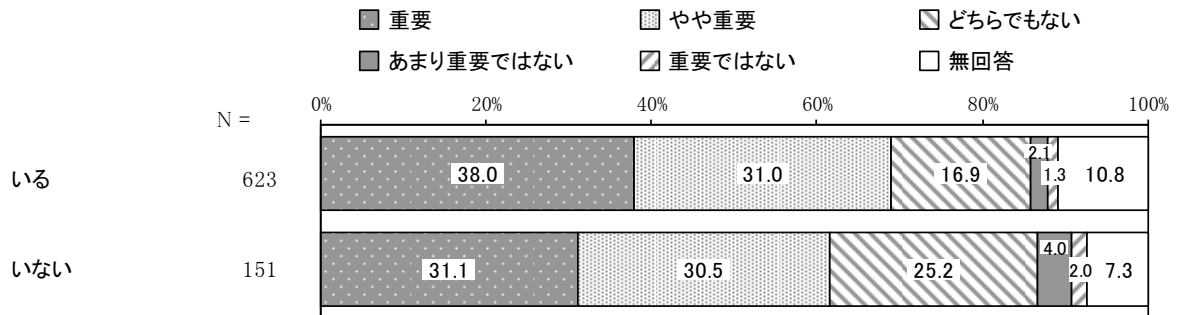
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、40歳代から60歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



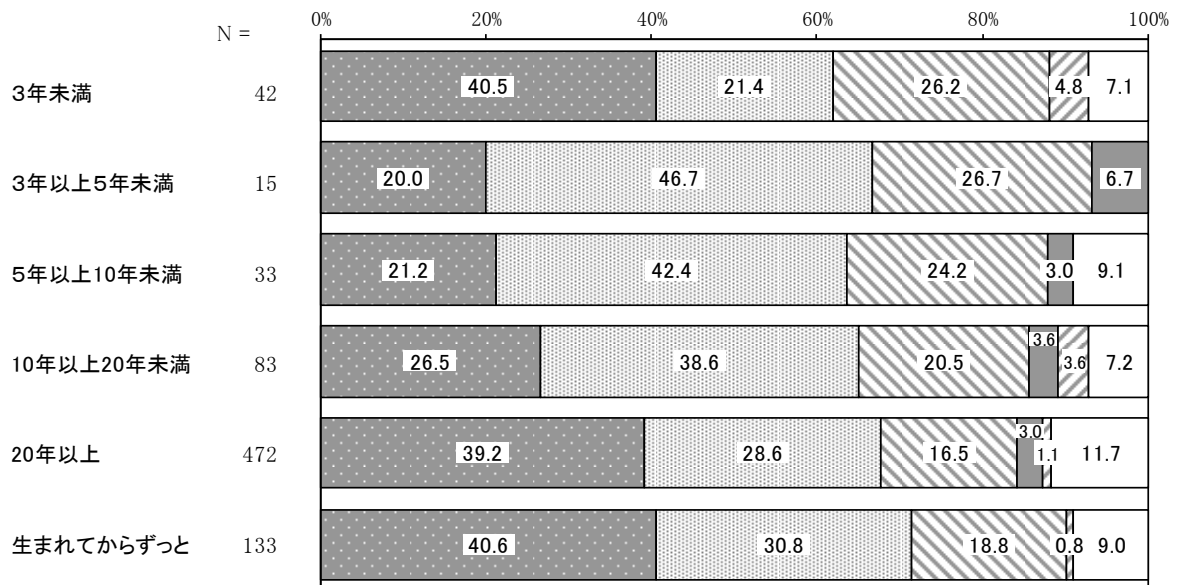
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



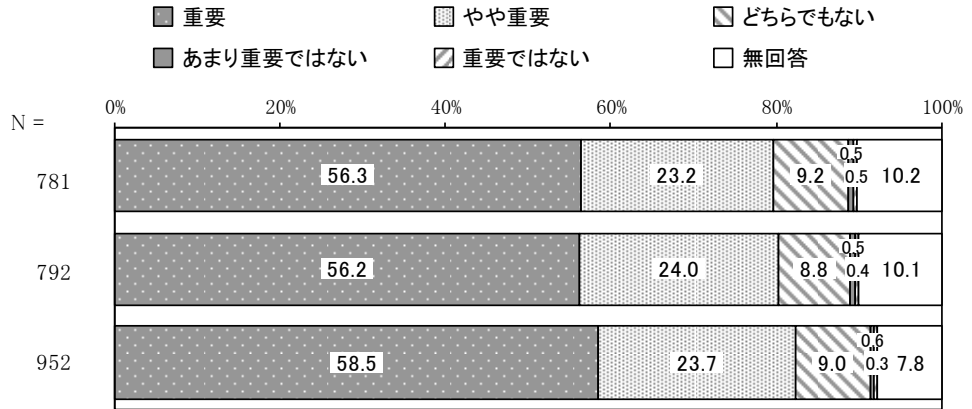
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約7割となっています。



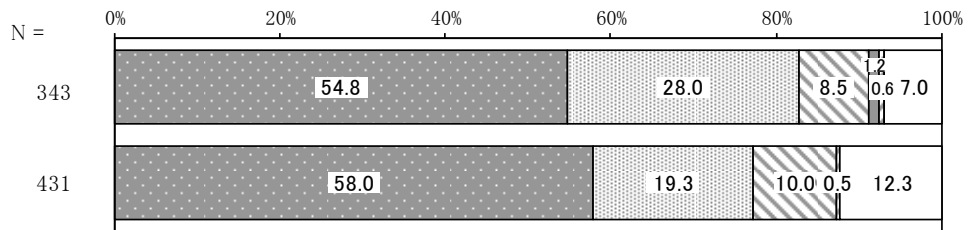
(8) 安心して子育てできる環境づくり

“重要”の割合が79.5%、“重要ではない”の割合が1.0%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



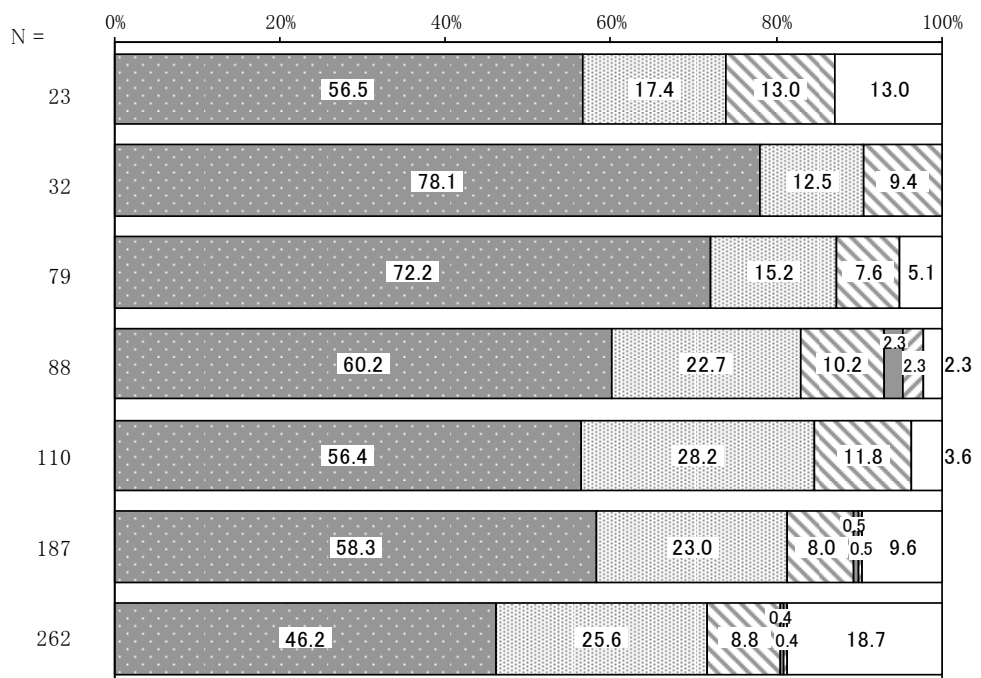
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



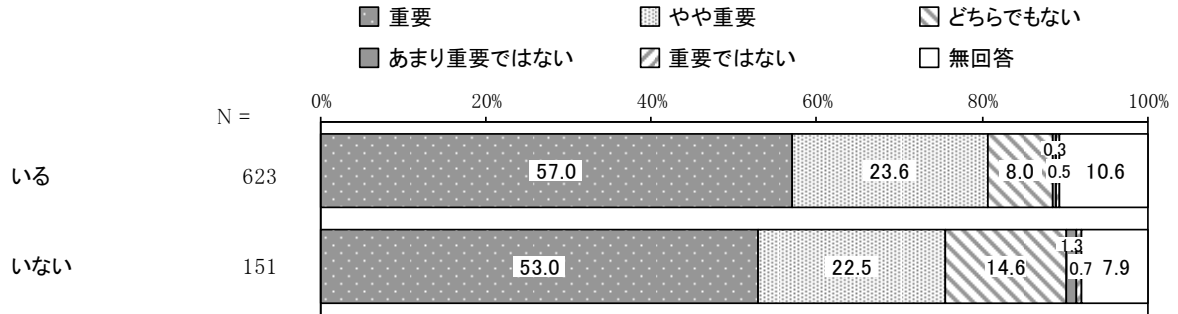
【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が低くなるにつれ“重要”の割合が高くなる傾向がみられ、特に20歳代、30歳代で約9割となっています。



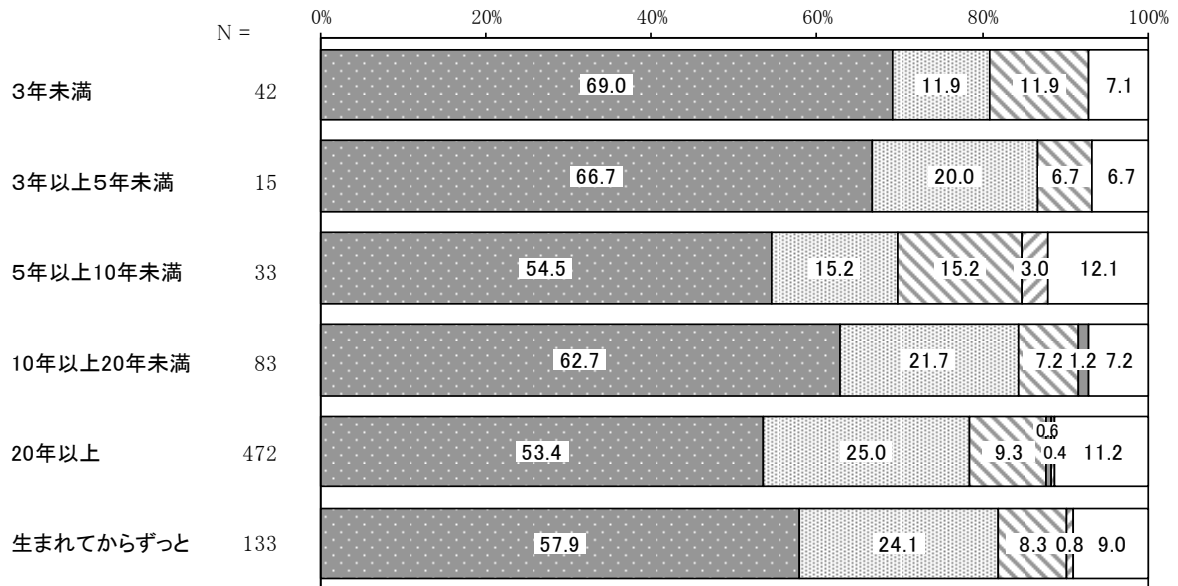
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



### 【居住年数別】

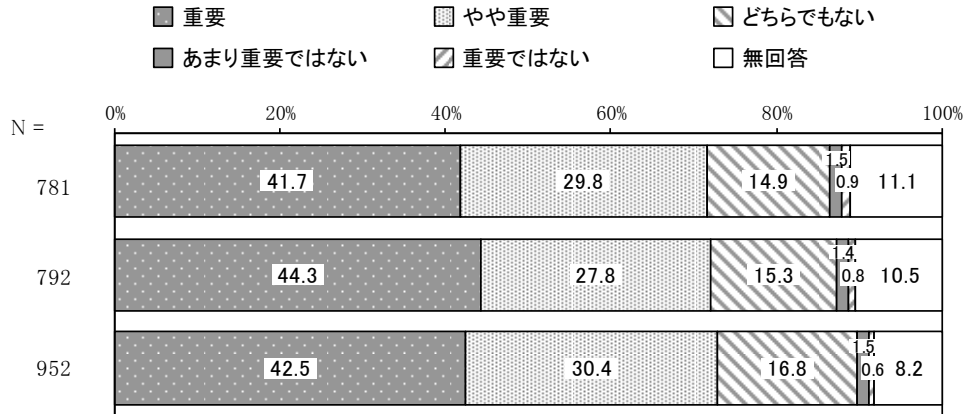
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

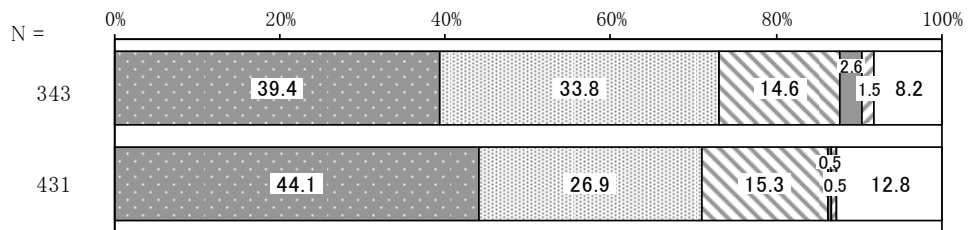
“重要”の割合が71.5%、“重要ではない”の割合が2.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



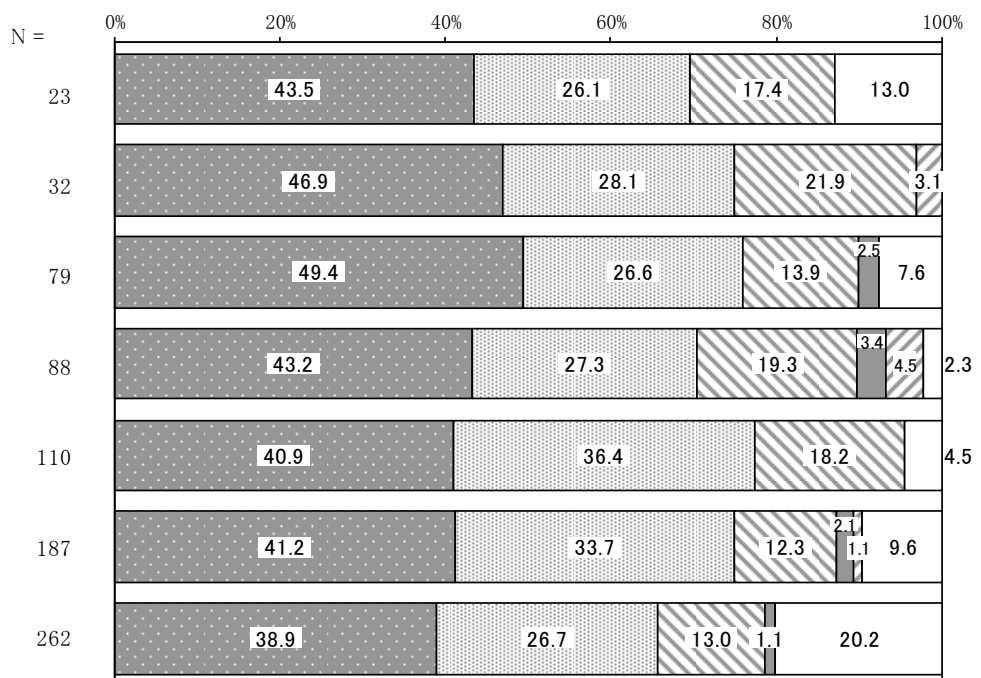
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



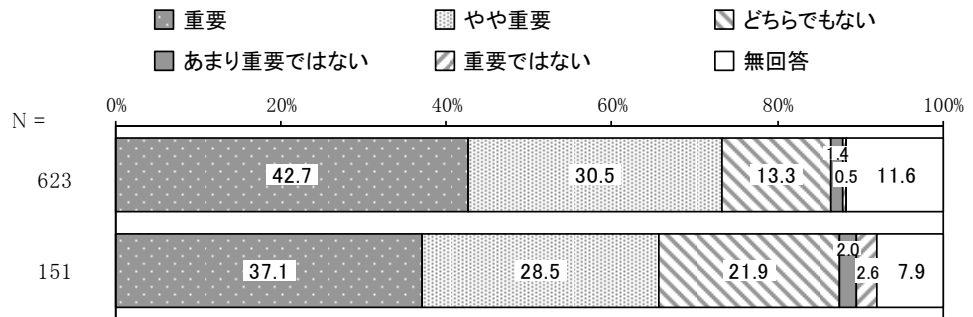
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



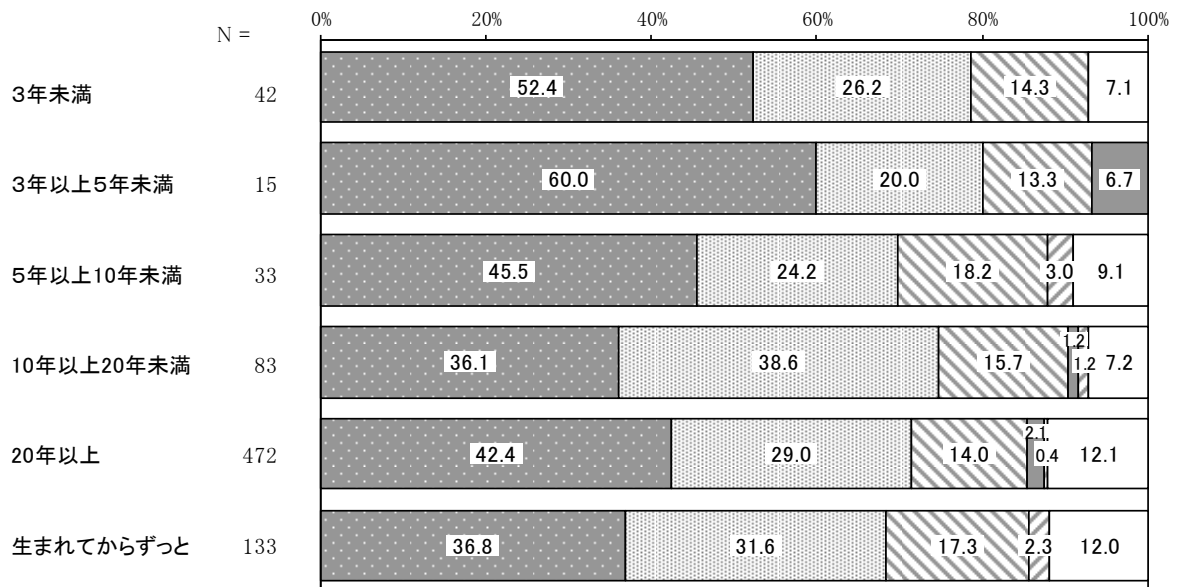
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



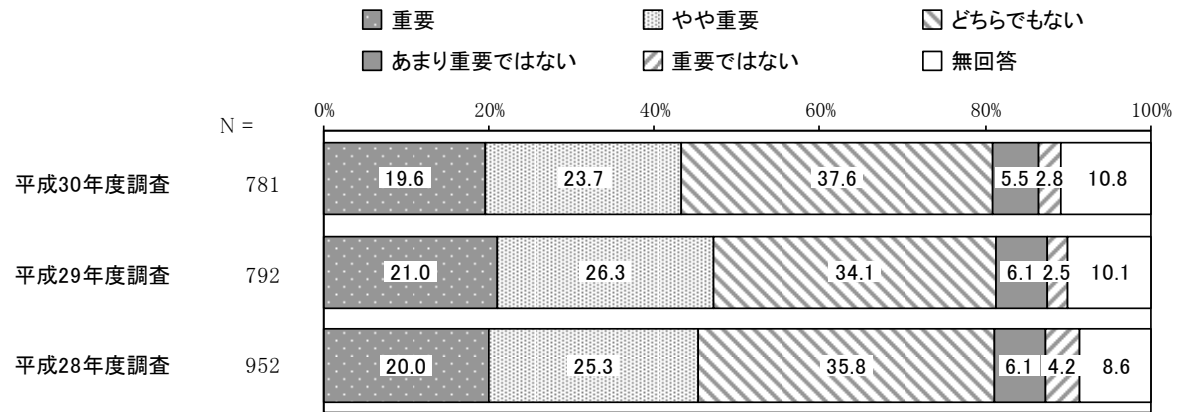
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、『3年未満』『3年以上5年未満』をあわせた“5年未満”で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



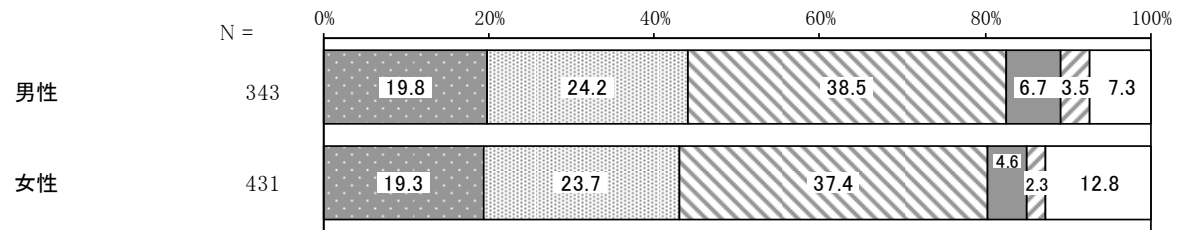
(10) 結婚への機会づくり

“重要”の割合が43.3%、“重要ではない”の割合が8.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



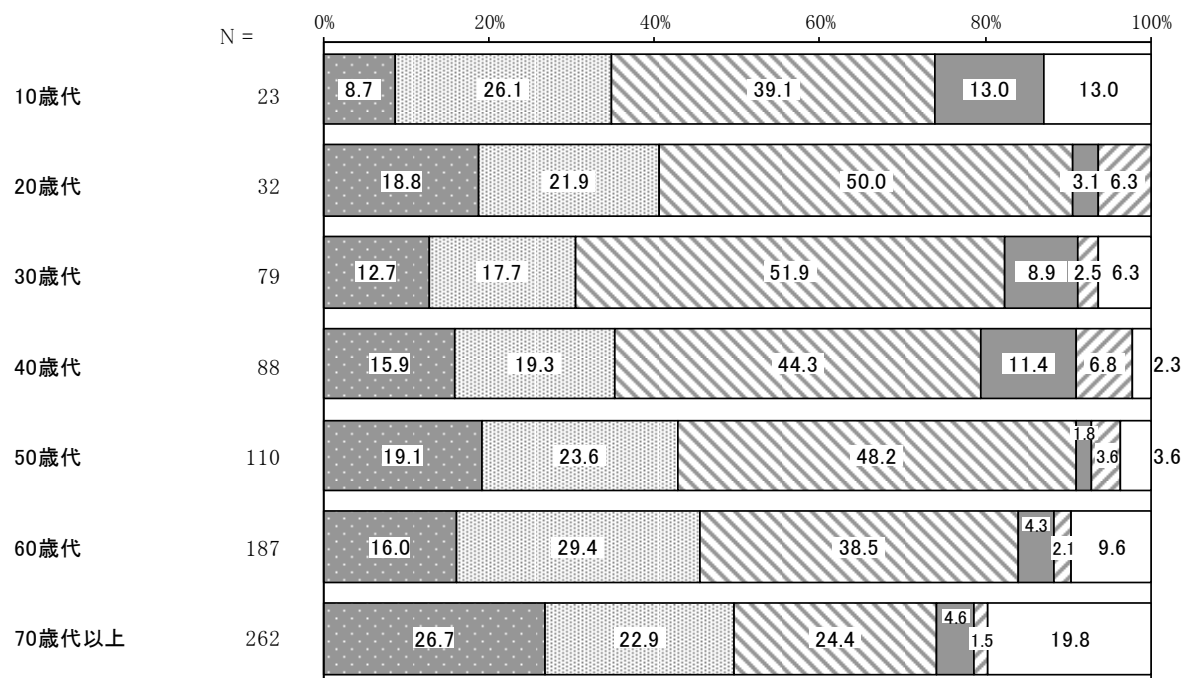
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

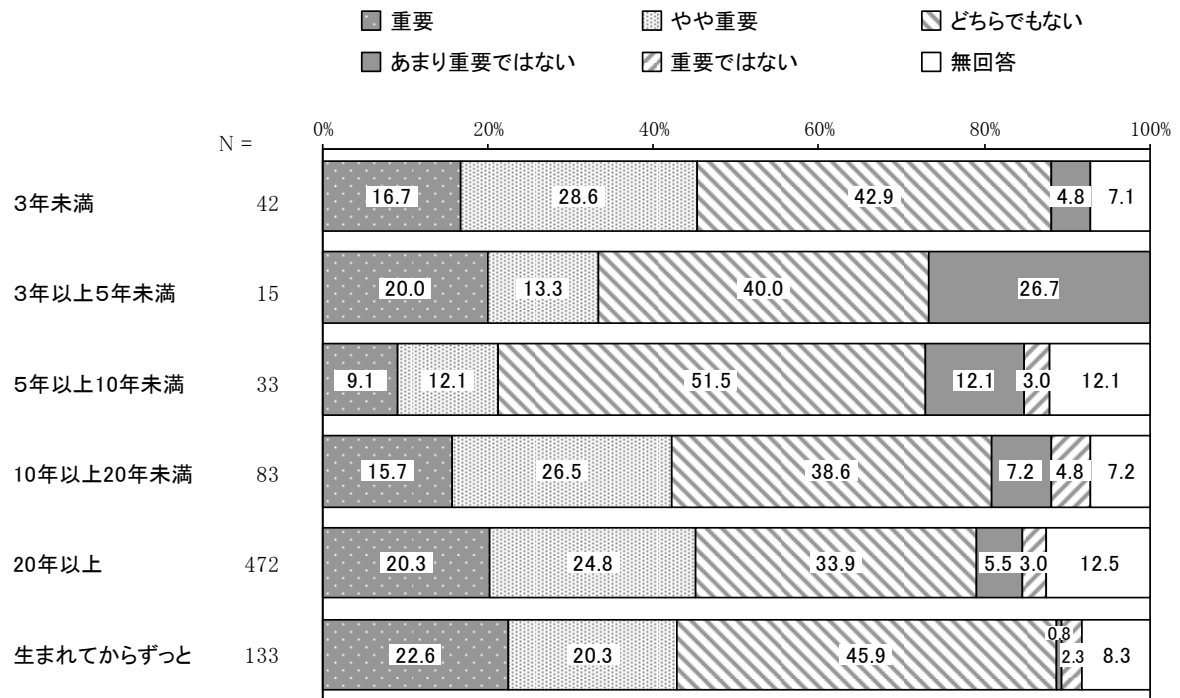
年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“重要”の割合が高く、約5割となっています。一方、40歳代で“重要ではない”の割合が高く、約2割となっています。





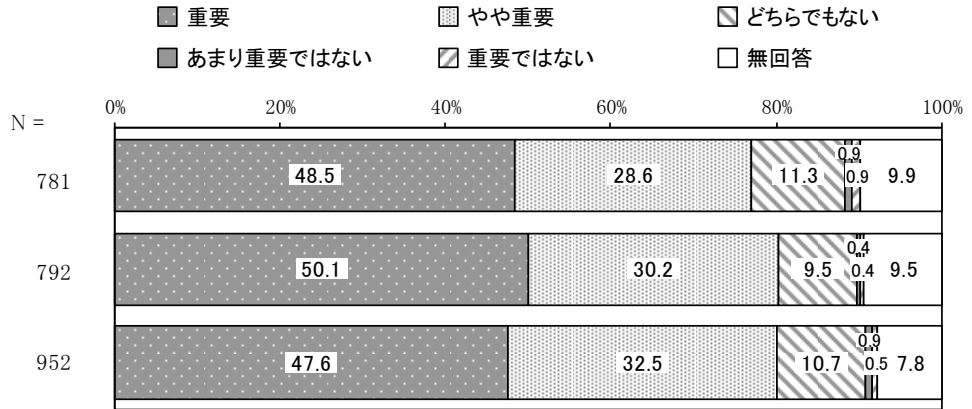
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要ではない”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、5年以上10年未満で“重要”の割合が低く、約2割となっています。



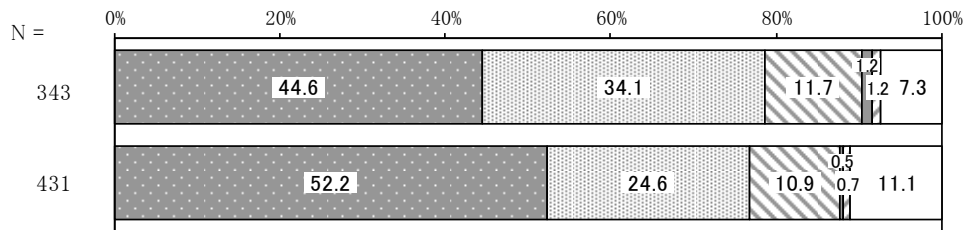
(11) 健康で暮らせる環境づくり

“重要”の割合が77.1%、“重要ではない”の割合が1.8%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



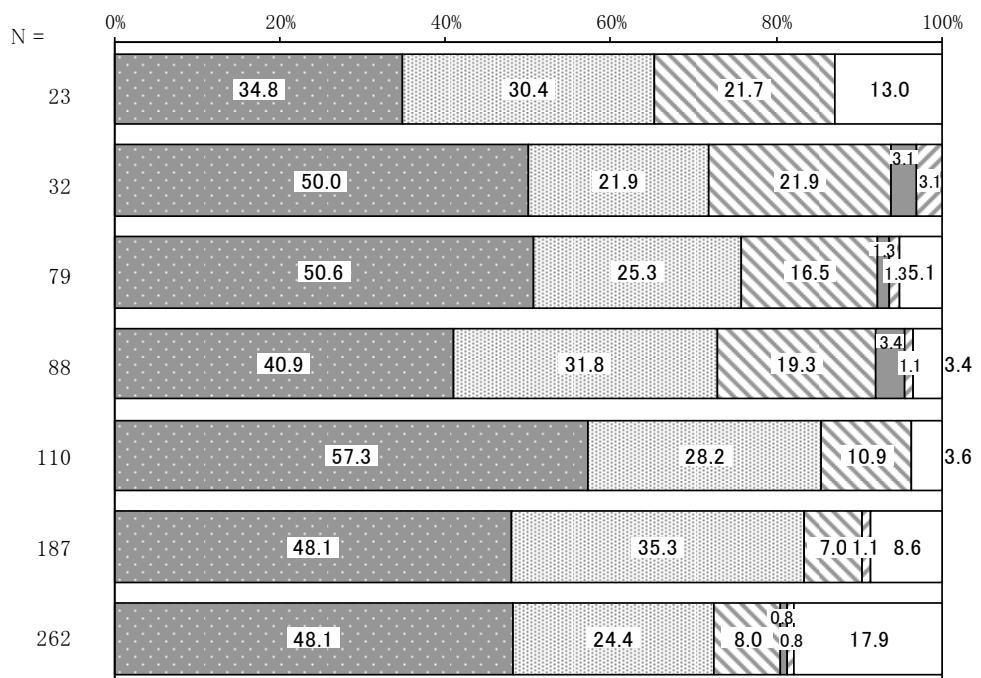
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



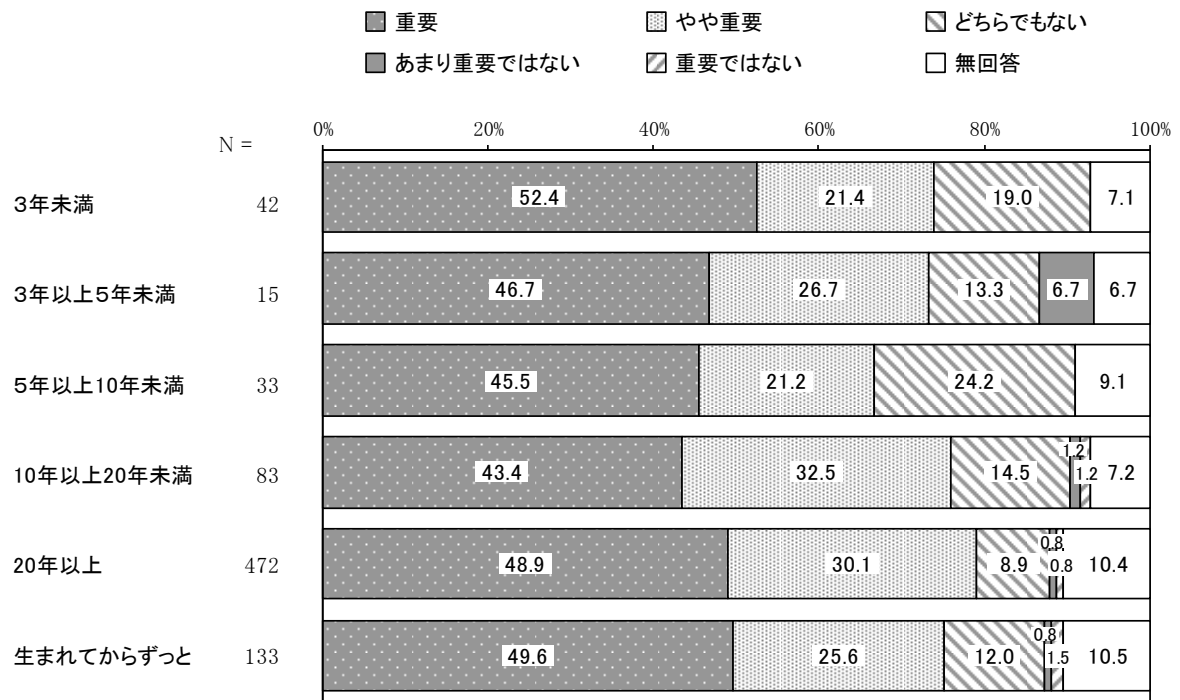
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



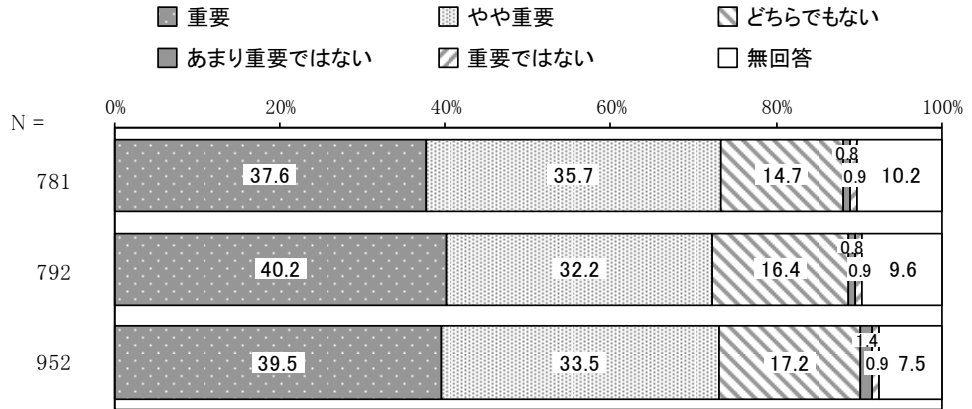
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



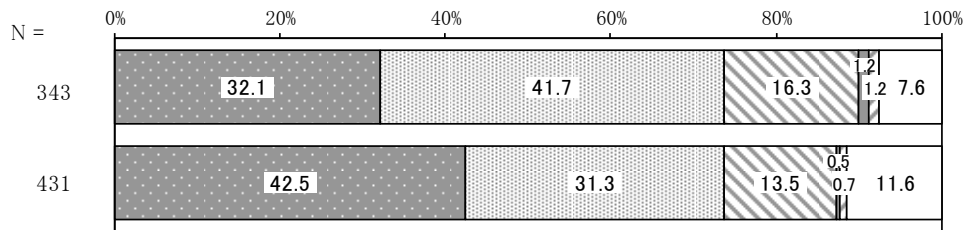
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

“重要”の割合が73.3%、“重要ではない”の割合が1.7%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



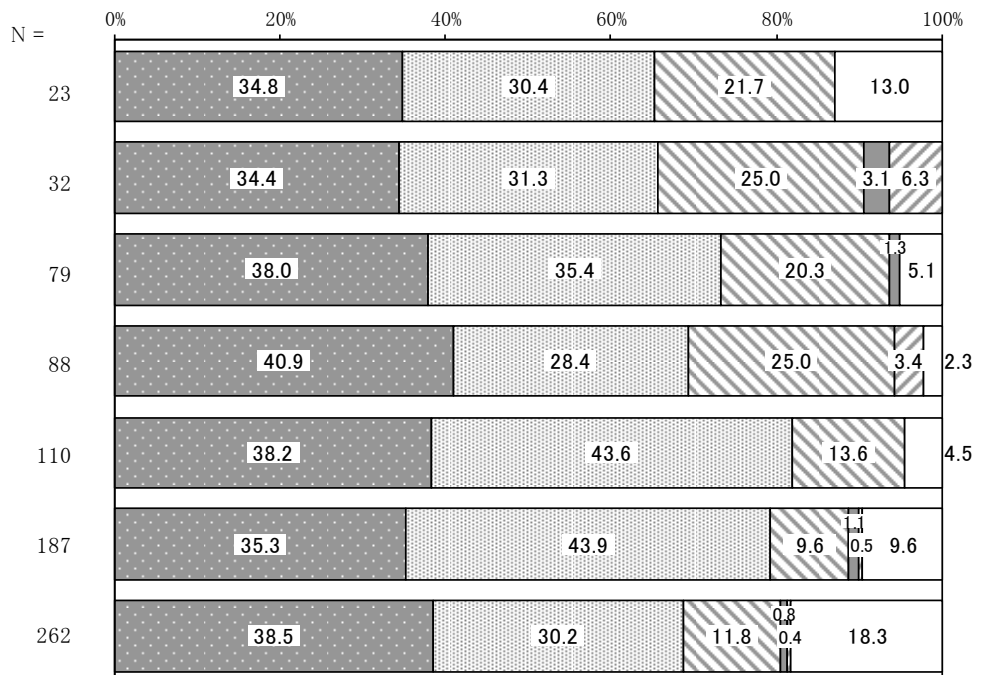
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



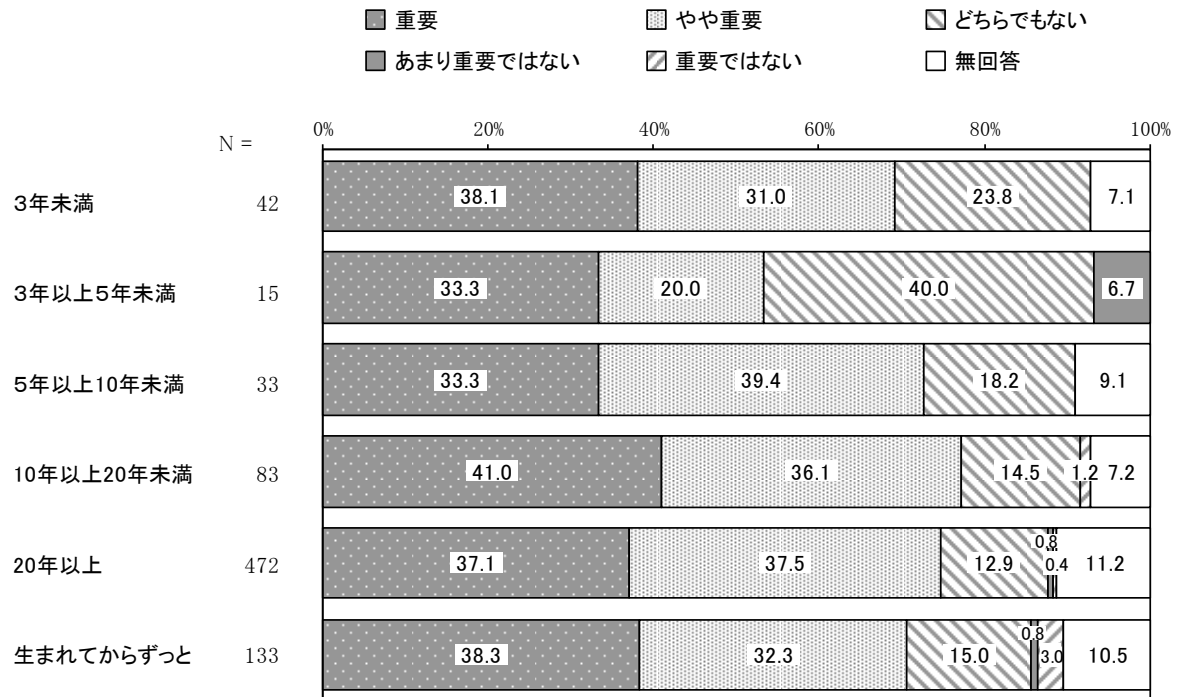
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



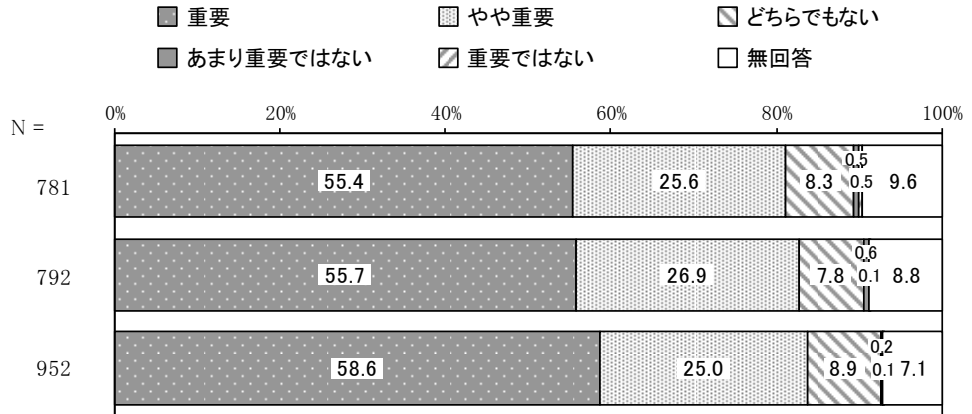
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



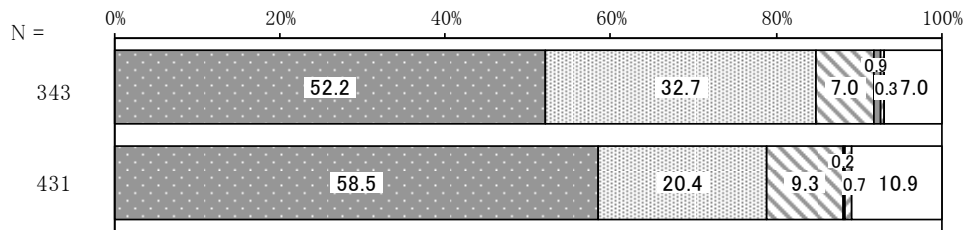
(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

“重要”の割合が81.0%、“重要ではない”の割合が1.0%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



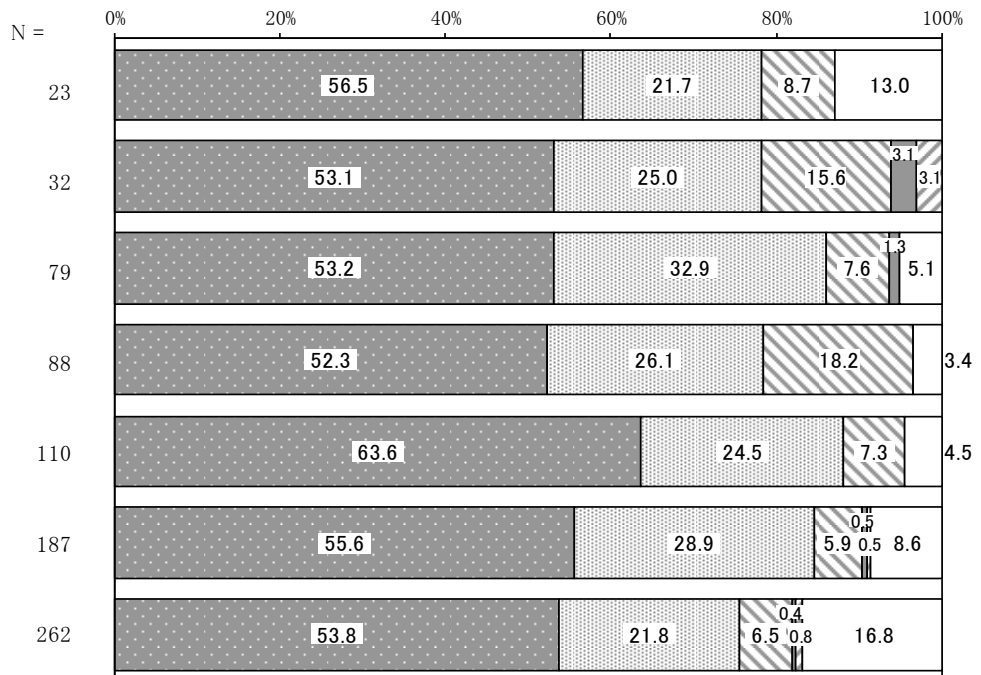
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



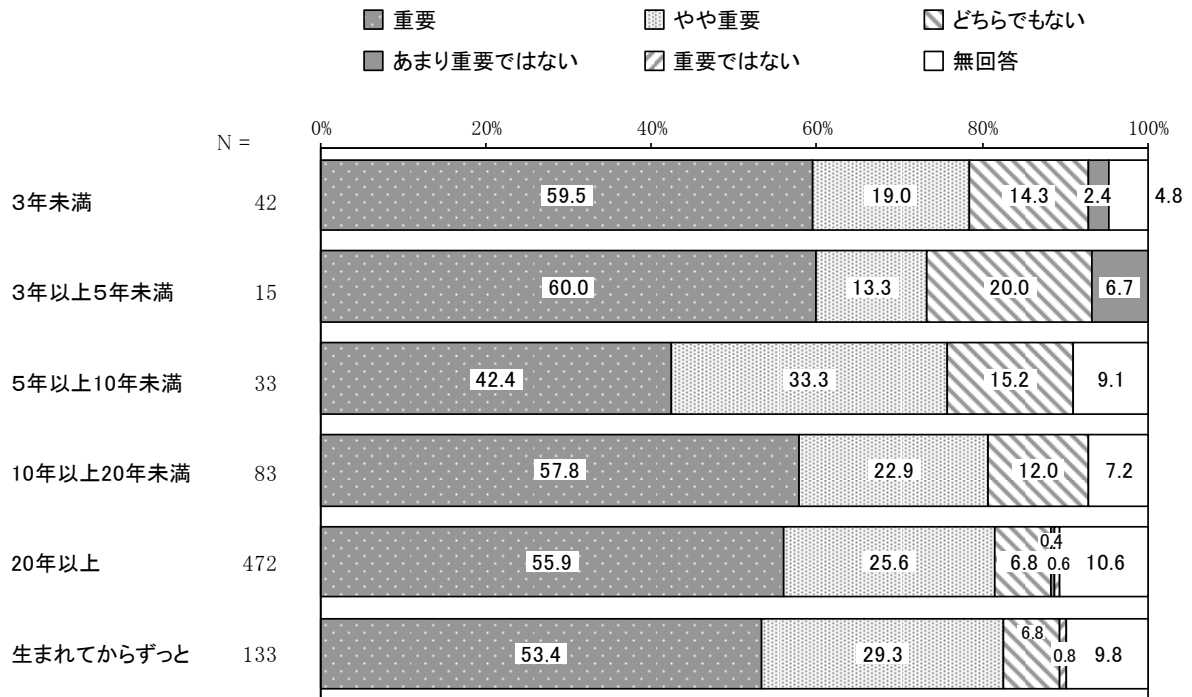
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



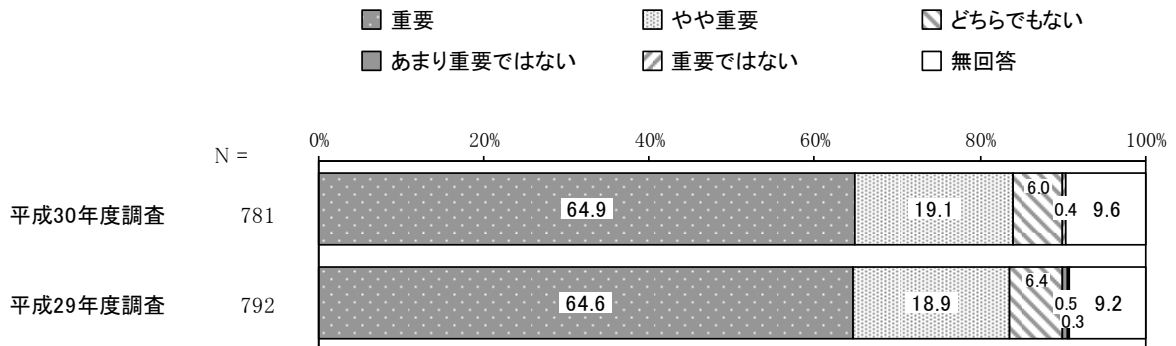
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約8割となっています。



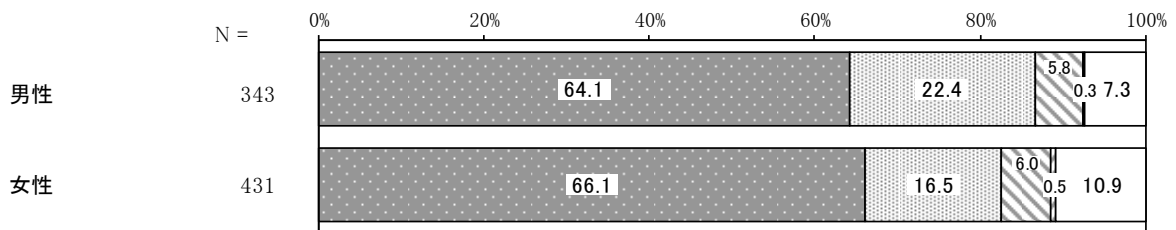
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が84.0%、“重要ではない”の割合が0.4%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



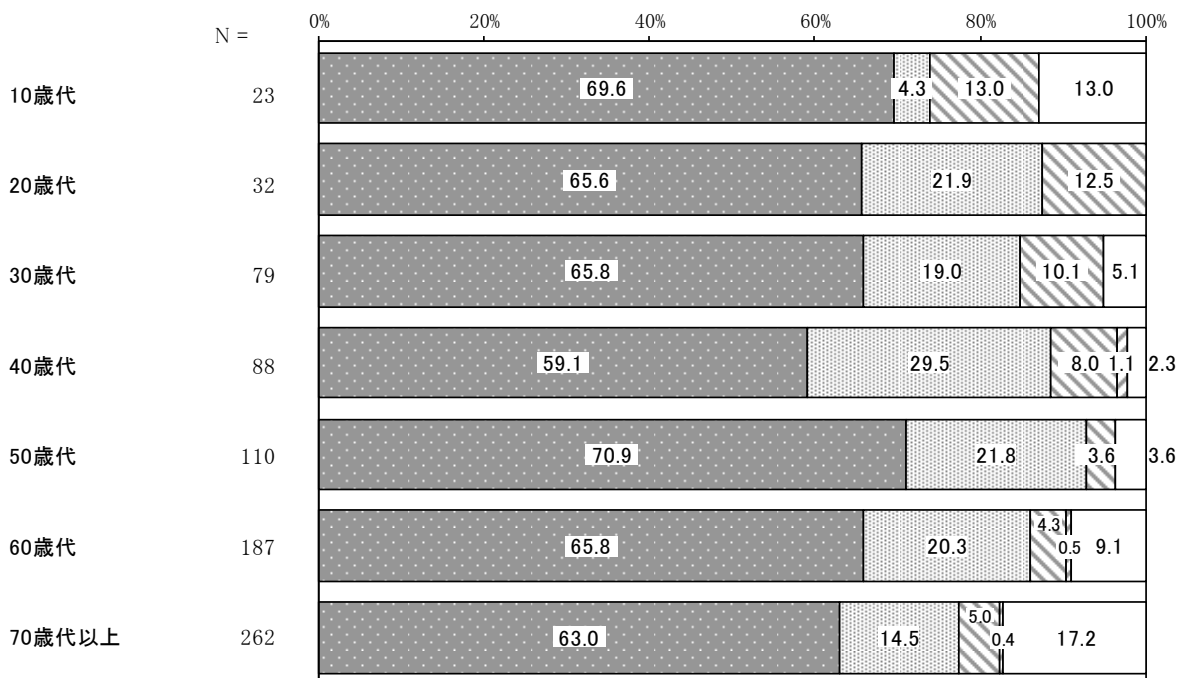
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

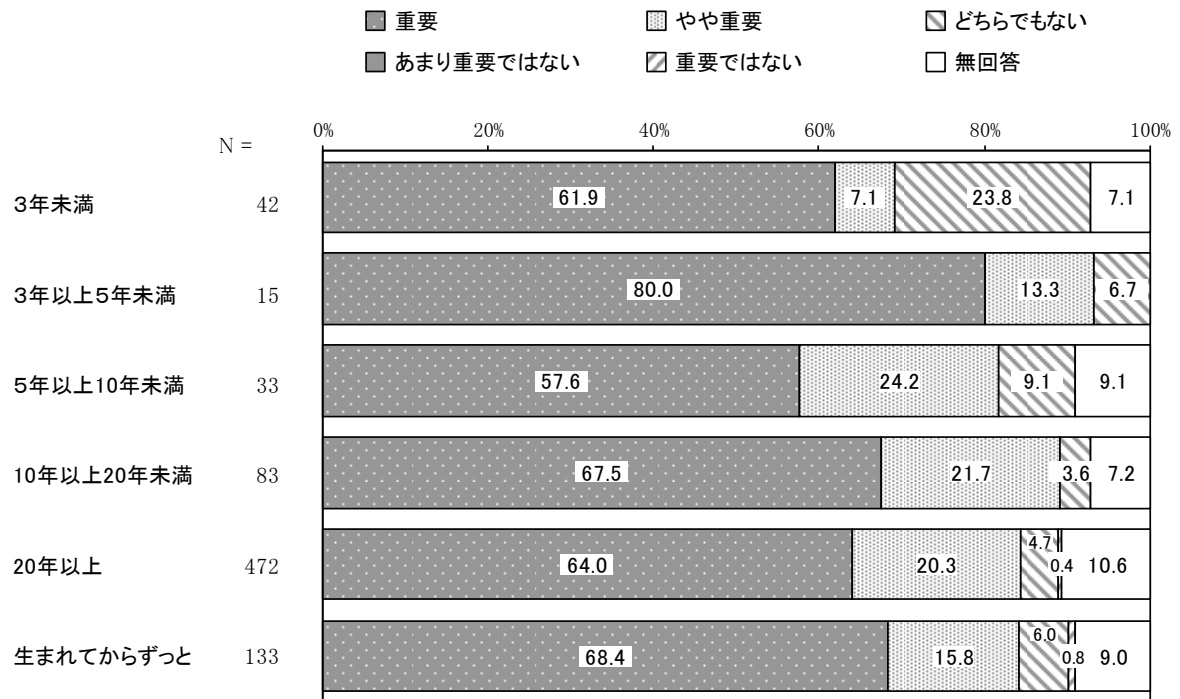
年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、40歳代、50歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。





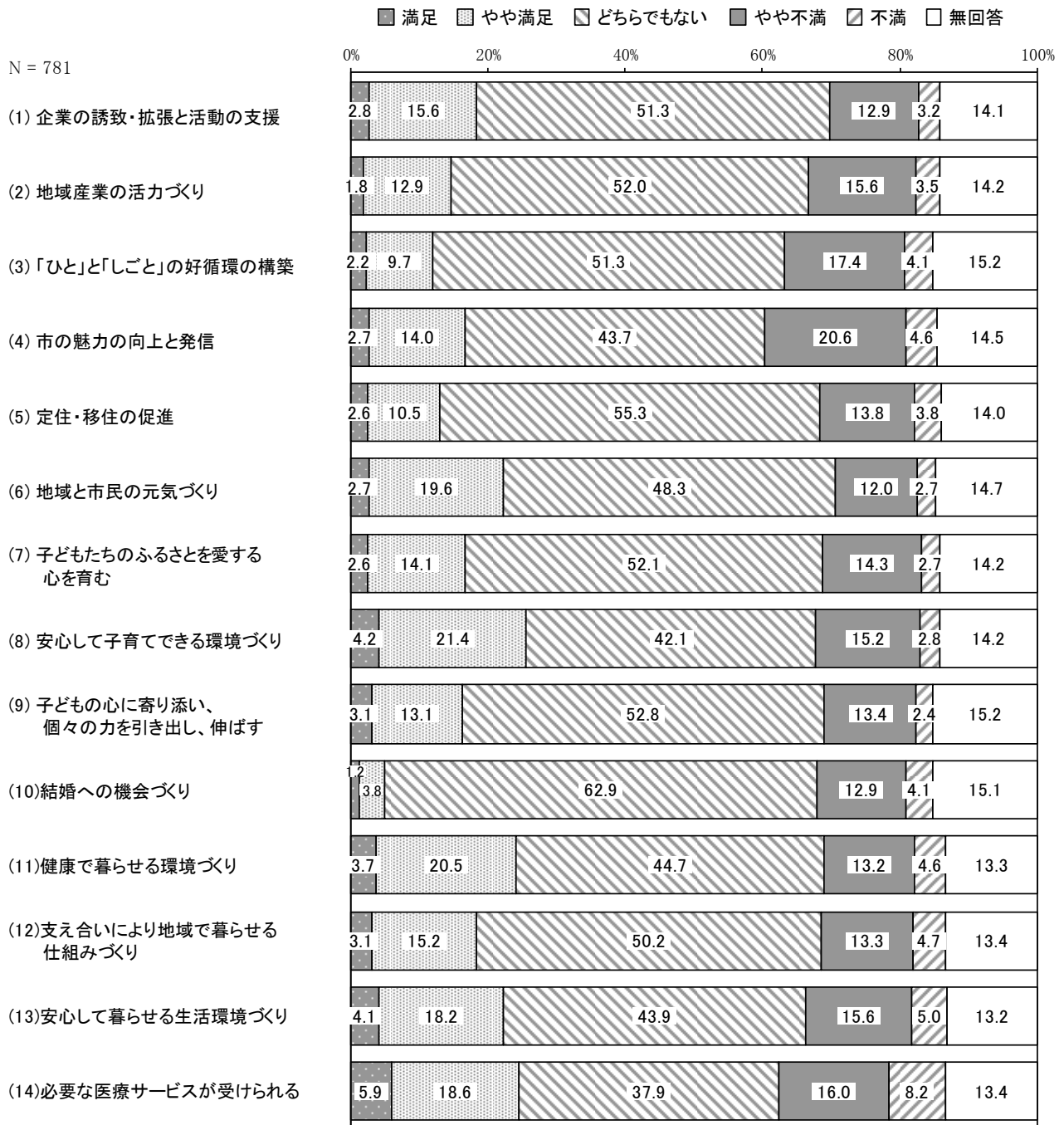
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



## ② 満足度

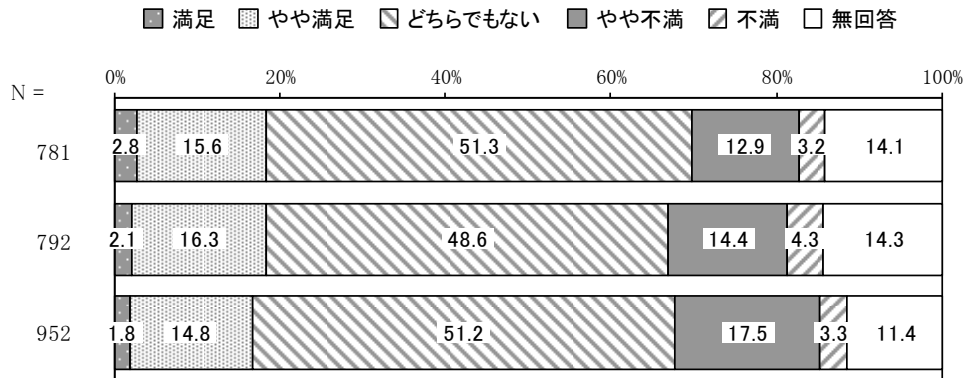
『(6)地域と市民の元気づくり』『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。



**(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援**

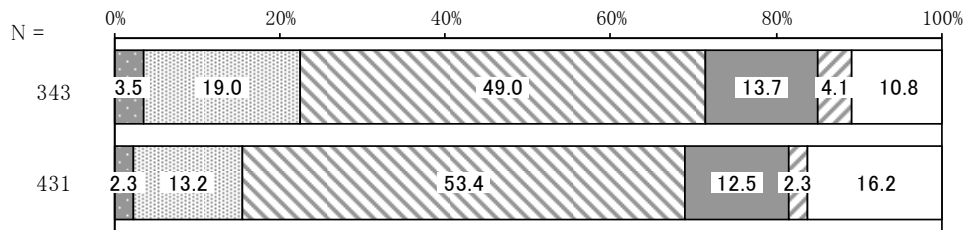
“満足”の割合が18.4%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が16.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



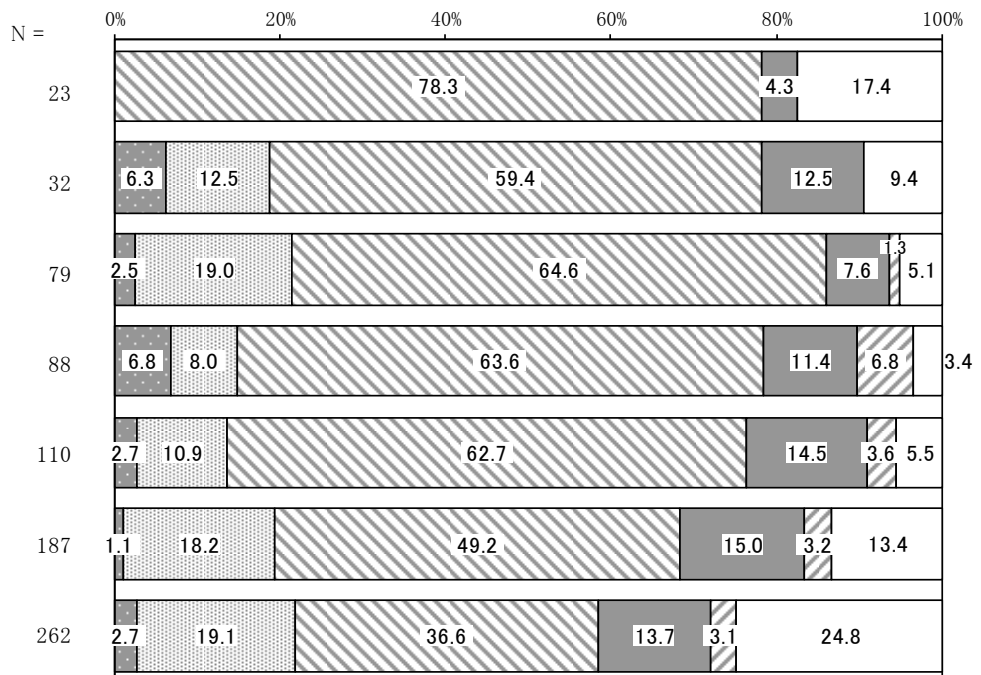
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



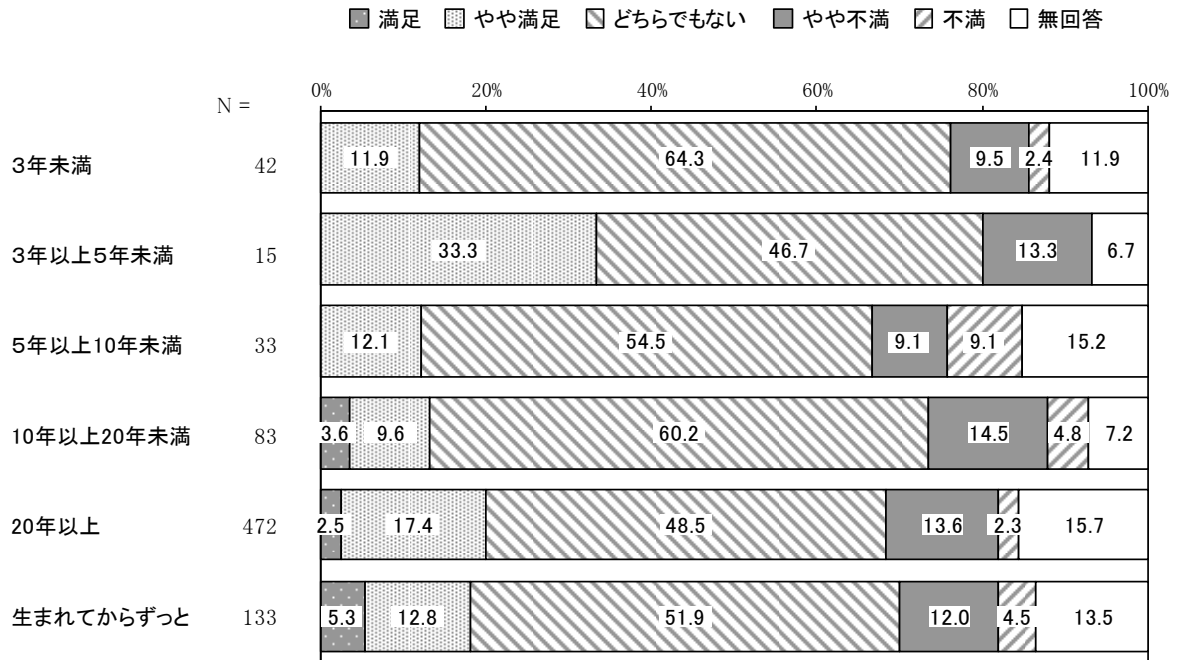
**【年代別】**

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代、60歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、40歳代から60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



### 【居住年数別】

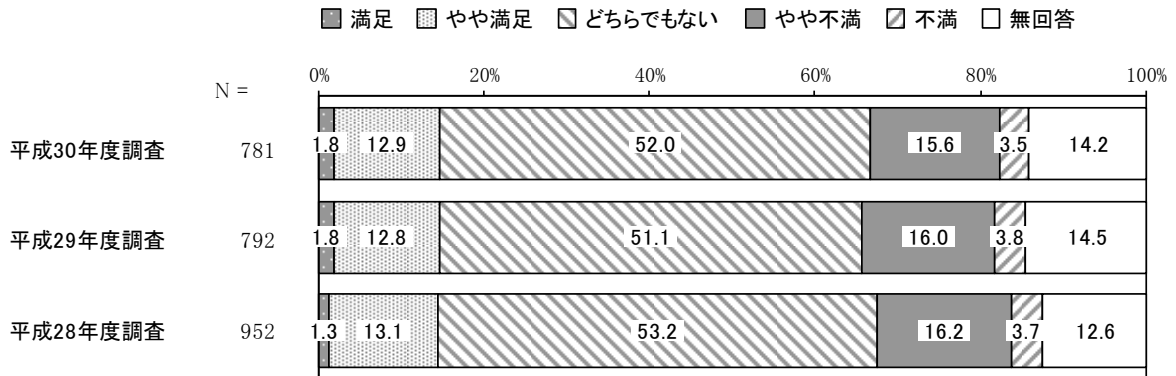
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、5年以上10年未満、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



## (2) 地域産業の活力づくり

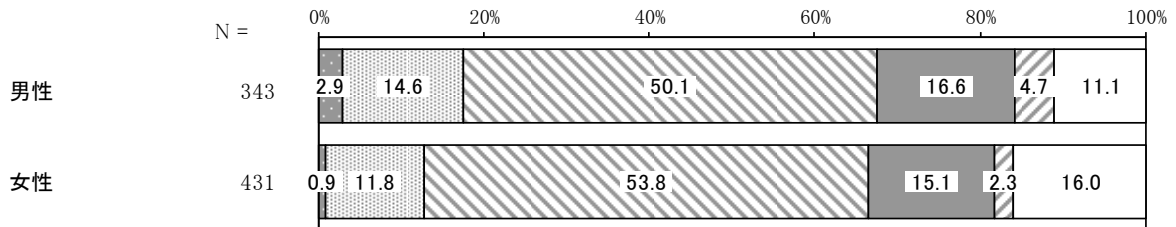
“満足”の割合が14.7%、“不満”の割合が19.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



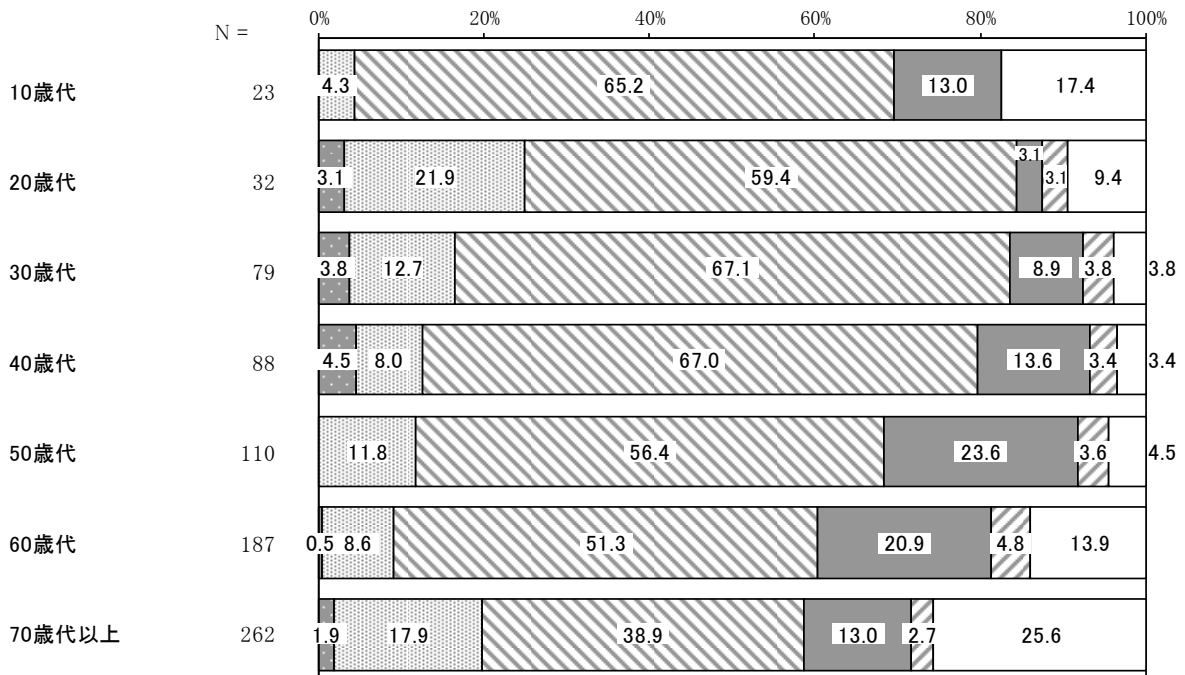
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



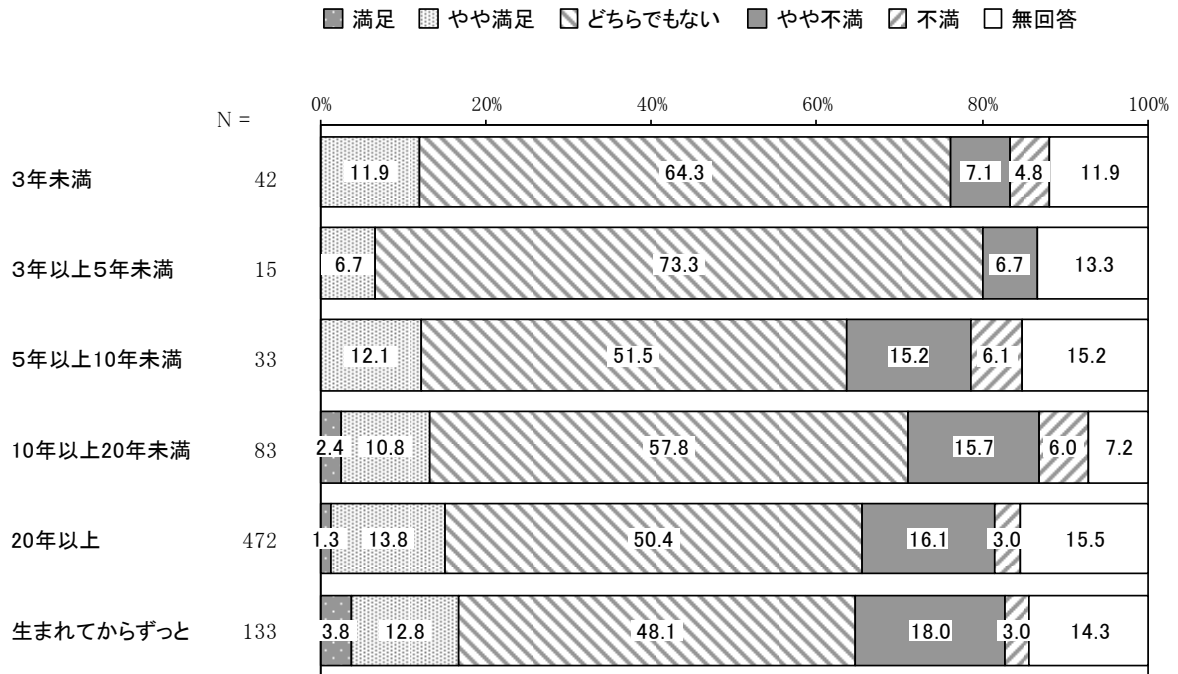
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。一方、50歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



### 【居住年数別】

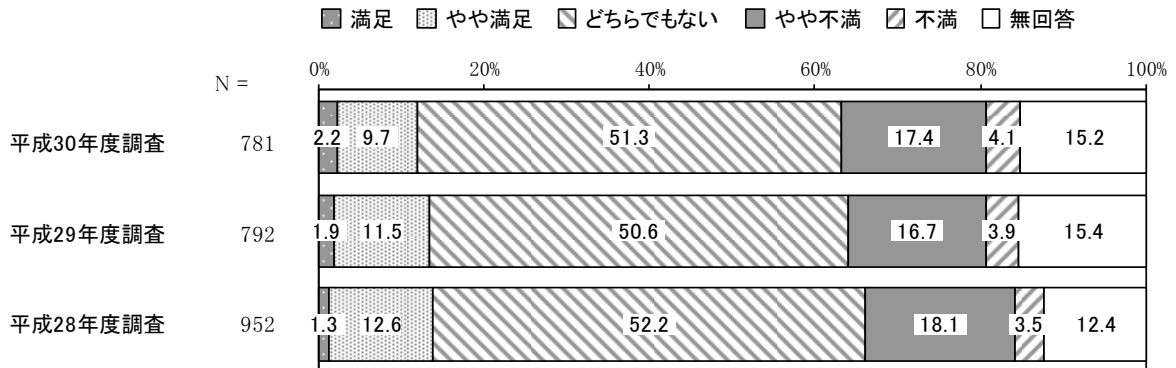
居住年数別でみると、『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』『20年以上』をあわせた“5年以上”、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。



### (3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

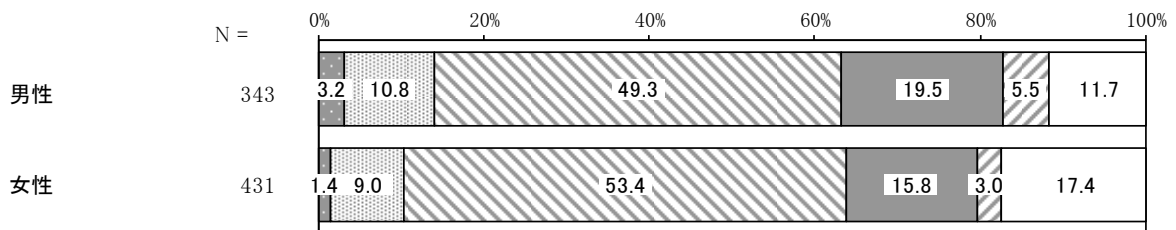
“満足”の割合が11.9%、“不満”の割合が21.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



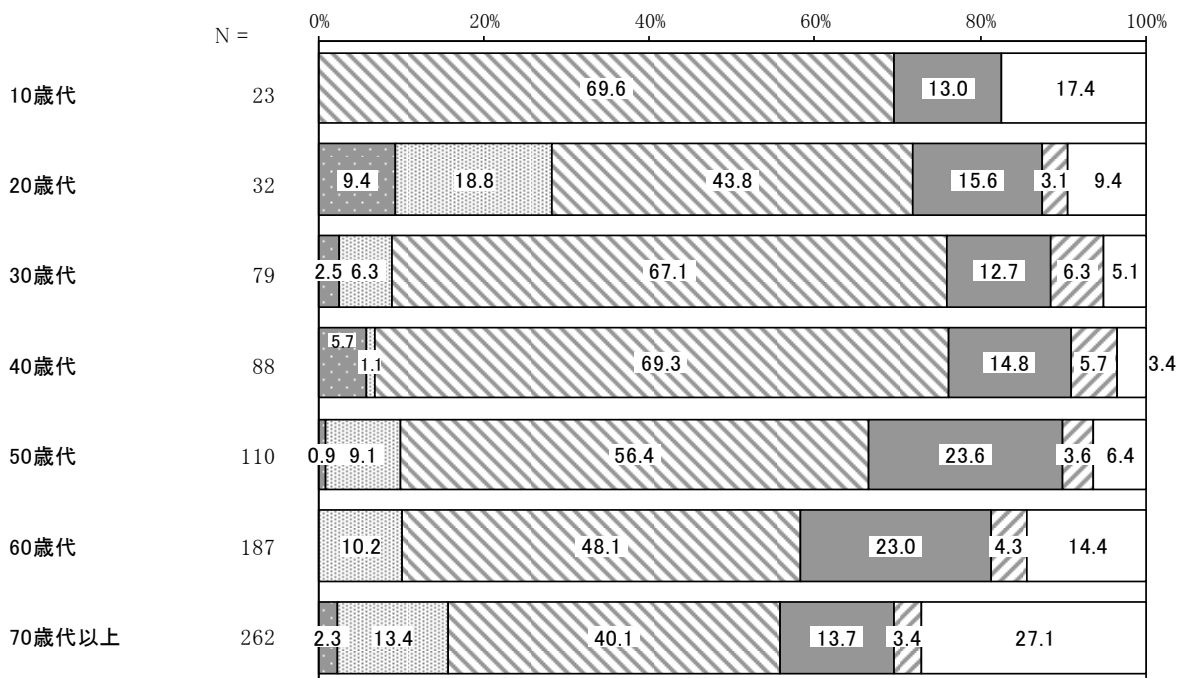
#### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



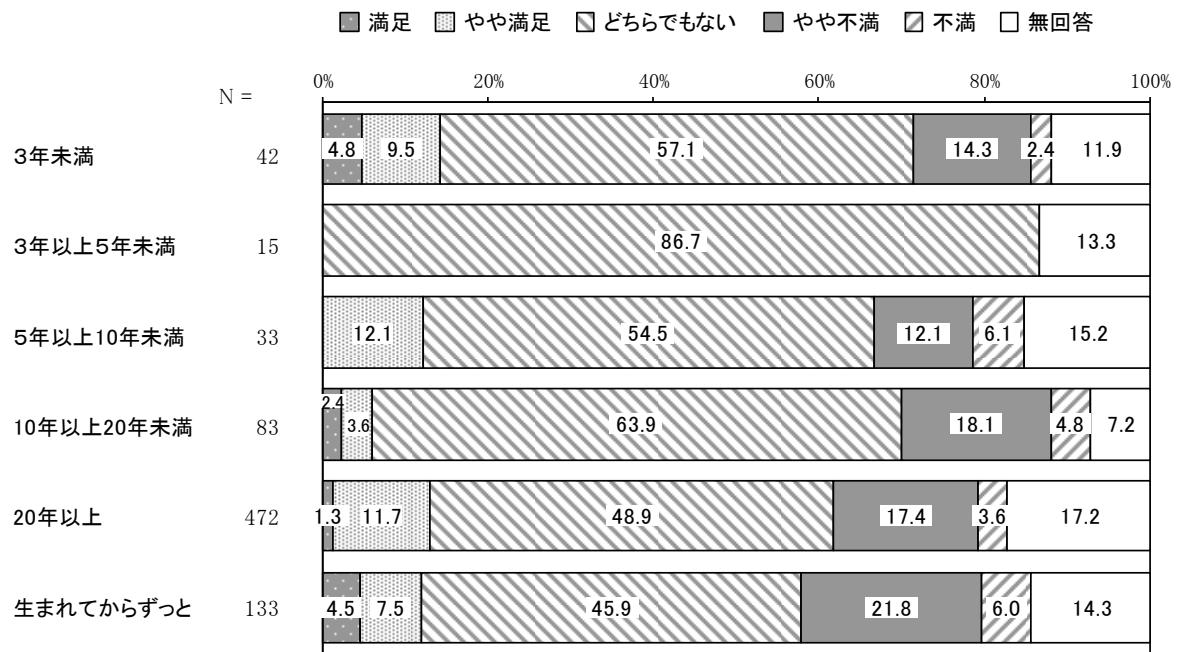
#### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約3割となっています。

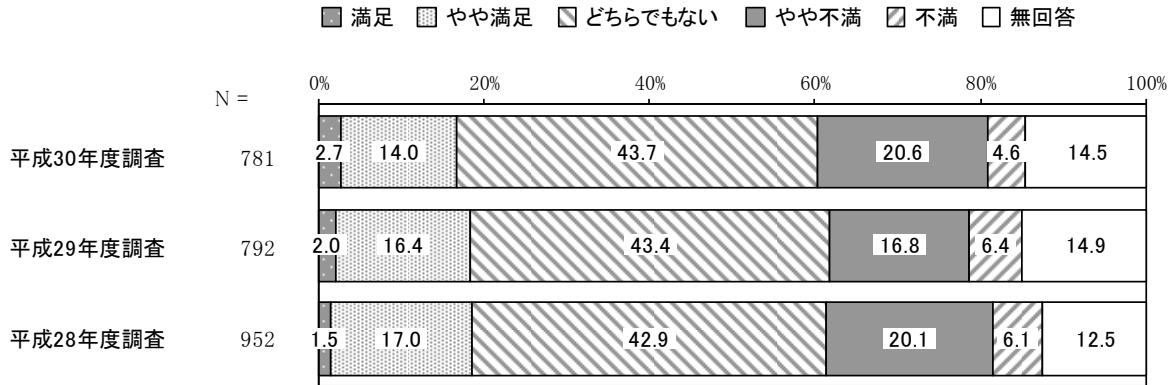




#### (4) 市の魅力の向上と発信

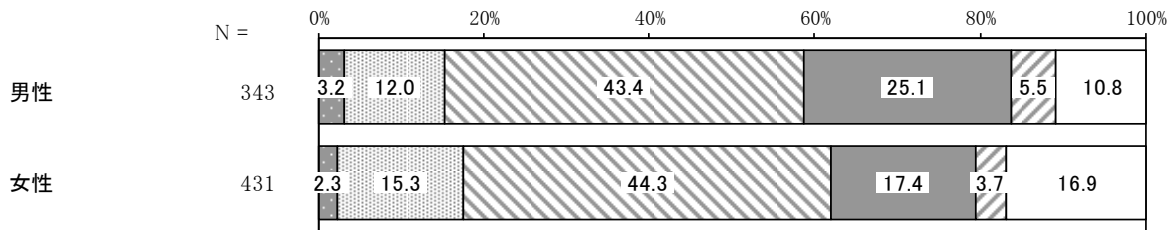
“満足”の割合が16.7%、“不満”の割合が25.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 【性別】

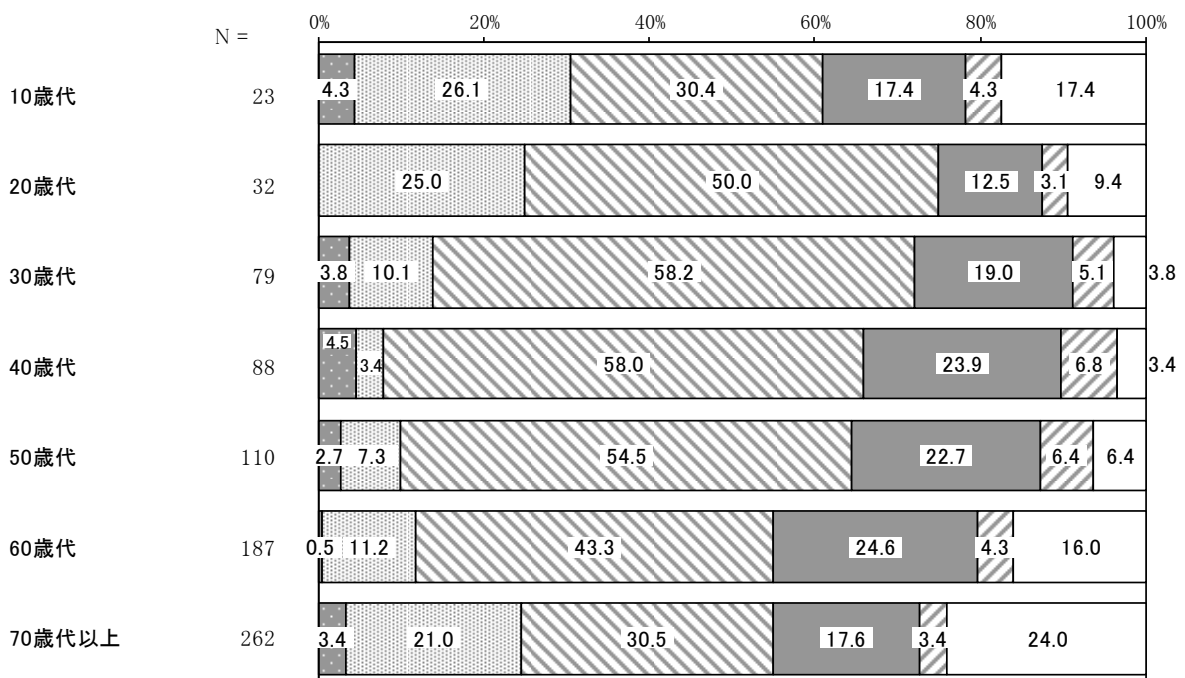
性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



#### 【年代別】

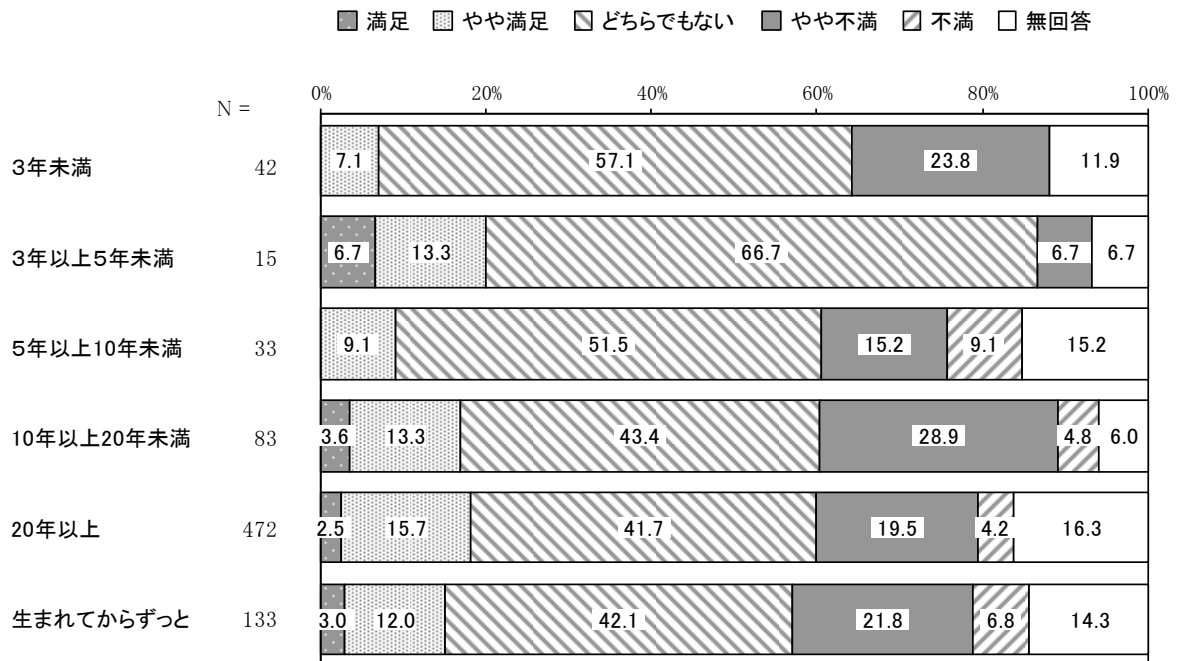
年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。

一方、40歳代から60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



### 【居住年数別】

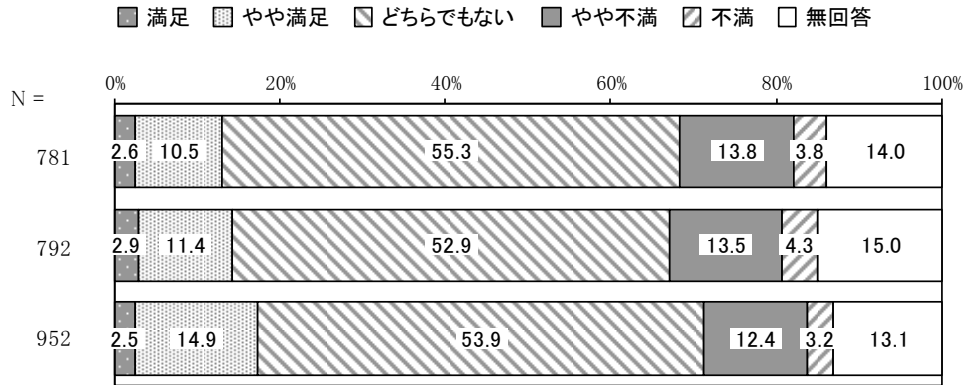
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約3割となっています。



(5) 定住・移住の促進

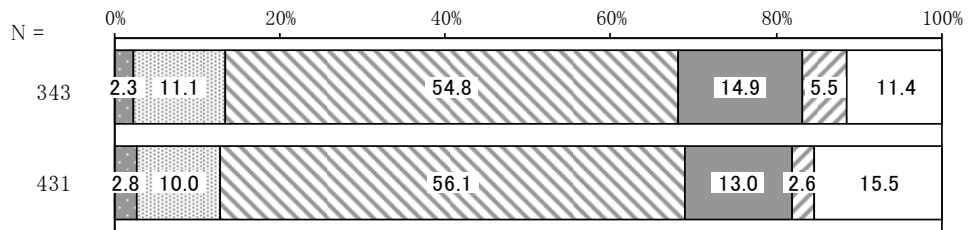
“満足”の割合が13.1%、“不満”の割合が17.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



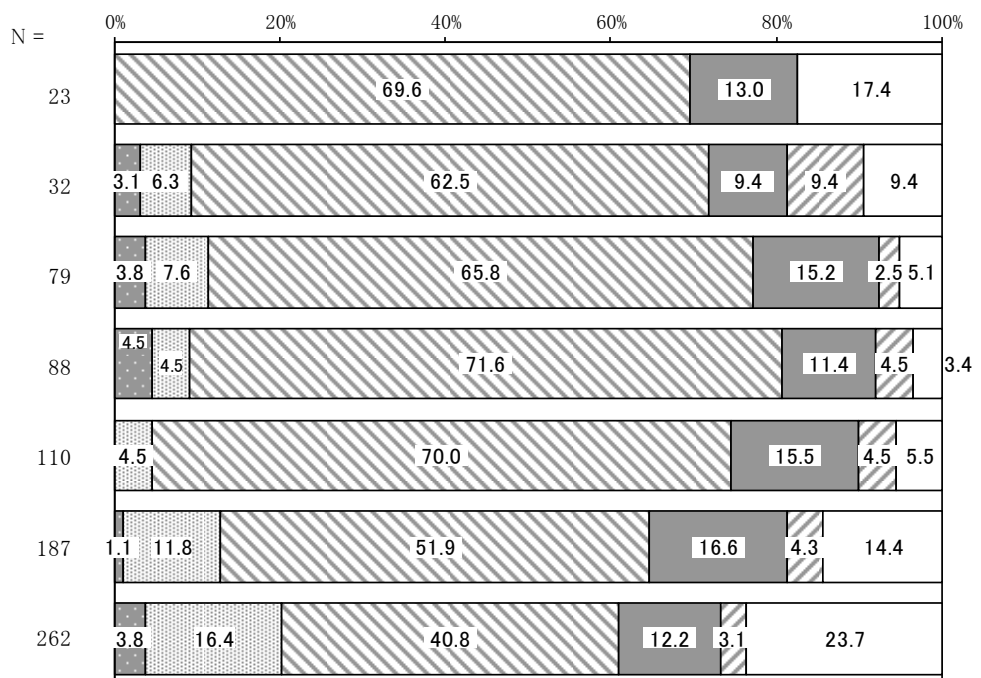
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



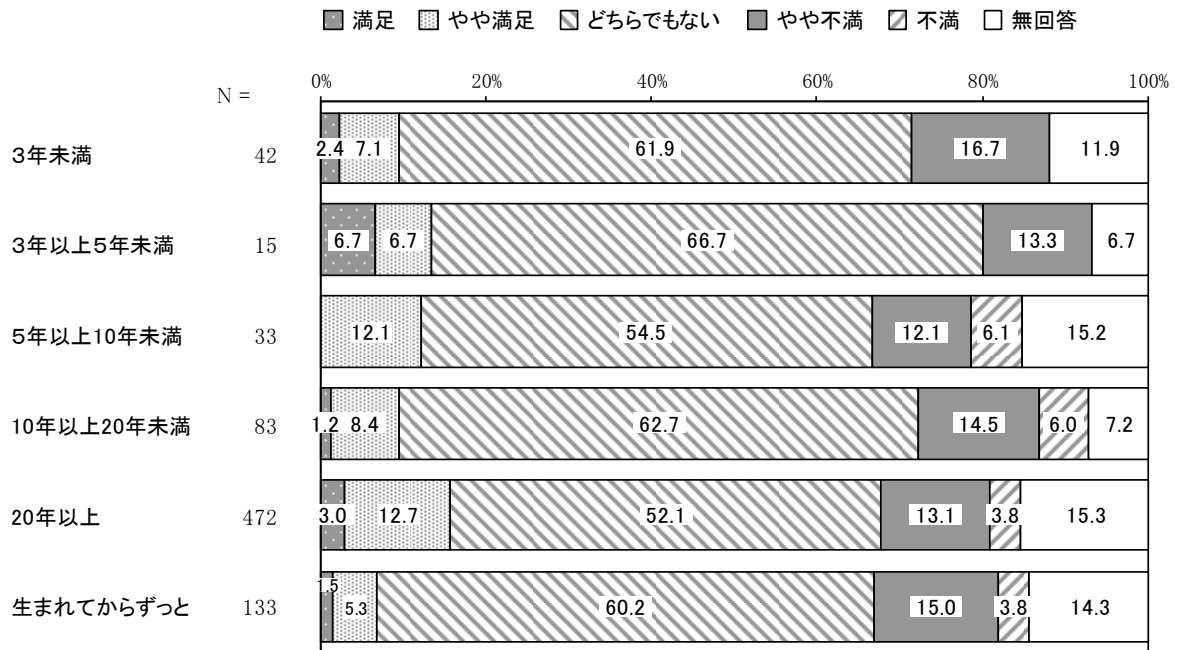
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



### 【居住年数別】

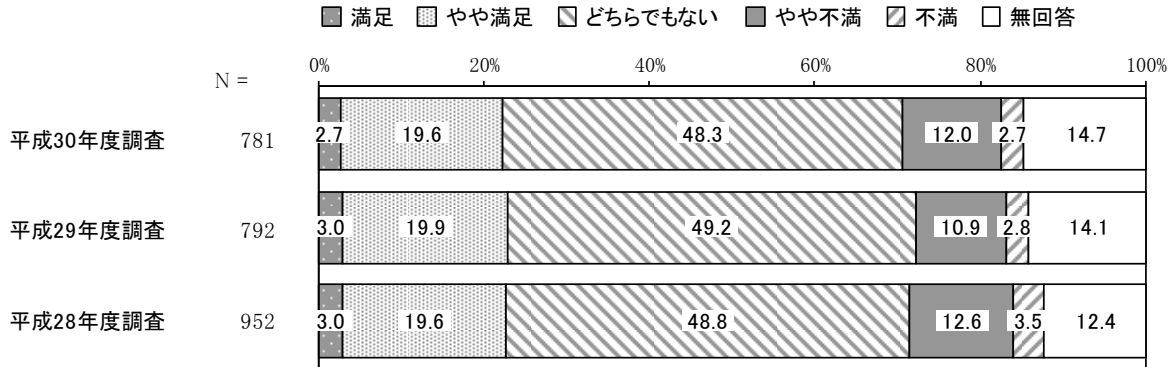
居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



### (6) 地域と市民の元気づくり

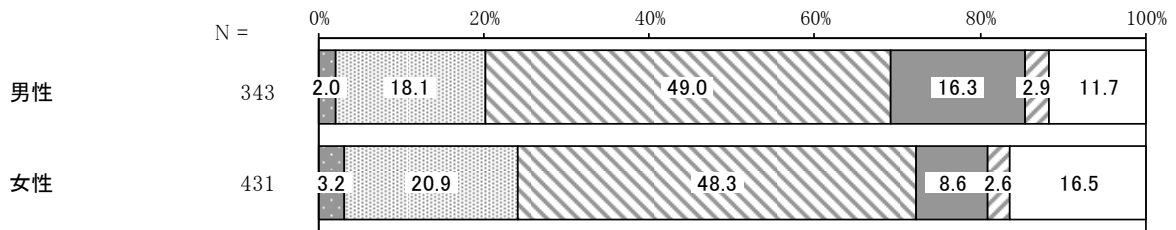
“満足”の割合が22.3%、“不満”の割合が14.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



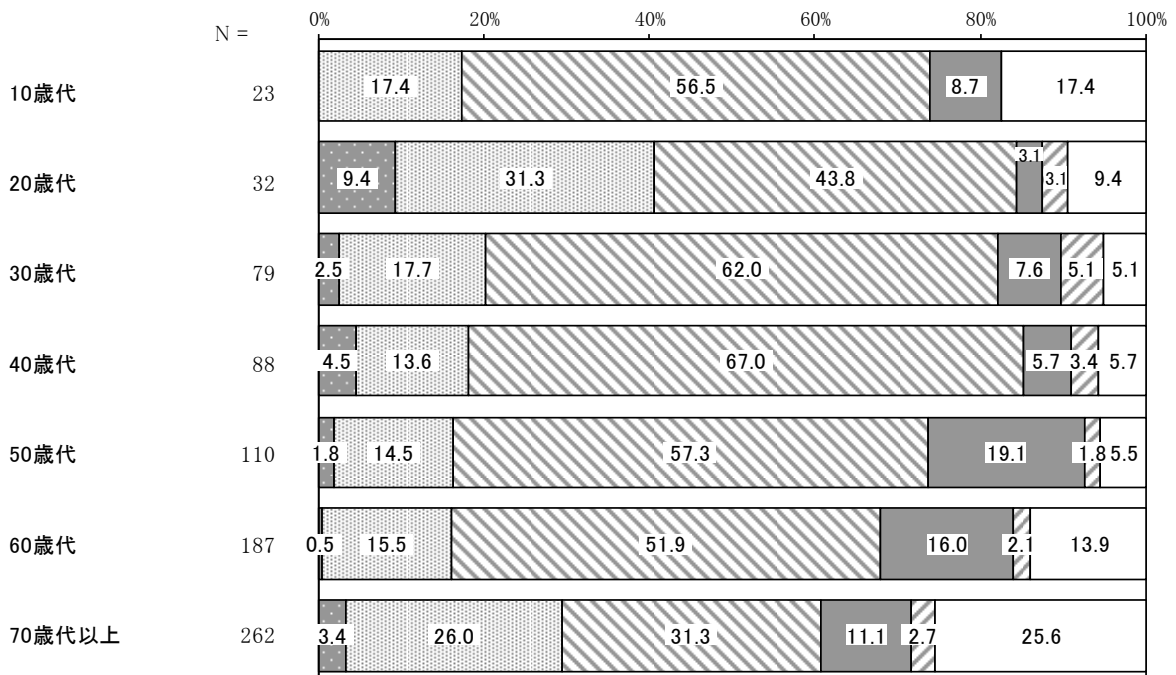
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



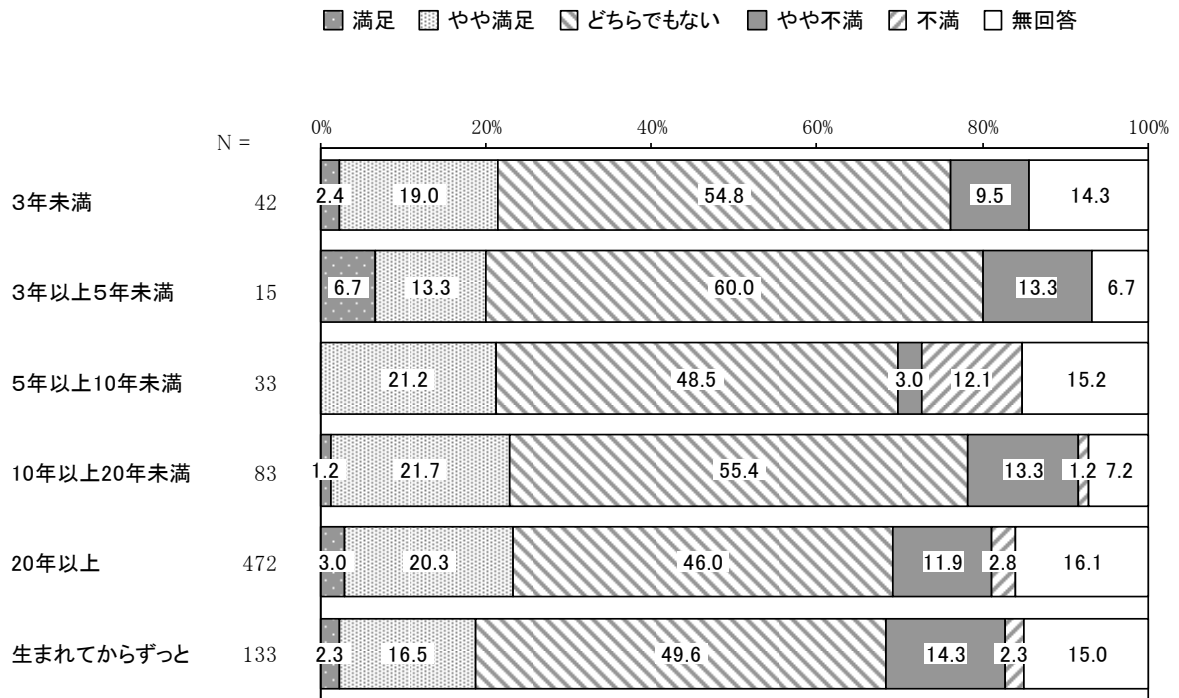
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高くなっています。一方、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



## 【居住年数別】

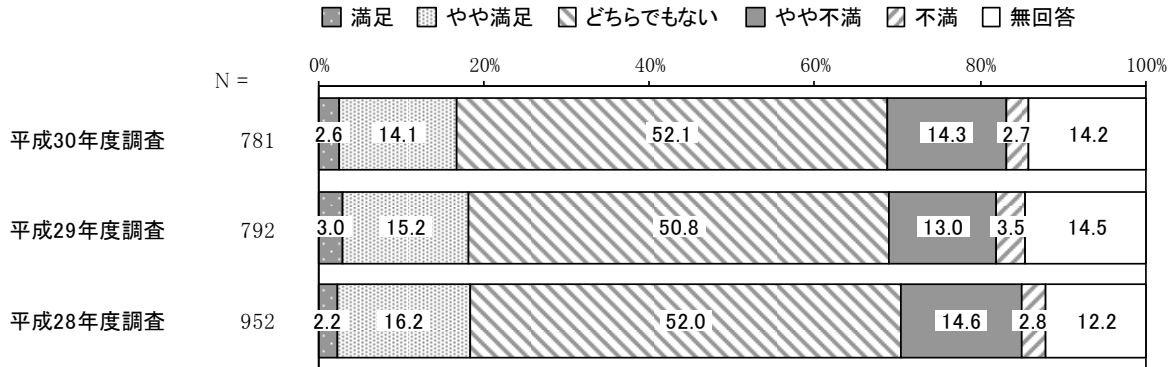
居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

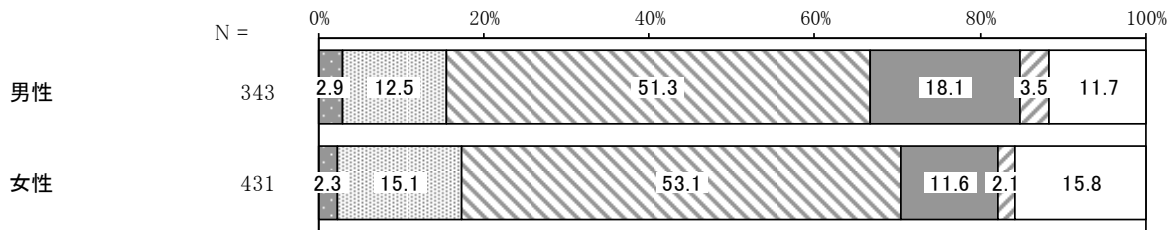
“満足”の割合が16.7%、“不満”の割合が17.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



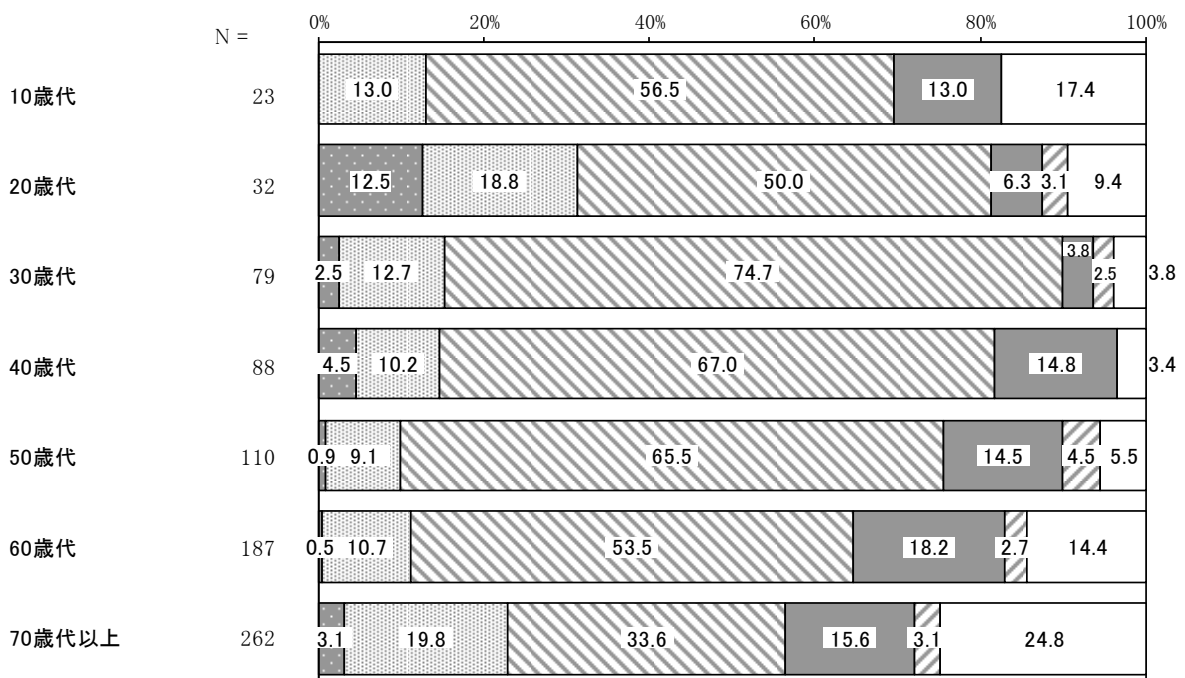
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



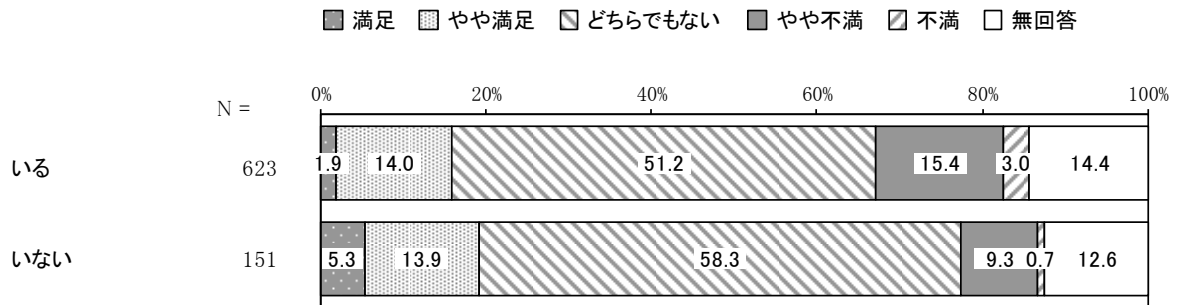
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、50歳代以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



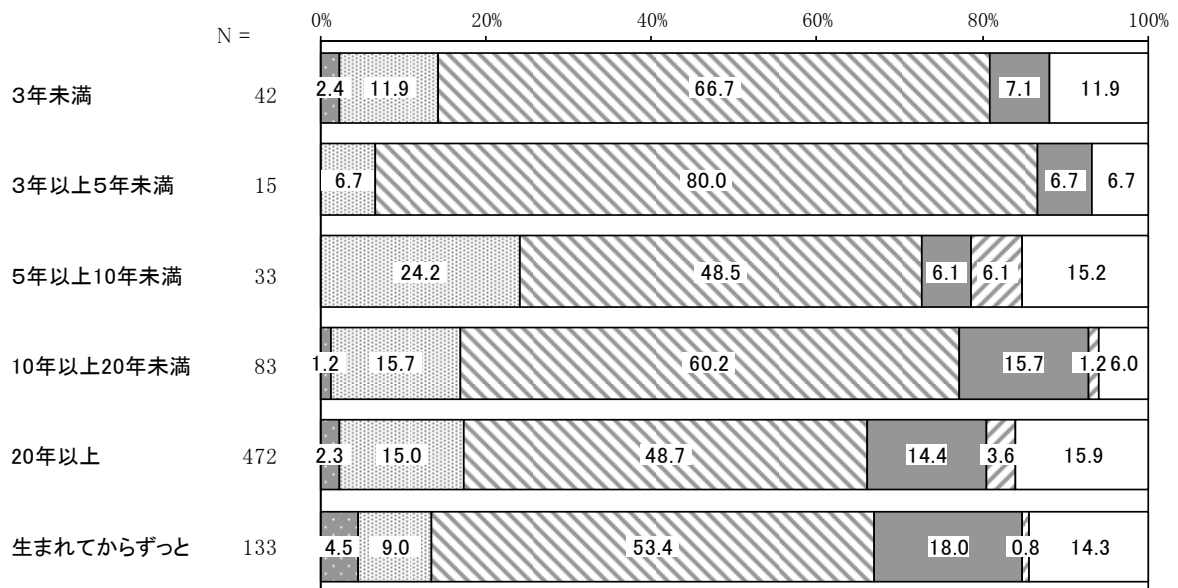
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、年数が長くなるにつれ“不満”の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。

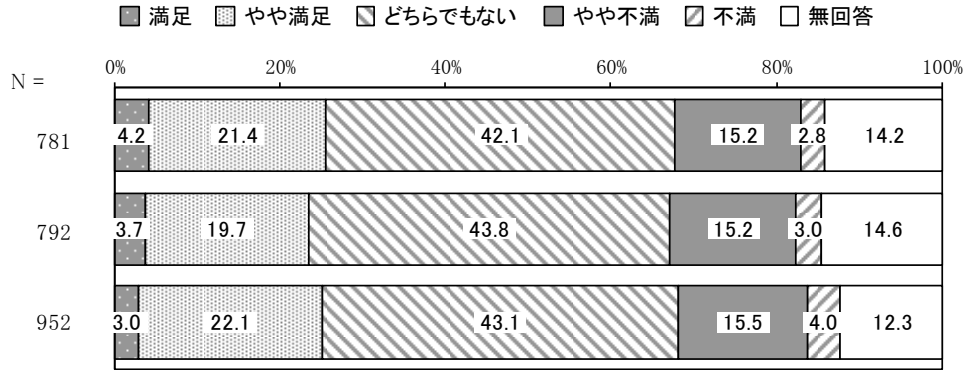




(8) 安心して子育てできる環境づくり

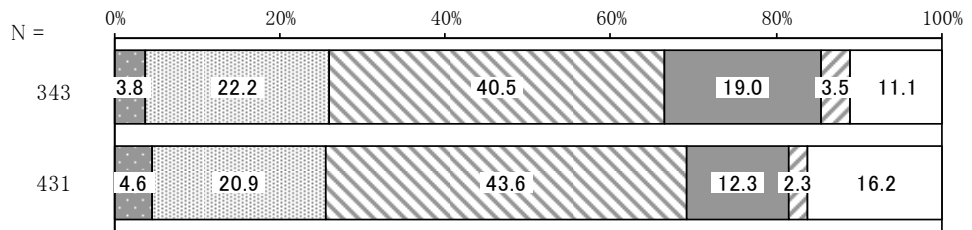
“満足”の割合が25.6%、“不満”の割合が18.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



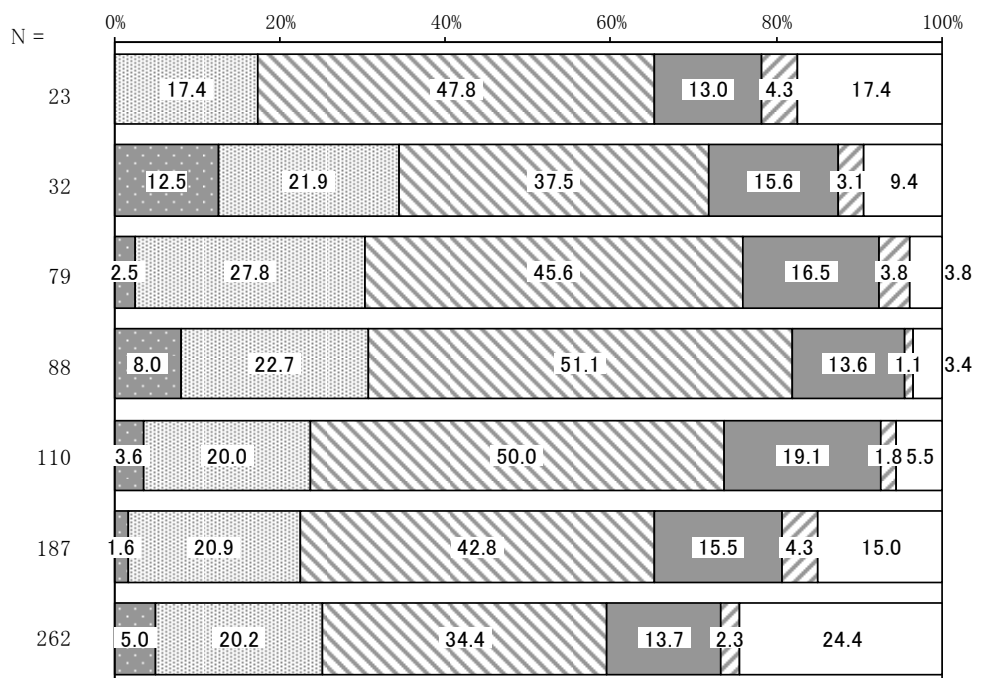
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



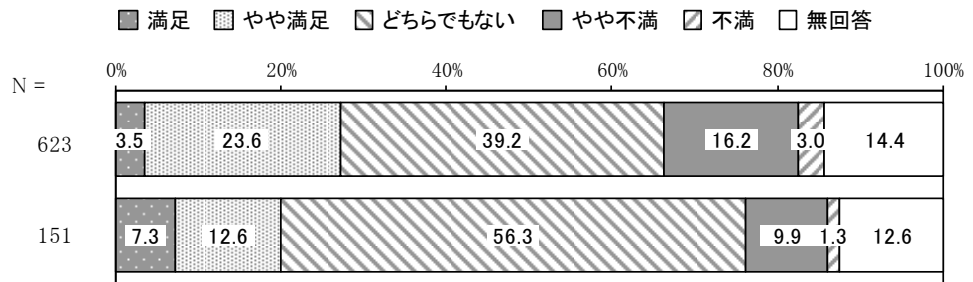
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から40歳代で“満足”の割合が高く、3割を超えています。



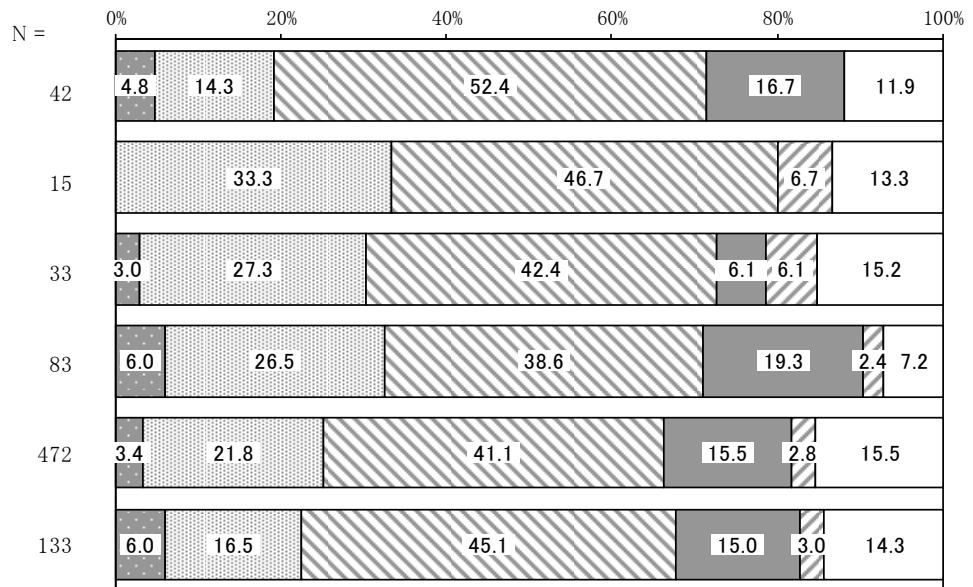
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どものいない人に比べ、子どものいる人で“満足”の割合、“不満”の割合ともに高くなっています。



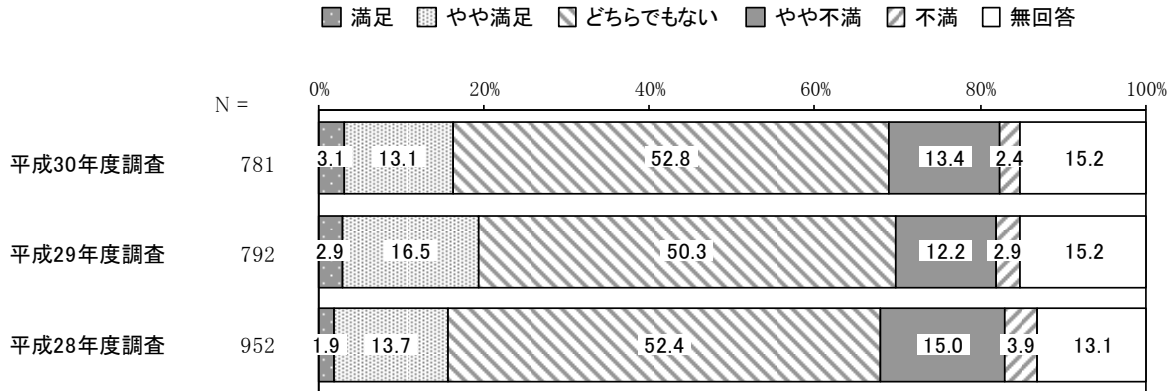
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、『3年以上5年未満』『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』をあわせた“3年以上20年未満”で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



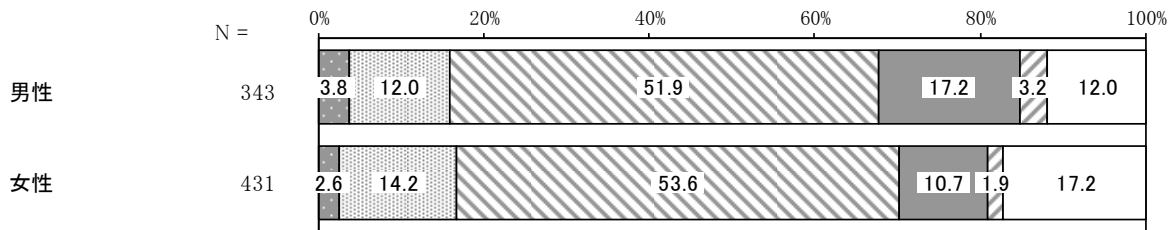
（９）子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

“満足”の割合が16.2%、“不満”の割合が15.8%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



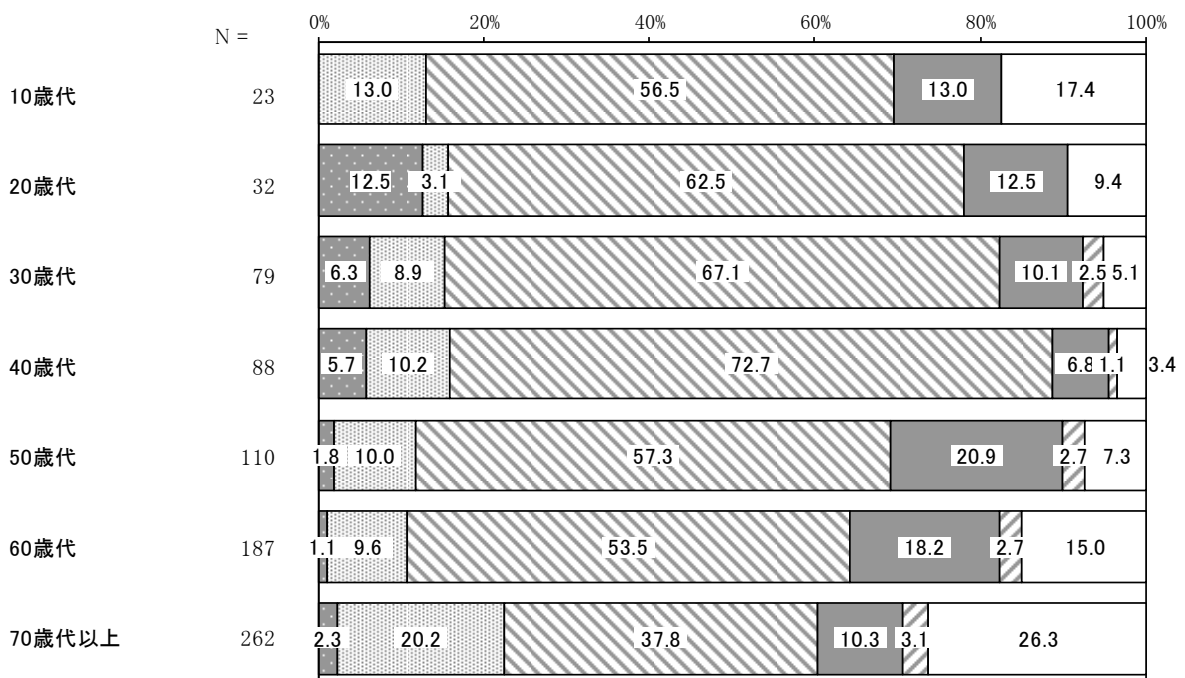
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



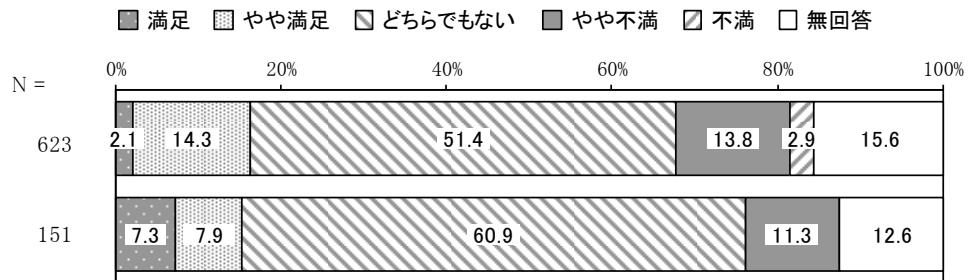
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。また、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



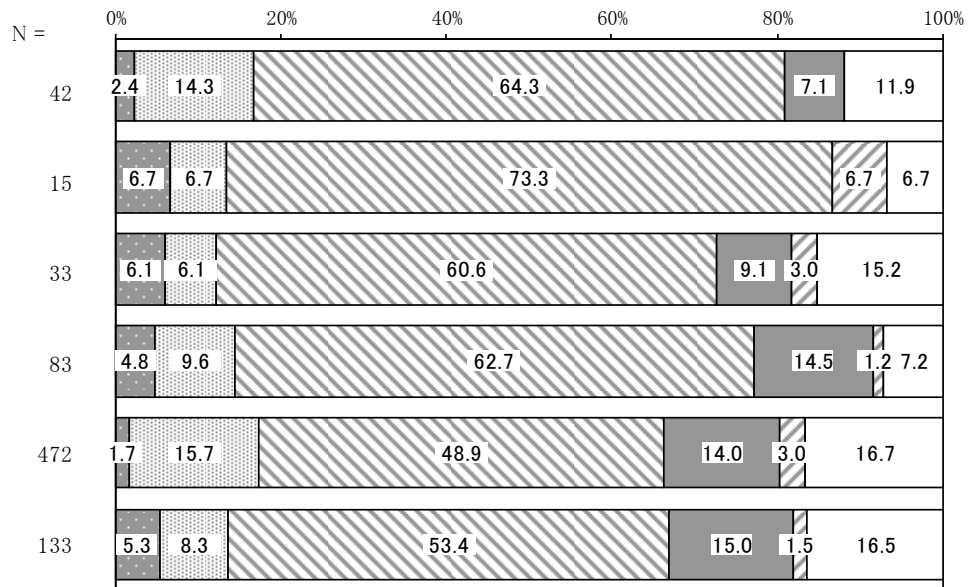
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



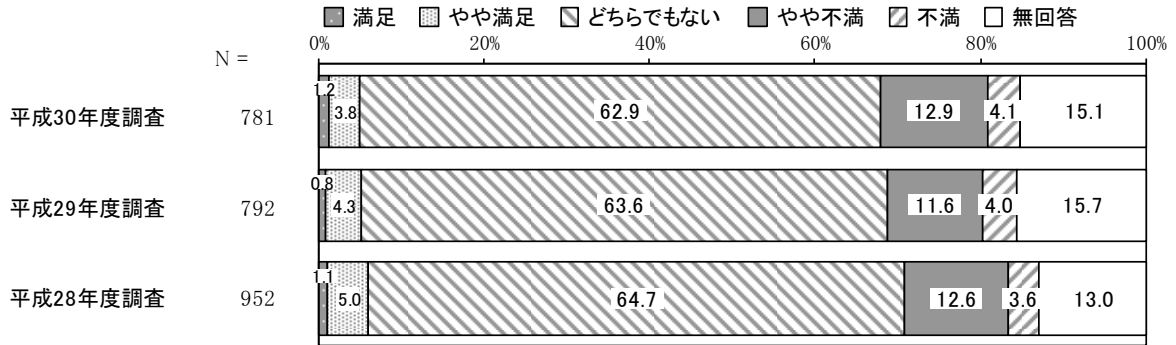
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』『20年以上』をあわせた“5年以上”、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、1割を超えています。



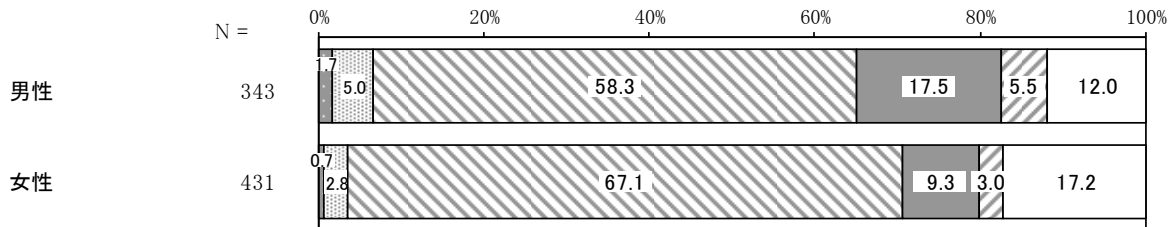
(10) 結婚への機会づくり

“満足”の割合が5.0%、“不満”の割合が17.0%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



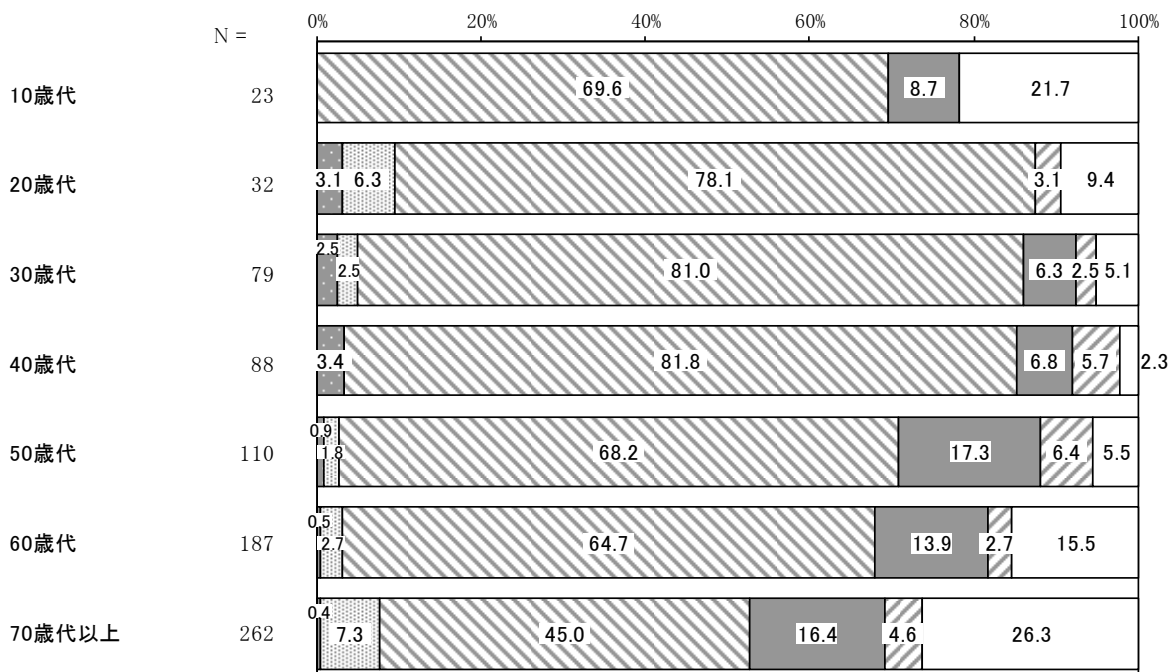
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



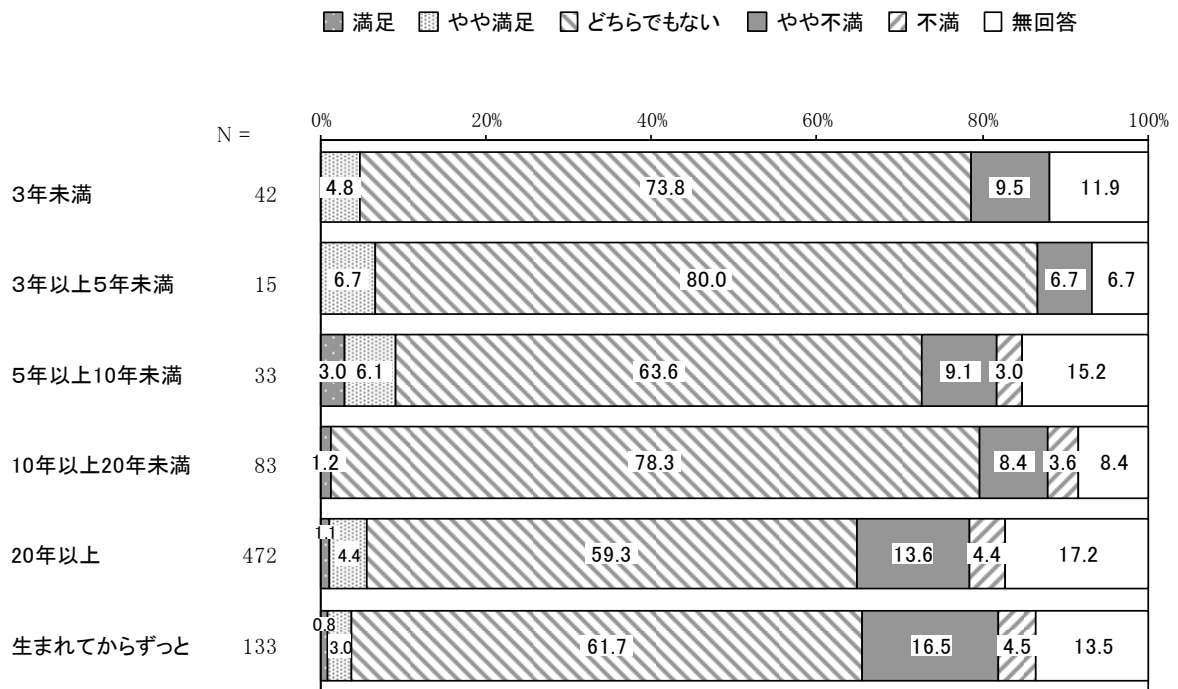
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、70歳代以上で“不満”の割合が高く約2割となっています。



### 【居住年数別】

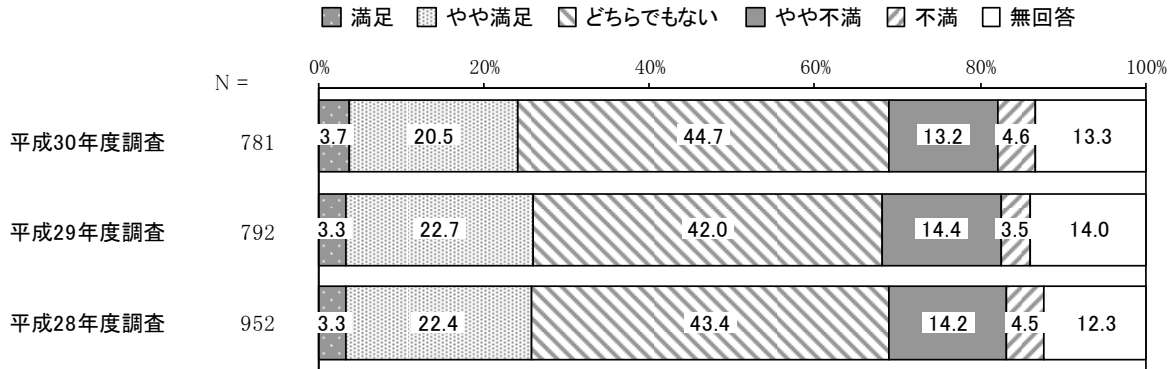
居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

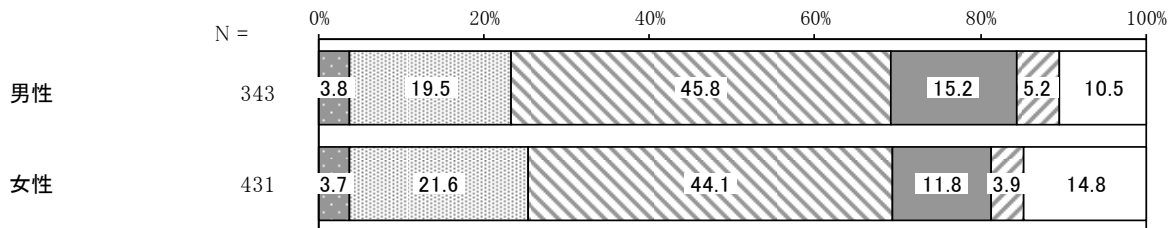
“満足”の割合が24.2%、“不満”の割合が17.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



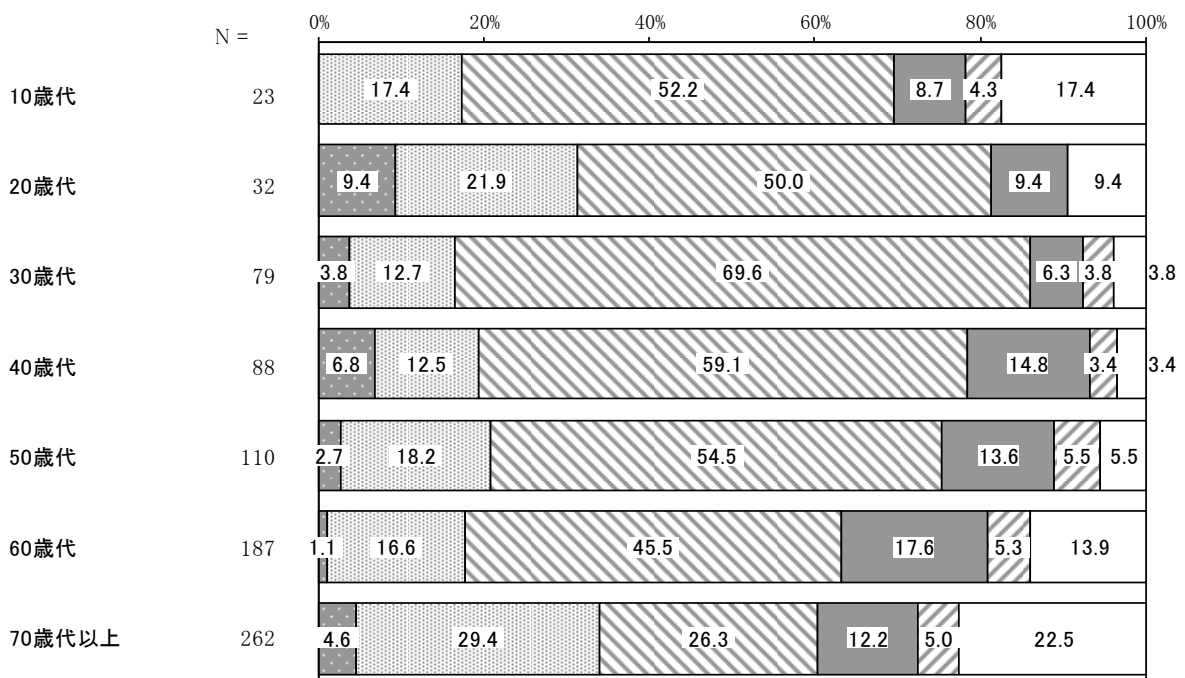
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



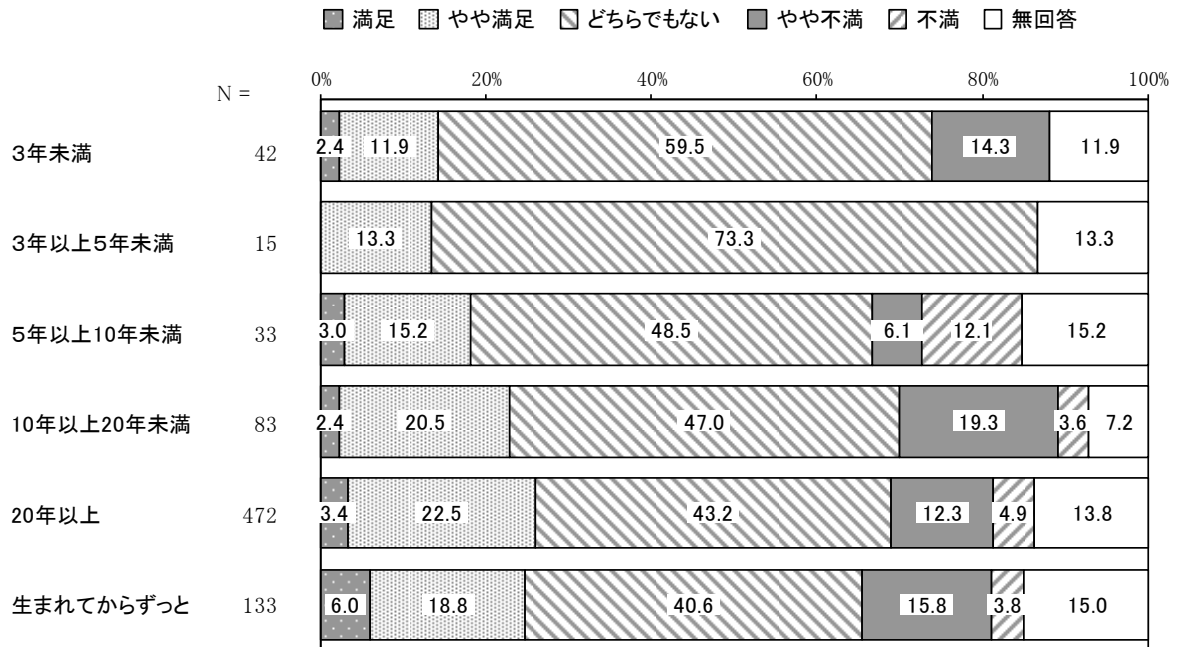
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割を超えています。また、40歳代から60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、『10年以上20年未満』『20年以上』をあわせた“10年以上”、生まれてからずっとで“満足”の割合、“不満”の割合ともに高くなっています。

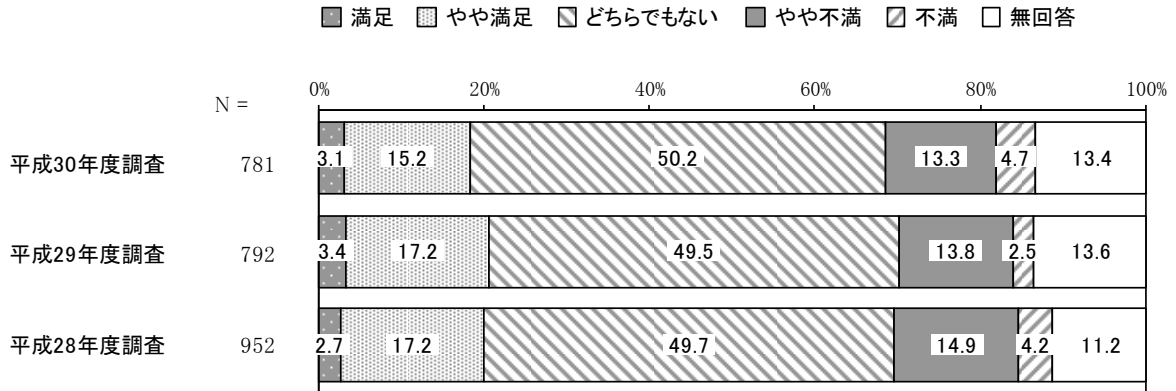




(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

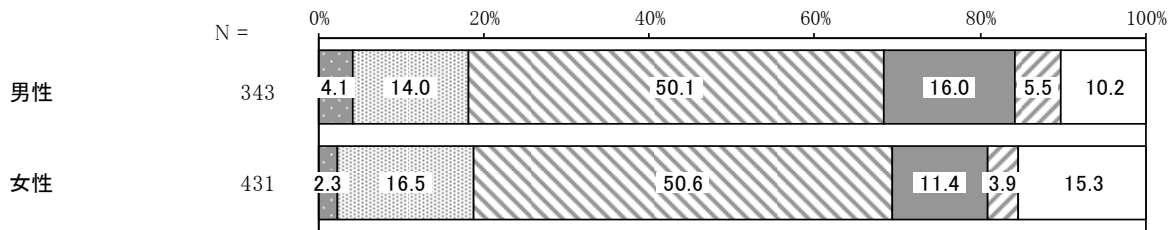
“満足”の割合が18.3%、“不満”の割合が18.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



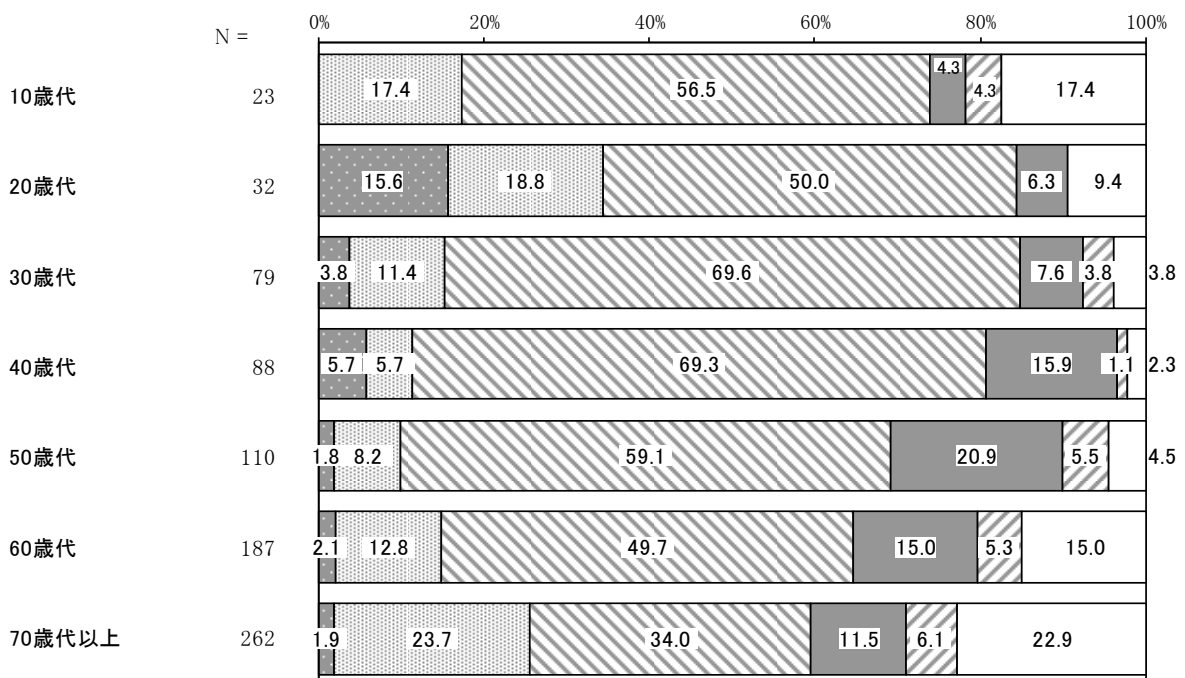
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



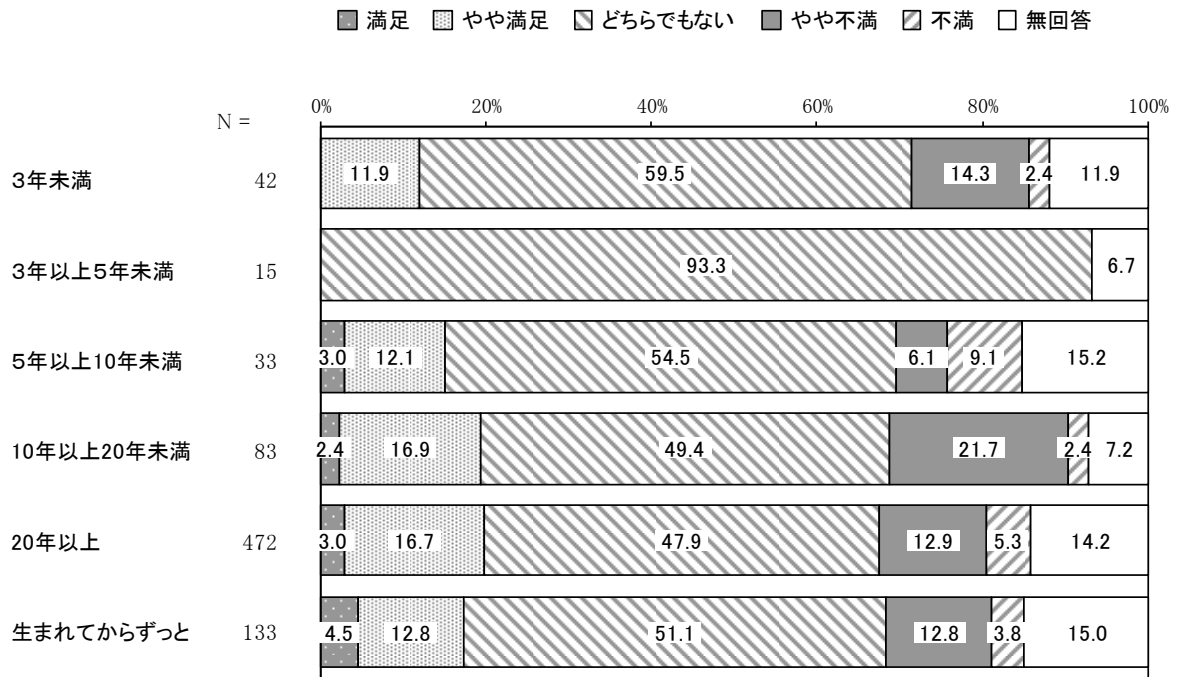
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、50歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



### 【居住年数別】

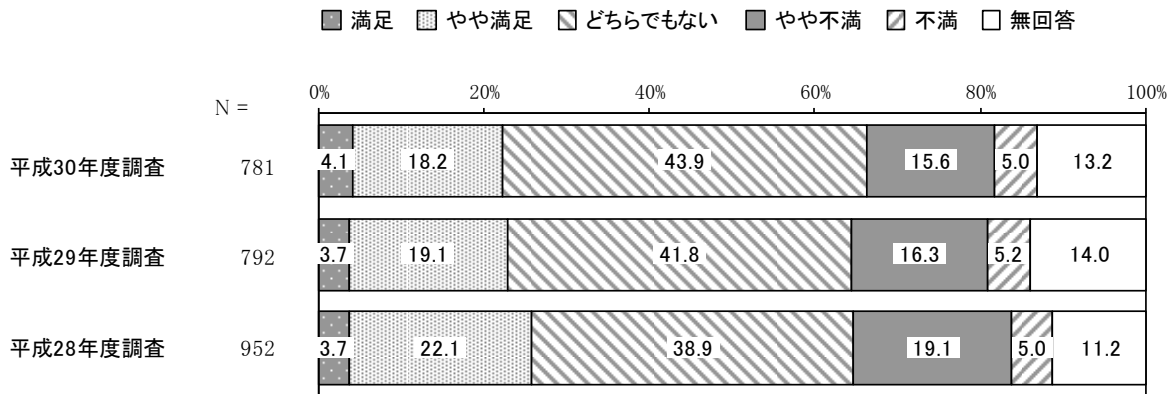
居住年数別でみると、『10年以上20年未満』『20年以上』をあわせた“10年以上”、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

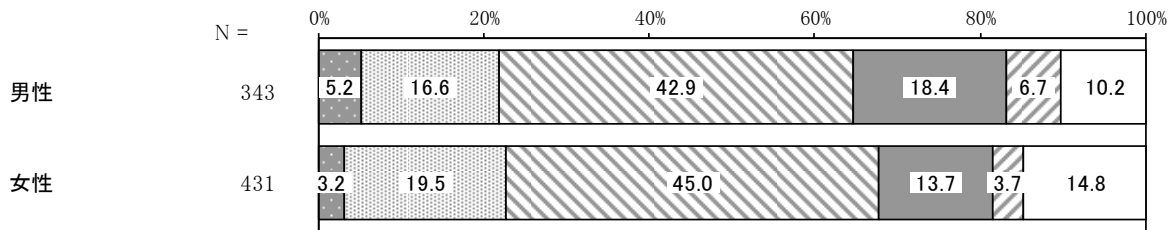
“満足”の割合が22.3%、“不満”の割合が20.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



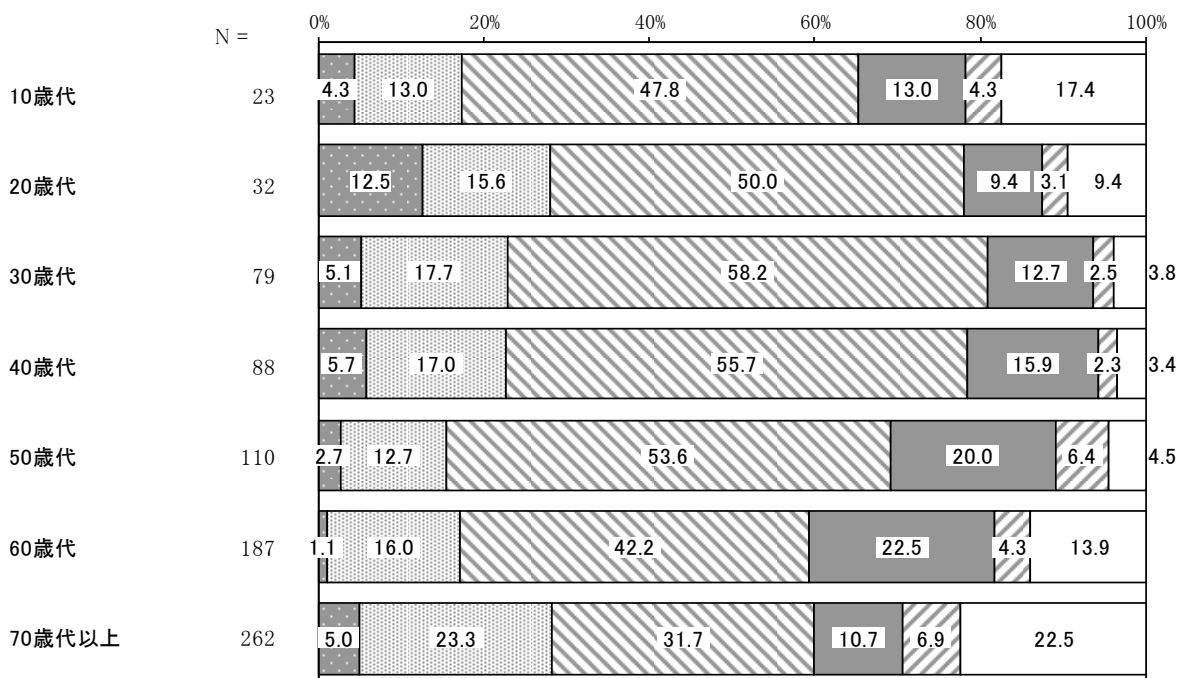
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



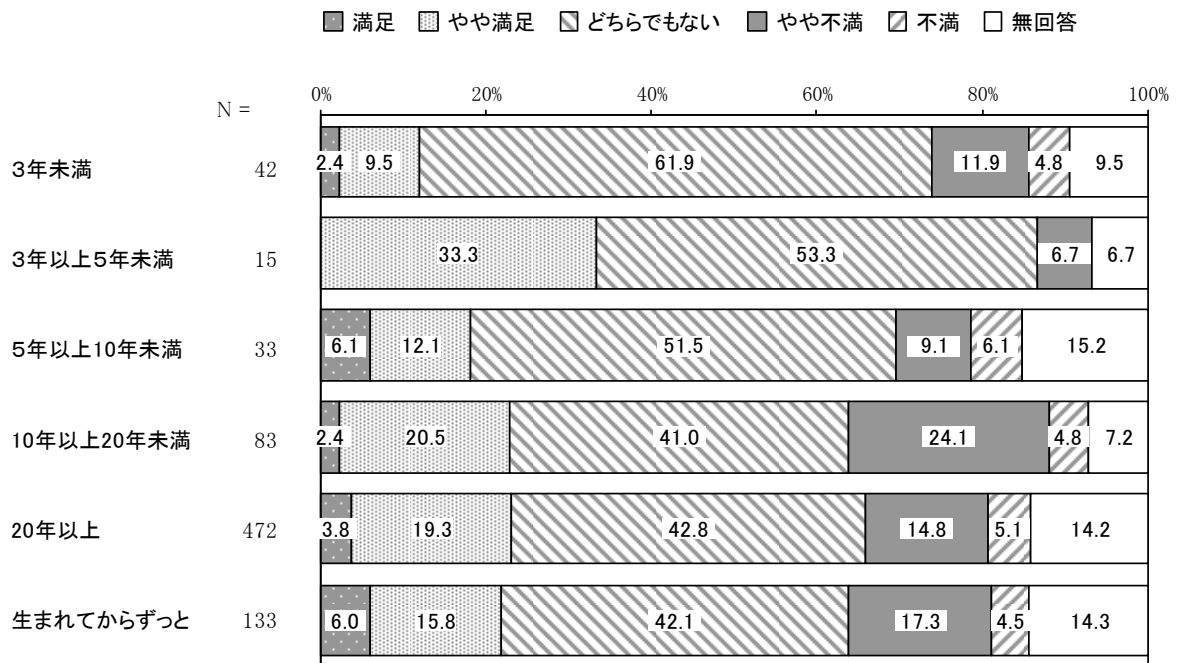
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



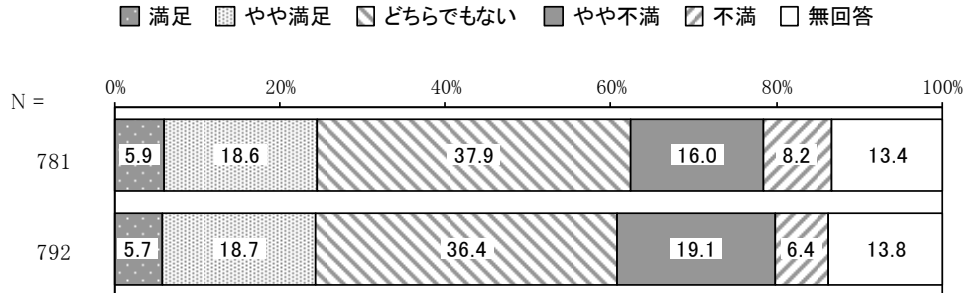
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



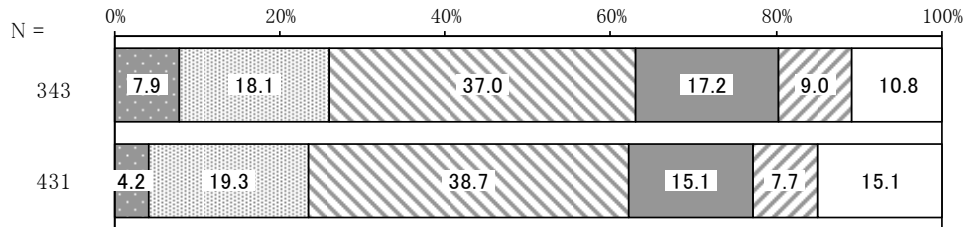
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“満足”の割合が24.5%、“不満”の割合が24.2%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



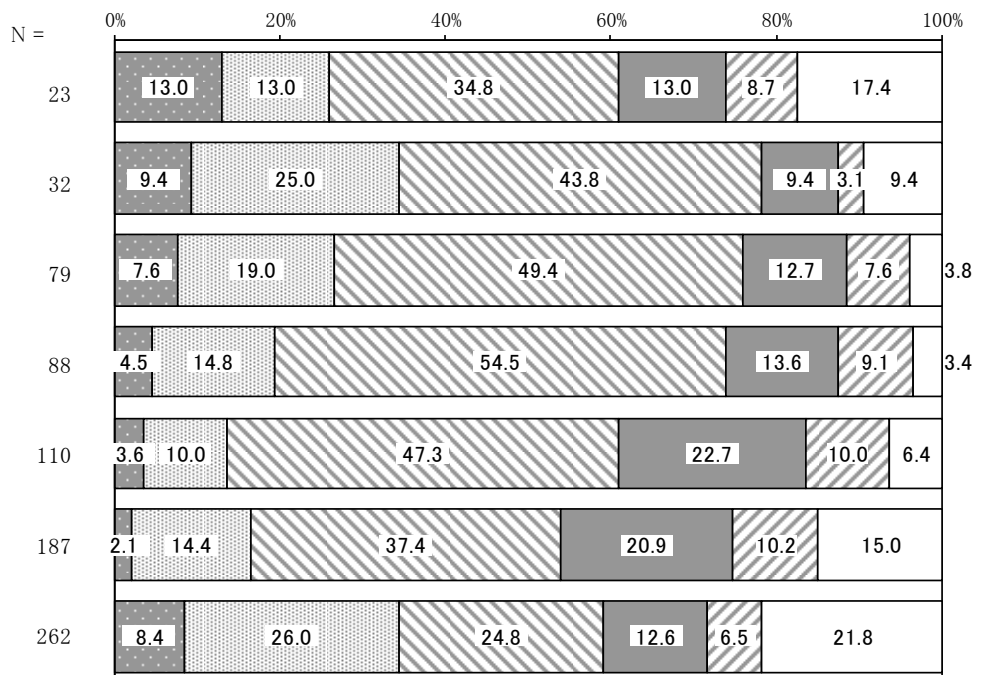
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



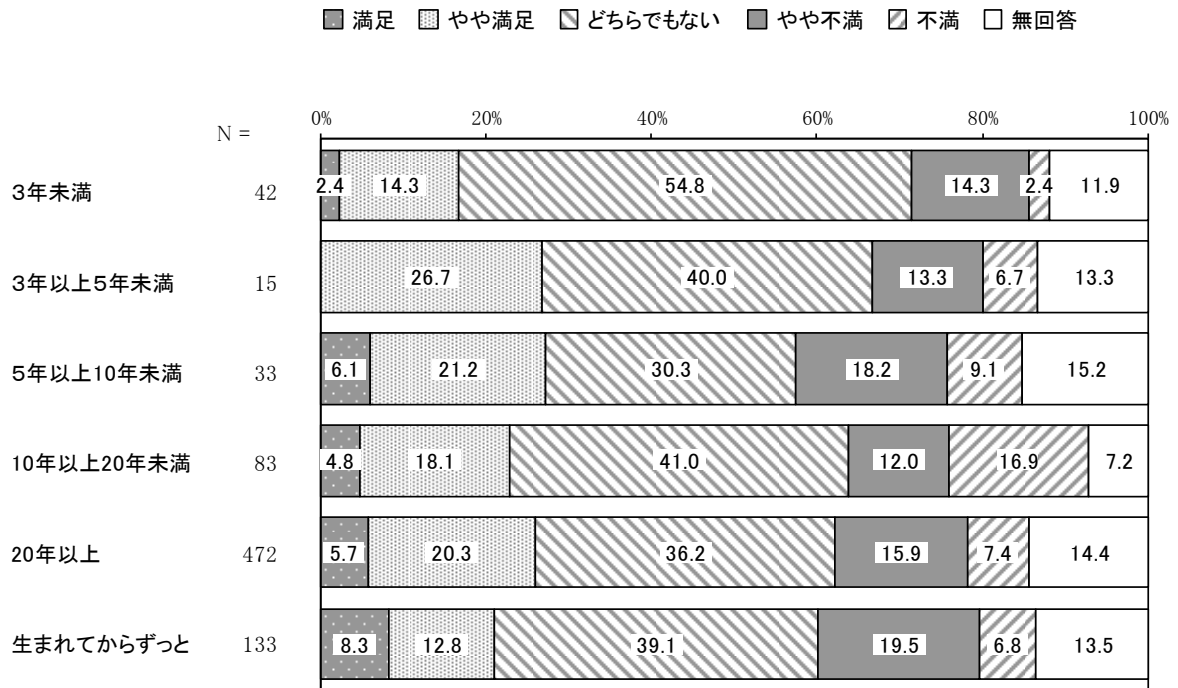
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。一方、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で“満足”の割合が低く、2割未満となっています。また、『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』をあわせた“5年以上20年未満”で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



## 【ポートフォリオによる分析】

### (1) 満足度・今後の重要性の得点化

14項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

#### ■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度	得点	重要度	得点
不満	-2点	重要ではない	-2点
やや不満	-1点	あまり重要ではない	-1点
どちらでもない	0点	どちらでもない	0点
やや満足	1点	やや重要	1点
満足	2点	重要	2点
無回答	計算対象外	無回答	計算対象外

#### ■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

+1点×「やや満足(やや重要)」の回答数

+0点×「どちらでもない」の回答数

-1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数

-2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

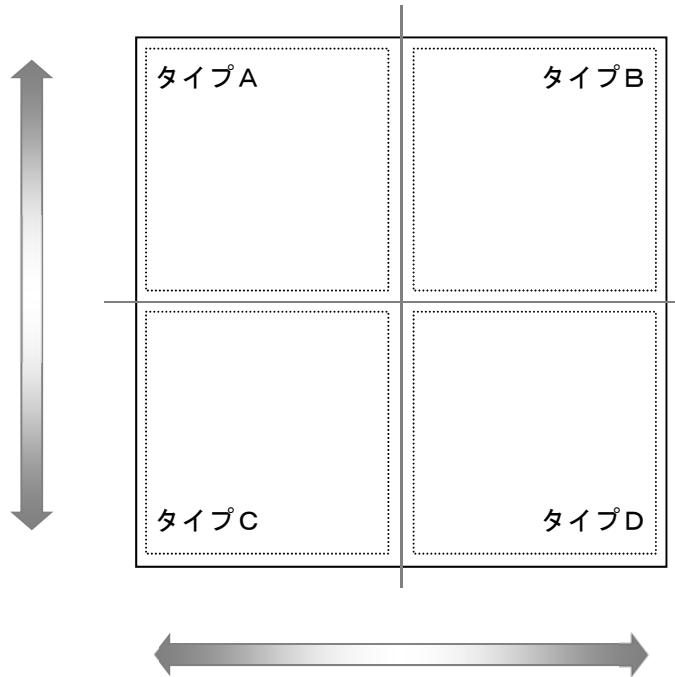
#### ■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度		順位	重要度	
施策名	得点		得点	施策名
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.10	第1位	1.64	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(6) 地域と市民の元気づくり	0.09	第2位	1.50	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.06	第3位	1.49	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	-0.12	第12位	1.03	(4) 市の魅力の向上と発信
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.14	第13位	0.88	(5) 定住・移住の促進
(10) 結婚への機会づくり	-0.18	最下位	0.58	(10) 結婚への機会づくり

## (2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



### ◆タイプA

**満足度は低いが、重要度は高い**

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

### ◆タイプB

**満足度は高く、重要度も高い**

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

### ◆タイプC

**満足度は低く、重要度も低い**

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

### ◆タイプD

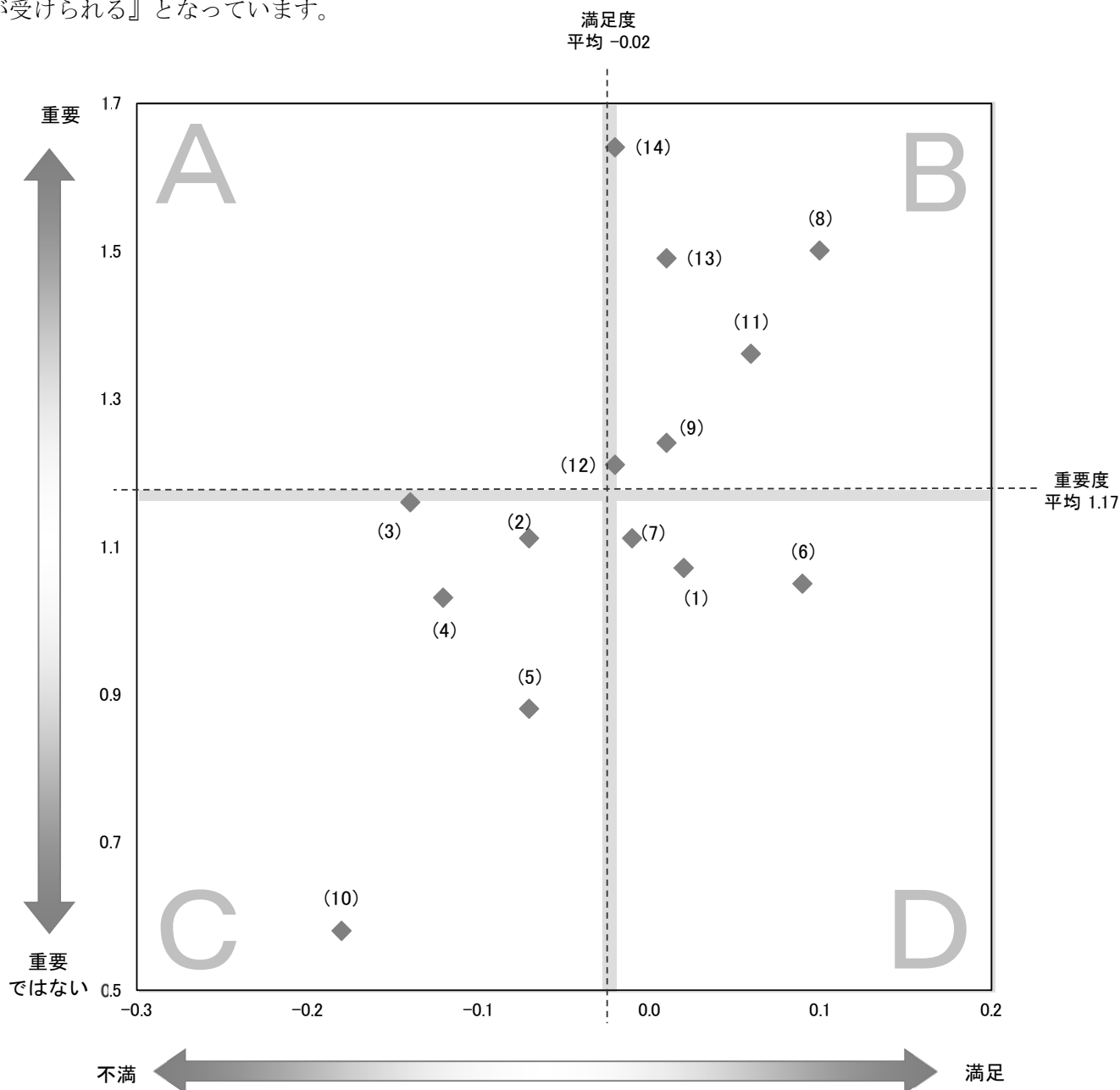
**満足度は高いが、重要度は低い**

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。



● 施策のポートフォリオ分析 (N = 781)

満足度が高く、重要度も高い施策 (タイプB) は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。



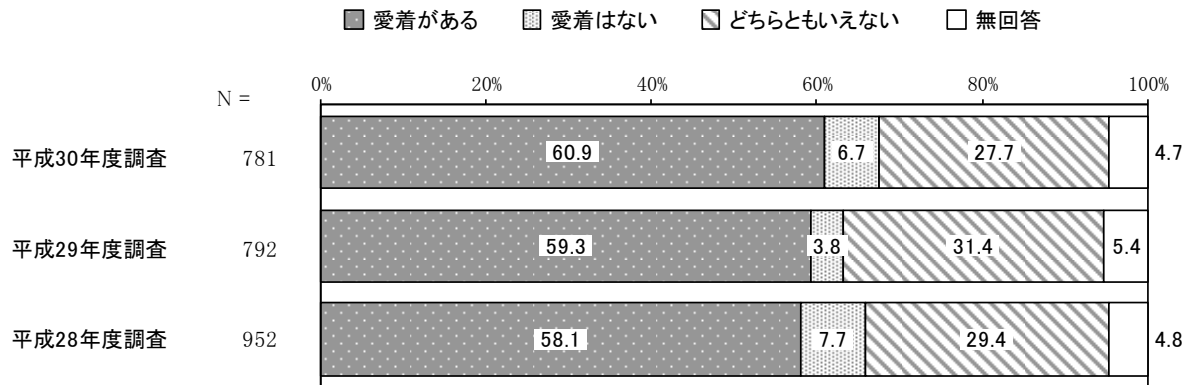
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

## (4) 可児市のイメージについて

### 問 13 可児市に愛着はありますか。

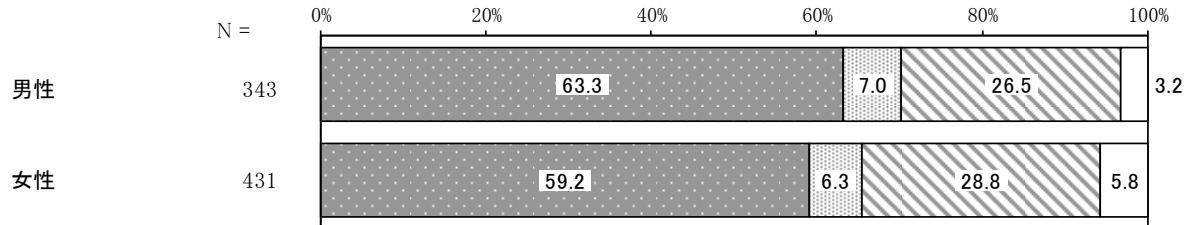
「愛着がある」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 27.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



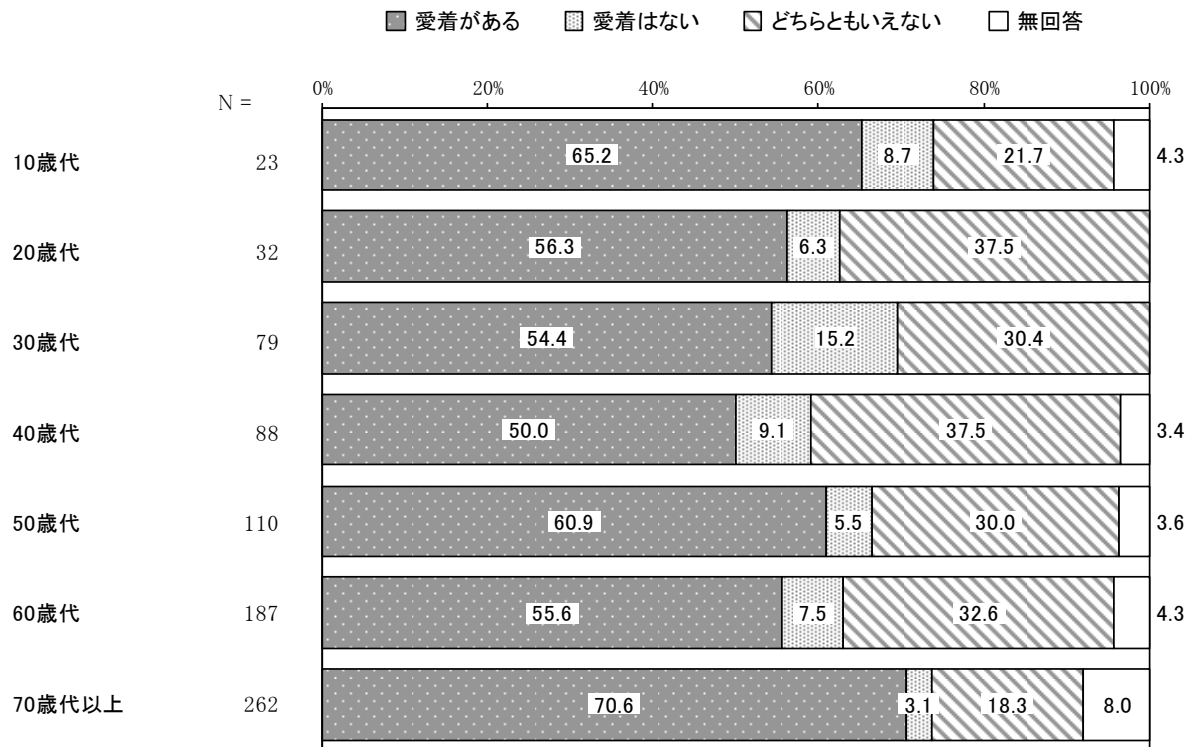
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



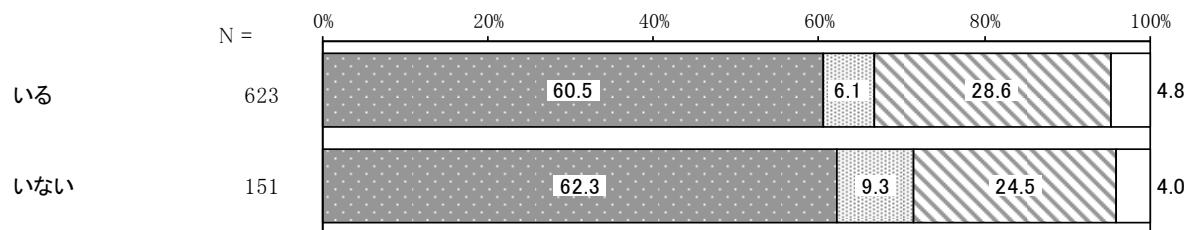
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。一方、30歳代で「愛着はない」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



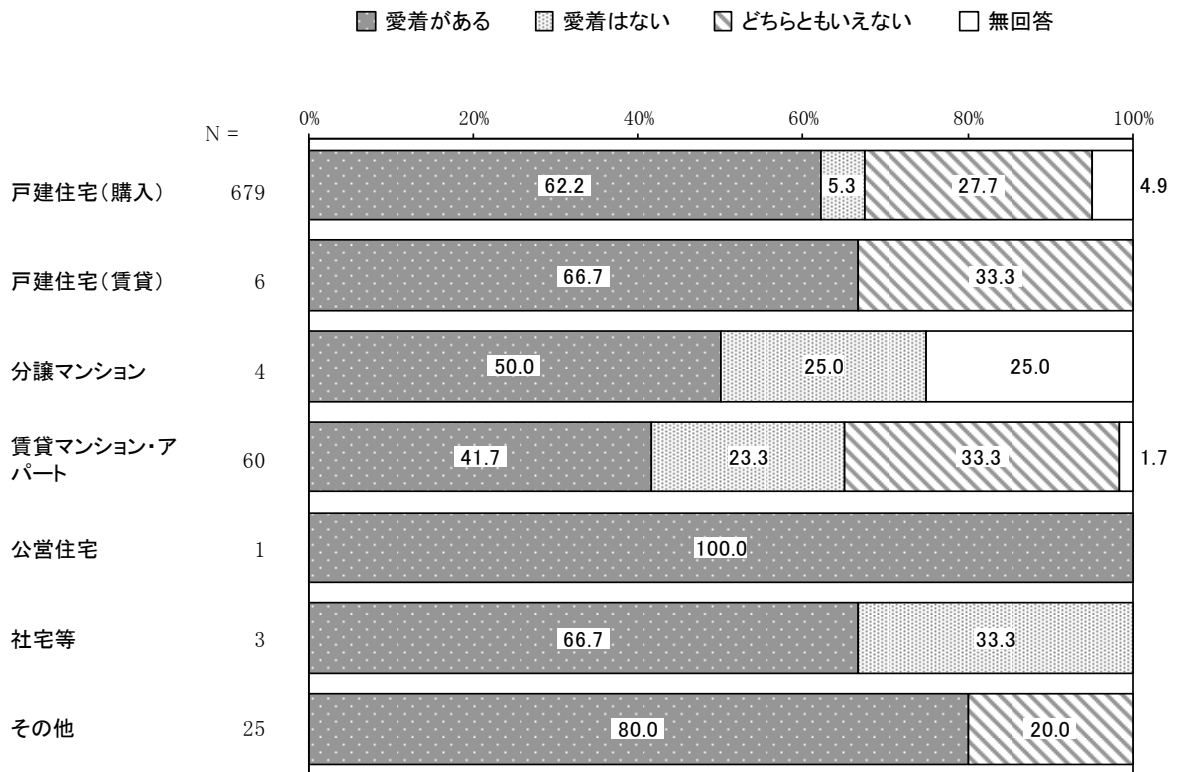
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



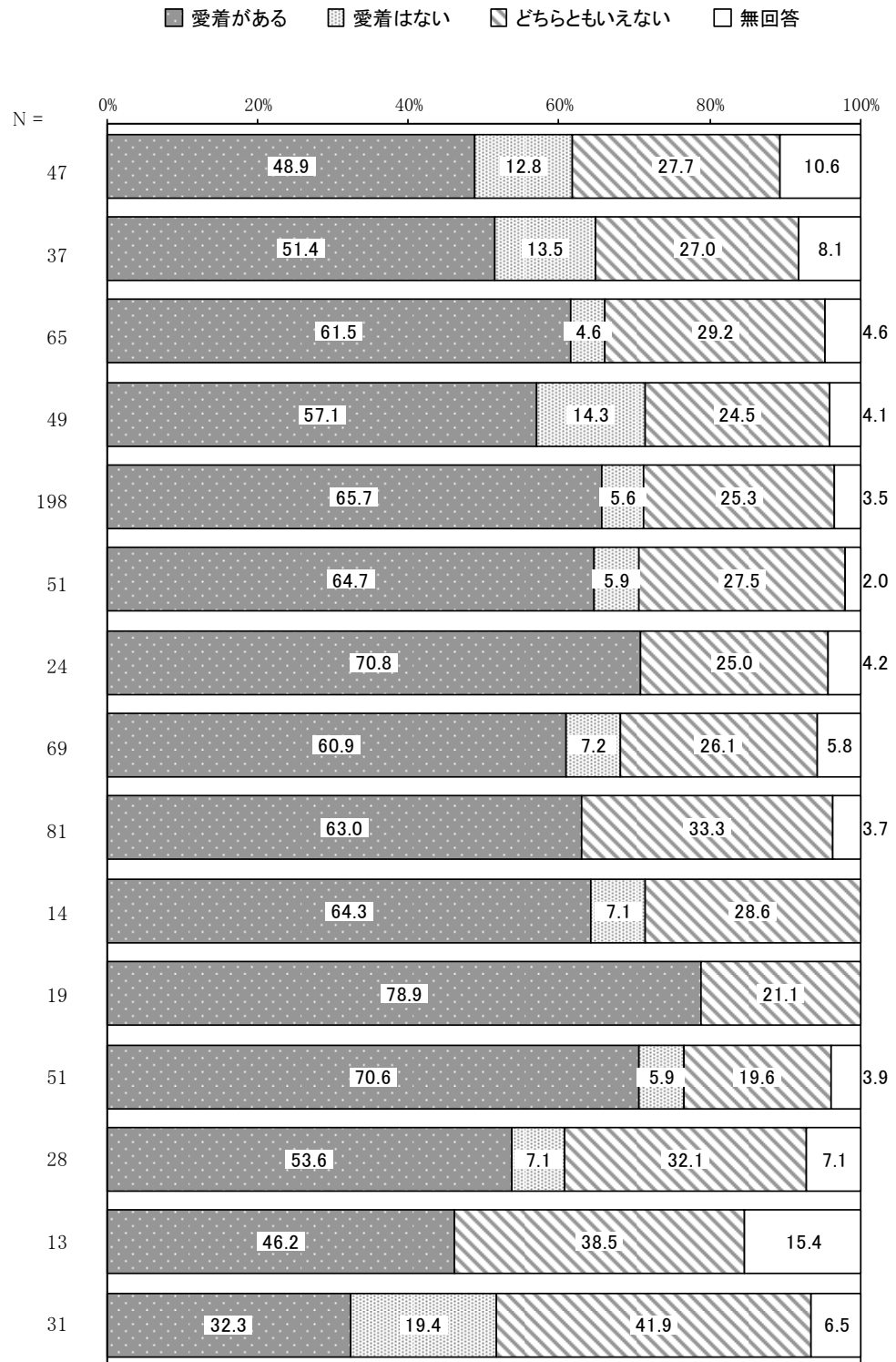
### 【住まいの形態別】

住まいの形態別で見ると、賃貸マンション・アパートに比べ、戸建住宅（購入）で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



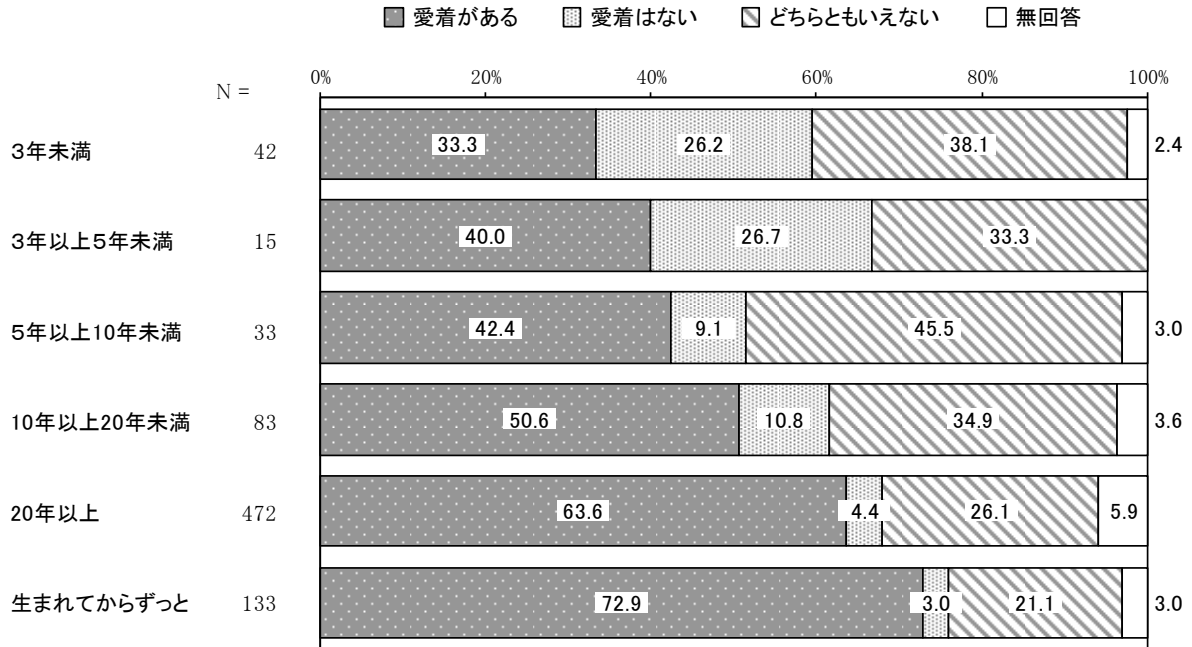
### 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、広見東で「愛着がある」の割合が高く、約8割となっています。



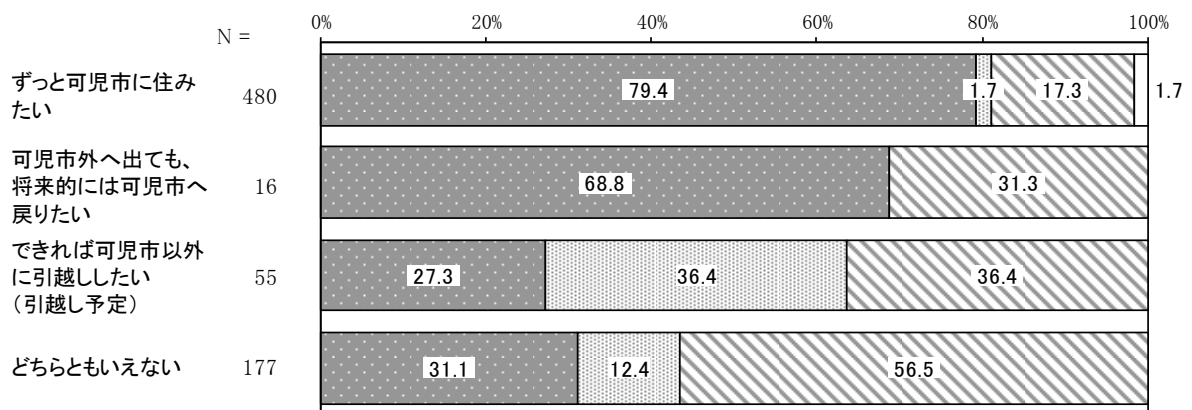
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなっており、特に生まれてからずっとで約7割となっています。一方、『3年未満』『3年以上5年未満』をあわせた“5年未満”で「愛着はない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



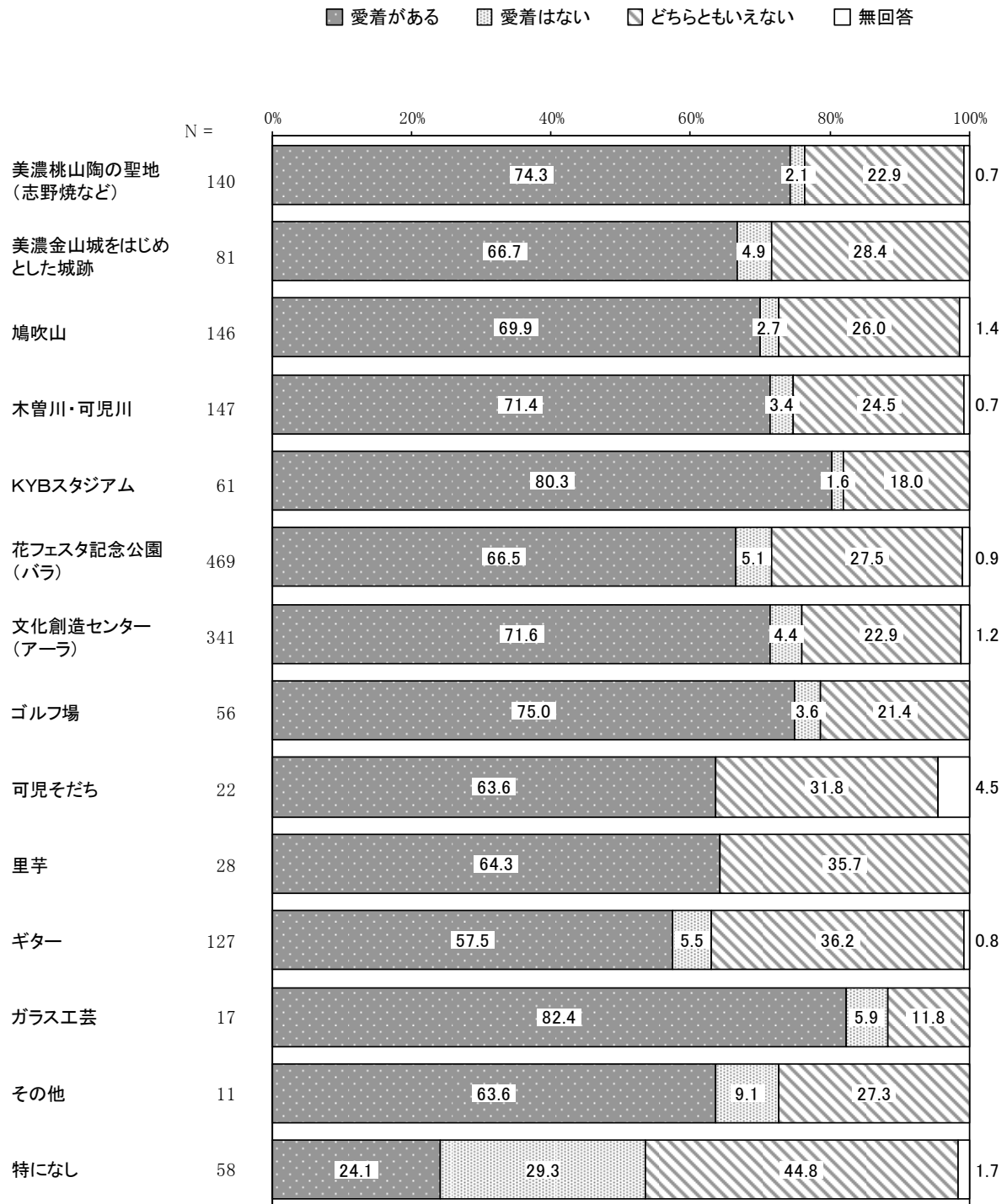
### 【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、特にずっと可児市に住みたいで約8割となっています。一方、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



### 【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、KYBスタジアム、ガラス工芸で「愛着がある」の割合が高く、約8割となっています。一方、特になしで「愛着はない」の割合が高く、約3割となっています。

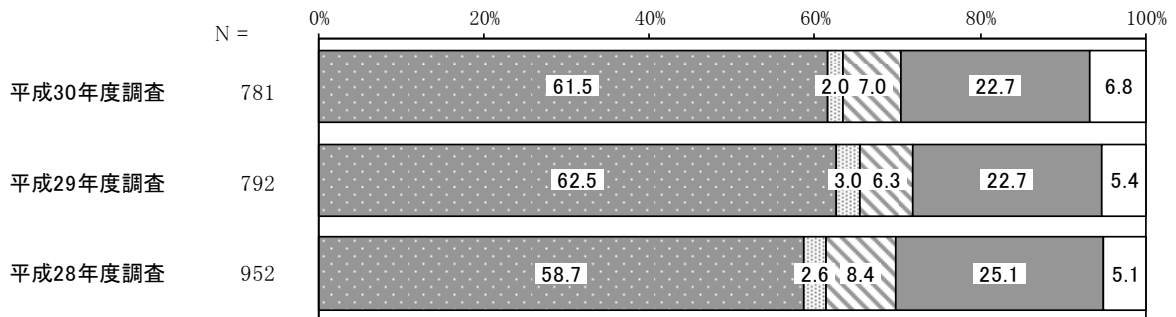


問 14 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「ずっと可児市に住みたい」の割合が61.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が22.7%となっています。

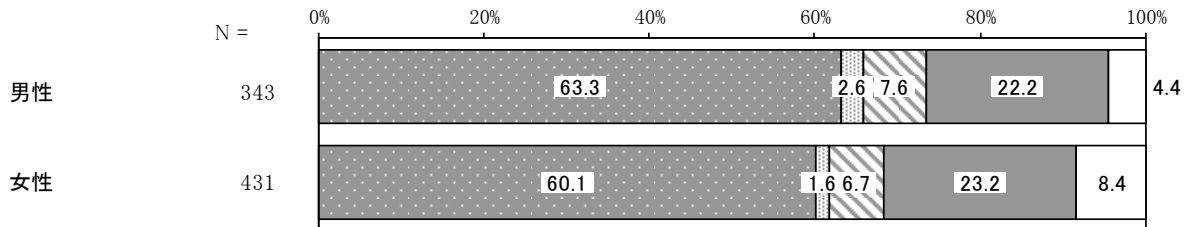
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- ずっと可児市に住みたい
- ▨ 可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい
- ▩ できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)
- どちらともいえない
- 無回答



【性別】

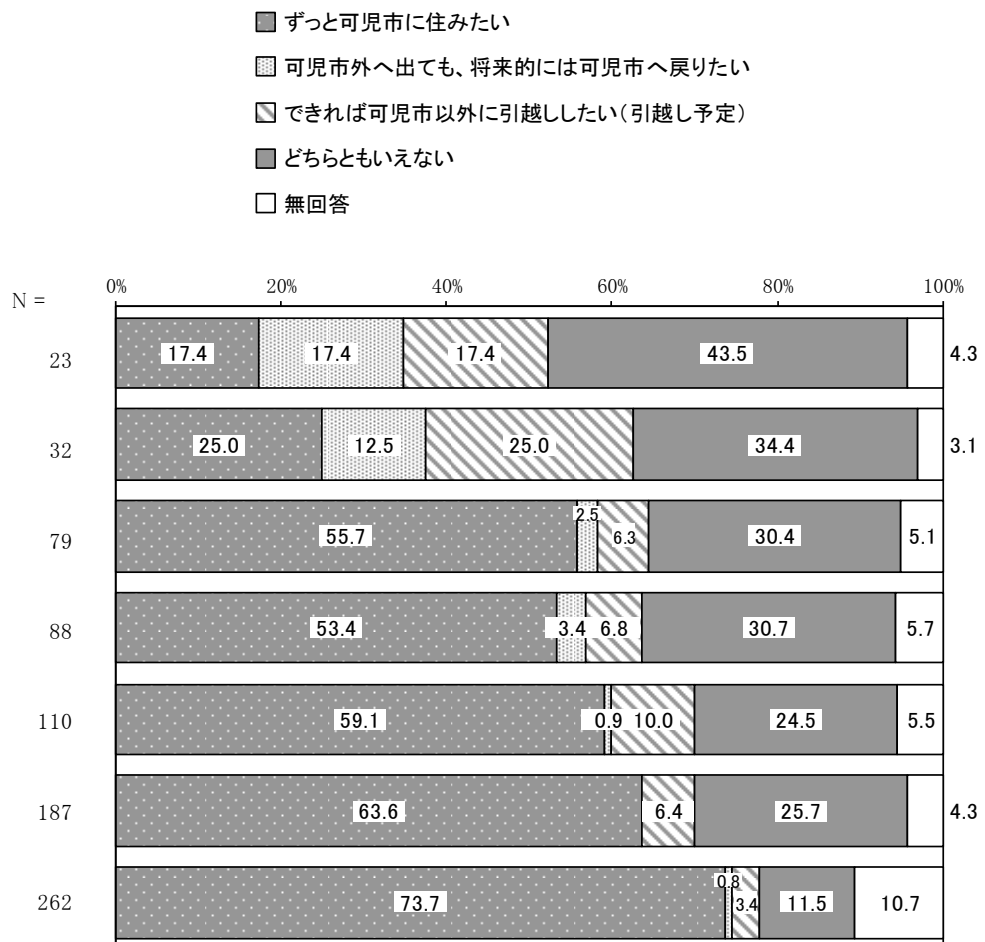
性別でみると、大きな差異はみられません。





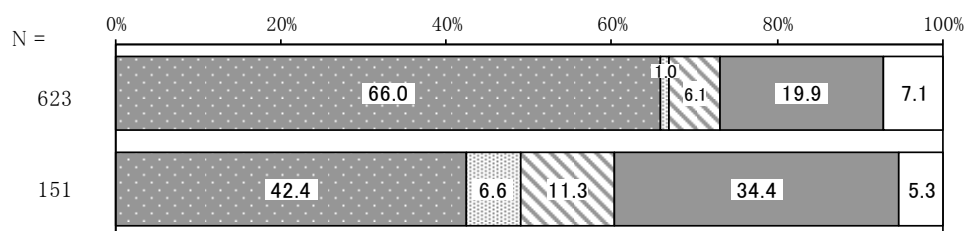
### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳代以上で約7割となっています。一方、10歳代で「可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい」の割合が、20歳代で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高くなっています。



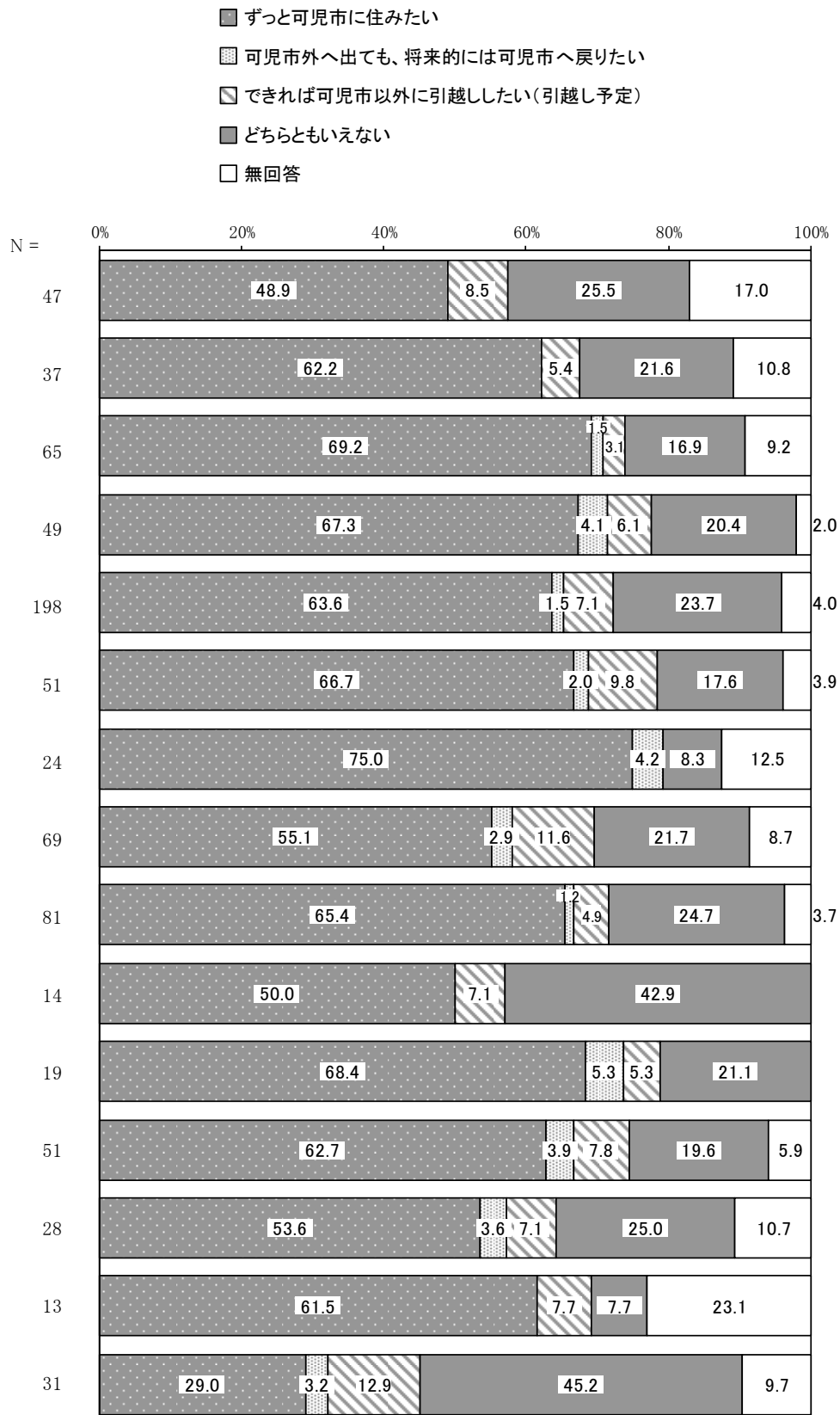
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい」「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高くなっています。



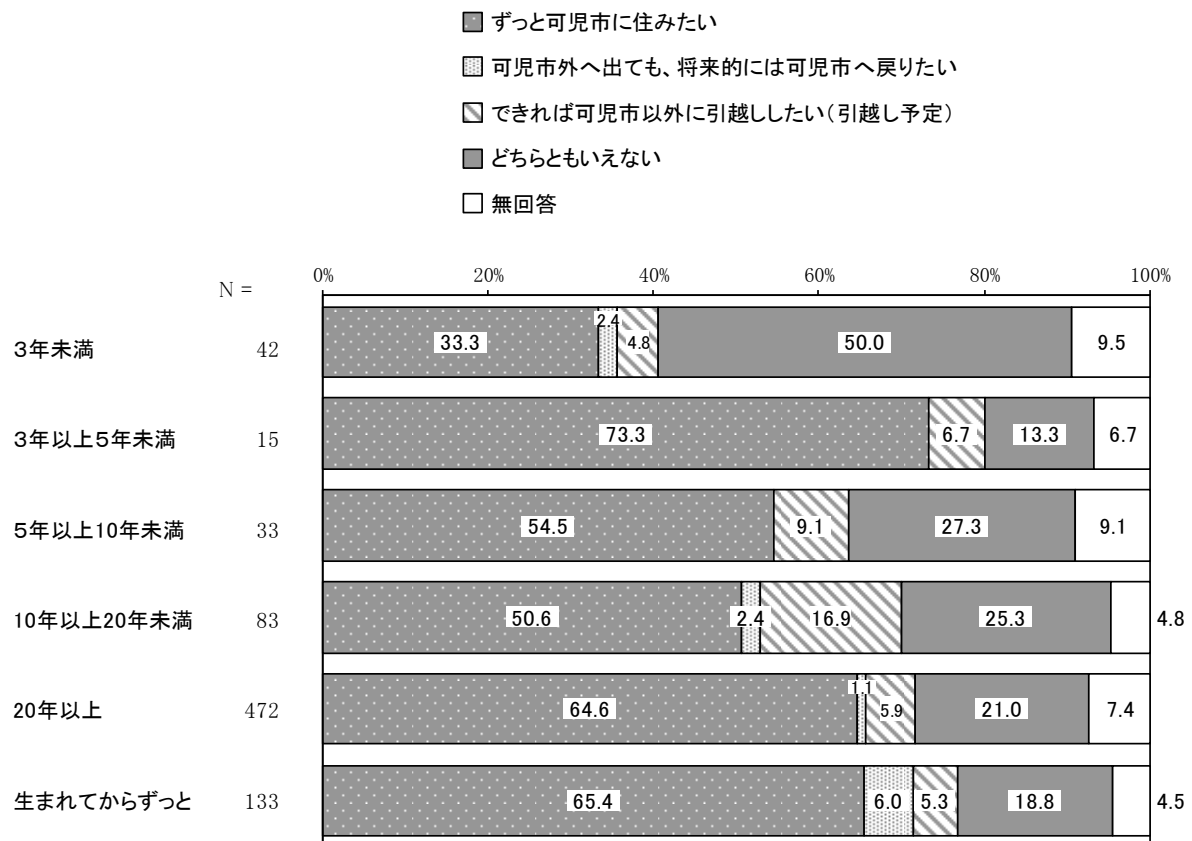
## 【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、姫治で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



## 【居住年数別】

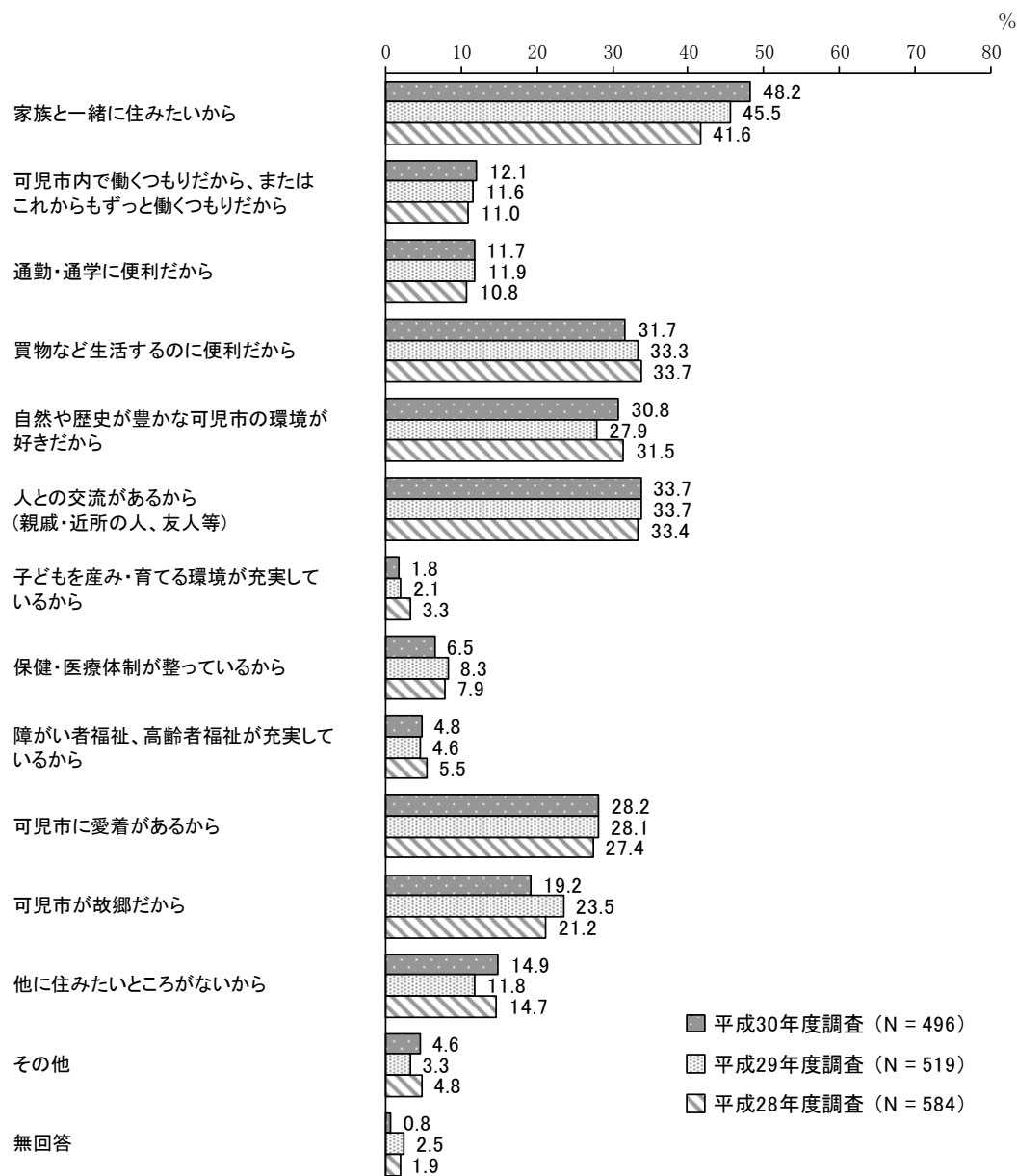
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約7割となっています。一方、10年以上20年未満で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



問15 問14で1または2(ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が48.2%と最も高く、次いで「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が33.7%、「買物など生活するのに便利だから」の割合が31.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「家族と一緒に住みたいから」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「保健・医療体制が整っているから」「可児市に愛着があるから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	226	46.9	11.1	12.4	31.9	33.2	30.1	0.9	9.3	4.9	34.1	18.1	18.1	6.2	0.4
女性	266	49.6	13.2	11.3	30.8	28.6	36.8	2.6	4.1	4.9	23.7	20.3	12.0	3.4	0.8

【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が、年齢が低くなるにつれ「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で「家族と一緒に住みたいから」の割合が、60歳代以上で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10歳代	8	75.0	25.0	12.5	—	37.5	37.5	—	25.0	—	50.0	25.0	12.5	—	—
20歳代	12	50.0	41.7	25.0	16.7	—	33.3	8.3	—	—	33.3	33.3	25.0	—	—
30歳代	46	60.9	26.1	26.1	34.8	13.0	17.4	8.7	4.3	4.3	15.2	28.3	10.9	8.7	—
40歳代	50	58.0	20.0	24.0	22.0	26.0	28.0	4.0	2.0	—	24.0	16.0	8.0	6.0	—
50歳代	66	56.1	28.8	21.2	34.8	19.7	31.8	—	4.5	1.5	19.7	15.2	12.1	3.0	—
60歳代	119	40.3	5.9	5.0	30.3	37.8	33.6	0.8	3.4	4.2	27.7	21.0	18.5	5.9	0.8
70歳代以上	195	43.6	2.6	5.1	35.4	37.4	39.5	0.5	10.3	8.2	34.4	16.9	15.9	3.6	1.5

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族と一緒に住みたいから」「通勤・通学に便利だから」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	417	47.5	11.5	11.0	30.9	31.2	35.5	1.7	6.5	4.8	27.1	19.2	14.9	4.6	1.0
いない	74	52.7	16.2	16.2	33.8	28.4	25.7	2.7	6.8	5.4	32.4	18.9	16.2	5.4	—

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、川合で「家族と一緒に住みたいから」の割合が高くなっています。また、今渡、下恵土、広見、中恵土で「買物など生活するのに便利だから」の割合が、桜ヶ丘ハイツで「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が、広見東で「可児市に愛着があるから」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

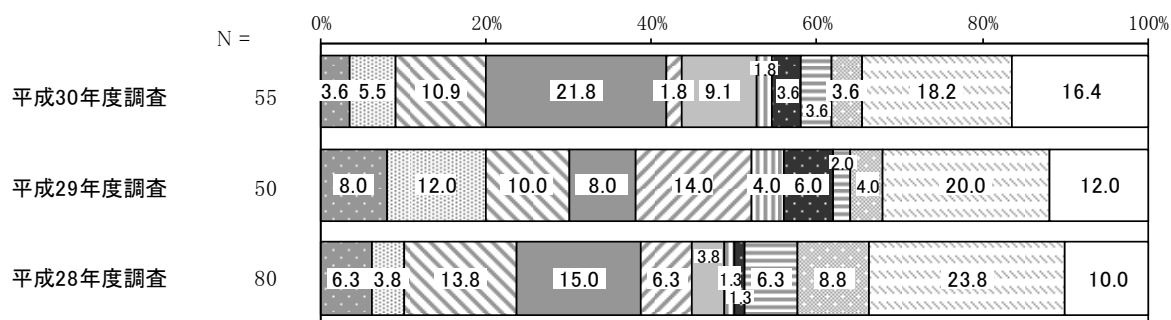
区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	23	56.5	4.3	17.4	52.2	8.7	39.1	8.7	4.3	4.3	30.4	8.7	13.0	—	4.3
川合	23	73.9	17.4	26.1	39.1	21.7	21.7	4.3	13.0	4.3	21.7	13.0	21.7	4.3	—
下恵土	46	52.2	15.2	17.4	50.0	19.6	21.7	2.2	6.5	4.3	23.9	26.1	13.0	6.5	—
土田	35	57.1	14.3	8.6	22.9	20.0	40.0	—	11.4	2.9	37.1	28.6	5.7	5.7	—
帷子	129	38.8	8.5	10.9	24.0	44.2	37.2	—	6.2	7.8	30.2	13.2	16.3	3.9	0.8
春里	35	45.7	20.0	5.7	20.0	28.6	28.6	—	8.6	2.9	20.0	31.4	17.1	2.9	—
姫治	19	63.2	21.1	5.3	15.8	26.3	42.1	—	5.3	10.5	26.3	15.8	15.8	—	—
平牧	40	60.0	7.5	12.5	35.0	30.0	35.0	—	5.0	2.5	27.5	15.0	15.0	7.5	—
桜ヶ丘ハイツ	54	27.8	5.6	9.3	27.8	53.7	46.3	5.6	7.4	1.9	31.5	9.3	16.7	3.7	1.9
久々利	7	57.1	—	—	28.6	57.1	42.9	—	14.3	—	14.3	28.6	28.6	—	—
広見東	14	50.0	21.4	7.1	14.3	—	21.4	7.1	—	—	50.0	42.9	14.3	7.1	—
広見	34	61.8	17.6	11.8	50.0	17.6	23.5	2.9	2.9	2.9	29.4	17.6	17.6	2.9	—
中恵土	16	43.8	25.0	25.0	50.0	12.5	25.0	—	6.3	6.3	25.0	31.3	—	6.3	6.3
兼山	8	37.5	12.5	—	25.0	12.5	37.5	—	—	12.5	25.0	50.0	—	25.0	—
不明	10	60.0	—	10.0	30.0	30.0	30.0	—	—	10.0	10.0	10.0	30.0	10.0	—

問 16 問 14 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

「買物など生活するのに不便だから」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「通学・通勤に不便だから」の割合が 10.9%となっています。

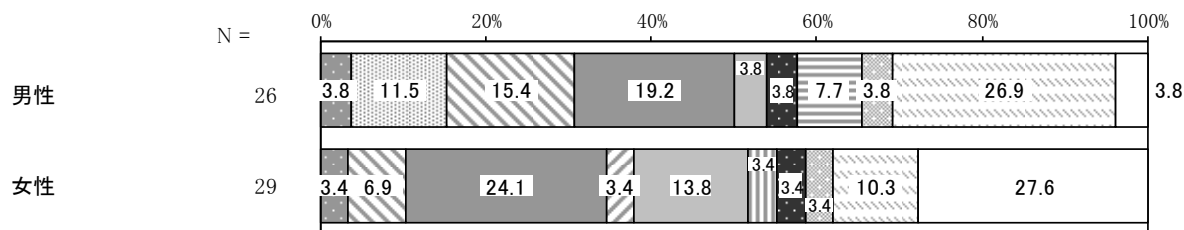
平成 28 年度調査と比較すると、「買物など生活するのに不便だから」「親との同居や結婚等の事情から」の割合が増加しています。一方、「故郷に戻るため」の割合が減少しています。

- 可児市に働く場所がないから
- 通学・通勤に不便だから
- 娯楽や遊ぶ施設がないから
- 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- その他
- 進学や仕事の事情(転勤等)から
- 買物など生活するのに不便だから
- 親との同居や結婚等の事情から
- 保健・医療体制が整っていないから
- 故郷に戻るため
- 無回答



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通学・通勤に不便だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高くなっています。

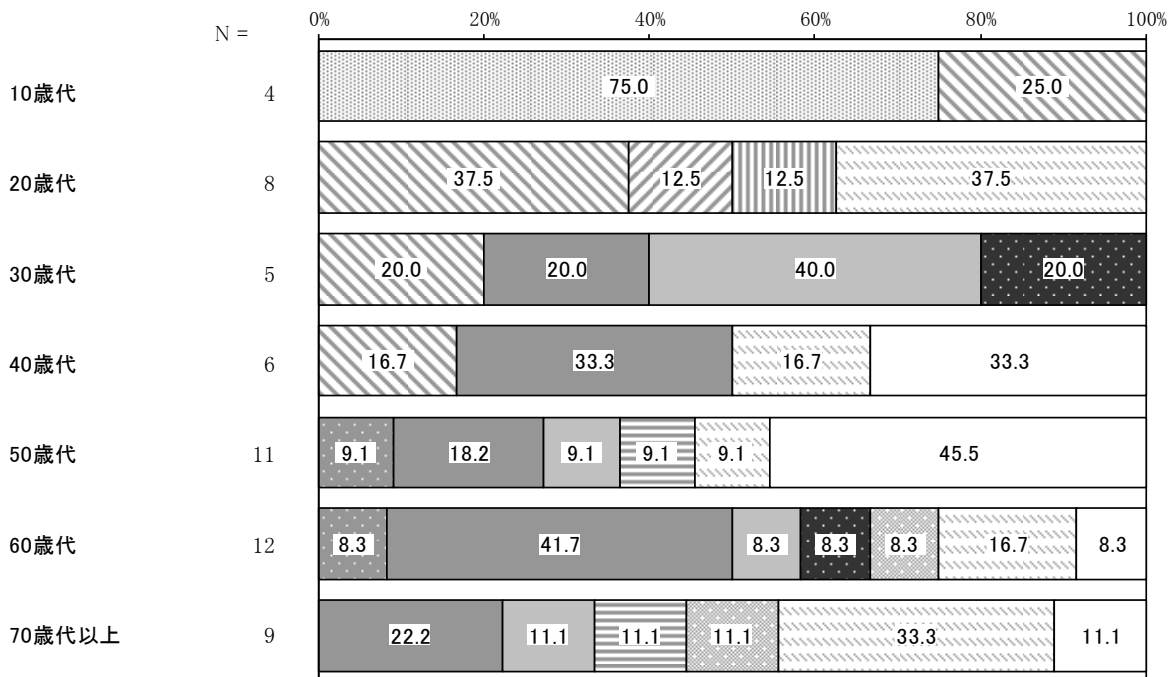




## 【年代別】

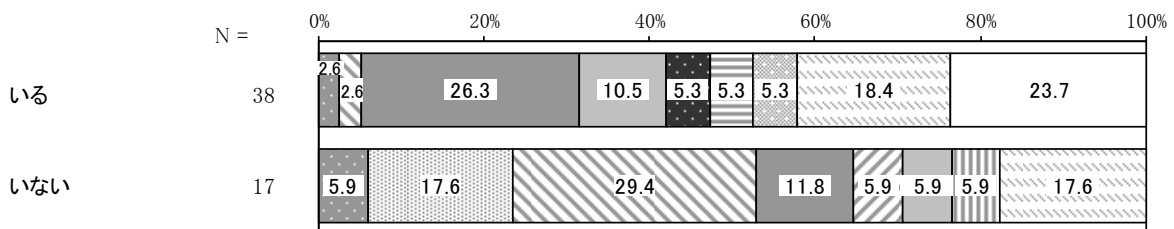
年代別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- ▨ 通学・通勤に不便だから
- 買物など生活するのに不便だから
- ▨ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- ▨ 親との同居や結婚等の事情から
- ▨ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▨ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- ▨ 故郷に戻るため
- ▨ その他
- 無回答



## 【子どもの有無別】

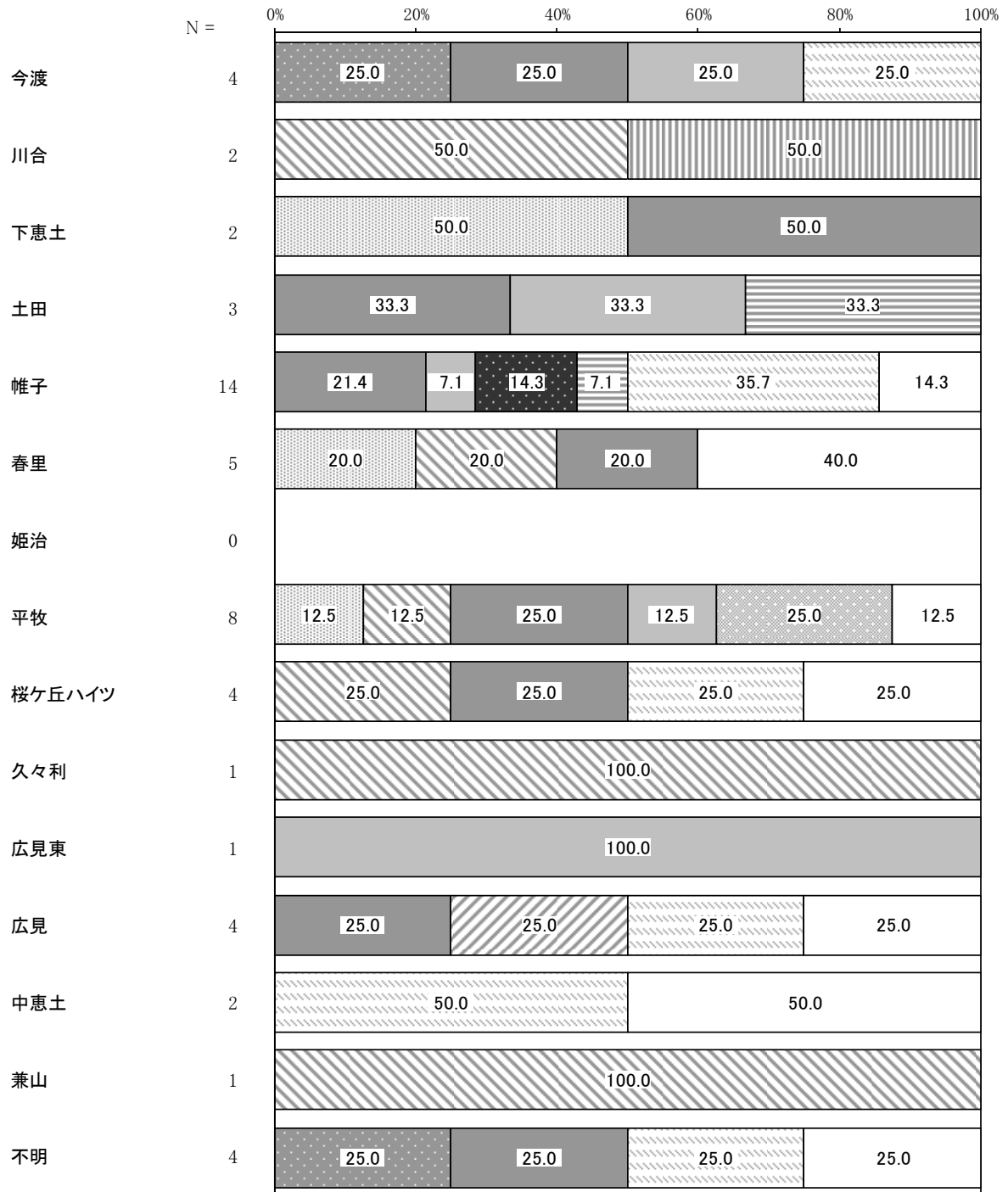
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」「保健・医療体制が整っていないから」「障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」の割合が高くなっています。



## 【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

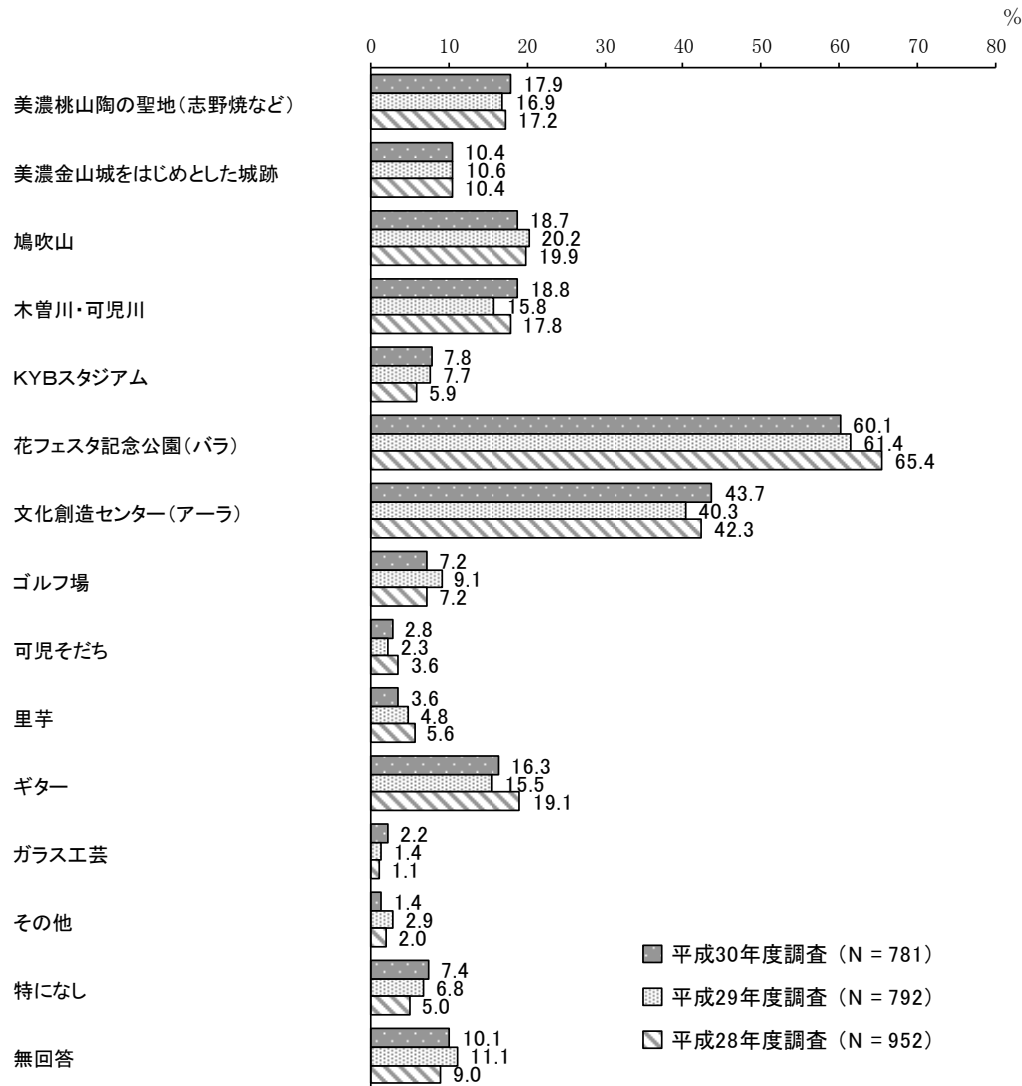
- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- ▨ 通学・通勤に不便だから
- 買物など生活するのに不便だから
- ▨ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- 親との同居や結婚等の事情から
- ▨ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▨ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- ▨ 故郷に戻るため
- その他
- 無回答



問17 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が60.1%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が43.7%、「木曾川・可児川」の割合が18.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ゴルフ場」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 （バラ）	文化創造センター （アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	343	19.0	12.0	16.3	21.0	7.9	58.0	37.6	12.2	2.3	2.3	14.6	1.2	2.0	9.0	8.7
女性	431	17.4	9.3	20.4	17.4	7.9	61.5	48.7	3.2	3.0	4.4	17.9	3.0	0.9	6.0	11.1

### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「花フェスタ記念公園（バラ）」「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。また、30歳代で「ギター」の割合が、60歳代以上で「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」「鳩吹山」「木曾川・可児川」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 （バラ）	文化創造センター （アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10歳代	23	13.0	—	13.0	—	34.8	60.9	52.2	4.3	—	—	8.7	—	—	17.4	13.0
20歳代	32	12.5	3.1	15.6	15.6	9.4	78.1	56.3	—	3.1	3.1	25.0	6.3	3.1	9.4	—
30歳代	79	6.3	7.6	12.7	12.7	7.6	68.4	39.2	6.3	2.5	3.8	27.8	1.3	3.8	10.1	6.3
40歳代	88	6.8	10.2	13.6	13.6	12.5	54.5	38.6	2.3	2.3	2.3	22.7	4.5	2.3	11.4	11.4
50歳代	110	15.5	5.5	14.5	13.6	7.3	62.7	48.2	7.3	3.6	2.7	17.3	2.7	0.9	10.9	9.1
60歳代	187	23.5	13.9	20.3	23.5	4.3	57.8	35.8	9.1	1.6	3.7	16.6	3.2	1.1	8.0	9.1
70歳代以上	262	23.3	12.6	23.7	23.3	6.5	57.6	48.1	8.8	3.8	4.6	9.5	0.4	0.8	2.3	13.0

## 【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、桜ヶ丘ハイツ、久々利で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、約7割となっています。また、久々利で「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が、帷子で「鳩吹山」の割合が、久々利、広見東で「ゴルフ場」割合が高くなっています。一方、土田、中恵土で「特になし」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	47	8.5	4.3	14.9	12.8	4.3	63.8	53.2	8.5	2.1	4.3	12.8	2.1	—	6.4	19.1
川合	37	13.5	5.4	13.5	18.9	8.1	64.9	40.5	2.7	2.7	—	24.3	2.7	—	10.8	10.8
下恵土	65	15.4	10.8	18.5	26.2	4.6	61.5	55.4	9.2	1.5	4.6	18.5	—	—	6.2	9.2
土田	49	12.2	8.2	26.5	32.7	12.2	40.8	42.9	6.1	2.0	—	16.3	—	4.1	18.4	6.1
帷子	198	19.2	12.1	30.3	25.8	6.6	61.1	41.9	5.1	3.0	2.5	15.7	3.0	1.5	5.6	9.6
春里	51	7.8	2.0	23.5	13.7	13.7	54.9	49.0	7.8	—	5.9	11.8	3.9	2.0	5.9	11.8
姫治	24	33.3	12.5	12.5	4.2	16.7	62.5	45.8	—	8.3	12.5	8.3	—	4.2	4.2	16.7
平牧	69	20.3	7.2	14.5	13.0	7.2	59.4	40.6	8.7	4.3	8.7	14.5	—	—	10.1	8.7
桜ヶ丘ハイツ	81	25.9	14.8	4.9	14.8	4.9	70.4	43.2	7.4	2.5	2.5	17.3	3.7	3.7	4.9	7.4
久々利	14	57.1	21.4	7.1	21.4	14.3	71.4	21.4	21.4	7.1	—	21.4	7.1	—	—	7.1
広見東	19	36.8	21.1	15.8	15.8	5.3	52.6	47.4	26.3	5.3	—	15.8	5.3	—	5.3	—
広見	51	13.7	9.8	15.7	13.7	9.8	68.6	41.2	5.9	2.0	5.9	15.7	3.9	—	5.9	7.8
中恵土	28	7.1	3.6	14.3	7.1	7.1	42.9	42.9	3.6	7.1	—	17.9	—	—	21.4	10.7
兼山	13	7.7	23.1	—	15.4	7.7	38.5	38.5	—	—	—	15.4	—	7.7	—	30.8
不明	31	16.1	16.1	9.7	12.9	9.7	58.1	32.3	12.9	—	3.2	19.4	—	—	6.5	9.7

【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で「花フェスタ記念公園（バラ）」「文化創造センター（アーラ）」「ギター」の割合が高くなっています。また、20年以上、生まれてからずっとで「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が高くなっています。一方、3年以上5年未満で「特になし」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

単位：%

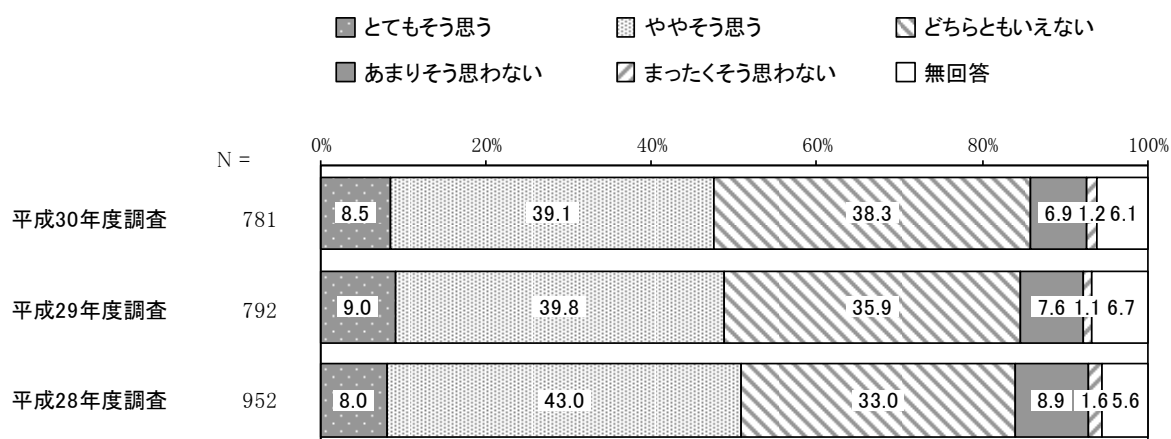
区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 （バラ）	文化創造センター （アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	42	4.8	9.5	9.5	16.7	2.4	64.3	52.4	2.4	2.4	4.8	31.0	—	—	9.5	9.5
3年以上 5年未満	15	13.3	—	—	20.0	13.3	53.3	33.3	—	—	6.7	6.7	—	—	26.7	6.7
5年以上 10年未満	33	3.0	9.1	3.0	9.1	3.0	72.7	57.6	3.0	—	3.0	36.4	—	—	3.0	12.1
10年以上 20年未満	83	10.8	9.6	8.4	7.2	15.7	65.1	43.4	3.6	1.2	4.8	19.3	8.4	—	6.0	15.7
20年以上	472	20.3	10.6	22.0	21.8	6.8	59.1	43.6	8.5	3.2	3.0	12.7	1.9	1.5	6.6	10.2
生まれて からずっと	133	22.6	12.0	21.8	17.3	9.0	57.1	38.3	8.3	3.0	4.5	18.8	0.8	3.0	9.8	6.8

## (5) 子育て環境について

### 問 18 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

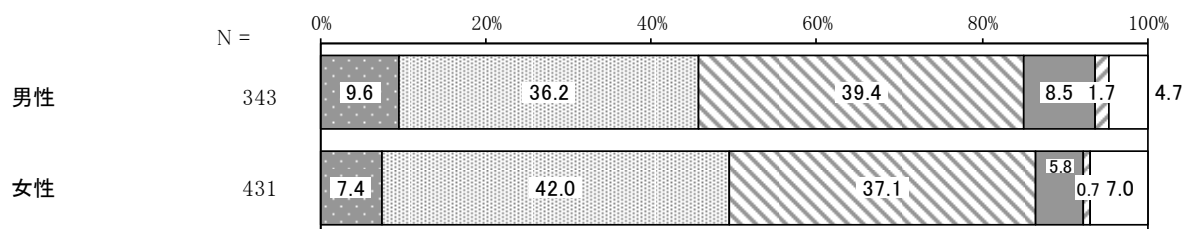
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が47.6%、「どちらともいえない」の割合が38.3%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が8.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が増加しています。



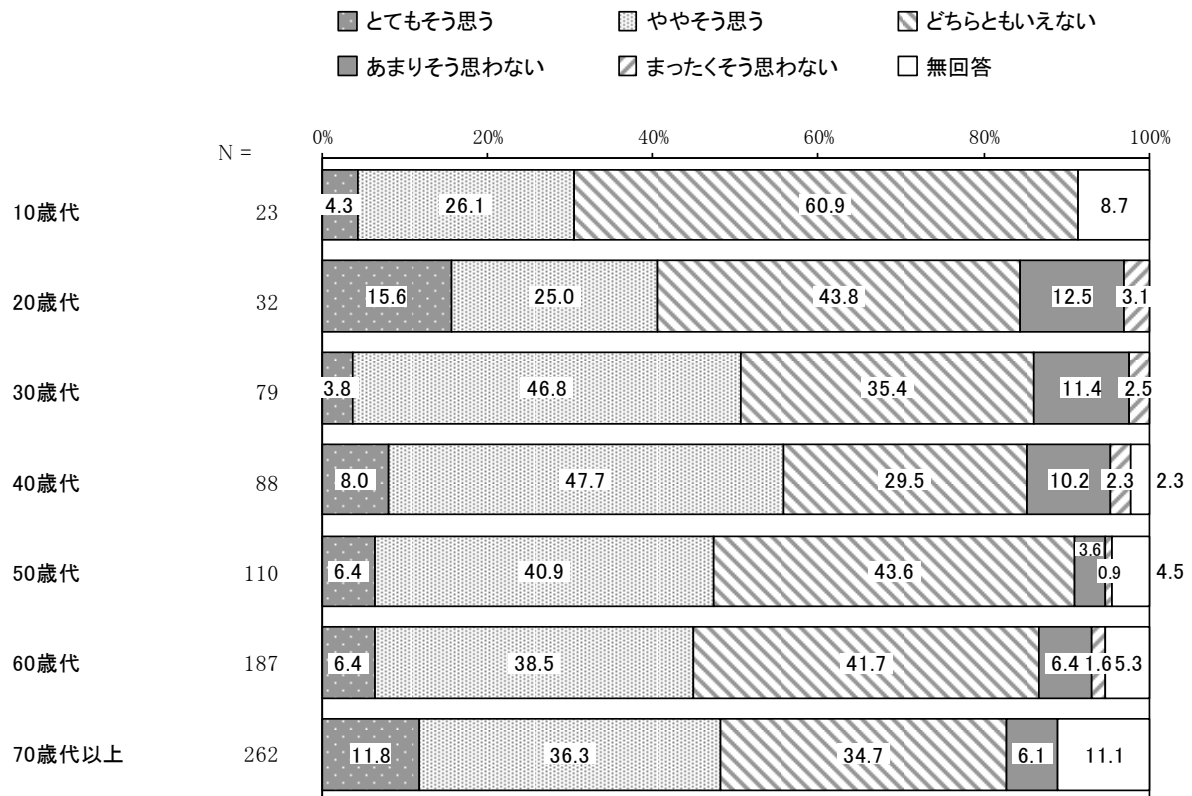
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ややそう思う」の割合が高くなっています。



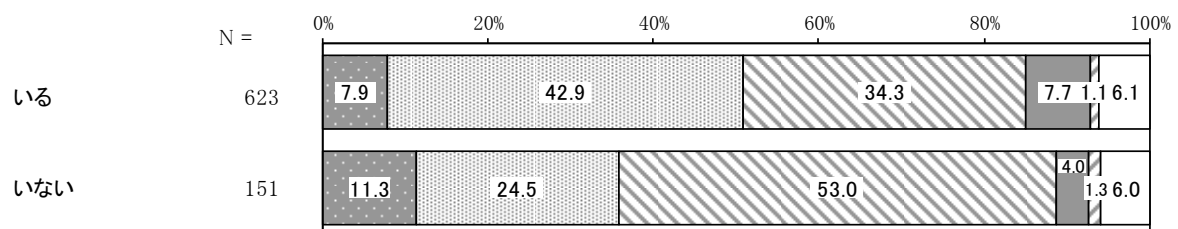
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“そう思う”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



### 【子どもの有無別】

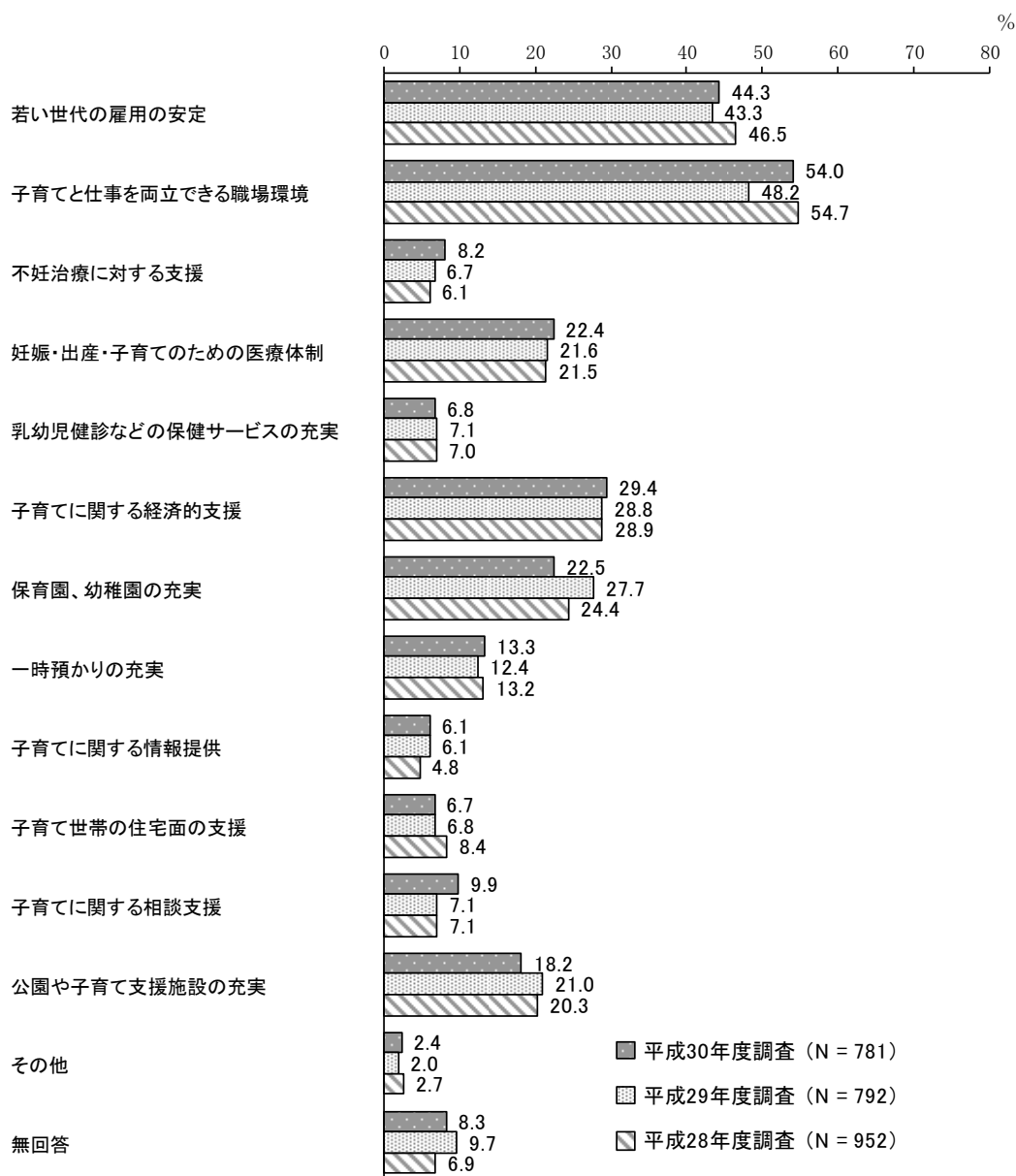
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。





問19 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が54.0%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が44.3%、「子育てに関する経済的支援」の割合が29.4%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」「一時預かりの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制 妊娠・出産・子育てのための	乳幼児健診などの保健サービス の充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	343	53.4	51.0	3.5	26.2	5.5	33.8	22.4	10.2	6.1	6.4	9.3	20.7	1.7	5.8
女性	431	37.4	56.8	12.1	19.7	7.9	26.5	22.7	16.0	6.3	7.0	10.4	16.5	3.0	9.5

## 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代、50歳代で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約6割となっています。また、10歳代、60歳代以上で「若い世代の雇用の安定」の割合が、20歳代、30歳代で「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制 妊娠・出産・子育てのための	乳幼児健診などの保健サービス の充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	23	47.8	39.1	—	21.7	8.7	39.1	30.4	13.0	13.0	4.3	8.7	17.4	—	4.3
20歳代	32	31.3	53.1	15.6	18.8	18.8	46.9	21.9	21.9	9.4	9.4	3.1	15.6	6.3	3.1
30歳代	79	16.5	55.7	22.8	26.6	10.1	45.6	36.7	17.7	3.8	10.1	6.3	24.1	5.1	1.3
40歳代	88	27.3	60.2	18.2	29.5	5.7	28.4	12.5	19.3	6.8	8.0	13.6	29.5	1.1	3.4
50歳代	110	42.7	61.8	9.1	21.8	4.5	30.0	14.5	12.7	5.5	7.3	13.6	22.7	1.8	5.5
60歳代	187	54.0	49.2	5.3	24.1	7.5	29.4	25.1	14.4	5.3	5.9	12.3	13.9	1.6	7.0
70歳代以上	262	53.4	53.1	1.9	18.3	5.0	21.8	22.5	8.4	6.5	5.3	7.3	14.1	2.7	15.3

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約6割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「不妊治療に対する支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制 妊娠・出産・子育てのための	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	623	44.9	57.1	7.1	23.1	6.3	29.5	22.0	12.7	5.8	6.6	10.1	19.1	1.9	8.0
いない	151	42.4	42.4	13.2	19.9	8.6	30.5	25.8	16.6	7.9	7.3	8.6	14.6	4.0	7.9

### 【職業別】

職業別でみると、他に比べ、派遣社員で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。また、正社員・正職員で「不妊治療に対する支援」の割合が高くなっています。

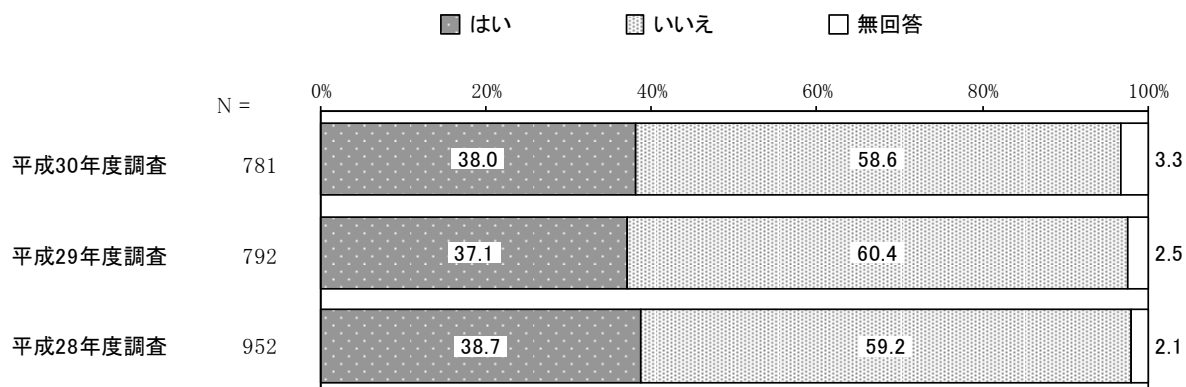
単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制 妊娠・出産・子育てのための	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	171	33.3	57.3	15.8	26.3	7.6	33.3	24.0	14.0	4.7	7.6	7.6	23.4	2.3	4.1
アルバイト・パート	127	37.0	62.2	11.0	22.8	2.4	30.7	22.0	15.0	7.1	7.1	15.7	15.7	1.6	5.5
派遣社員	11	63.6	63.6	9.1	9.1	9.1	54.5	27.3	18.2	—	9.1	9.1	18.2	—	—
嘱託・契約社員	32	53.1	53.1	—	21.9	6.3	46.9	28.1	15.6	3.1	15.6	6.3	15.6	3.1	—
自営業主・家族従業員	39	51.3	59.0	10.3	17.9	5.1	28.2	15.4	20.5	2.6	10.3	17.9	20.5	—	7.7
内職	5	40.0	20.0	40.0	40.0	—	—	—	—	40.0	—	20.0	40.0	—	—
家事専業	100	48.0	53.0	7.0	16.0	12.0	31.0	20.0	14.0	5.0	6.0	6.0	16.0	6.0	9.0
学生	25	44.0	40.0	4.0	24.0	12.0	36.0	36.0	20.0	12.0	4.0	12.0	20.0	4.0	—
無職	245	50.6	49.8	2.4	23.3	5.7	23.3	21.6	10.6	6.9	5.3	8.6	15.1	1.6	14.3
その他	22	50.0	50.0	9.1	22.7	13.6	22.7	27.3	4.5	4.5	—	9.1	27.3	4.5	13.6

## (6) 運動の推進について

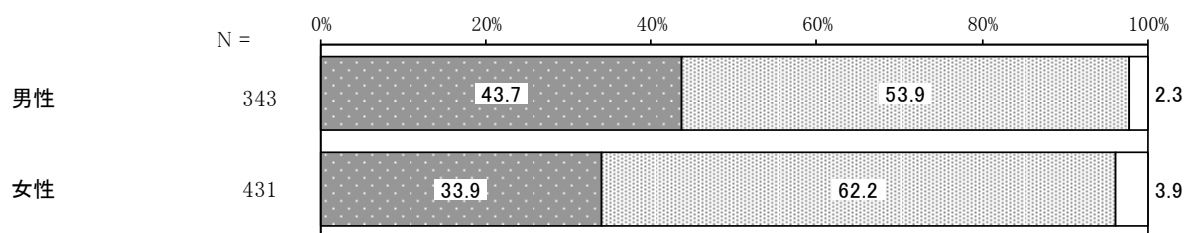
問 20 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する歩こう可児302運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が38.0%、「いいえ」の割合が58.6%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



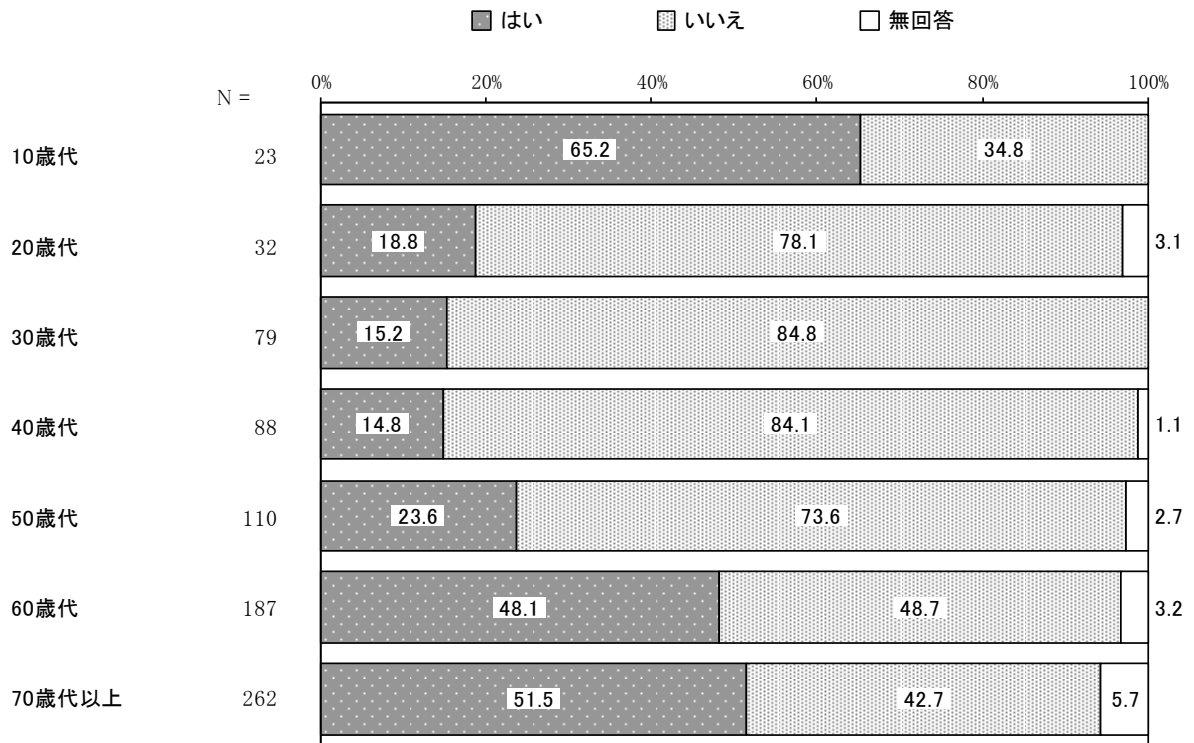
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっています。



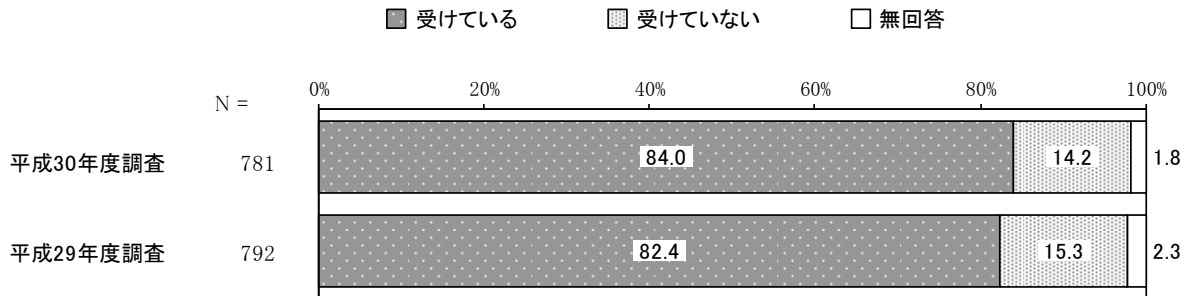
**【年代別】**

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、30歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高く、8割台半ばとなっています。



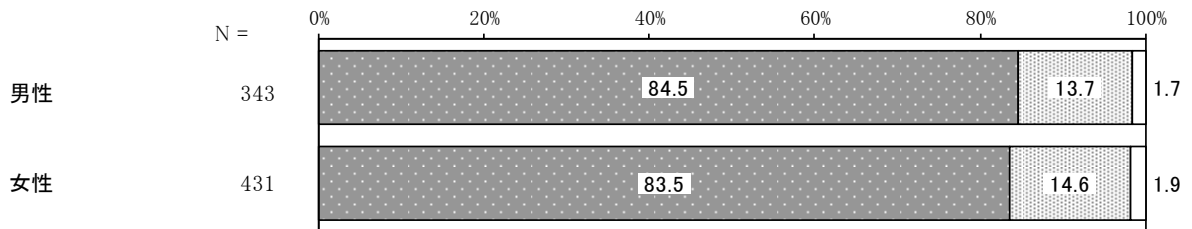
**問 21 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。**

「受けている」の割合が 84.0%、「受けていない」の割合が 14.2%となっています。  
平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



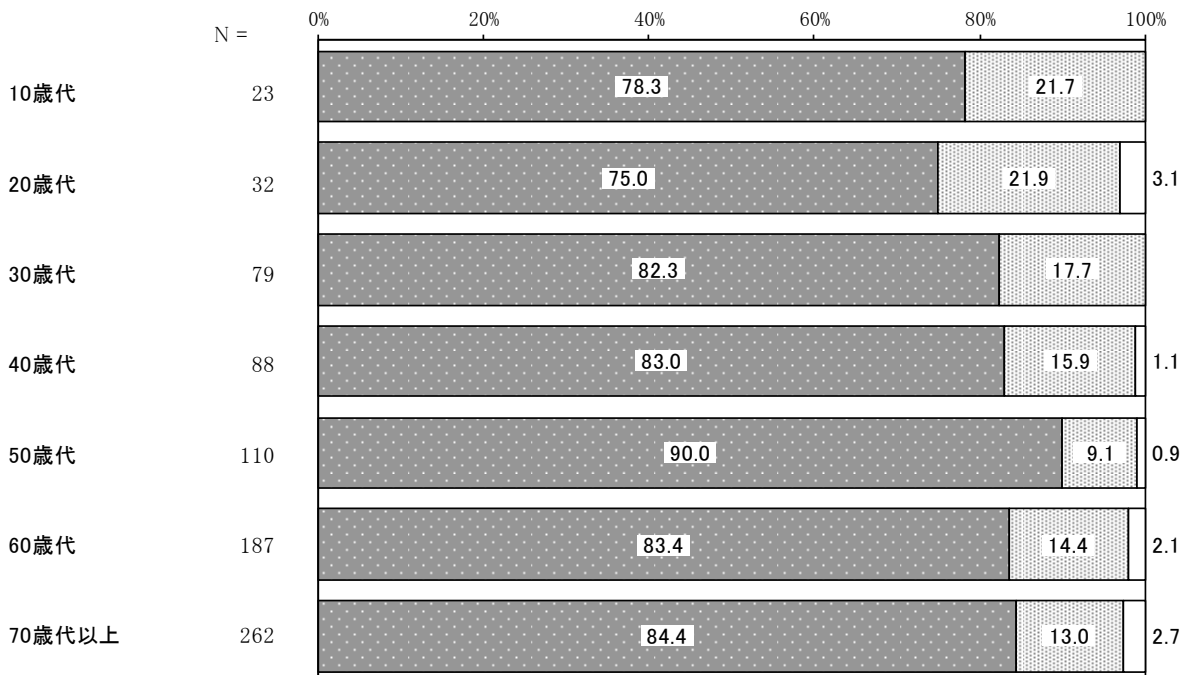
**【性別】**

性別で見ると、大きな差異はみられません。



**【年代別】**

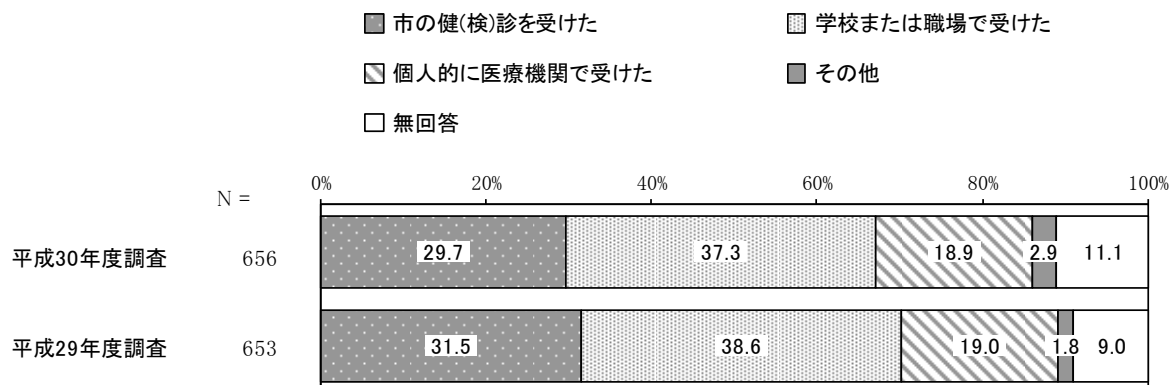
年代別で見ると、他の年代に比べ、50歳代で「受けている」の割合が高く、9割となっています。一方、30歳代以下で「受けていない」の割合が高く、約2割となっています。



## 受診場所

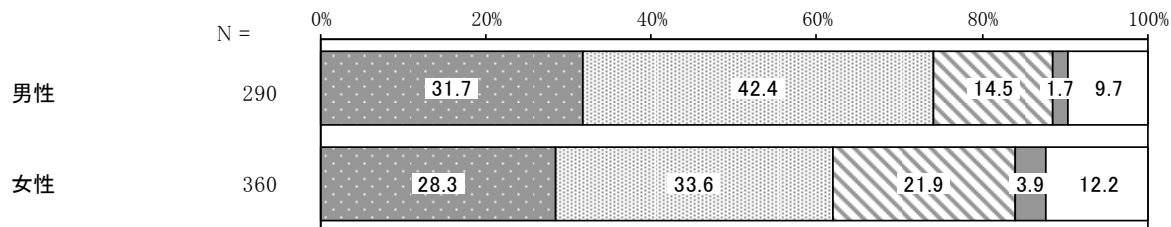
「学校または職場で受けた」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「市の健(検)診を受けた」の割合が 29.7%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が 18.9%となっています。

平成 29 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



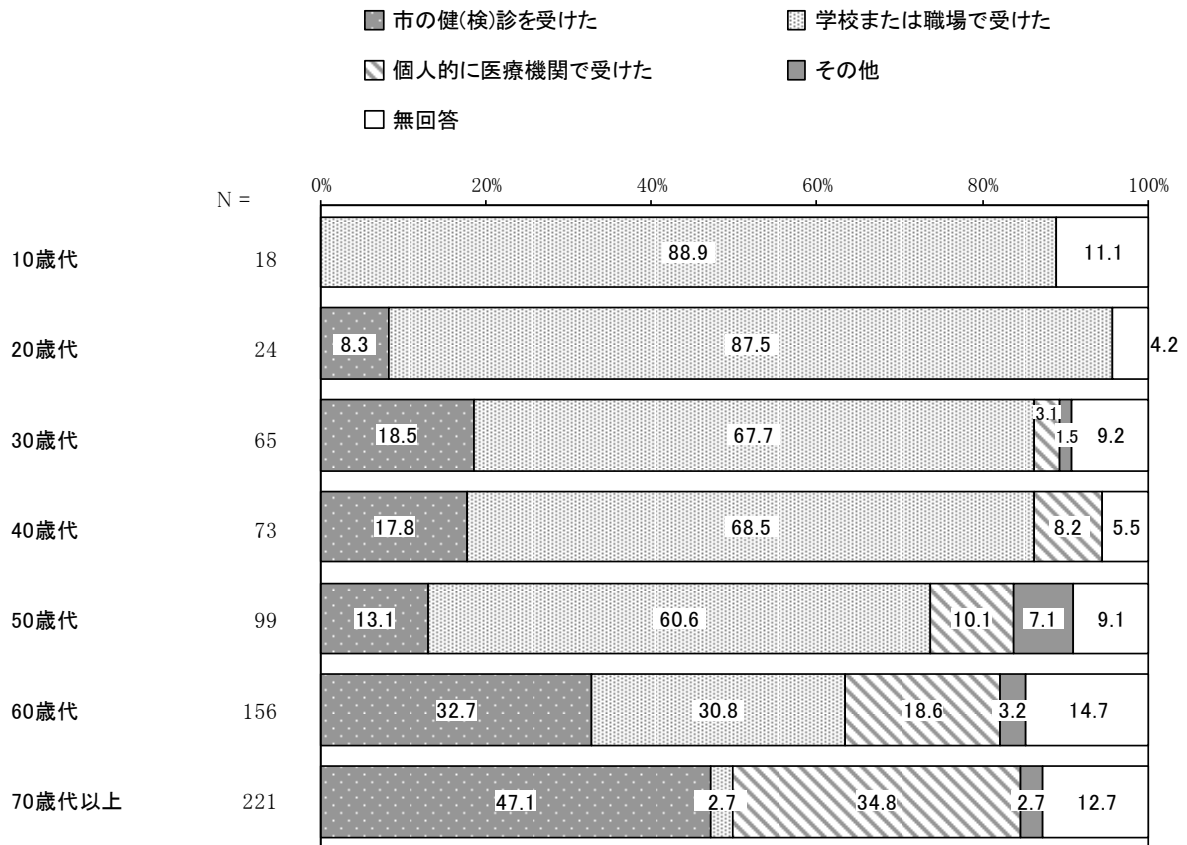
## 【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、約 4 割となっています。また、男性に比べ、女性で「個人的に医療機関で受けた」の割合が高く、約 2 割となっています。



## 【年代別】

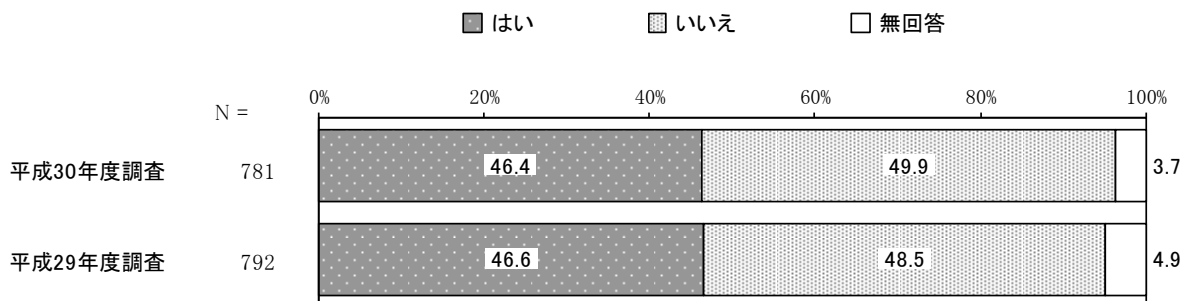
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「市の健(検)診を受けた」の割合が、年代が低くなるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高くなる傾向がみられます。





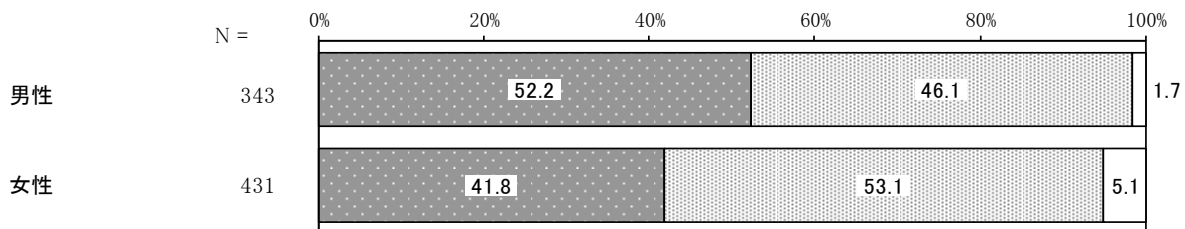
**問 22 家庭で防災に関する取り組みをしていますか。**

「はい」の割合が46.4%、「いいえ」の割合が49.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



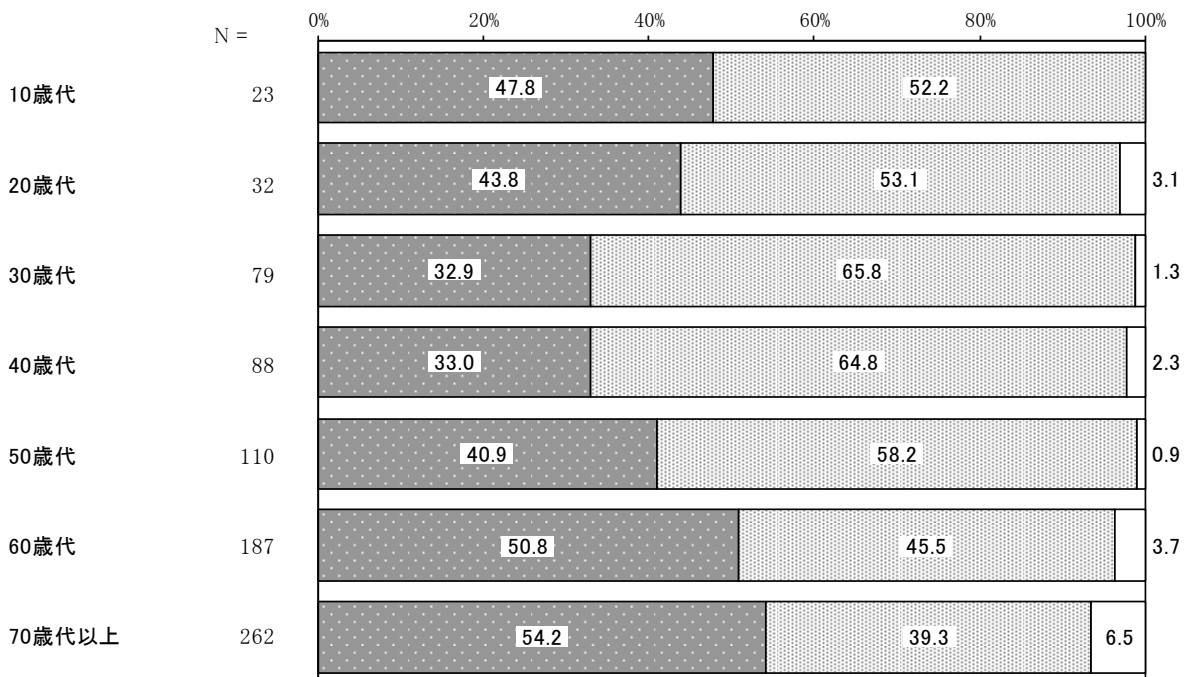
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約5割となっています。



**【年代別】**

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。一方、30歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

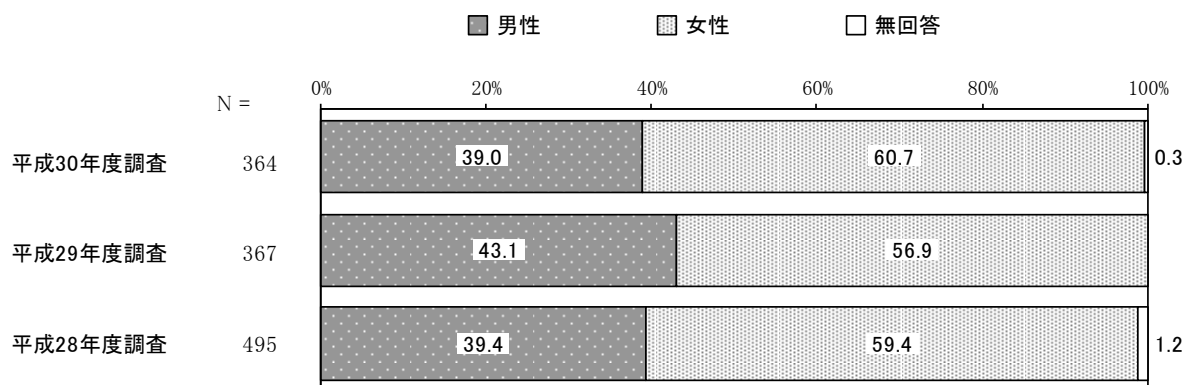


## 2 若年層

### (1) 回答者属性

#### 問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

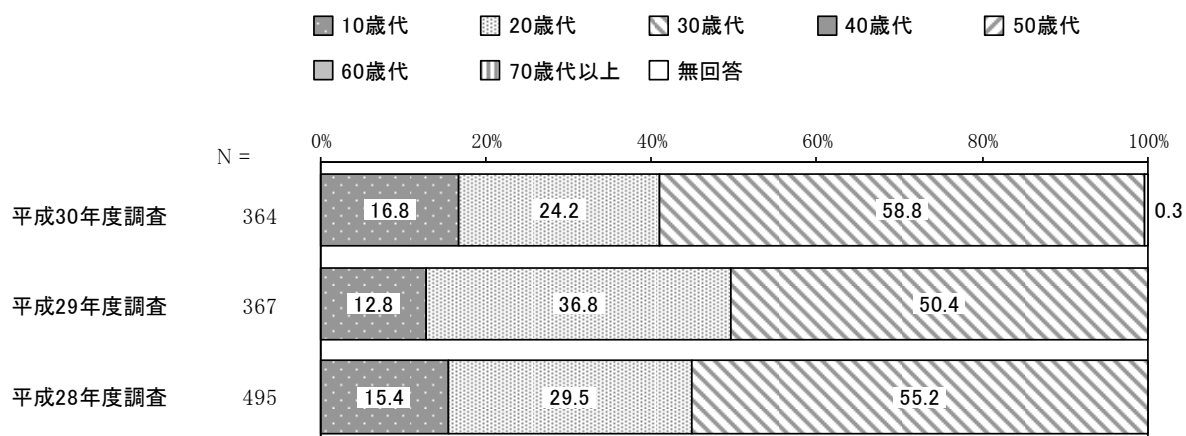
「男性」の割合が39.0%、「女性」の割合が60.7%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

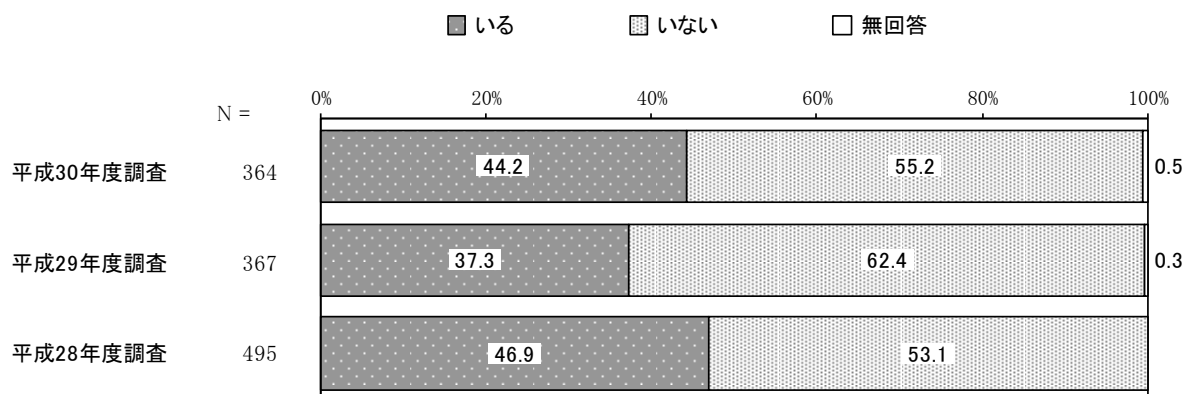
「30歳代」の割合が58.8%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が24.2%、「10歳代」の割合が16.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「20歳代」の割合が減少しています。



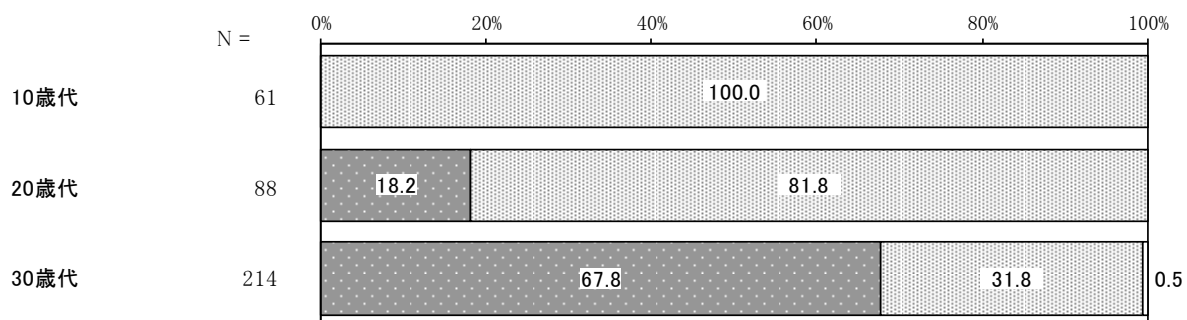
**問3 あなたには、子どもはいますか。**

「いる」の割合が44.2%、「いない」の割合が55.2%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



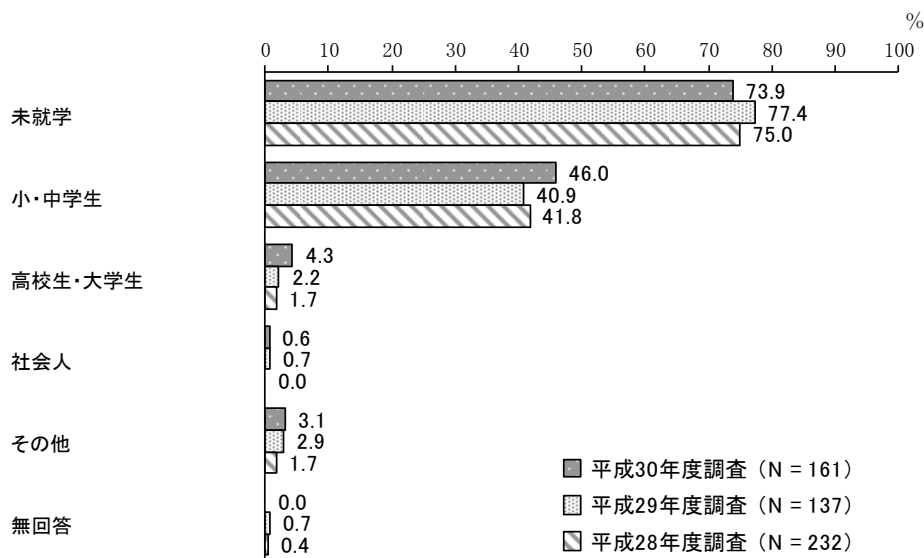
**【年代別】**

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高く、30歳代で約7割となっています。



**子どもの世代**

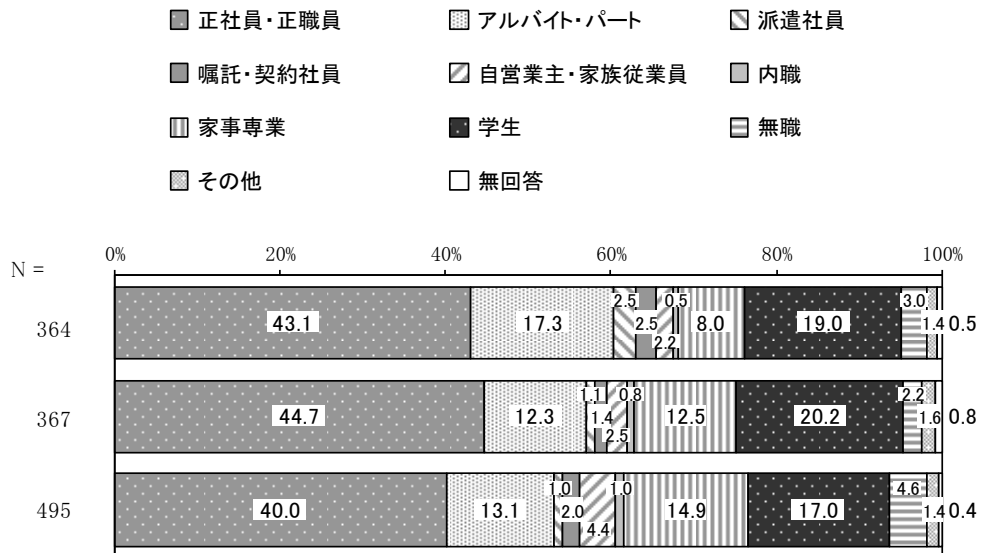
「未就学」の割合が73.9%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が46.0%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)**

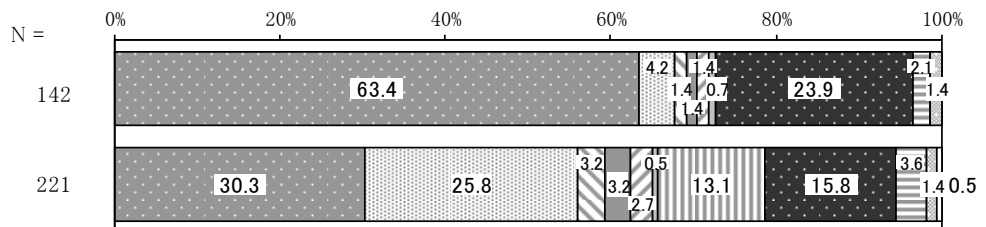
「正社員・正職員」の割合が43.1%と最も高く、次いで「学生」の割合が19.0%、「アルバイト・パート」の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「家事専業」の割合が減少しています。



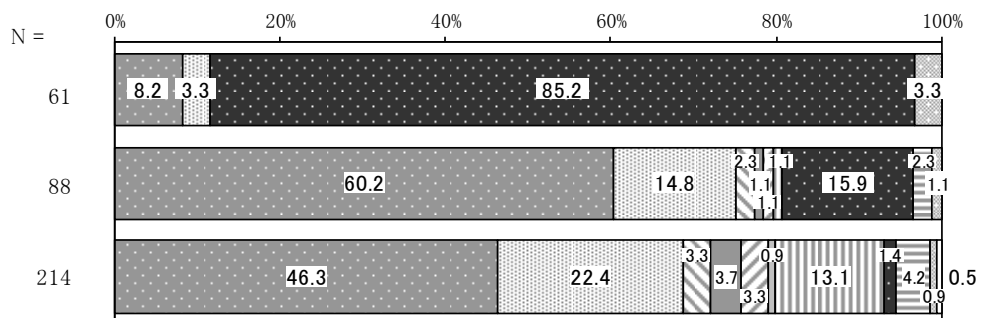
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「学生」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



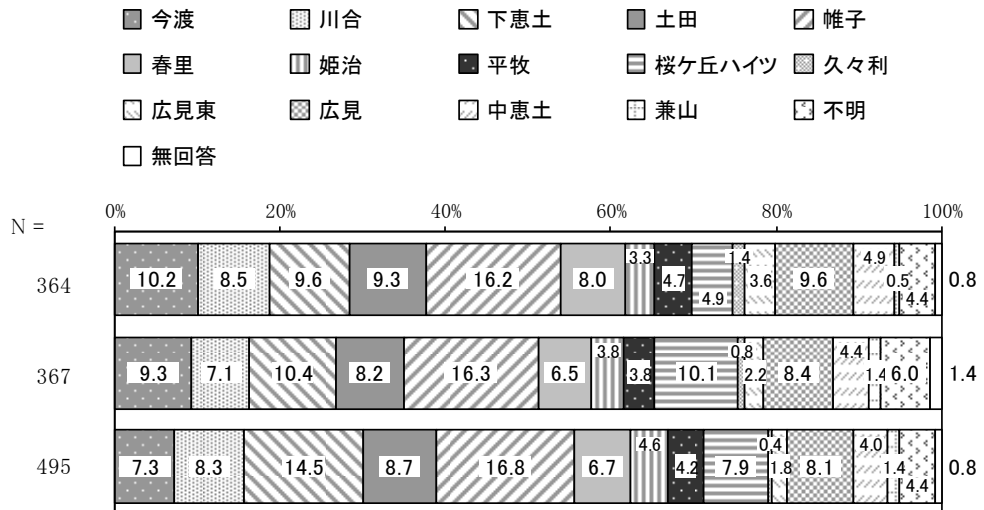
**【年代別】**

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高く、年代が低くなるにつれ「学生」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、20歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、約6割となっています。



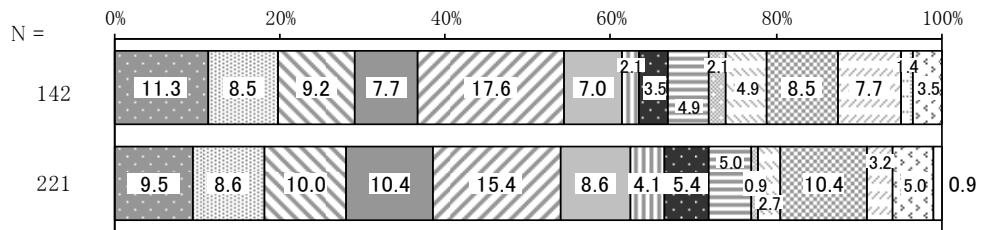
**問5 あなたはどちらにお住まいですか。(自治連合会単位)**

「帷子」の割合が16.2%と最も高く、次いで「今渡」の割合が10.2%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



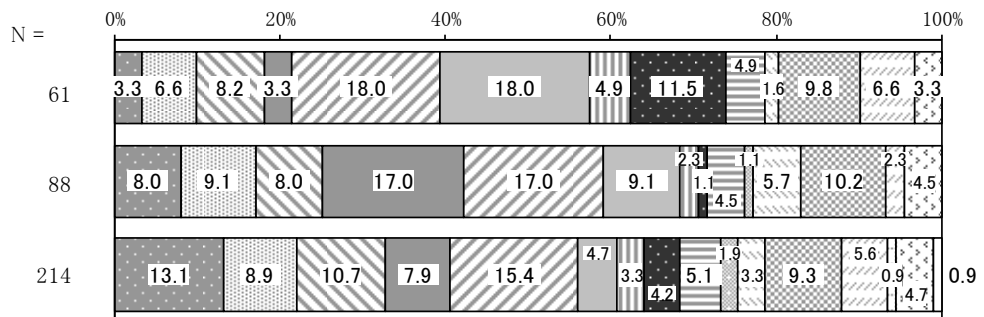
**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



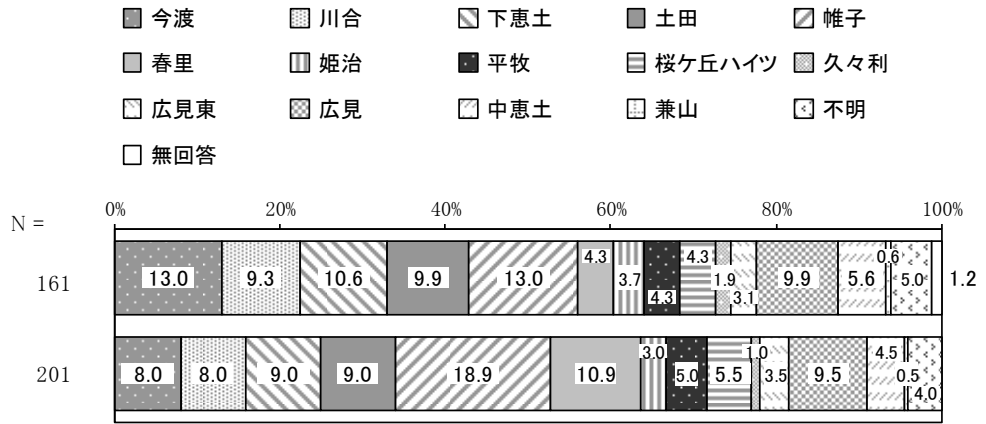
**【年代別】**

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「春里」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、20歳代で「土田」の割合が高く、約2割となっています。



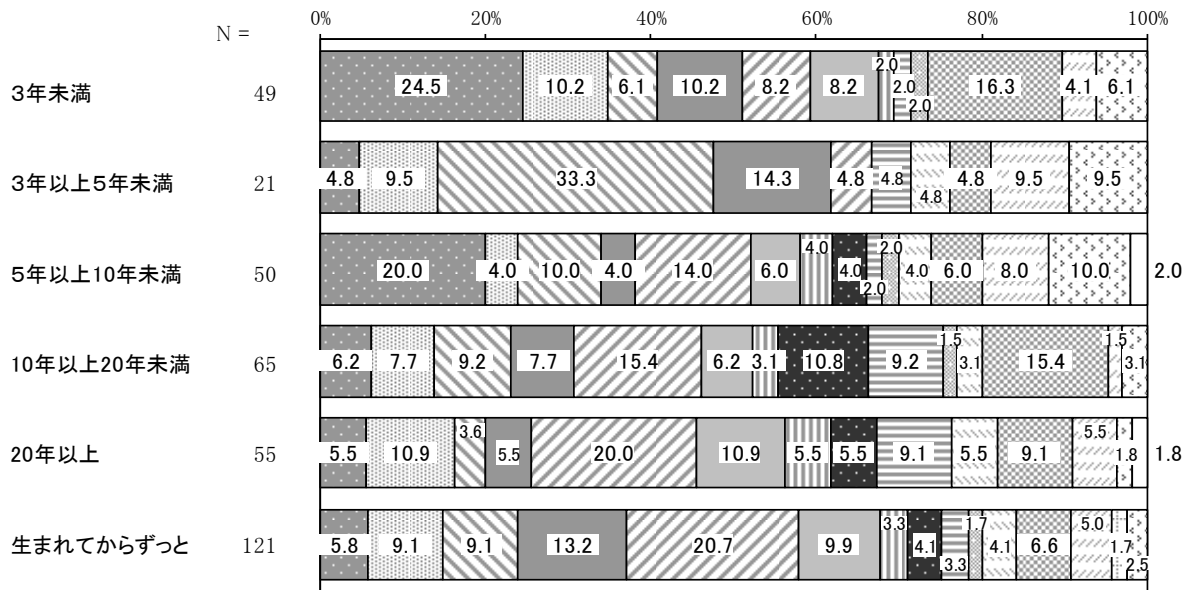
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「今渡」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「帷子」「春里」の割合が高くなっています。



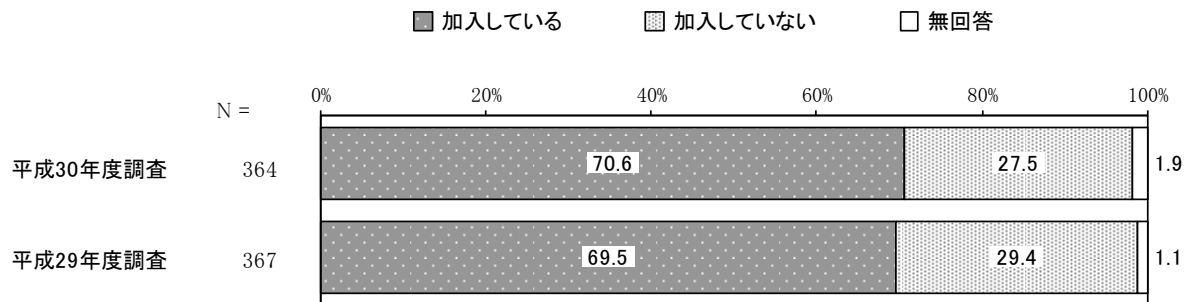
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で「下恵土」の割合が高く、約3割となっています。また、3年未満で「今渡」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



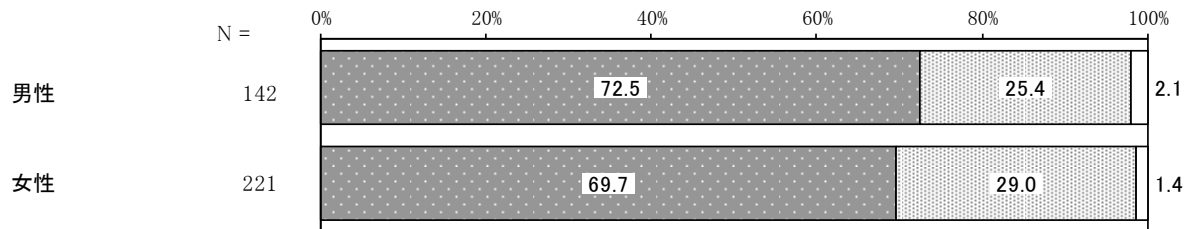
**問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。**

「加入している」の割合が70.6%、「加入していない」の割合が27.5%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



**【性別】**

性別でみると、大きな差異はみられません。



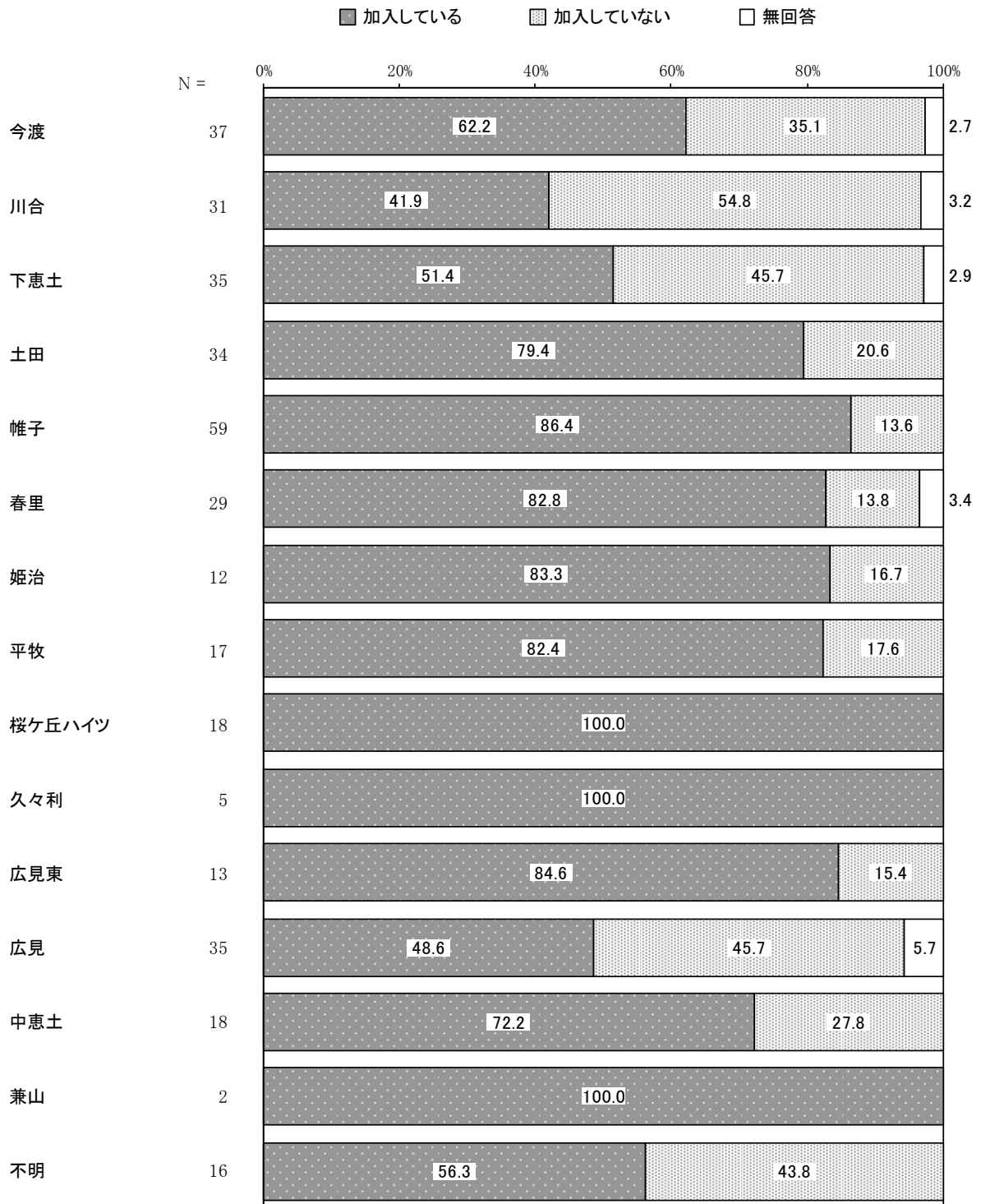
**【年代別】**

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「加入していない」の割合が高くなっています。



### 【居住地区別】

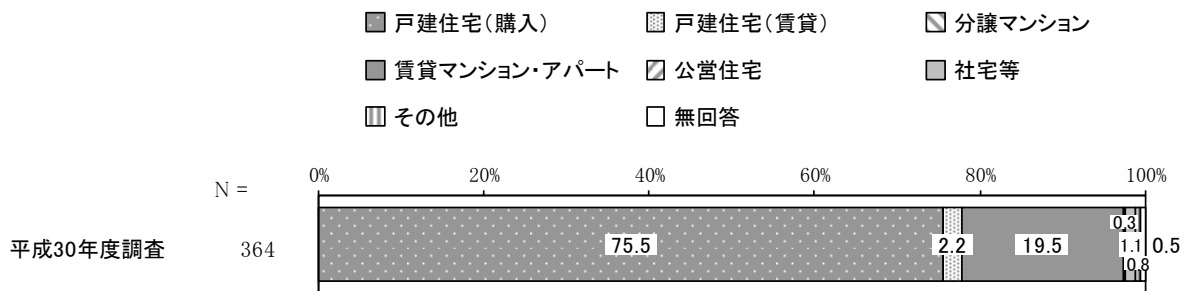
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、桜ヶ丘 Heights で「加入している」の割合が高く、100.0% となっています。一方、川合で「加入していない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。





**問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)**

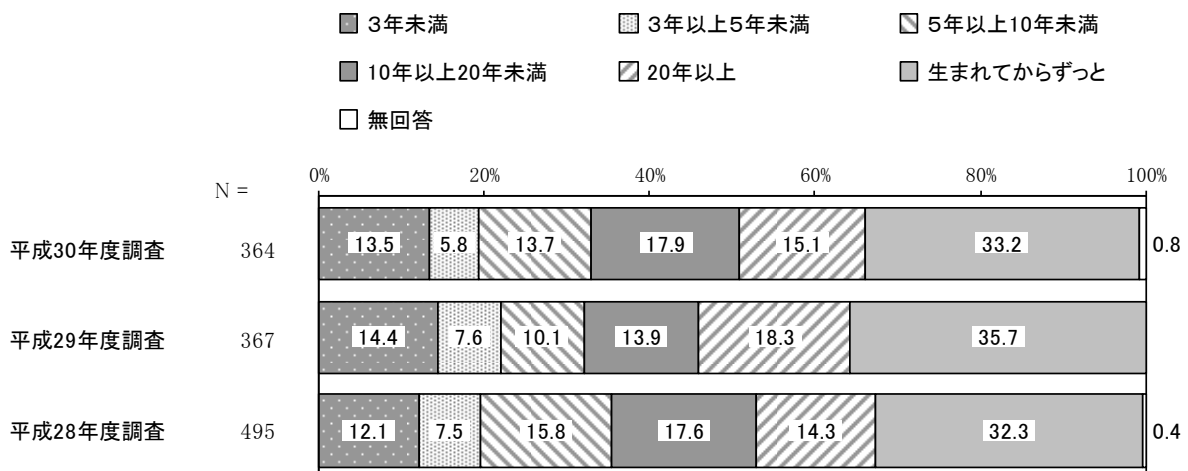
「戸建住宅（購入）」の割合が75.5%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が19.5%となっています。



**問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。**

「生まれてからずっと」の割合が33.2%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が17.9%、「20年以上」の割合が15.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



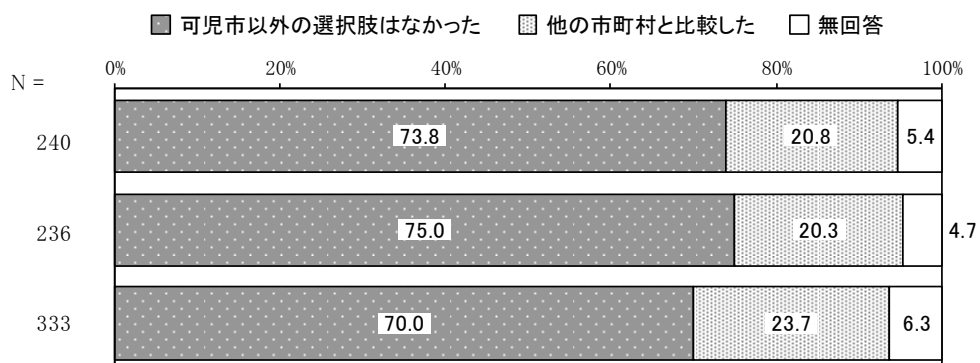
## (2) 可児市への居住理由について

【問8で1～5を選択された方に伺います】

### 問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(○は1つだけ)

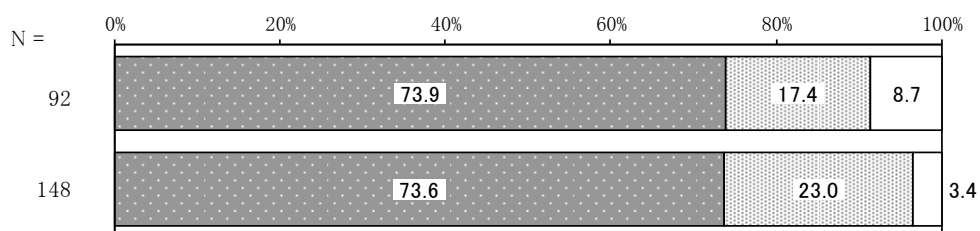
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が73.8%、「他の市町村と比較した」の割合が20.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「他の市町村と比較した」の割合が高くなっています。



### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「他の市町村と比較した」の割合が高くなっています。



### <比較した市町村>

多治見市 (12件)  
土岐市 (4件)  
江南市 (3件)  
関市 (1件)  
小牧市 (1件)  
柏崎市 (1件)

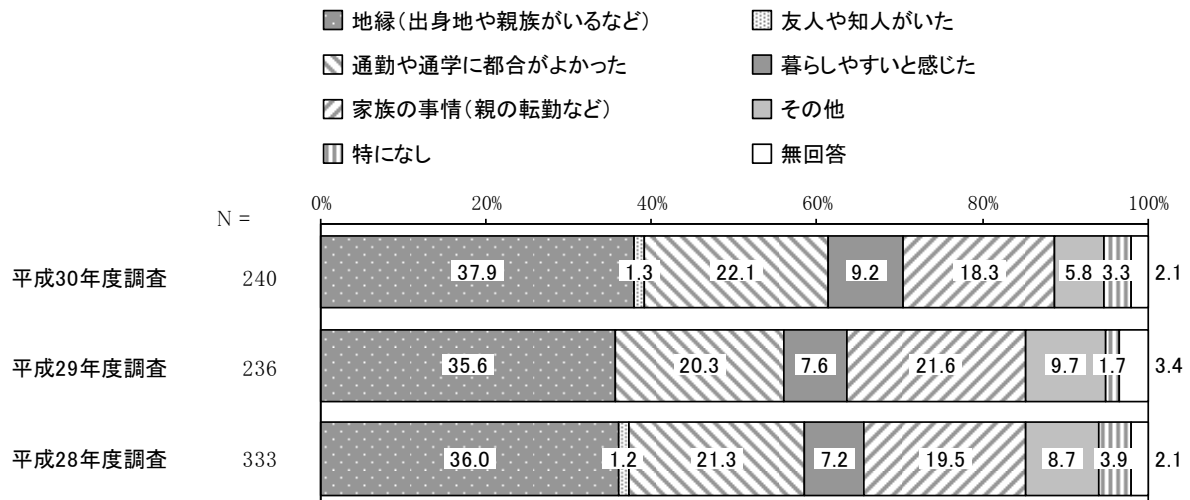
美濃加茂市 (10件)  
各務原市 (3件)  
大口町 (3件)  
四日市市 (1件)  
長久手市 (1件)  
美浜町 (1件)

犬山市 (9件)  
御嵩町 (3件)  
名古屋市 (2件)  
春日井 (1件)  
敦賀市 (1件)  
扶桑町 (1件)

## 問 10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

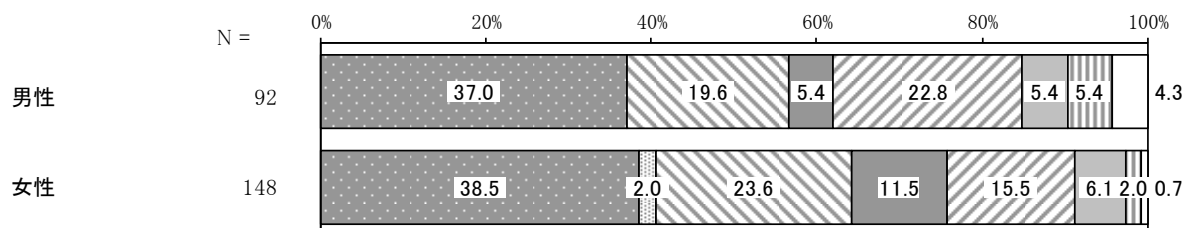
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 22.1%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が 18.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



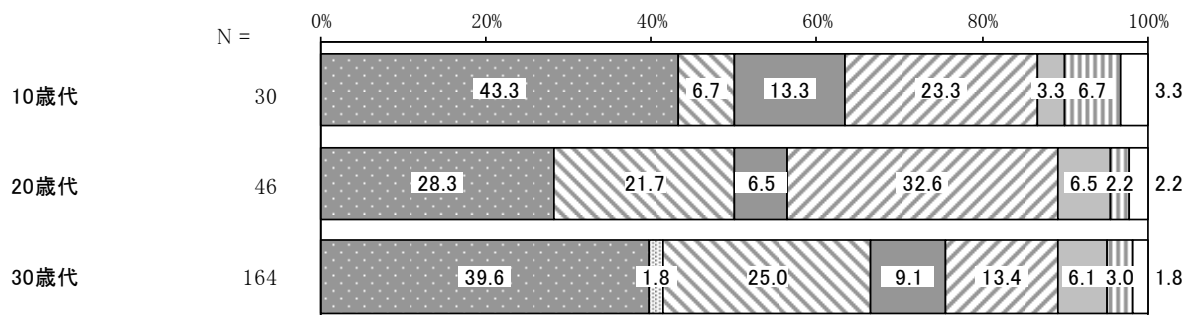
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、約 2 割となっています。また、男性に比べ、女性で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、約 1 割となっています。



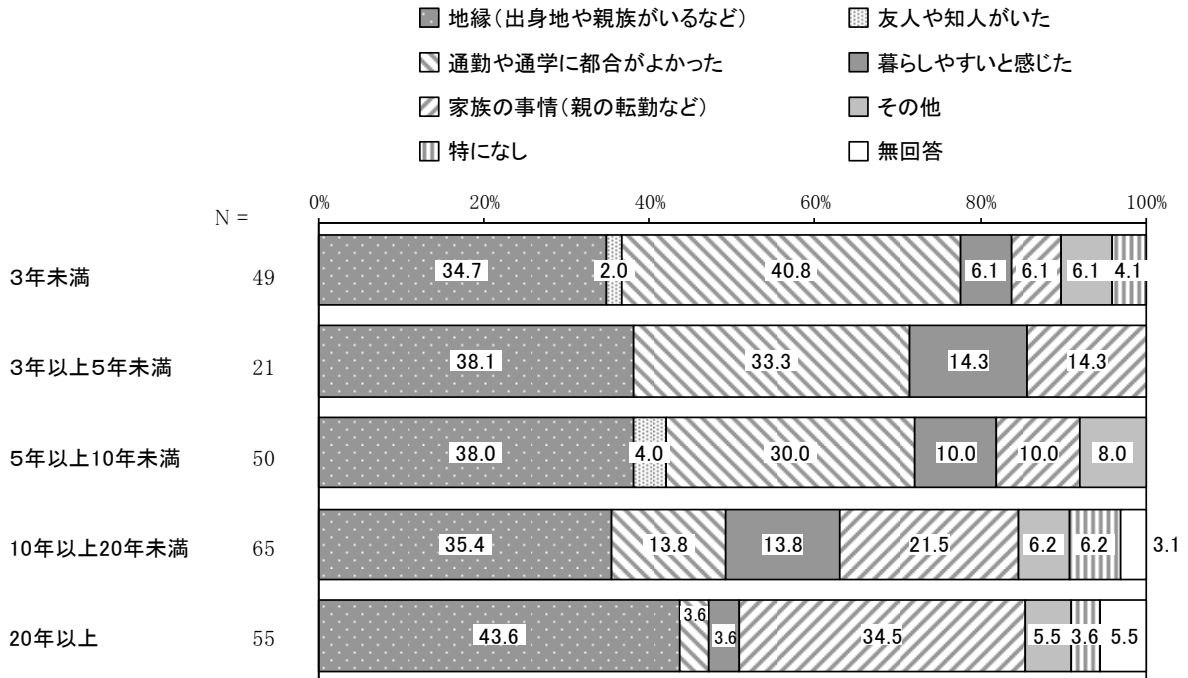
### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、20 歳代で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、約 3 割となっています。



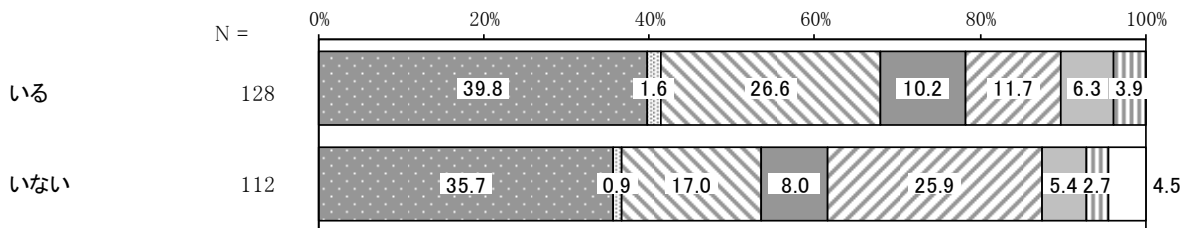
### 【居住年数別】

居住年数別でみると、年数が短くなるにつれ「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっており、3年未満で約4割となっています。また、他に比べ、20年以上で「地縁（出身地や親族がいるなど）」「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



### 【子どもの有無別】

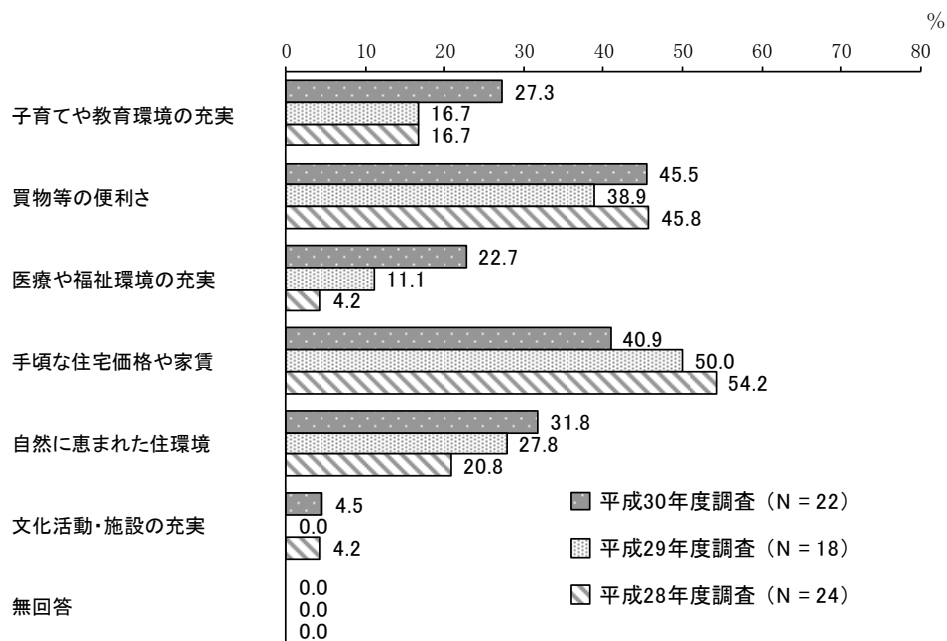
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



## 暮らしやすいと感じた理由

「買物等の便利さ」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 40.9%、「自然に恵まれた住環境」の割合が 31.8%となっています。

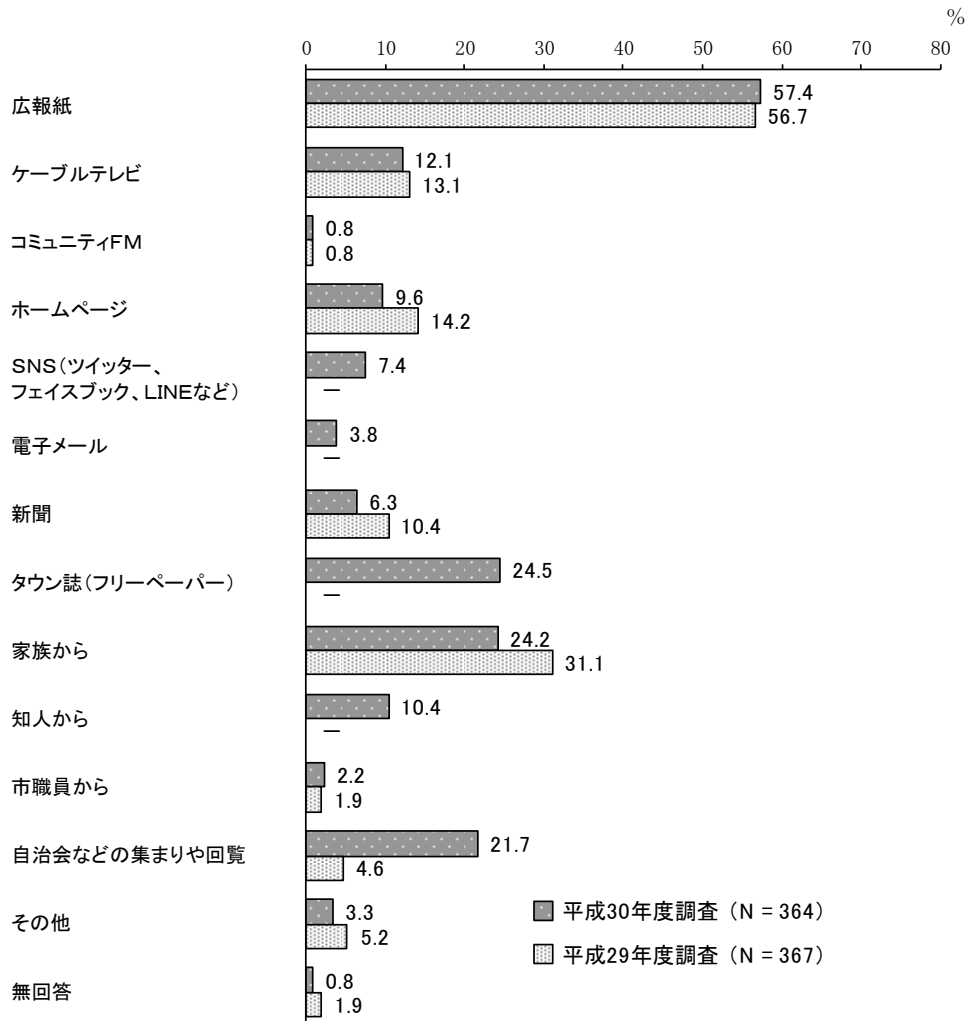
平成 28 年度調査と比較すると、「子育てや教育環境の充実」「医療や福祉環境の充実」「自然に恵まれた住環境」の割合が増加しています。一方、「手頃な住宅価格や家賃」の割合が減少しています。



問11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。

「広報紙」の割合が57.4%と最も高く、次いで「タウン誌(フリーペーパー)」の割合が24.5%、「家族から」の割合が24.2%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「自治会などの集まりや回覧」の割合が増加しています。



※平成29年度調査には「SNS(ツイッター、フェイスブック、LINEなど)」「電子メール」「タウン誌(フリーペーパー)」「知人から」の選択肢はありませんでした。

### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「家族から」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「広報紙」「ホームページ」「タウン誌（フリーペーパー）」「自治会などの集まりや回覧」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	142	52.1	10.6	—	6.3	9.9	2.1	5.6	12.0	31.0	10.6	2.1	17.6	6.3	0.7
女性	221	61.1	13.1	1.4	11.8	5.9	5.0	6.8	32.6	19.9	10.0	2.3	24.4	1.4	0.9

### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「広報紙」「タウン誌（フリーペーパー）」「自治会などの集まりや回覧」の割合が、年代が低くなるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。

単位：％

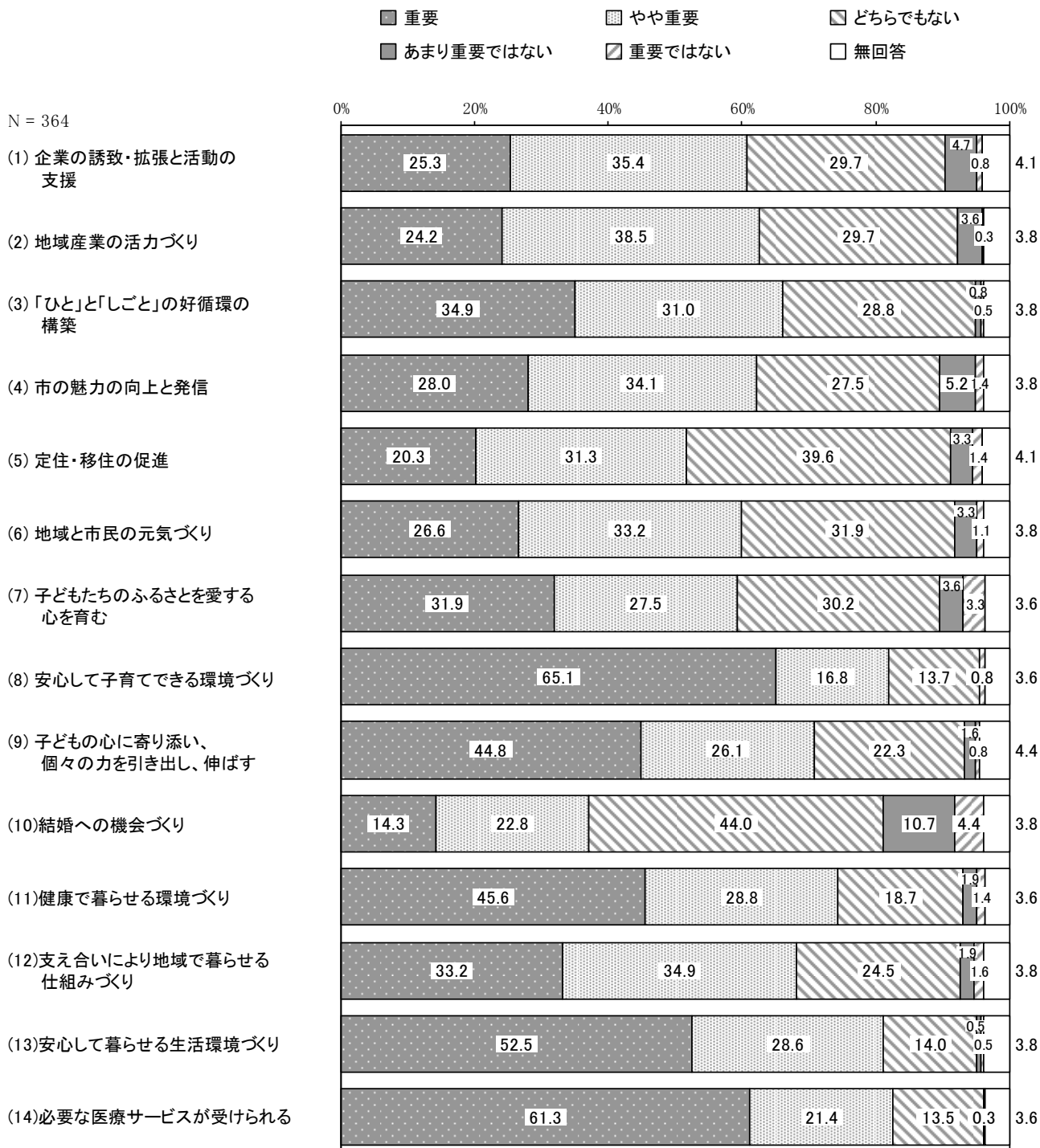
区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（ツイッター、フェイスブック、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	61	32.8	16.4	—	1.6	11.5	1.6	4.9	6.6	45.9	6.6	1.6	13.1	1.6	1.6
20歳代	88	48.9	13.6	1.1	12.5	12.5	1.1	10.2	21.6	29.5	8.0	4.5	14.8	4.5	—
30歳代	214	68.2	10.3	0.9	10.7	4.2	5.6	5.1	30.8	15.9	12.1	1.4	27.1	3.3	0.9

### (3) 施策の重要度と満足度について

問 12 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。  
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

#### ① 重要度

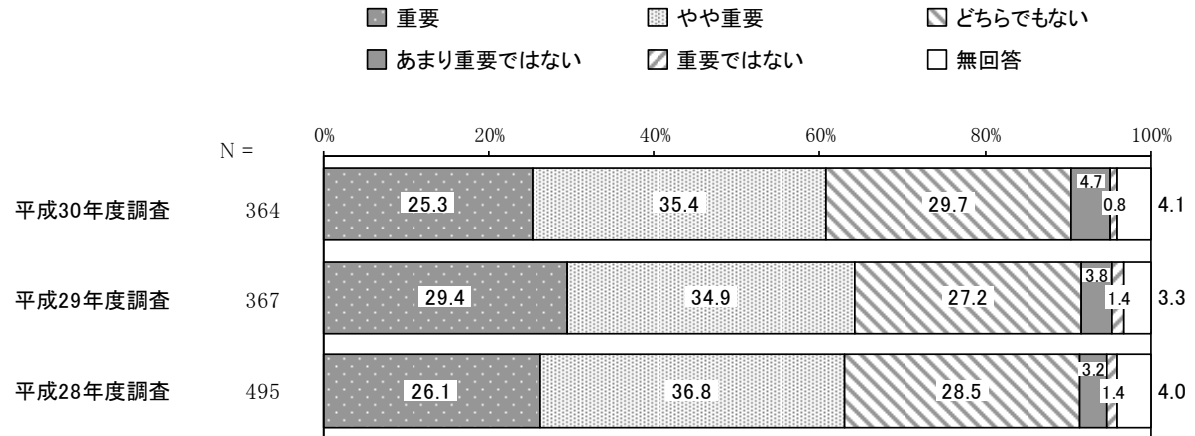
『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で“重要”の割合が高くなっています。





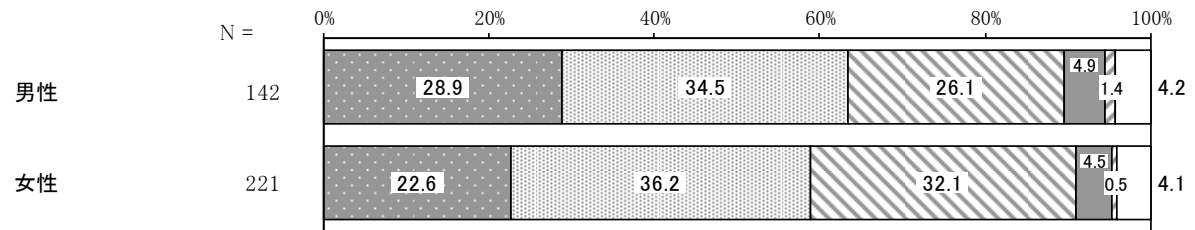
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

“重要”の割合が60.7%、“重要ではない”の割合が5.5%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



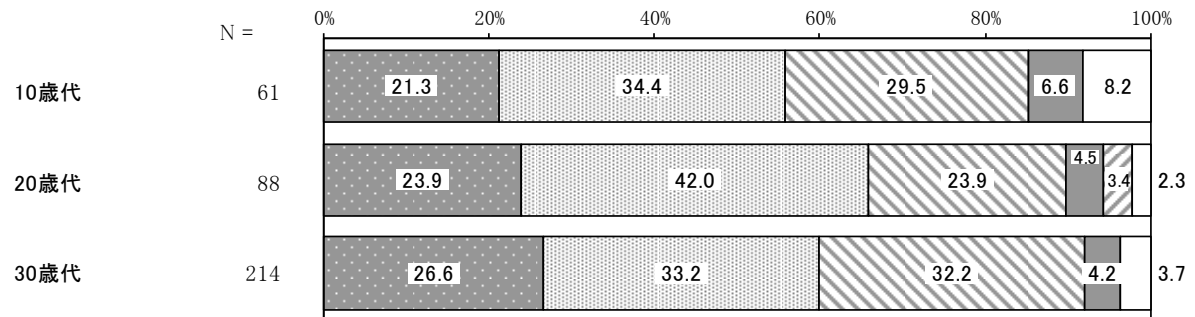
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高くなっています。



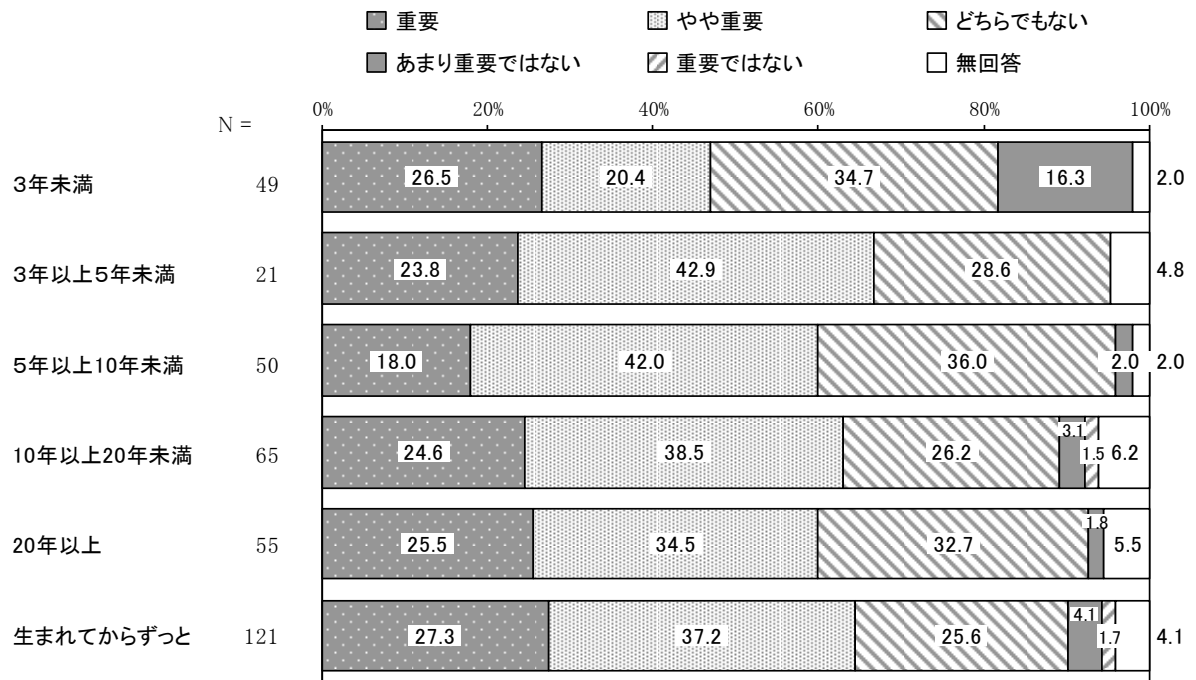
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



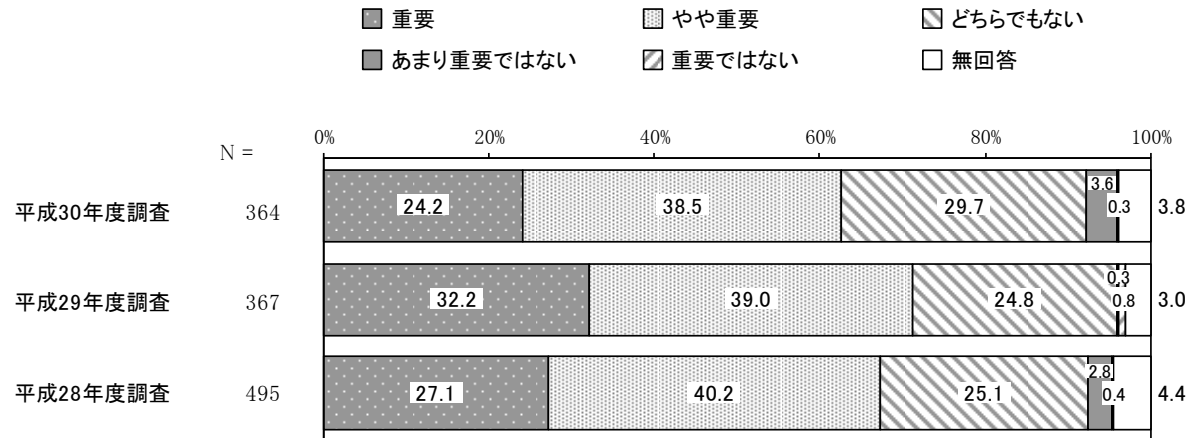
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で“重要ではない”の割合が高くなっています。



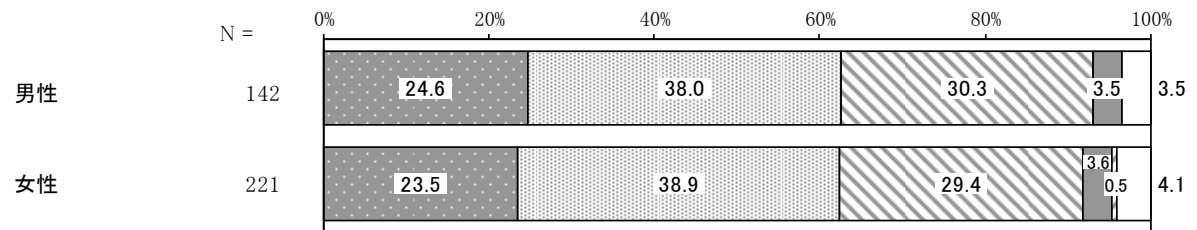
(2) 地域産業の活力づくり

“重要”の割合が62.7%、“重要ではない”の割合が3.9%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



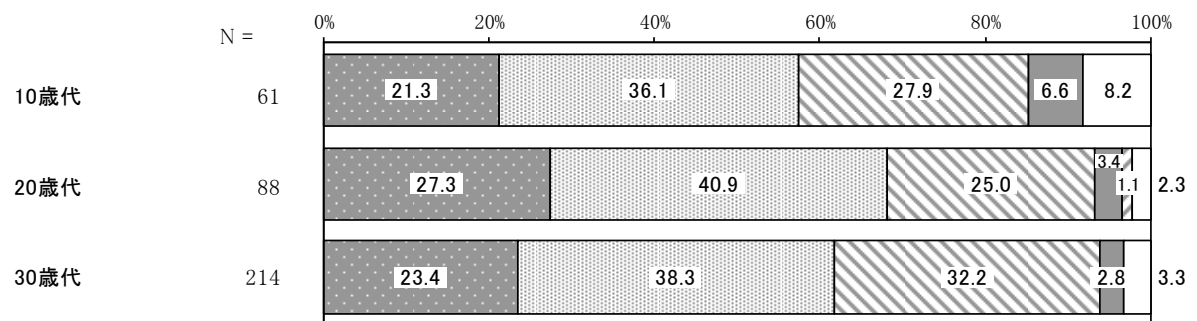
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



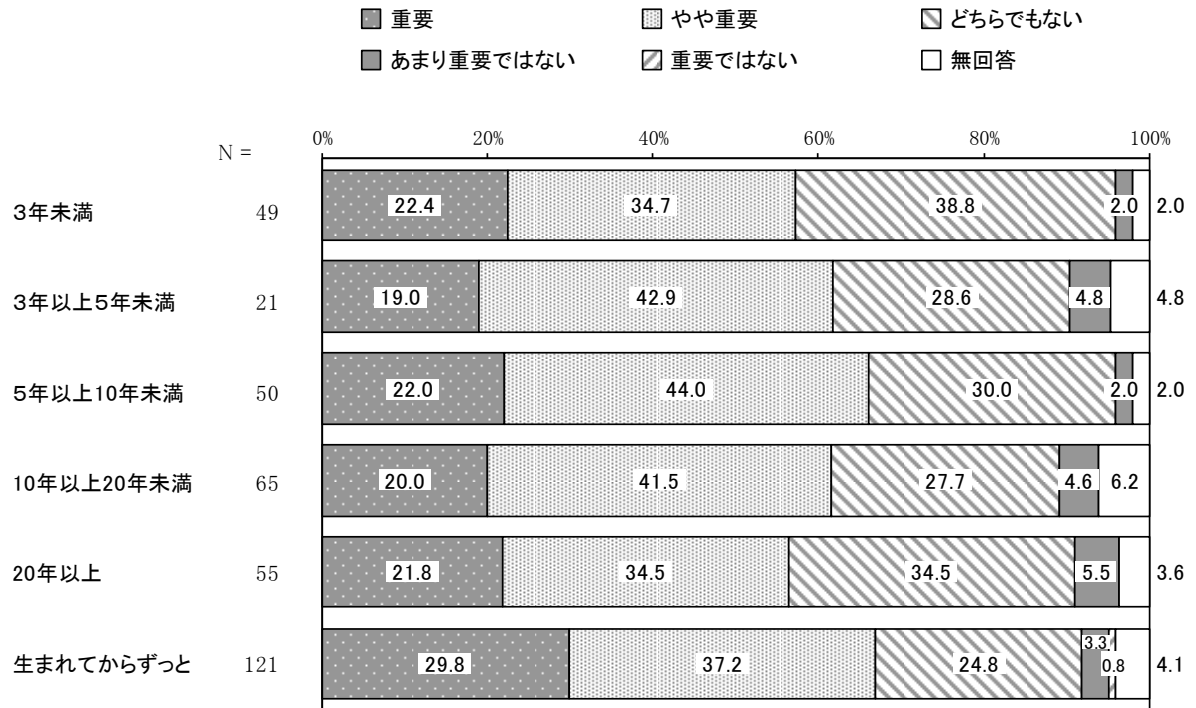
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



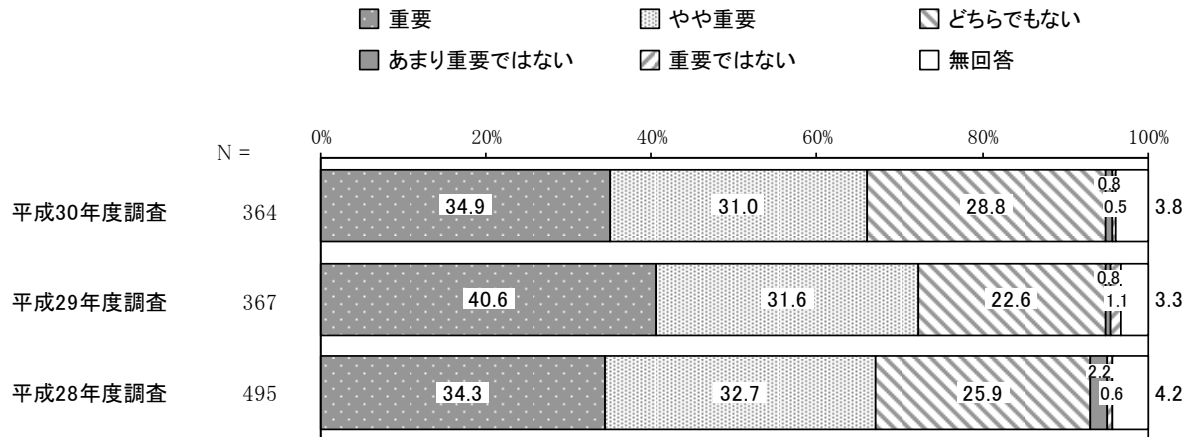
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



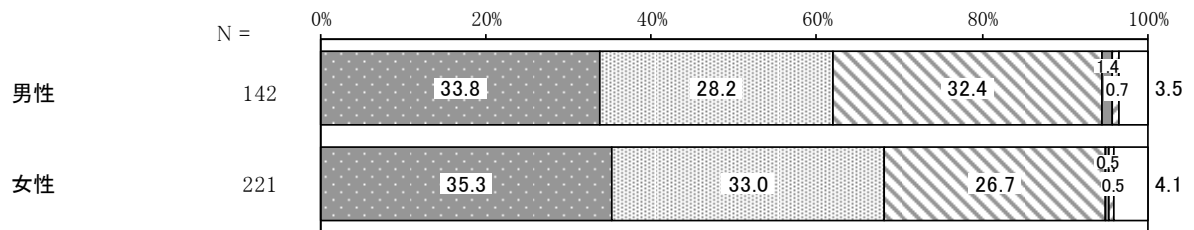
### (3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

“重要”の割合が65.9%、“重要ではない”の割合が1.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



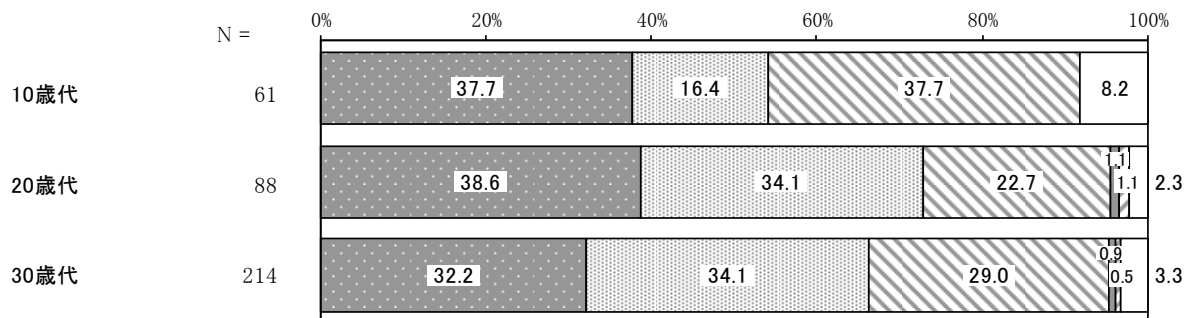
#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



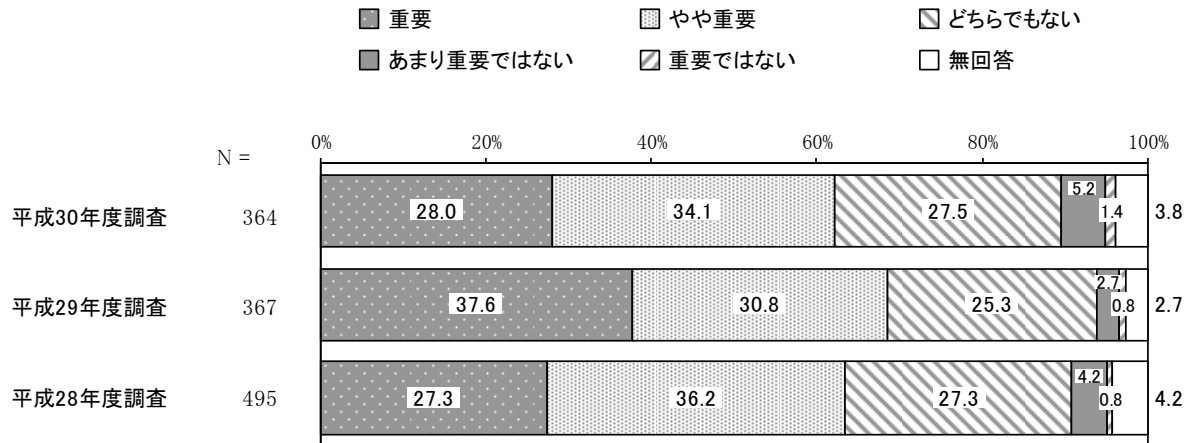
#### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



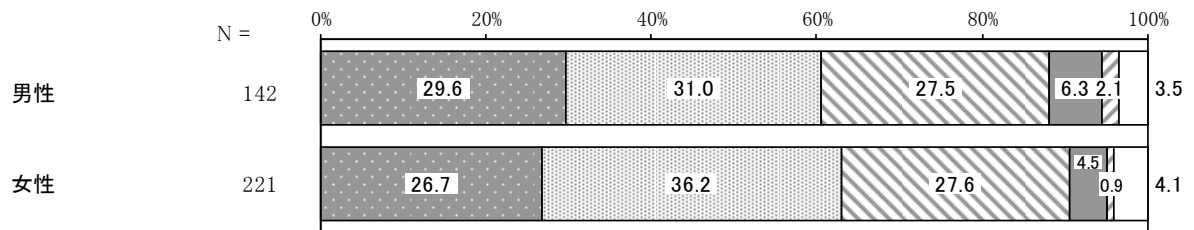
(4) 市の魅力の向上と発信

“重要”の割合が62.1%、“重要ではない”の割合が6.6%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



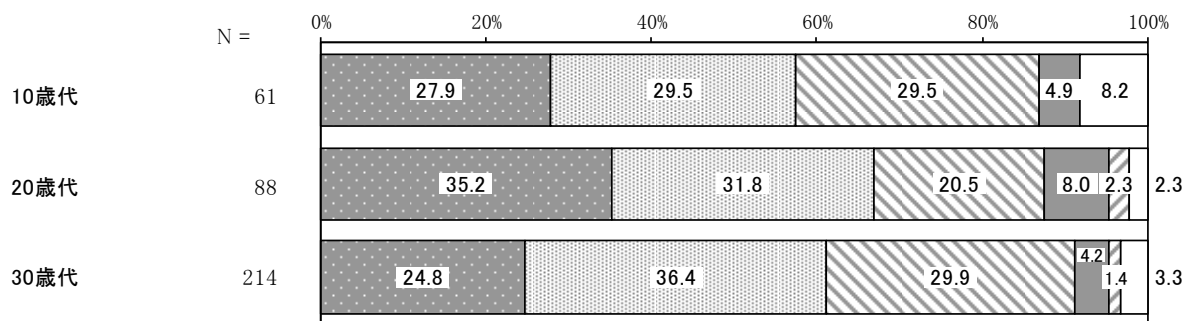
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



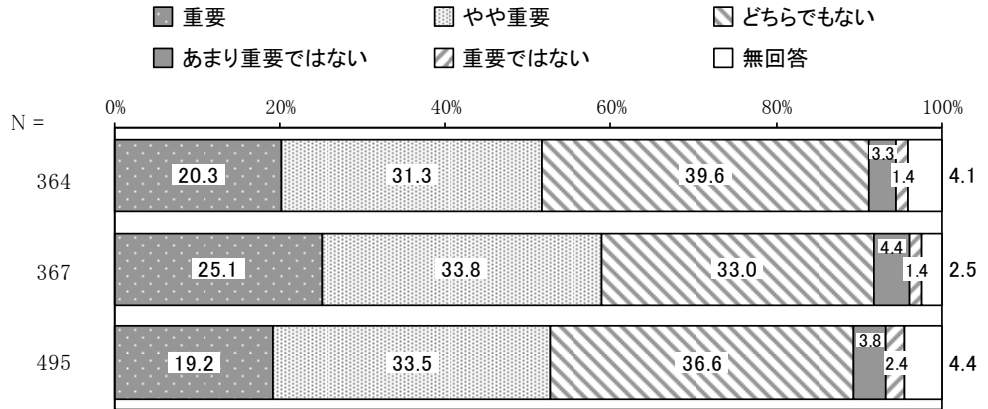
【年代別】

年代でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



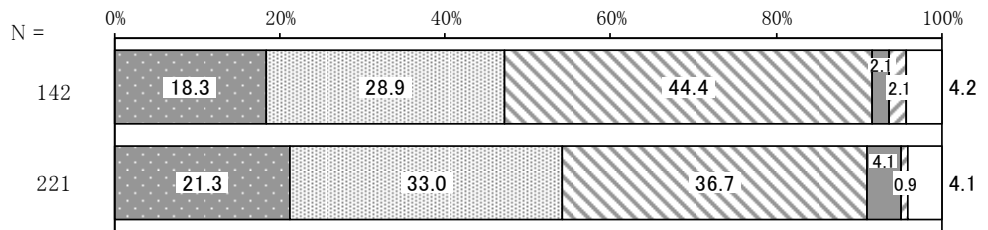
(5) 定住・移住の促進

“重要”の割合が51.6%、“重要ではない”の割合が4.7%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



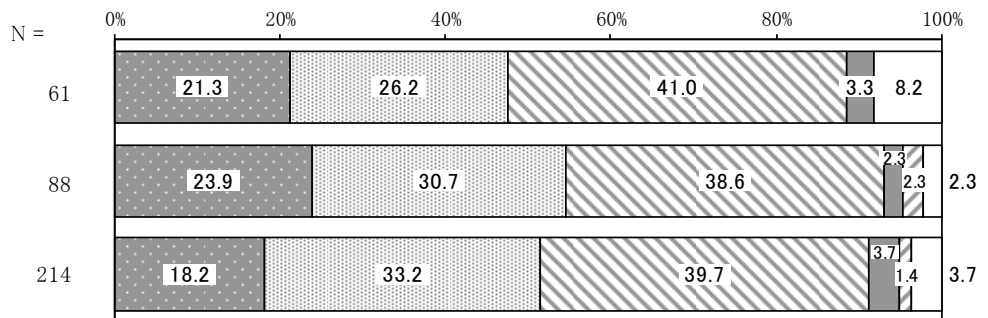
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



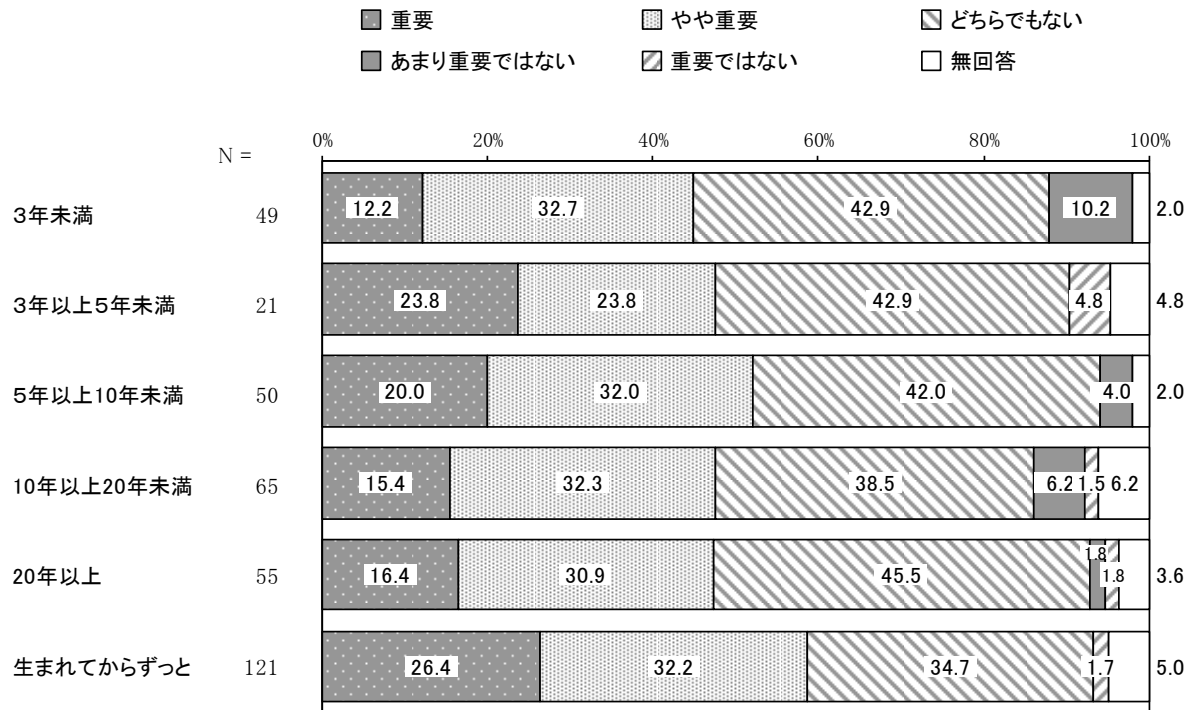
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



### 【居住年数別】

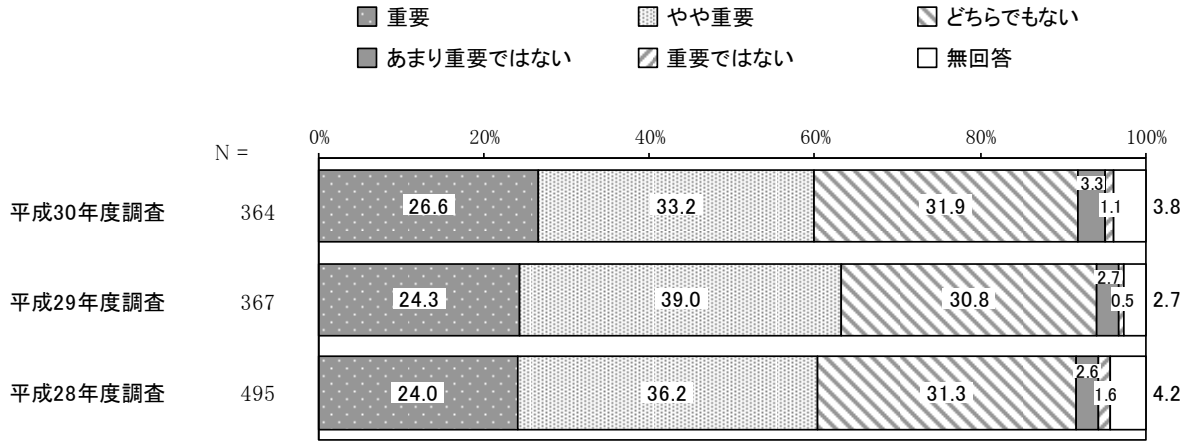
居住年数別で見ると、他に比べ、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約6割となっています。





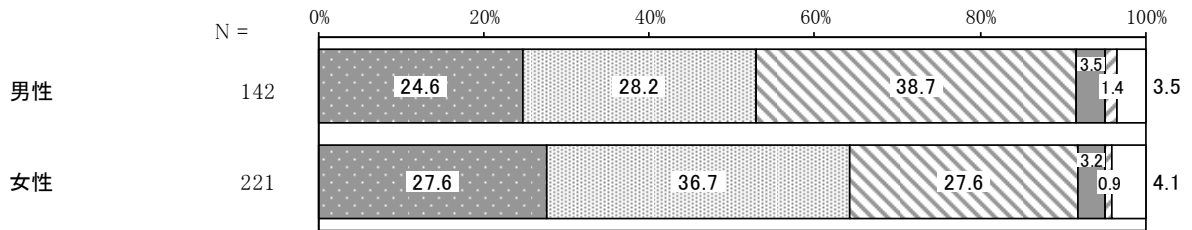
(6) 地域と市民の元気づくり

“重要”の割合が59.8%、“重要ではない”の割合が4.4%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



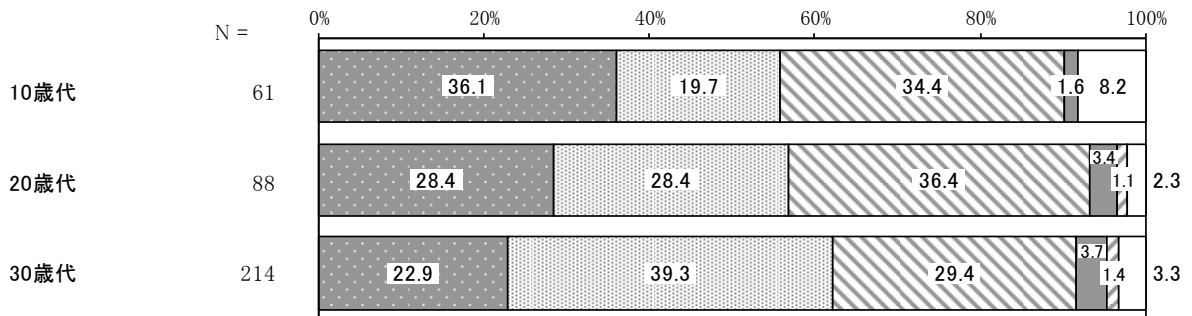
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



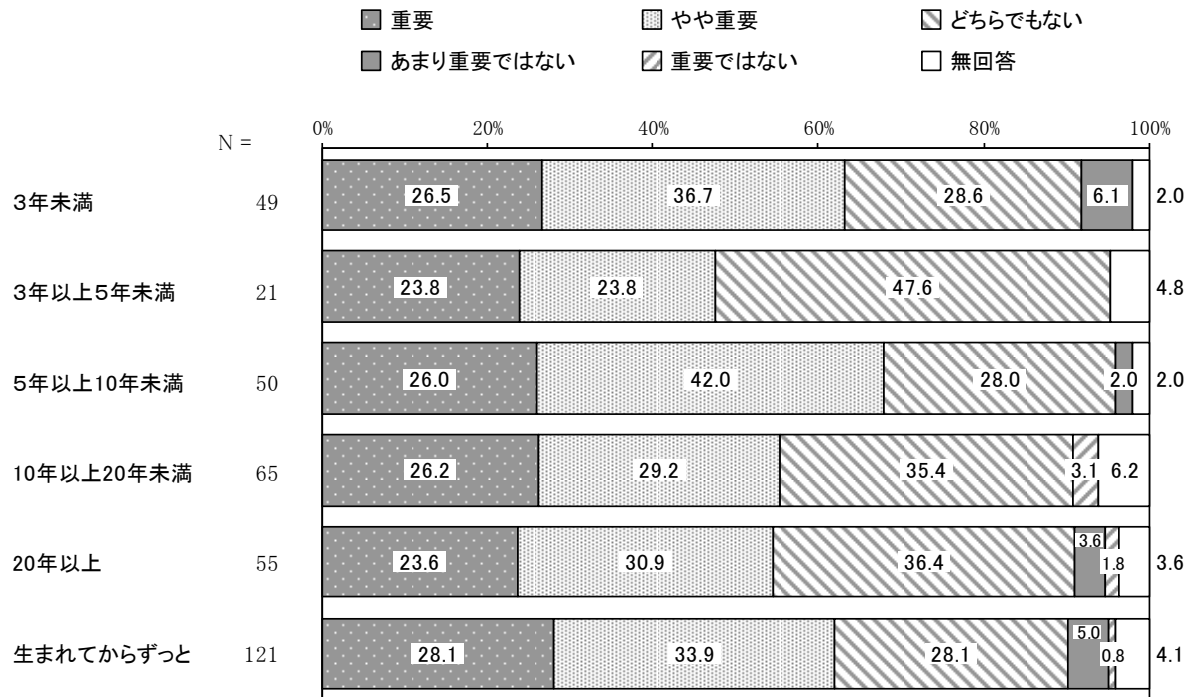
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっており、30歳代で約6割となっています。



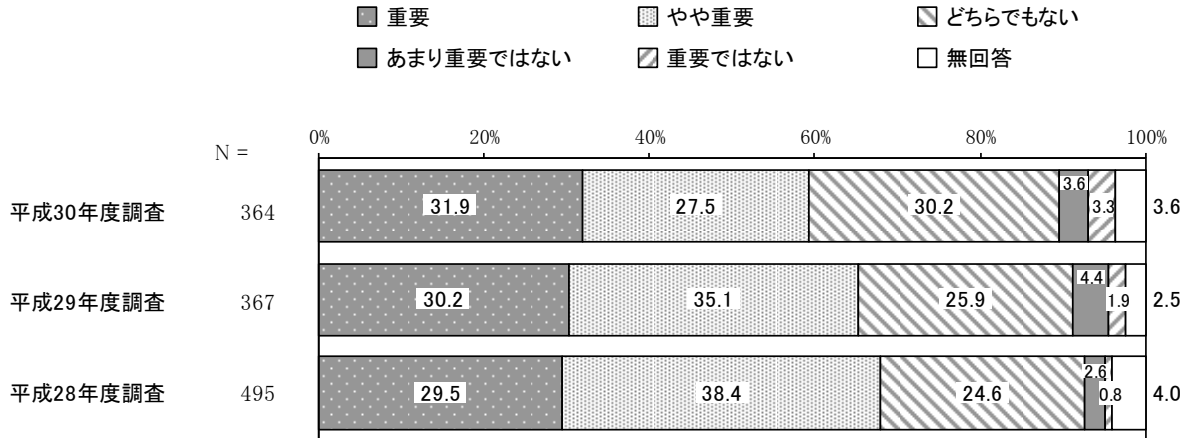
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



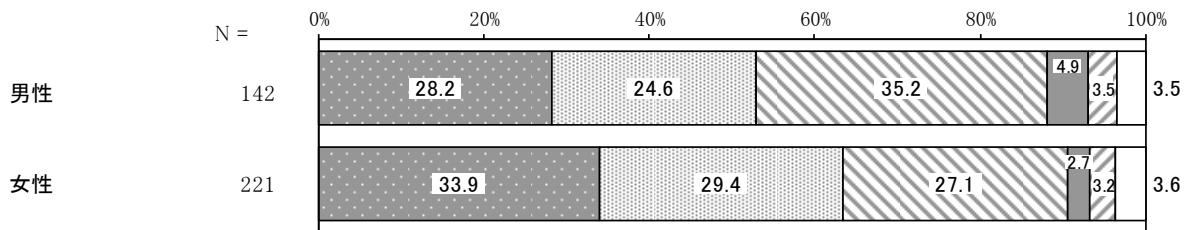
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

“重要”の割合が59.4%、“重要ではない”の割合が6.9%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、“重要”の割合が減少しています。



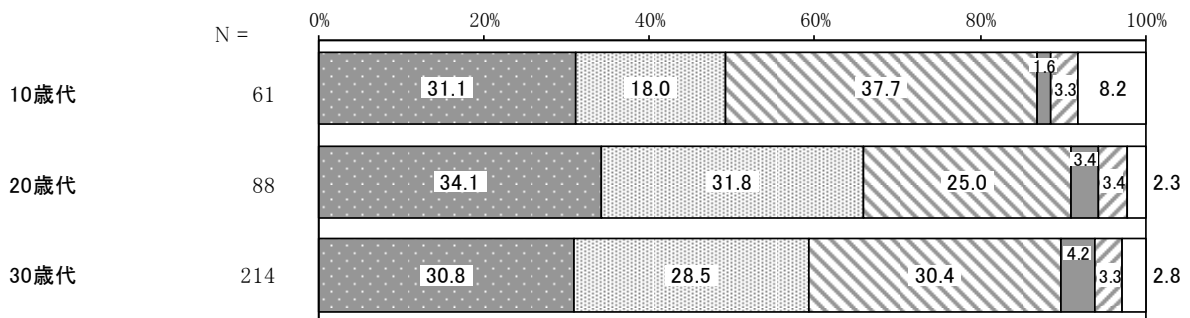
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



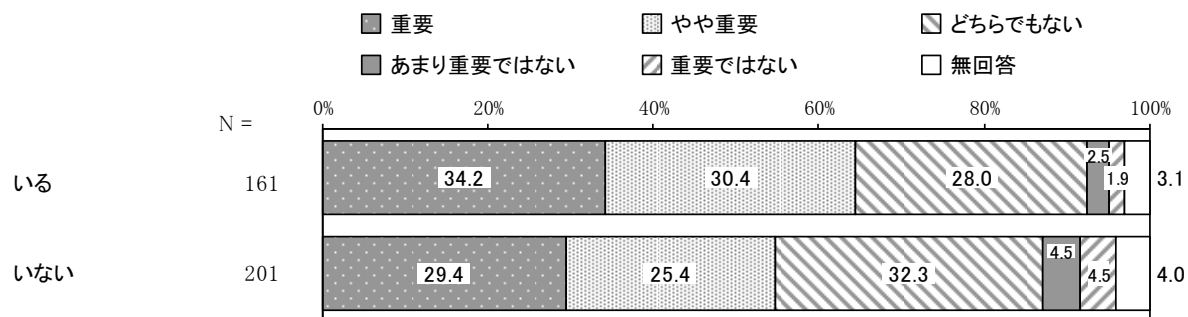
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



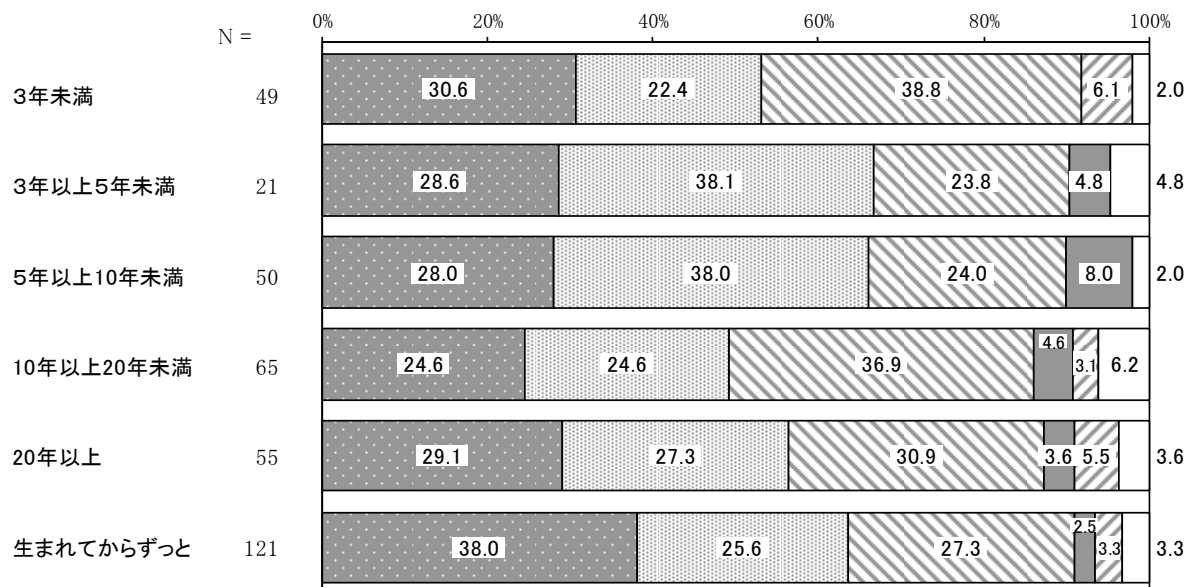
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



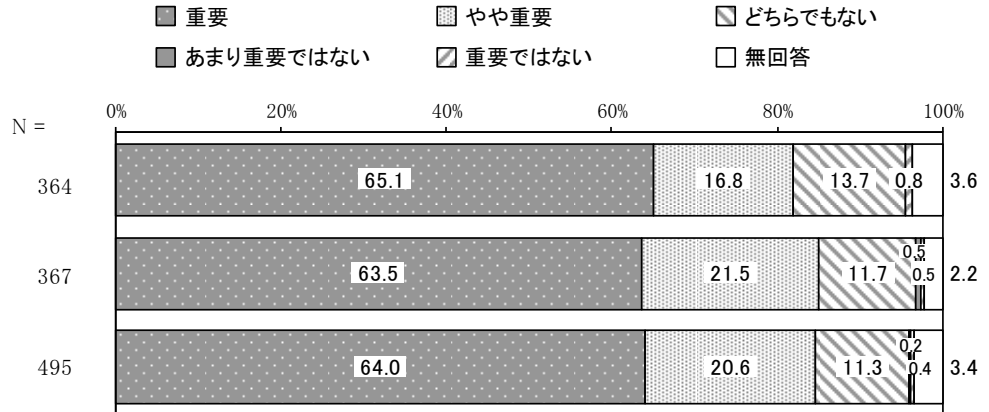
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、『3年以上5年未満』『5年以上10年未満』をあわせた“3年以上10年未満”で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



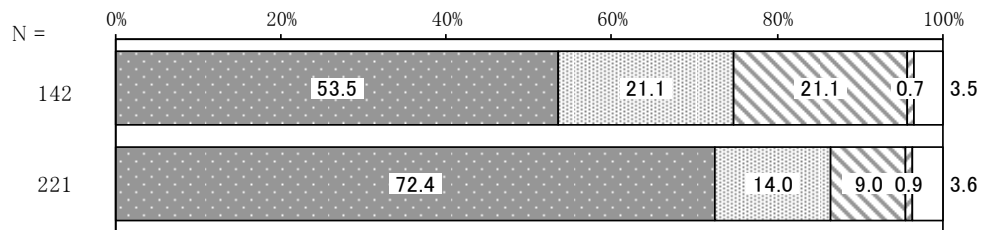
(8) 安心して子育てできる環境づくり

“重要”の割合が81.9%、“重要ではない”の割合が0.8%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



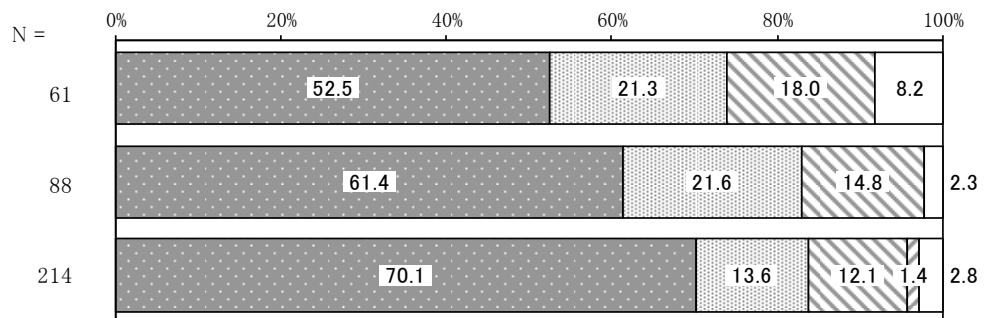
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



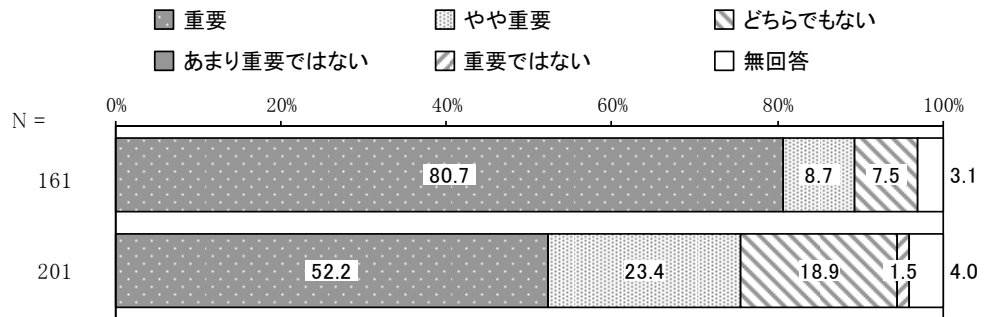
【年代別】

年代別でみると、10歳代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



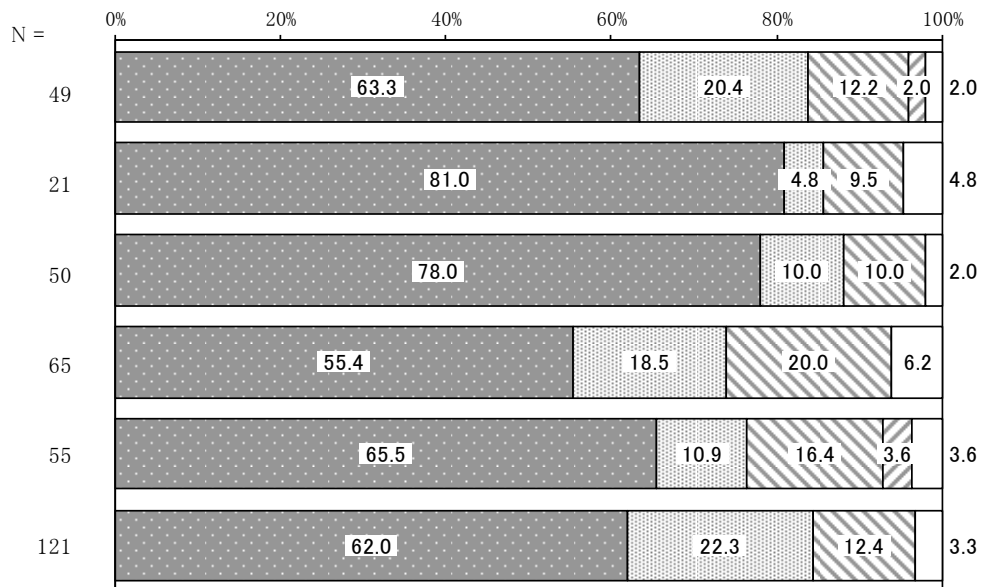
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



### 【居住年数別】

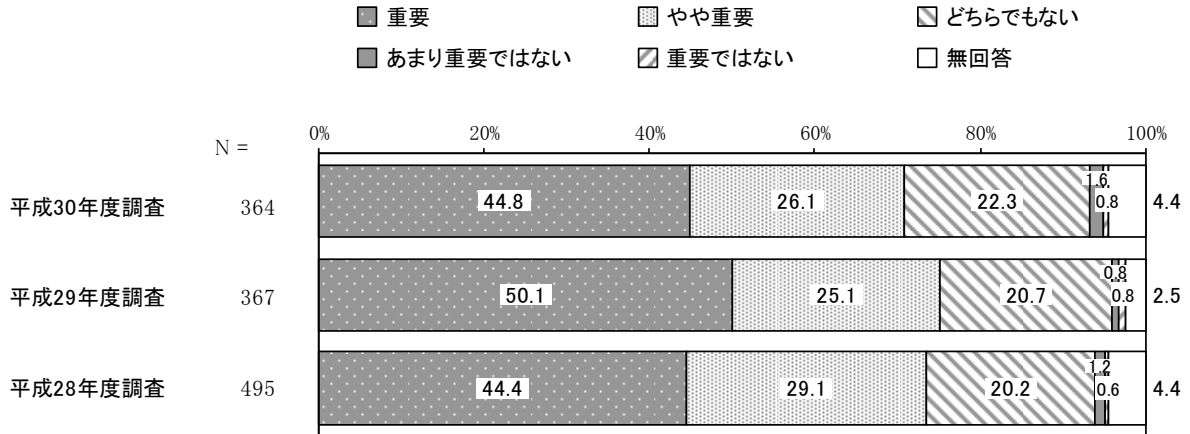
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

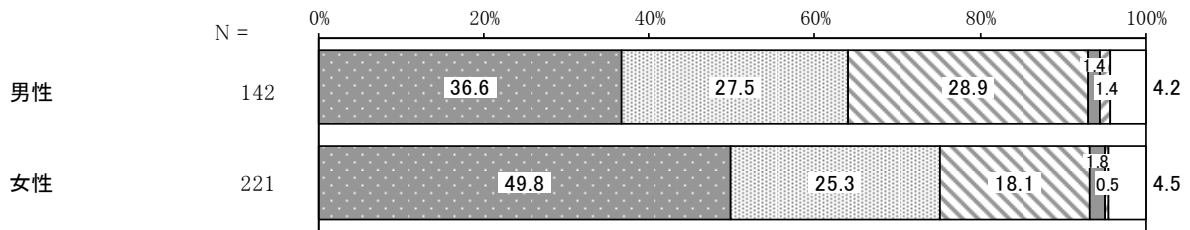
“重要”の割合が70.9%、“重要ではない”の割合が2.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



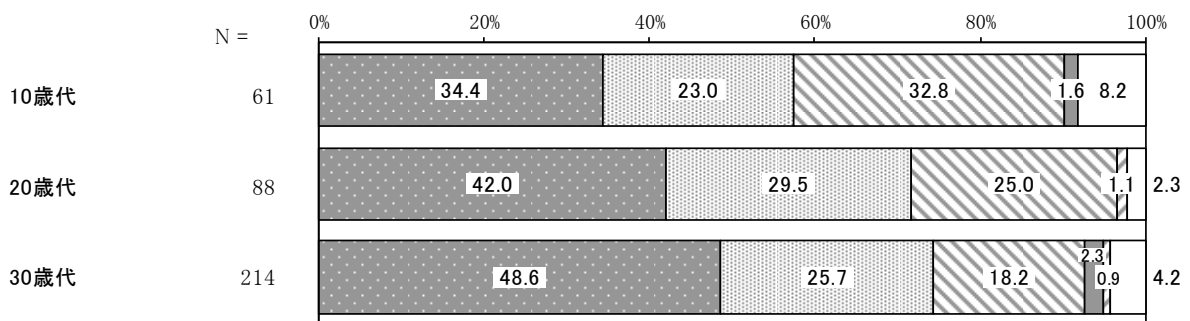
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



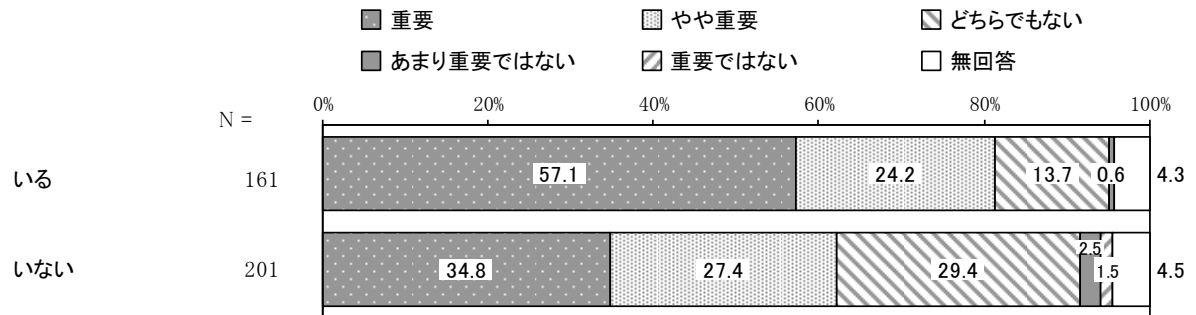
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高く、30歳代で7割台半ばとなっています。



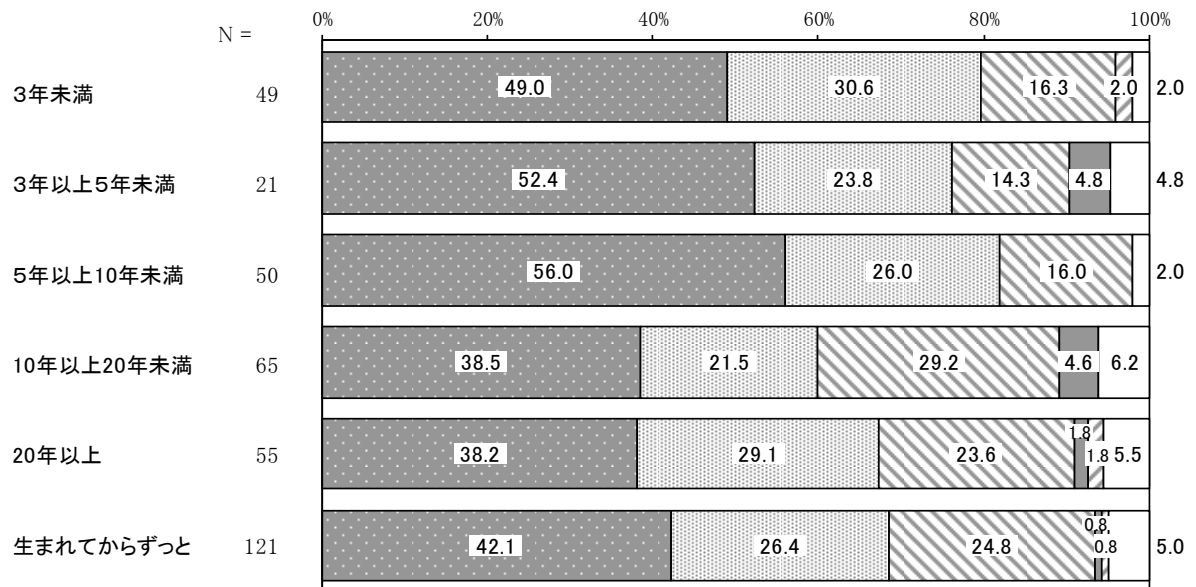
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



### 【居住年数別】

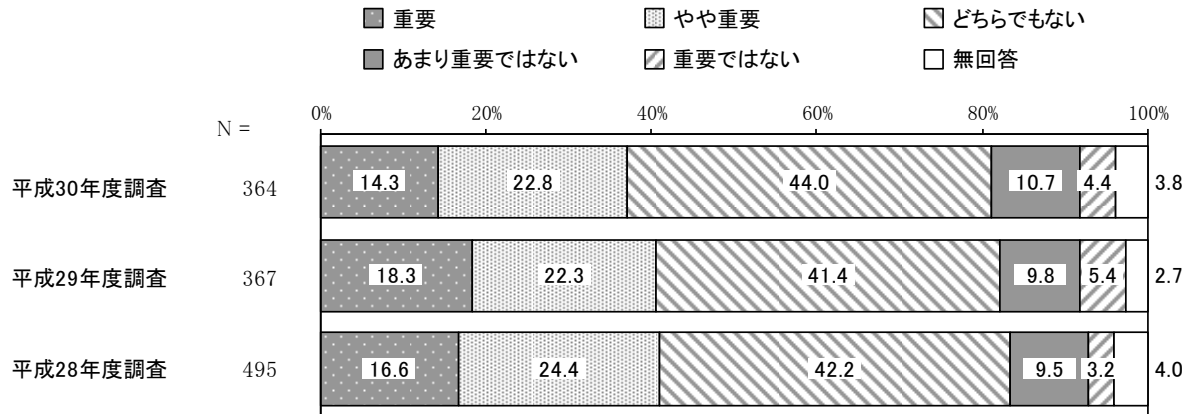
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。





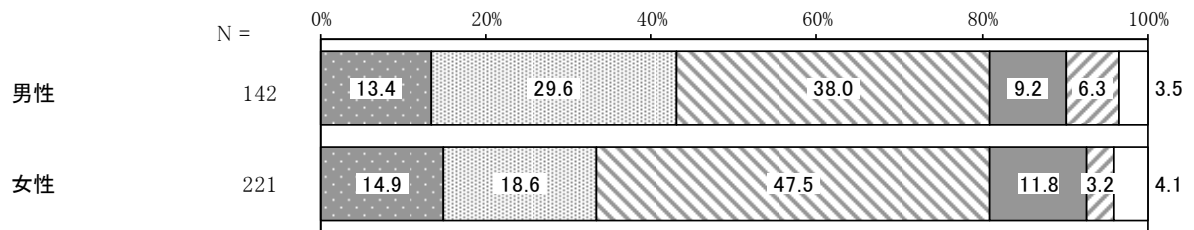
(10) 結婚への機会づくり

“重要”の割合が37.1%、“重要ではない”の割合が15.1%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



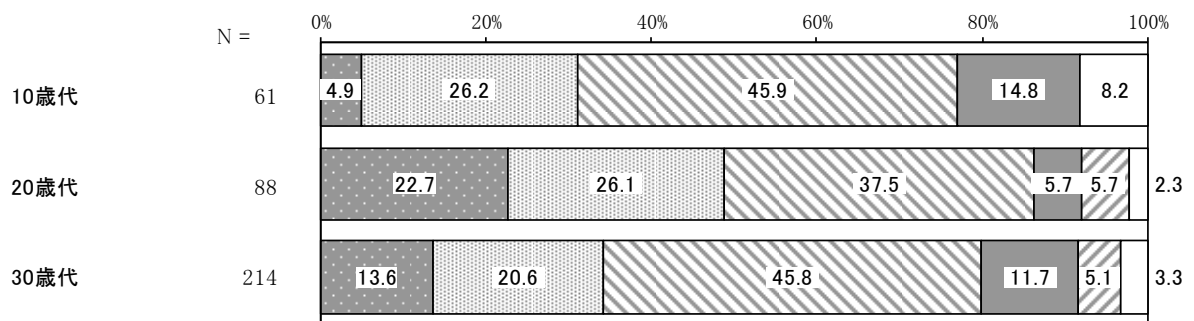
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、約4割となっています。



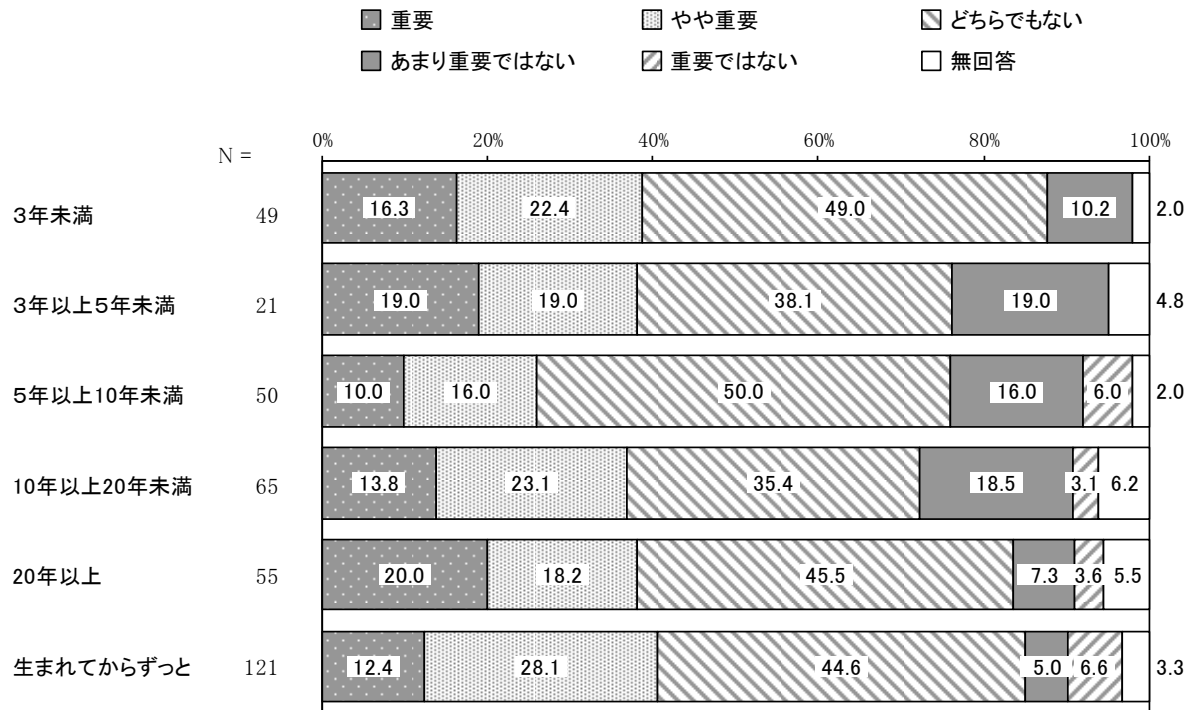
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



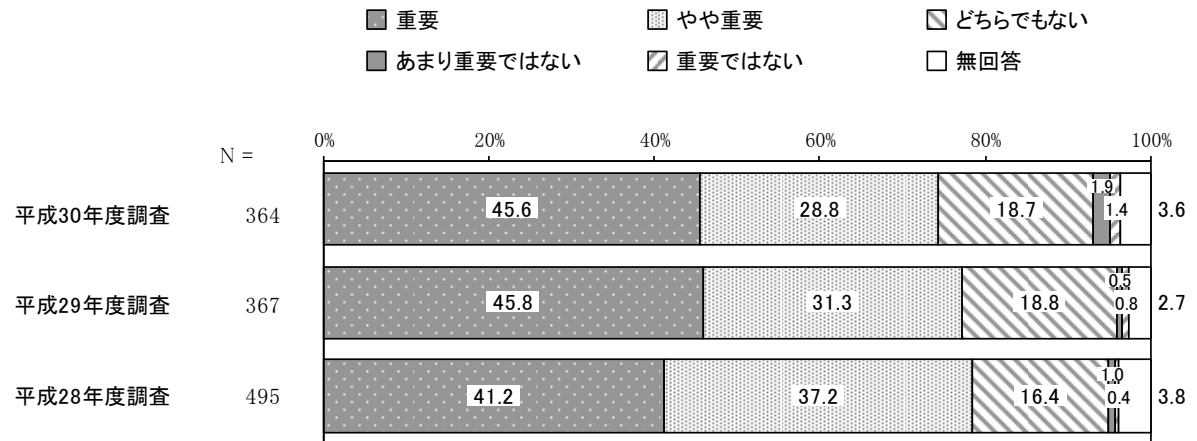
## 【居住年数別】

居住年数別でみると、『3年以上5年未満』『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』をあわせた“3年以上20年未満”で“重要ではない”の割合が高く、約2割となっています。



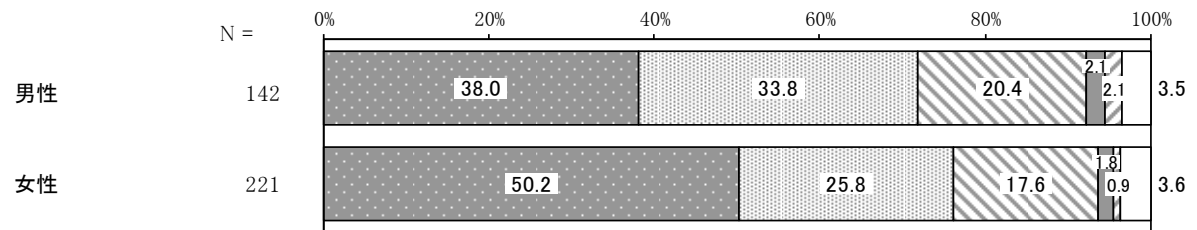
(11) 健康で暮らせる環境づくり

“重要”の割合が74.4%、“重要ではない”の割合が3.3%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



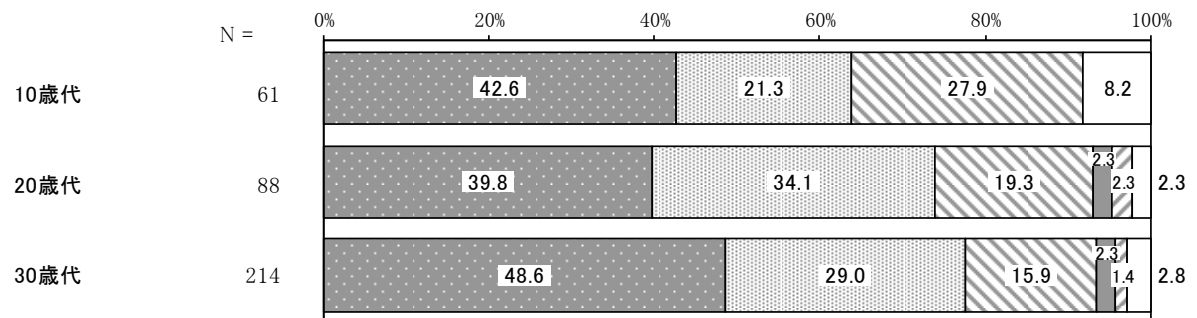
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



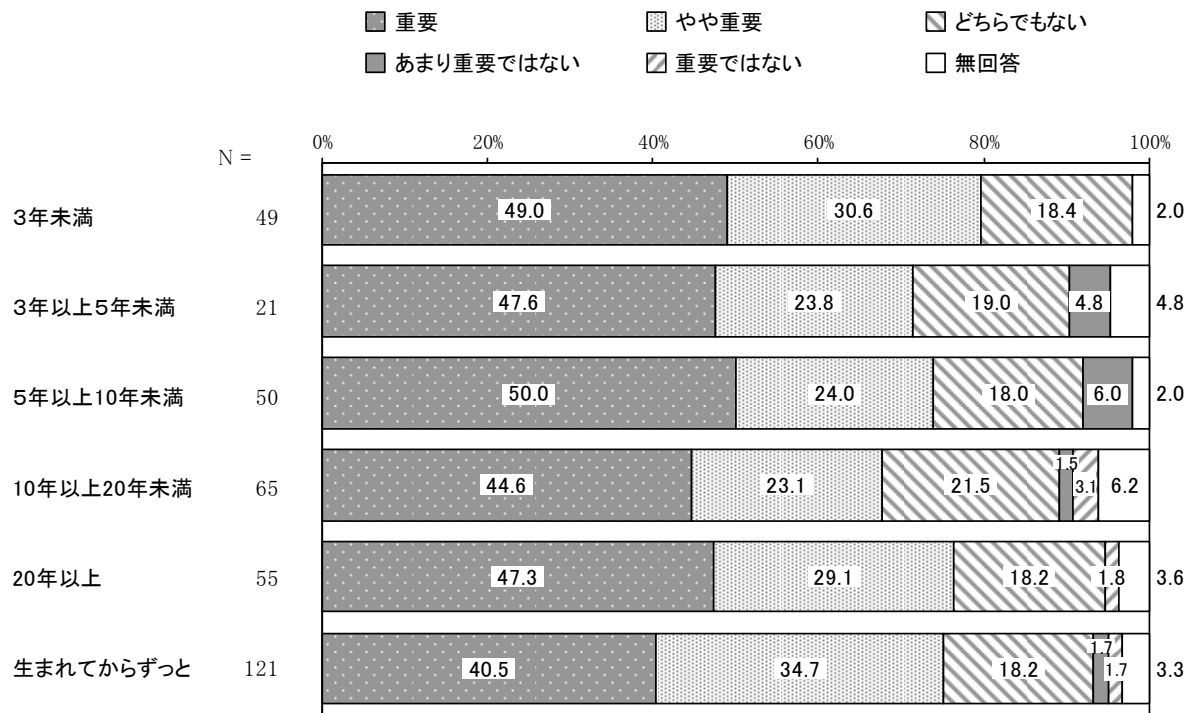
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっており、30歳代で約8割となっています。



### 【居住年数別】

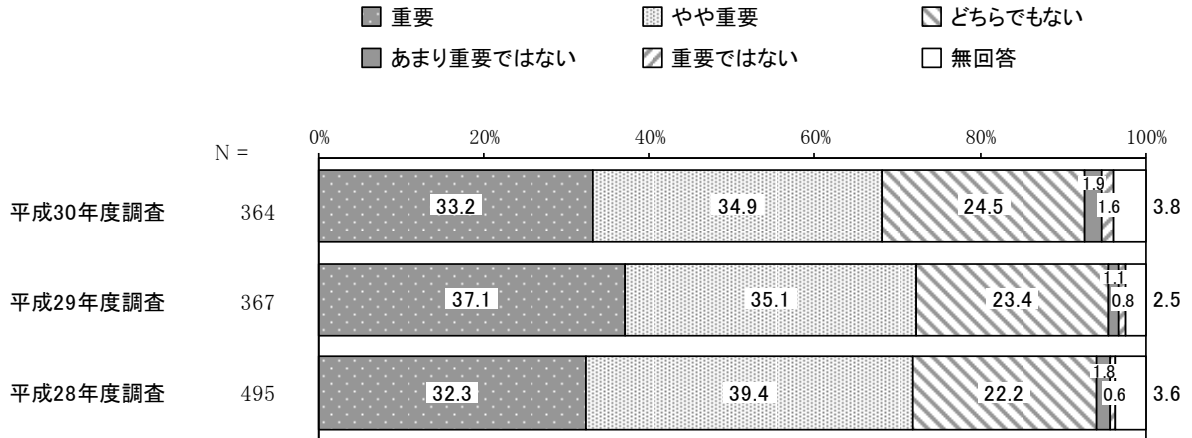
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

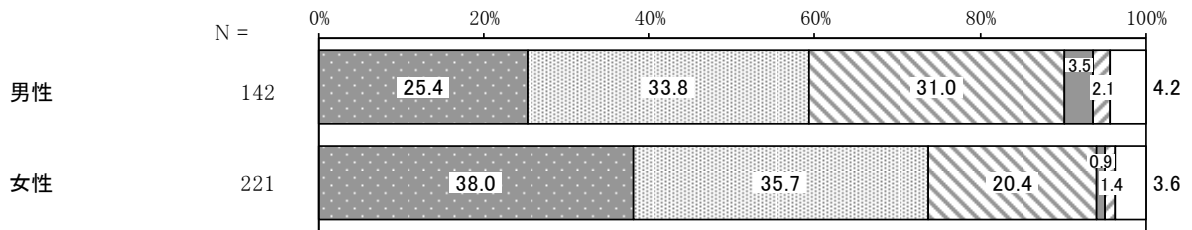
“重要”の割合が68.1%、“重要ではない”の割合が3.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



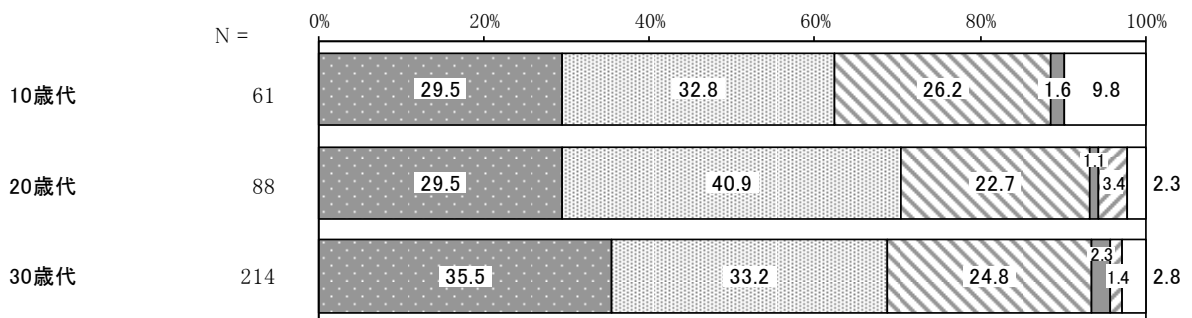
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



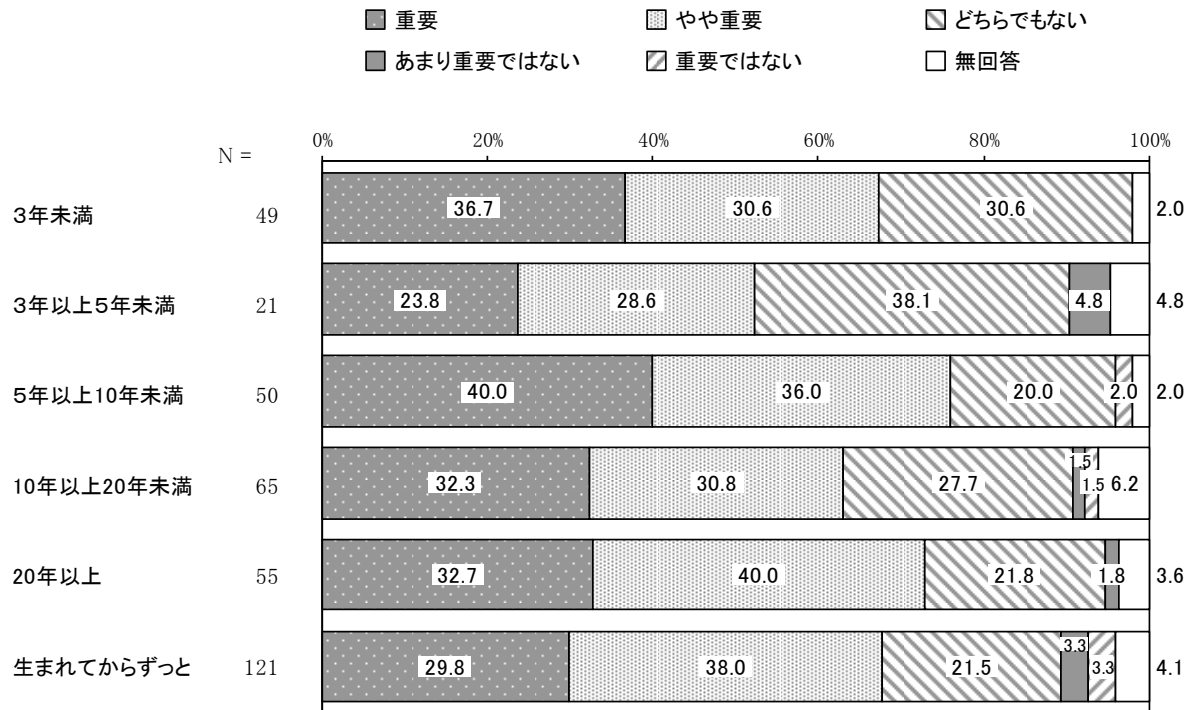
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が低く、約6割となっています。



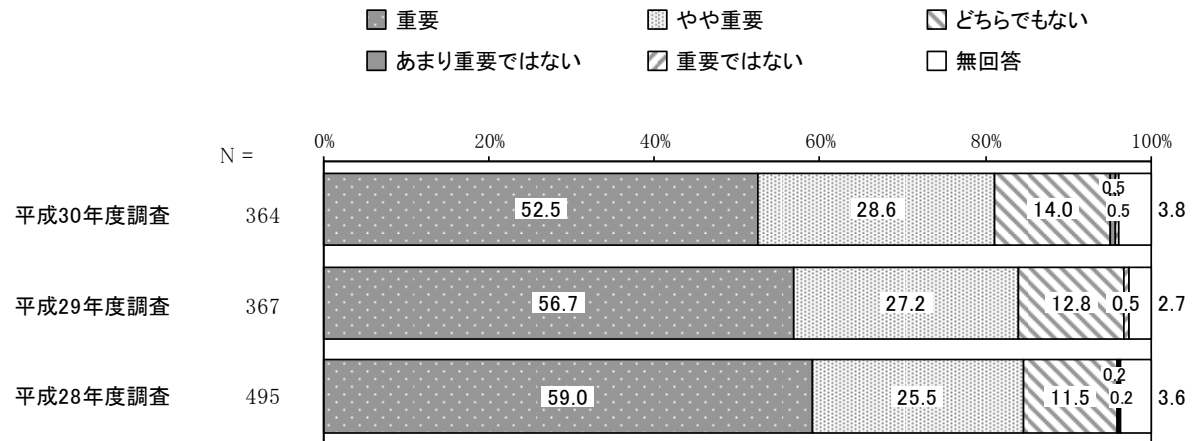
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



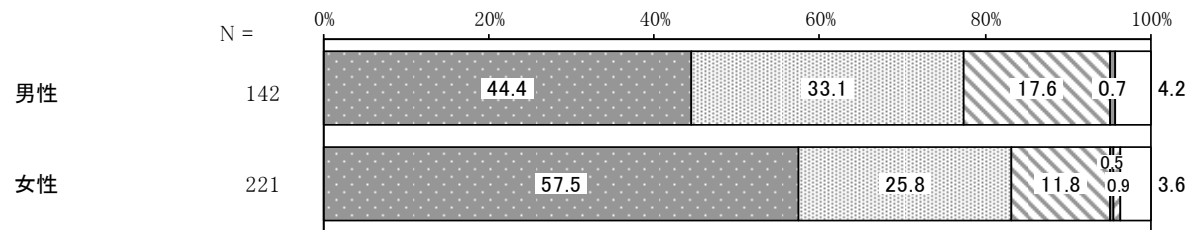
(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

“重要”の割合が81.1%、“重要ではない”の割合が1.0%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、「重要」の割合が減少しています。



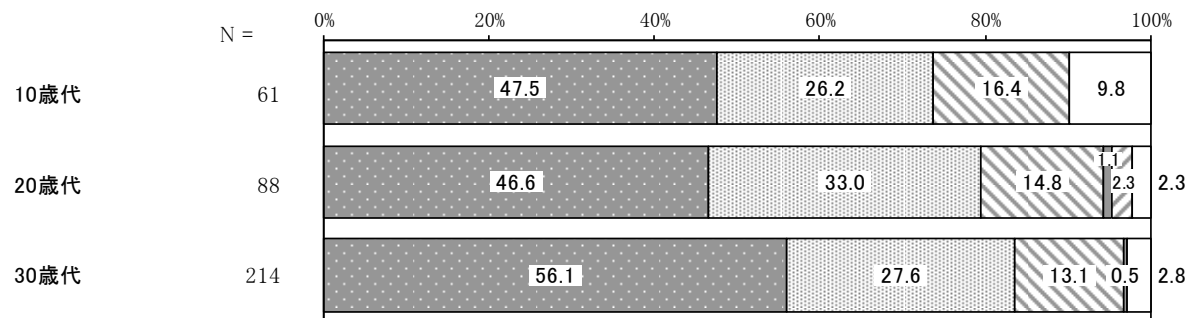
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



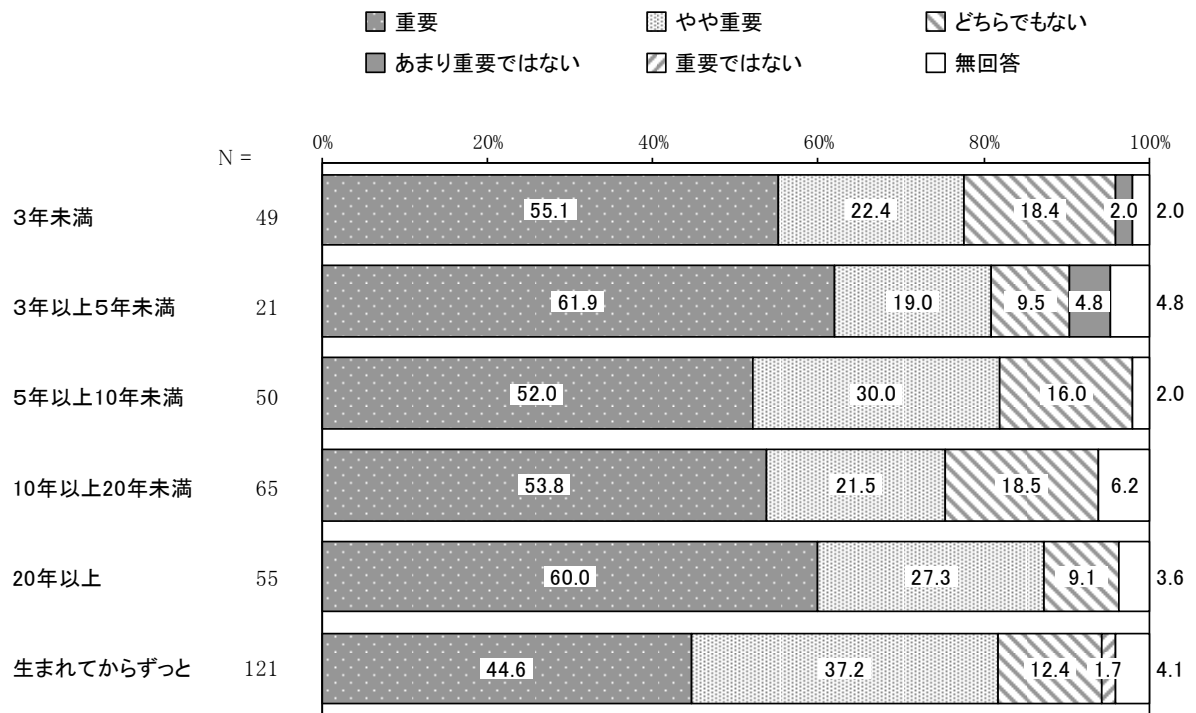
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“重要”の割合が高くなっており、30歳代で8割を超えています。



### 【居住年数別】

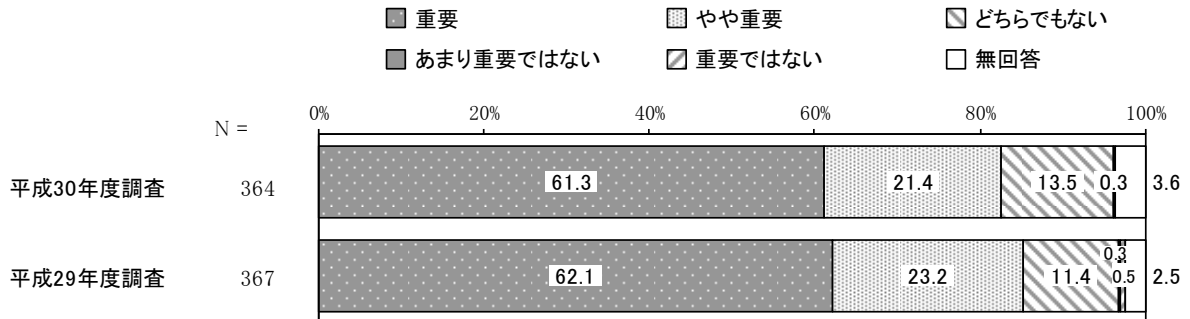
居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約9割となっています。





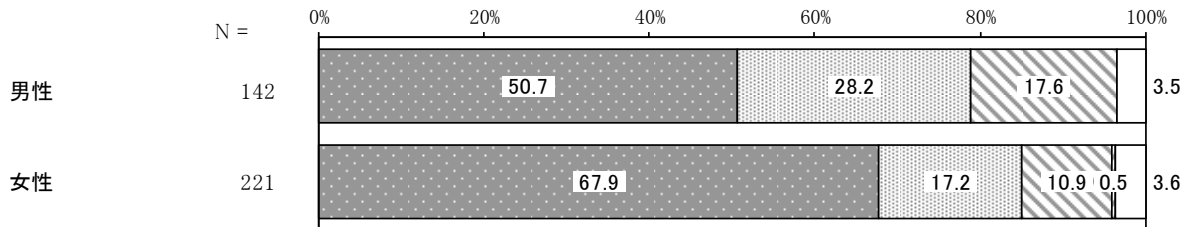
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が82.7%、“重要ではない”の割合が0.3%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



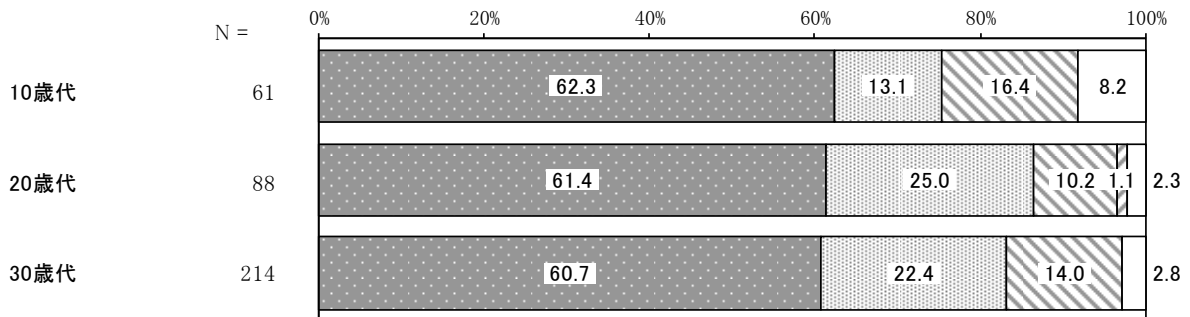
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



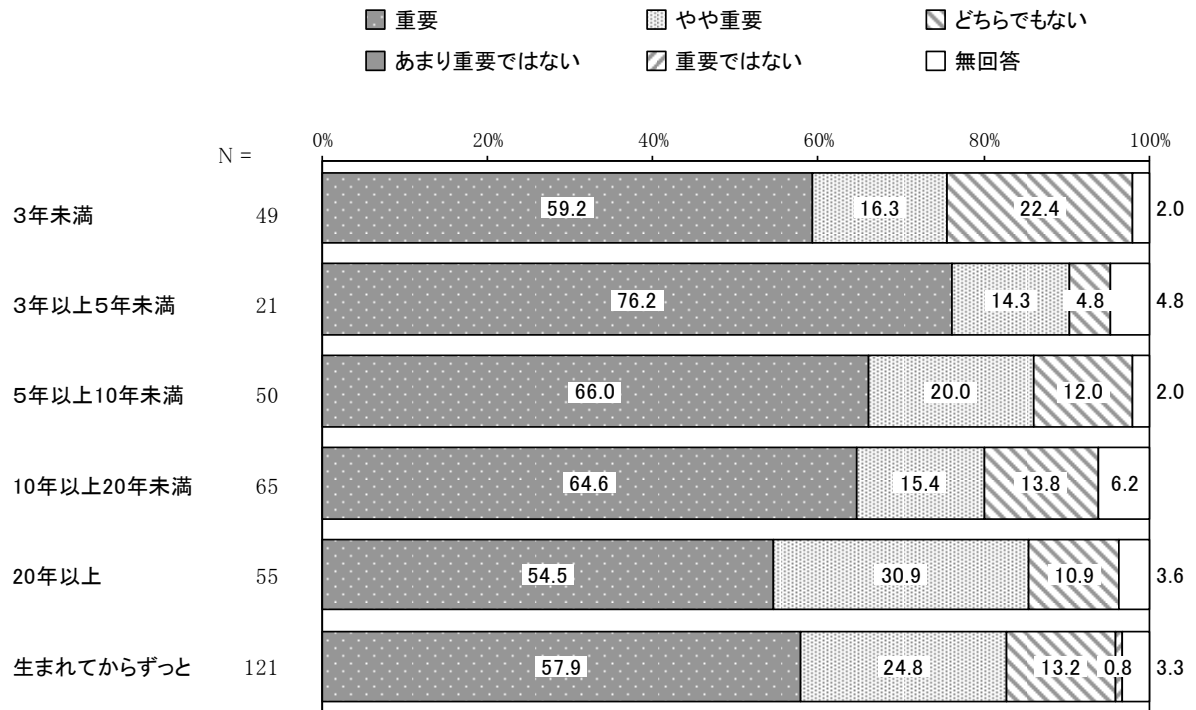
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



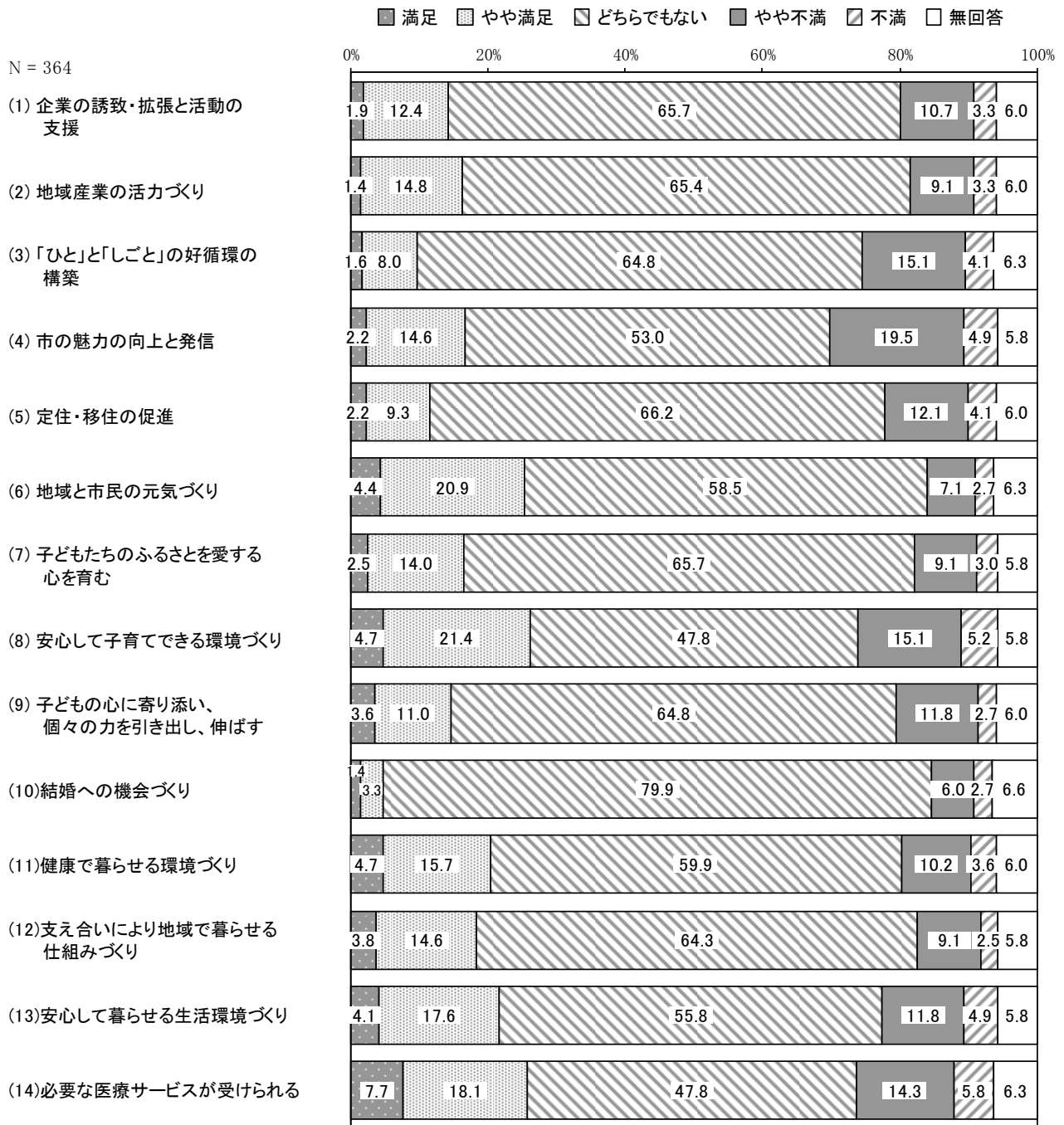
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



## ② 満足度

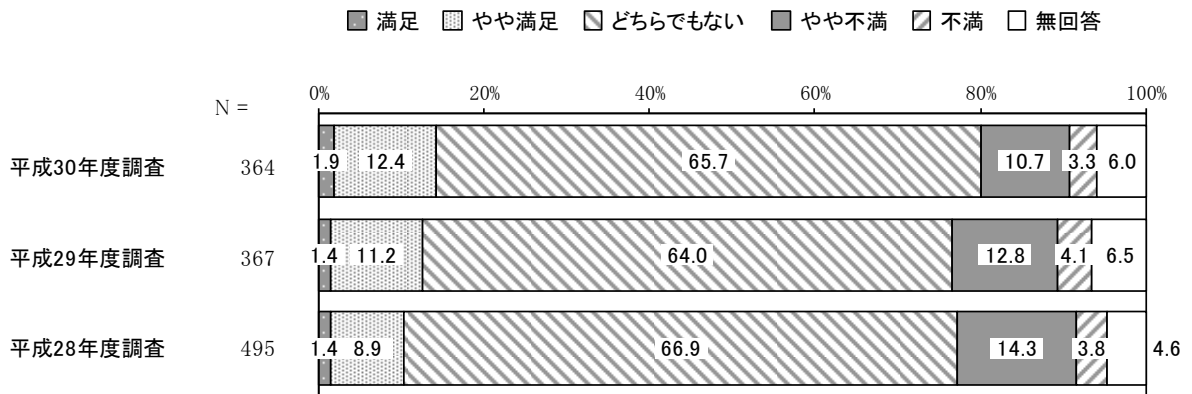
『(6)地域と市民の元気づくり』『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で“満足”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

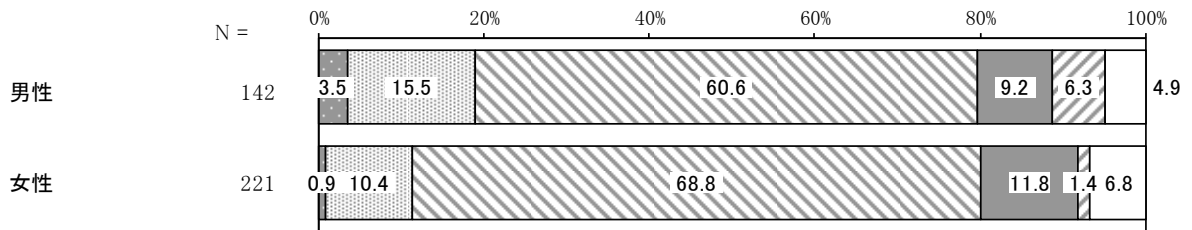
“満足”の割合が14.3%、“不満”の割合が14.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



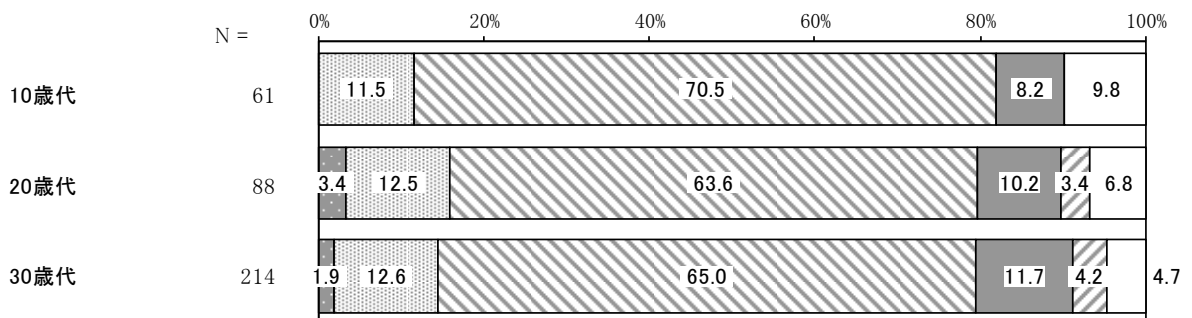
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



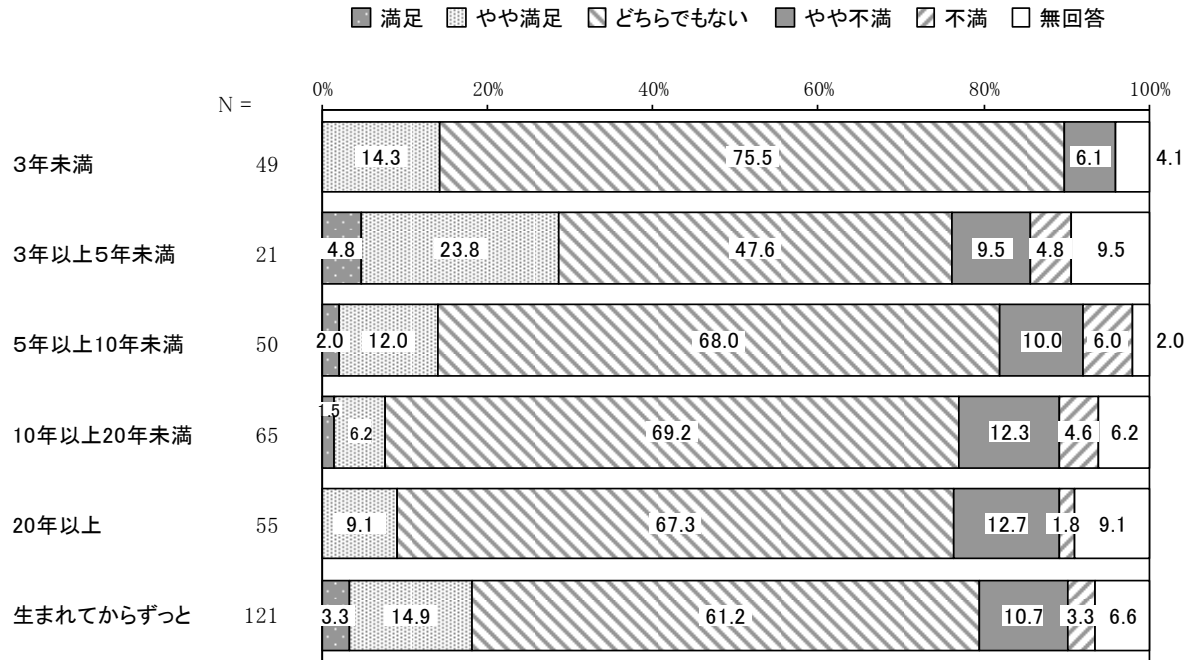
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



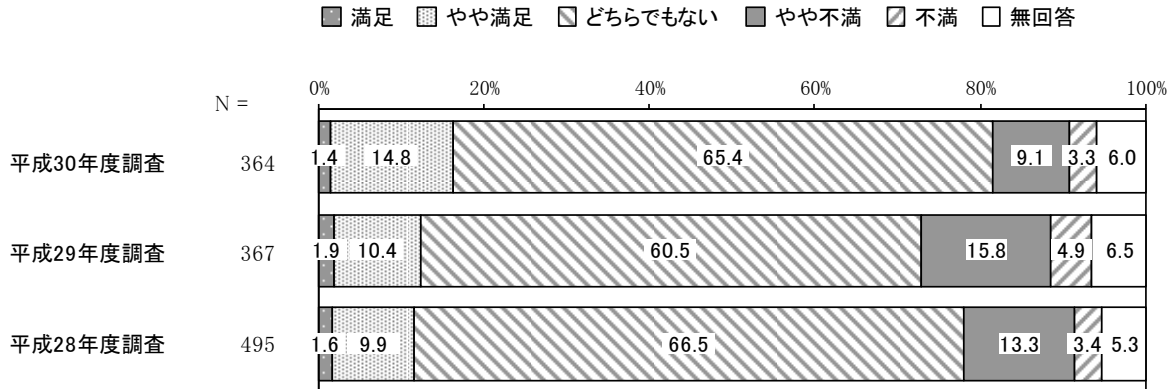
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



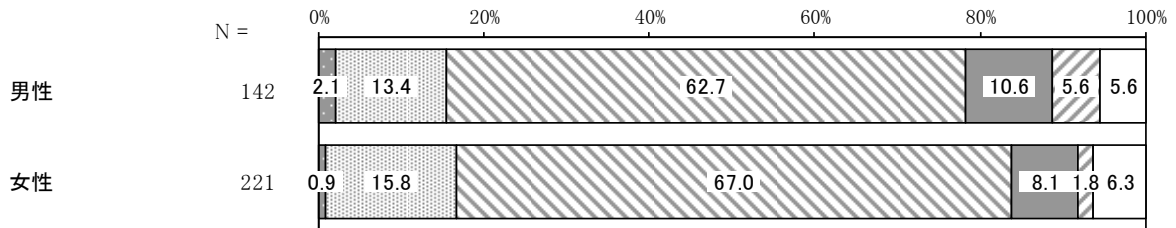
(2) 地域産業の活力づくり

“満足”の割合が16.2%、“不満”の割合が12.4%となっています。  
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



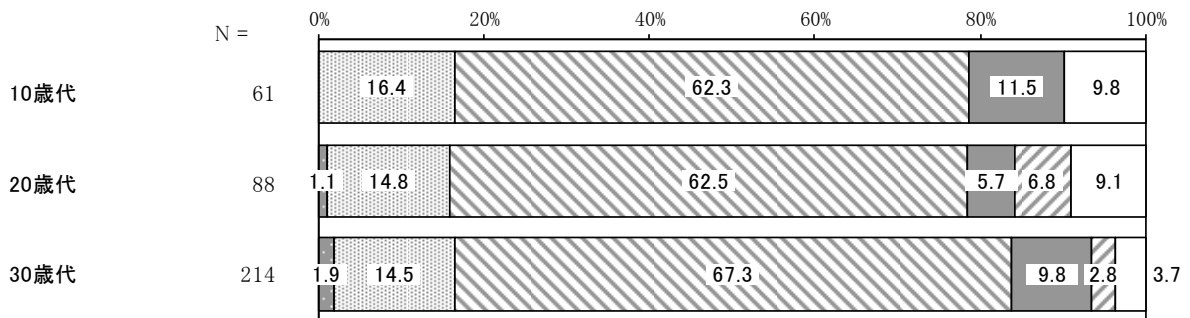
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



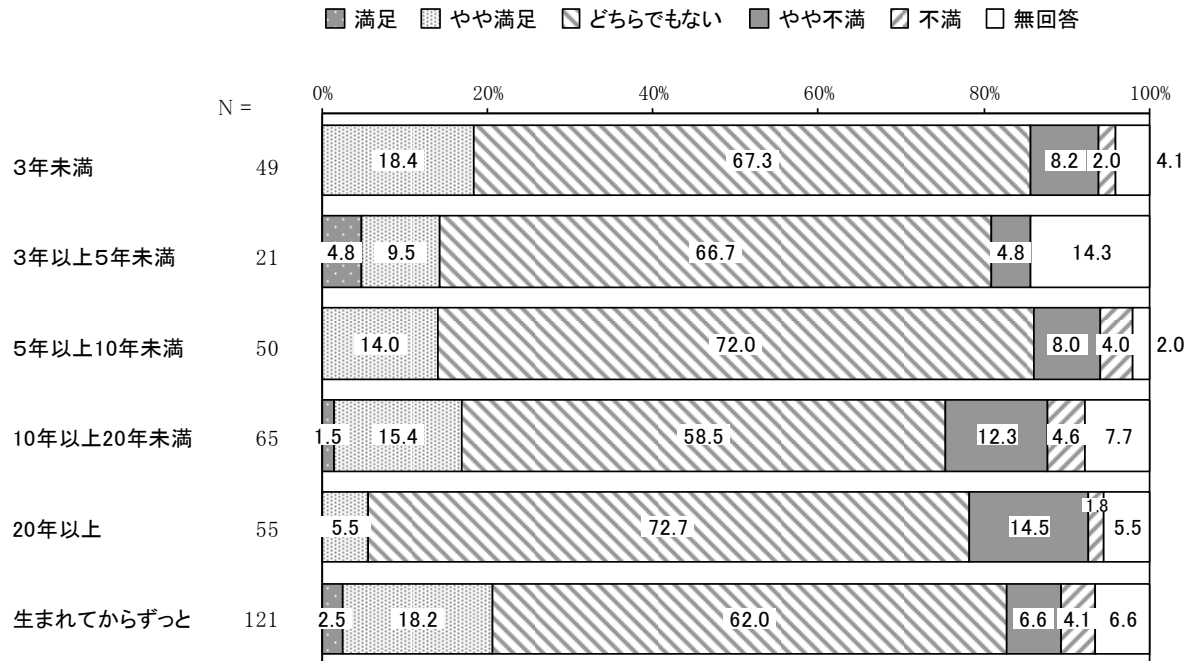
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



### 【居住年数別】

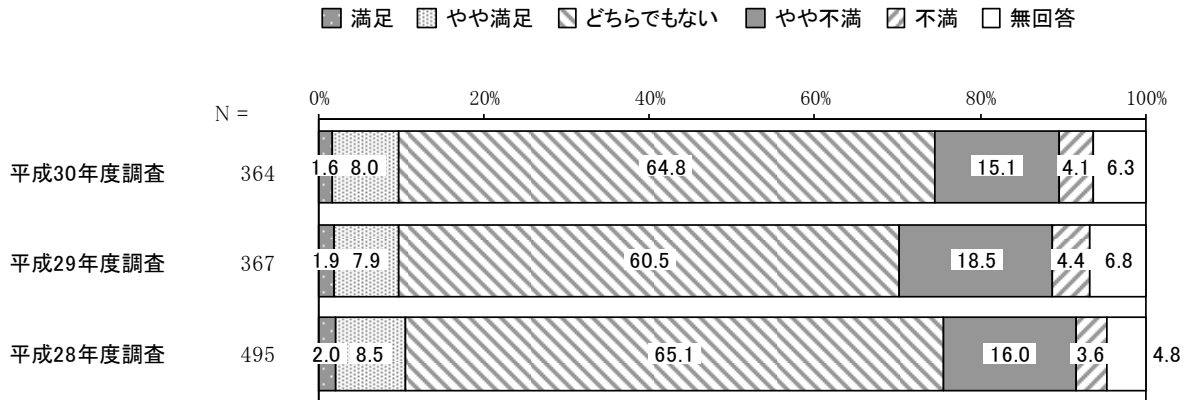
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、20年以上で“満足”の割合が低くなっています。



### (3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

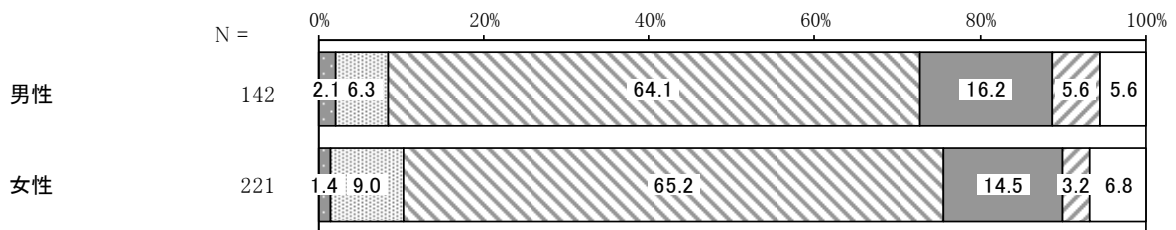
“満足”の割合が9.6%、“不満”の割合が19.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



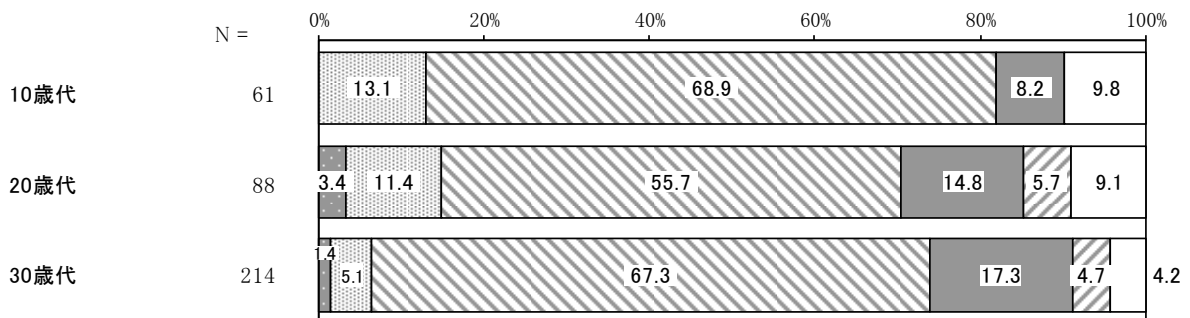
#### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



#### 【年代別】

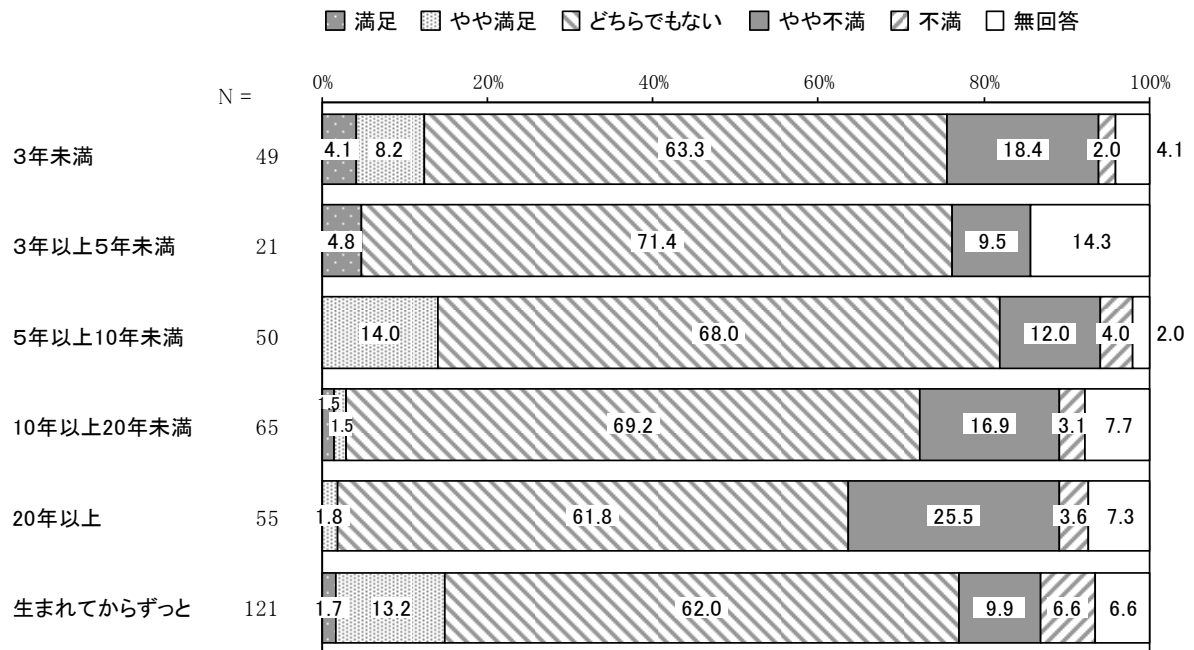
年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。





### 【居住年数別】

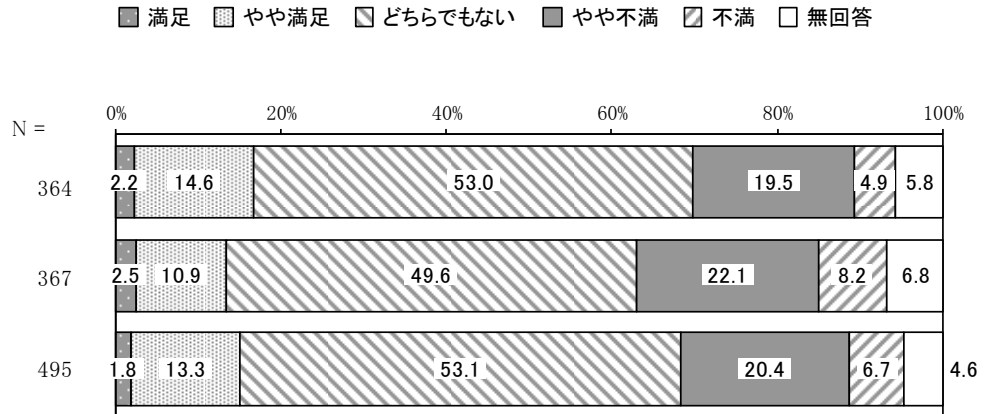
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。一方、20年以上で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



#### (4) 市の魅力の向上と発信

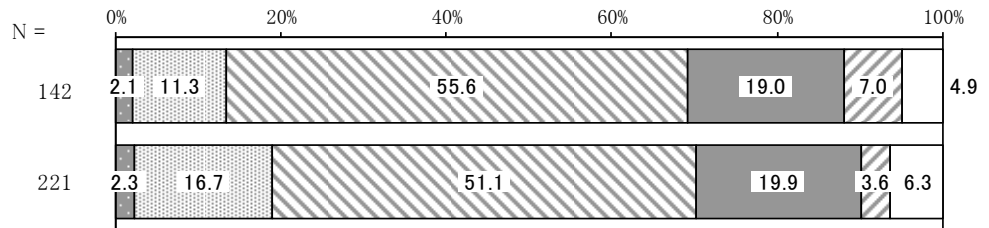
“満足”の割合が16.8%、“不満”の割合が24.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



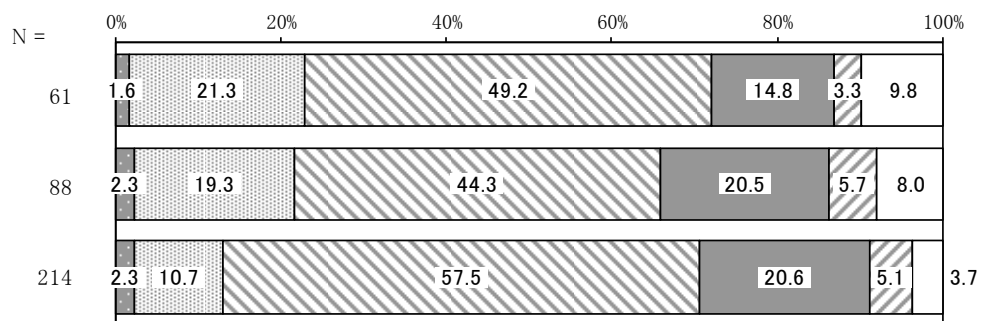
#### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



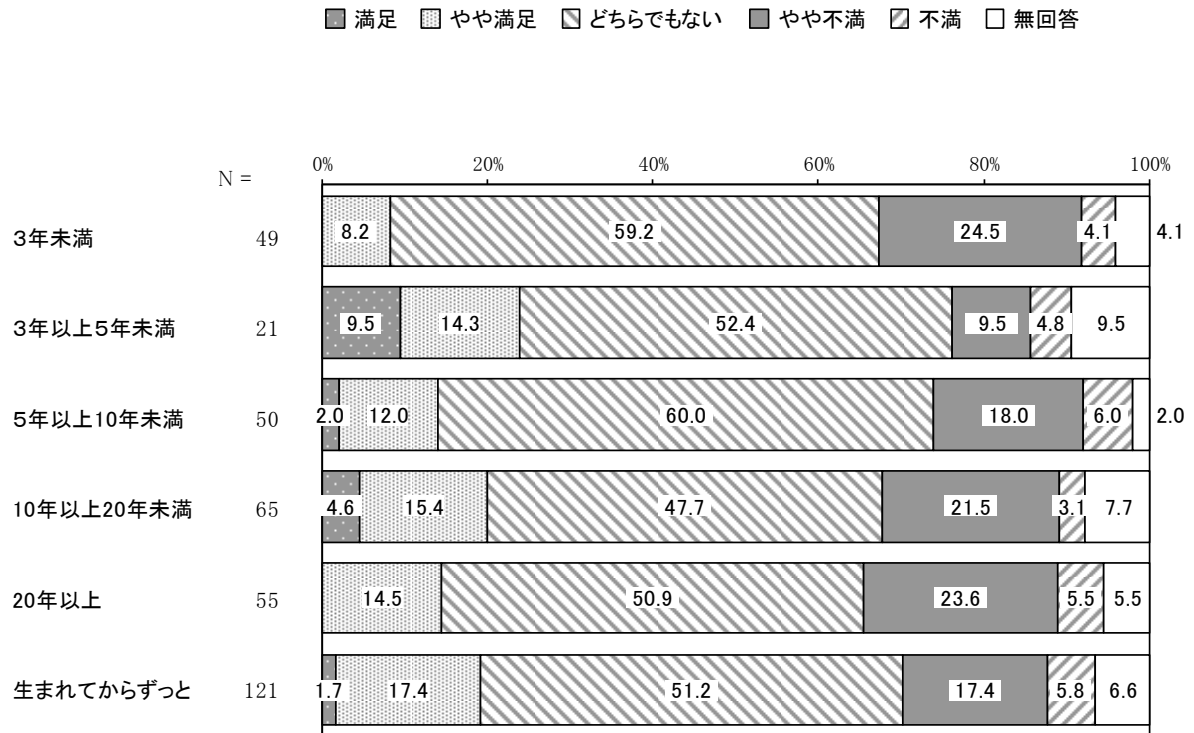
#### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“満足”の割合が低く、約1割となっています。



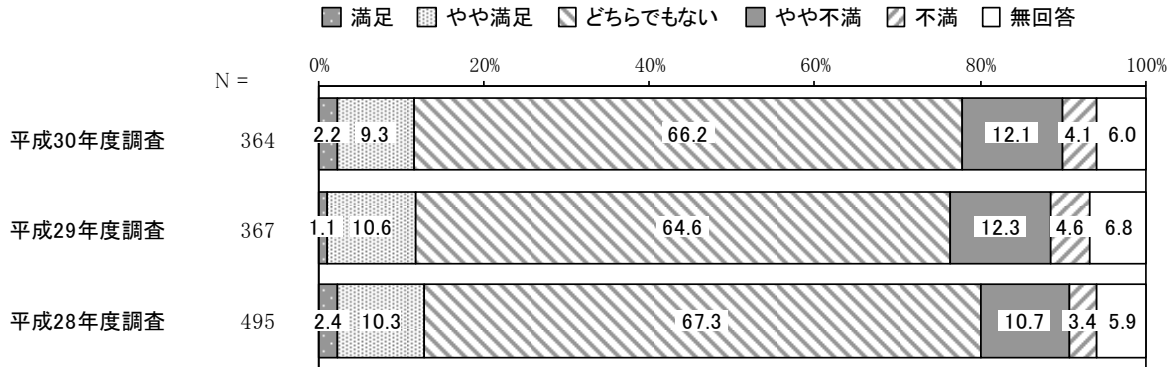
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、20年以上で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



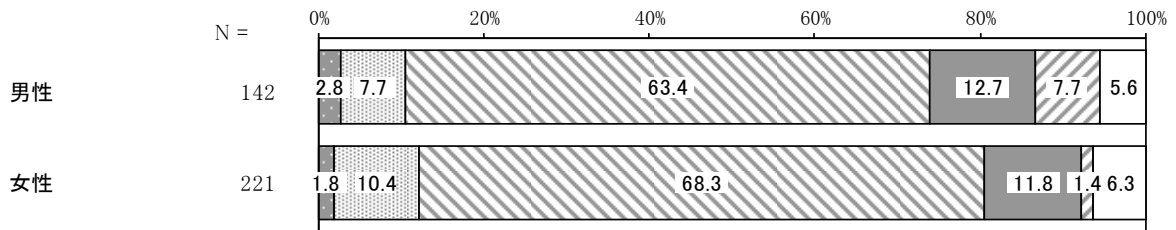
(5) 定住・移住の促進

“満足”の割合が11.5%、“不満”の割合が16.2%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



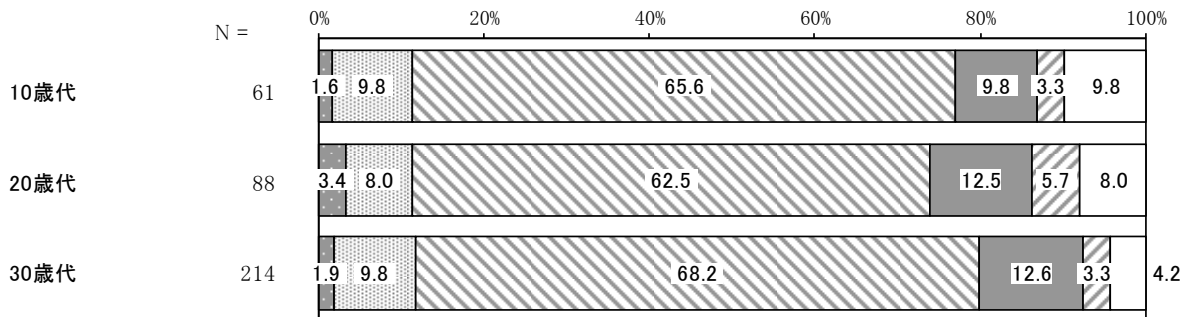
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



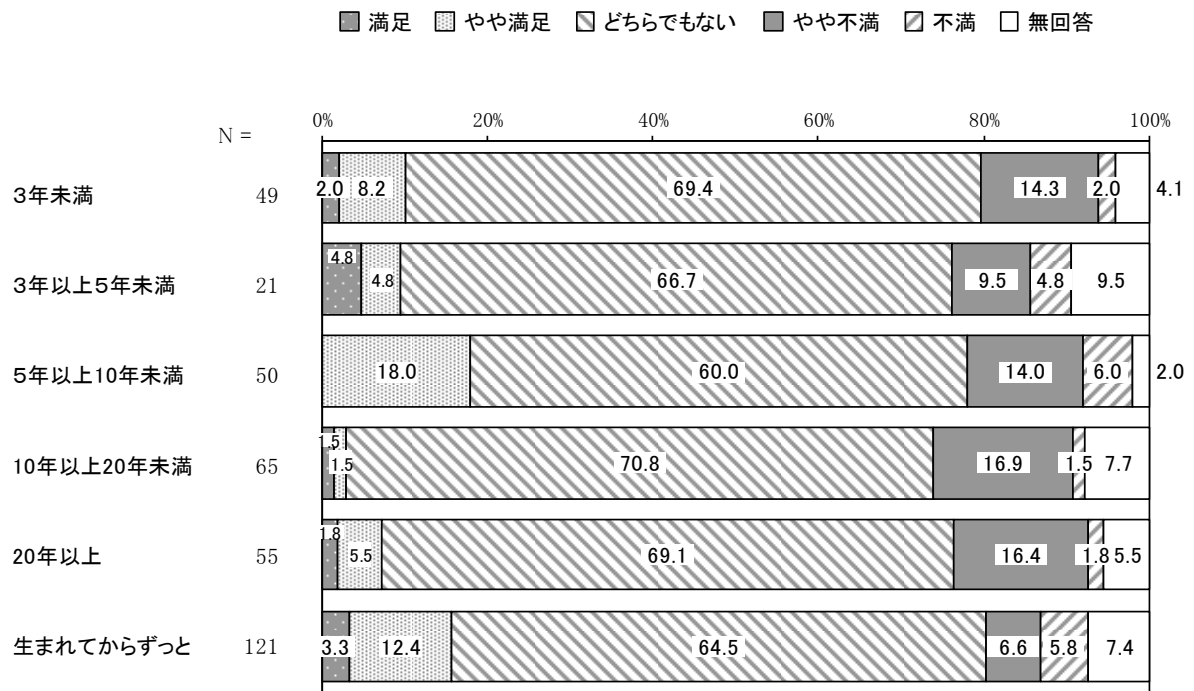
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



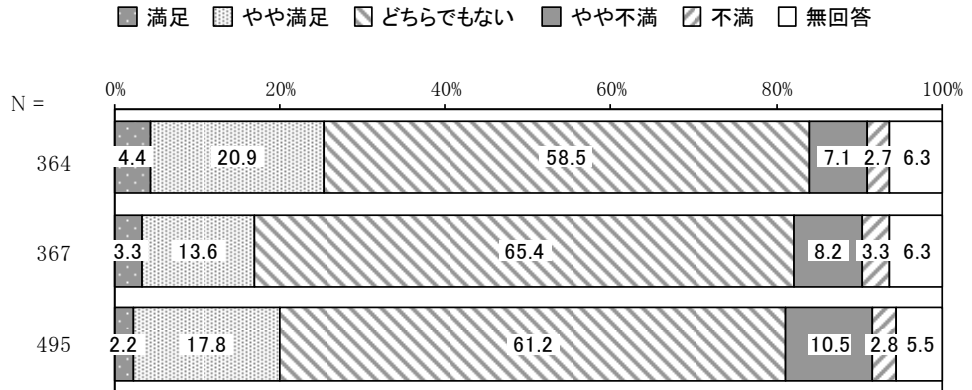
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



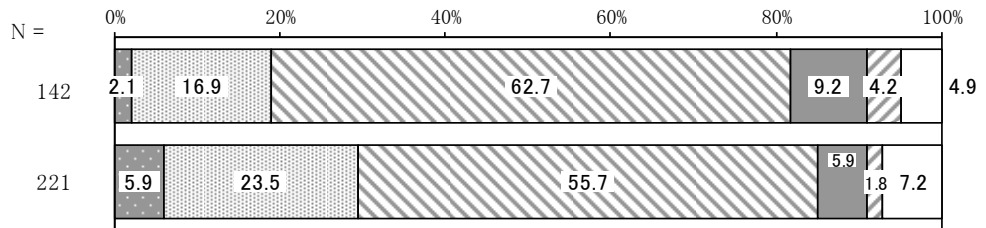
(6) 地域と市民の元気づくり

“満足”の割合が25.3%、“不満”の割合が9.8%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



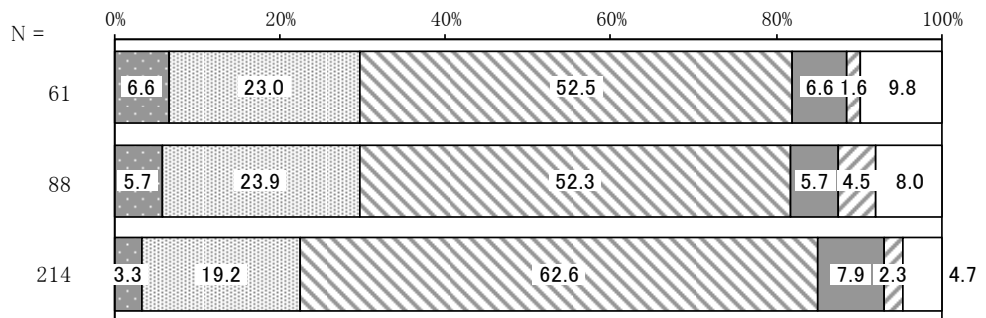
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、1割を超えています。一方、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



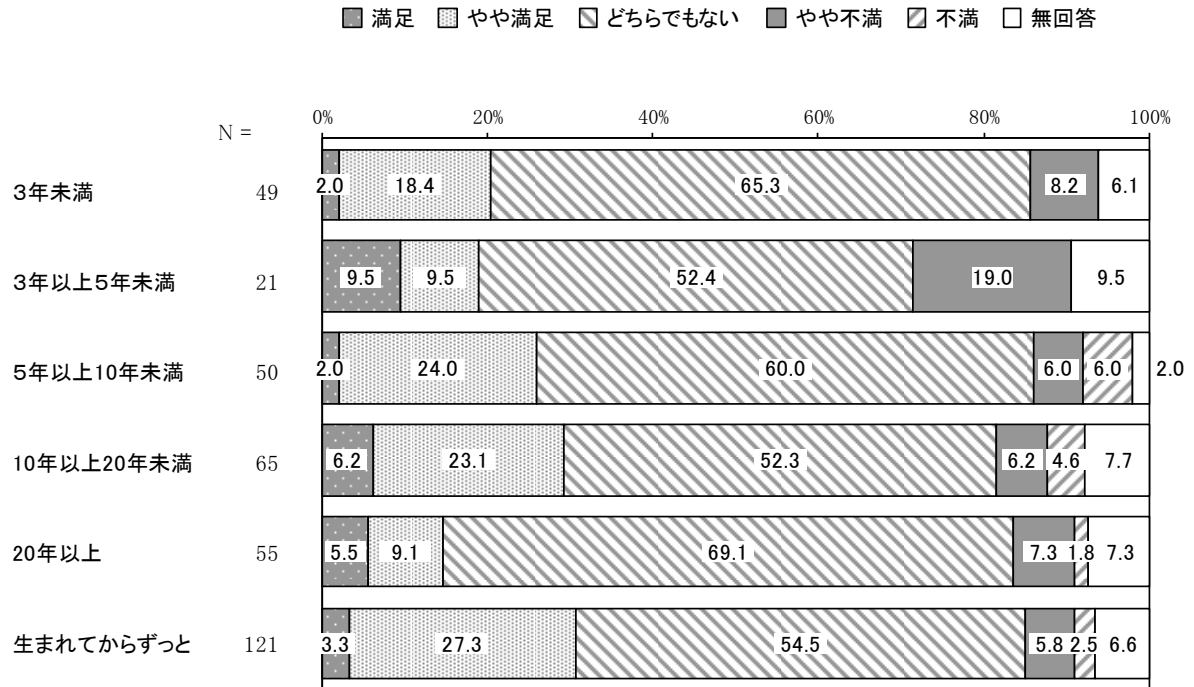
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“満足”の割合が低く、約2割となっています。



### 【居住年数別】

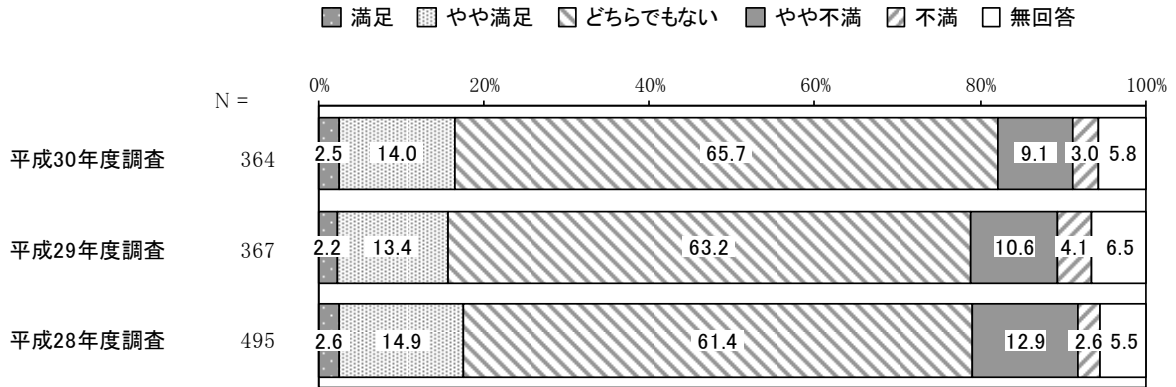
居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

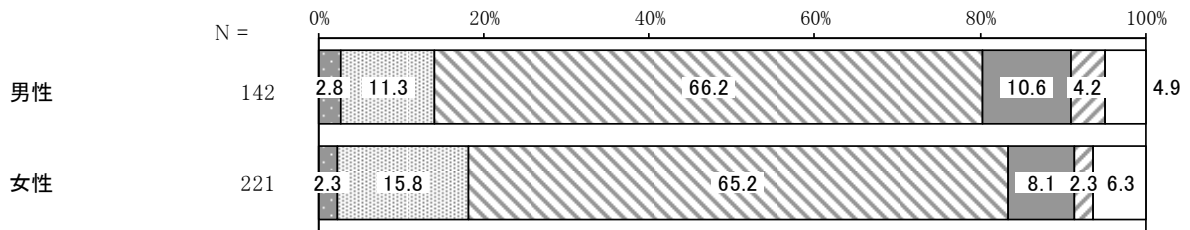
“満足”の割合が16.5%、“不満”の割合が12.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



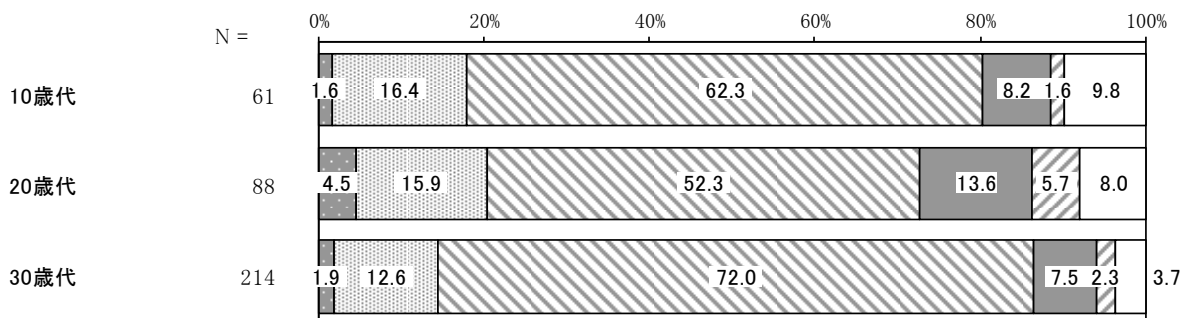
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

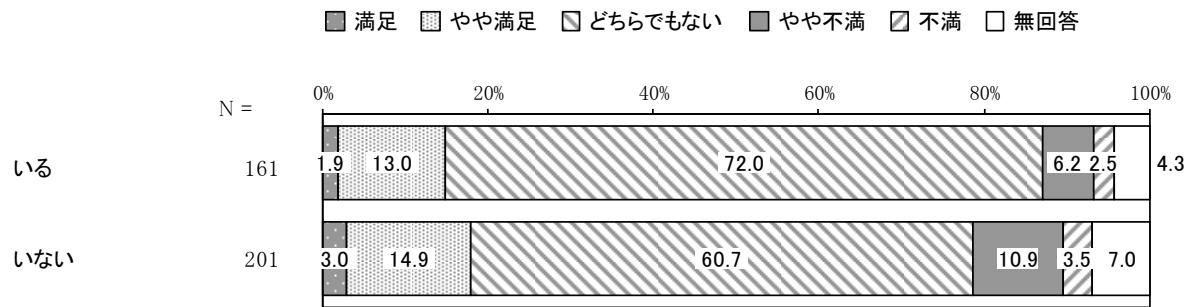
年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“満足”の割合が低く、1割台半ばとなっています。一方、20歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。





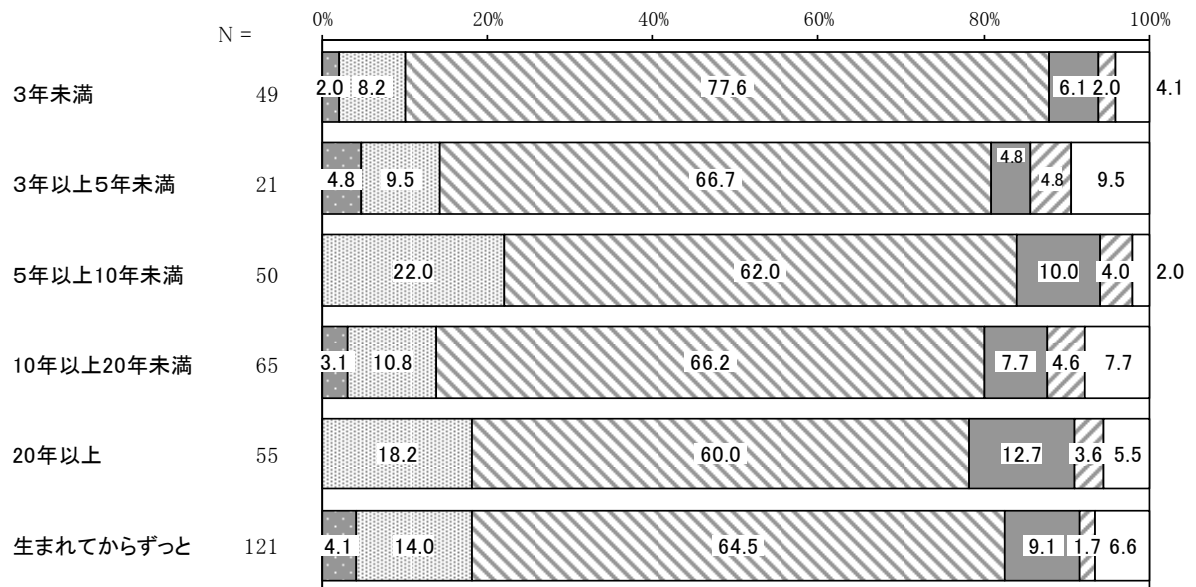
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



### 【居住年数別】

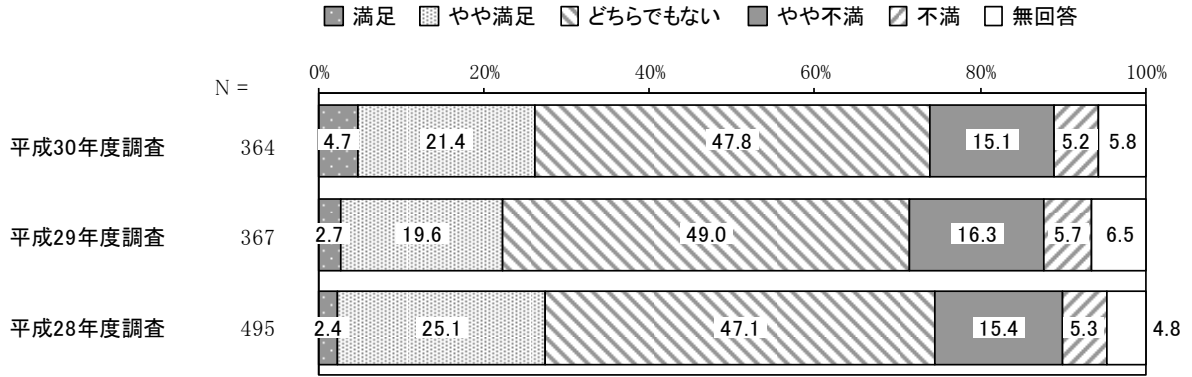
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

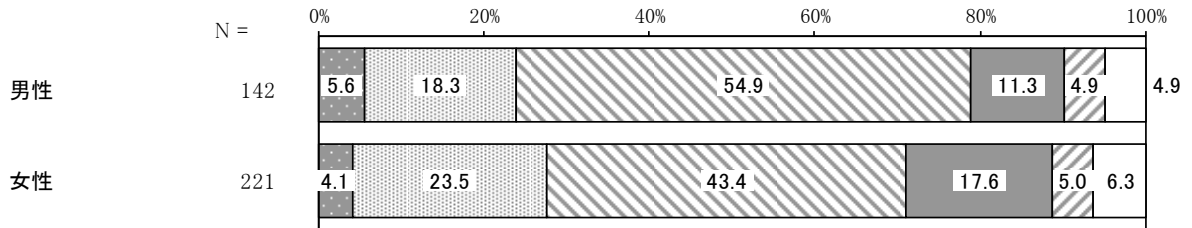
“満足”の割合が26.1%、“不満”の割合が20.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



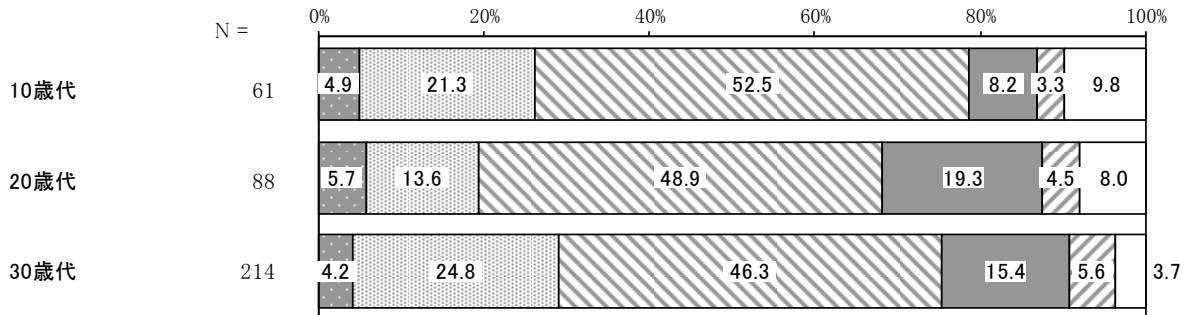
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



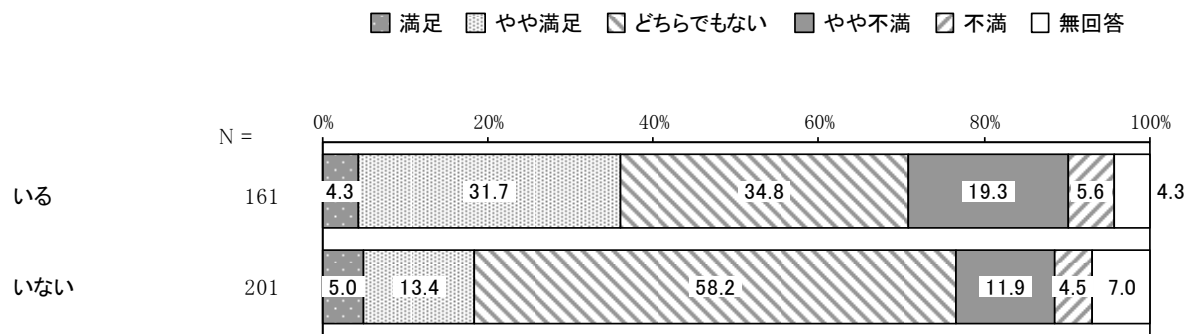
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



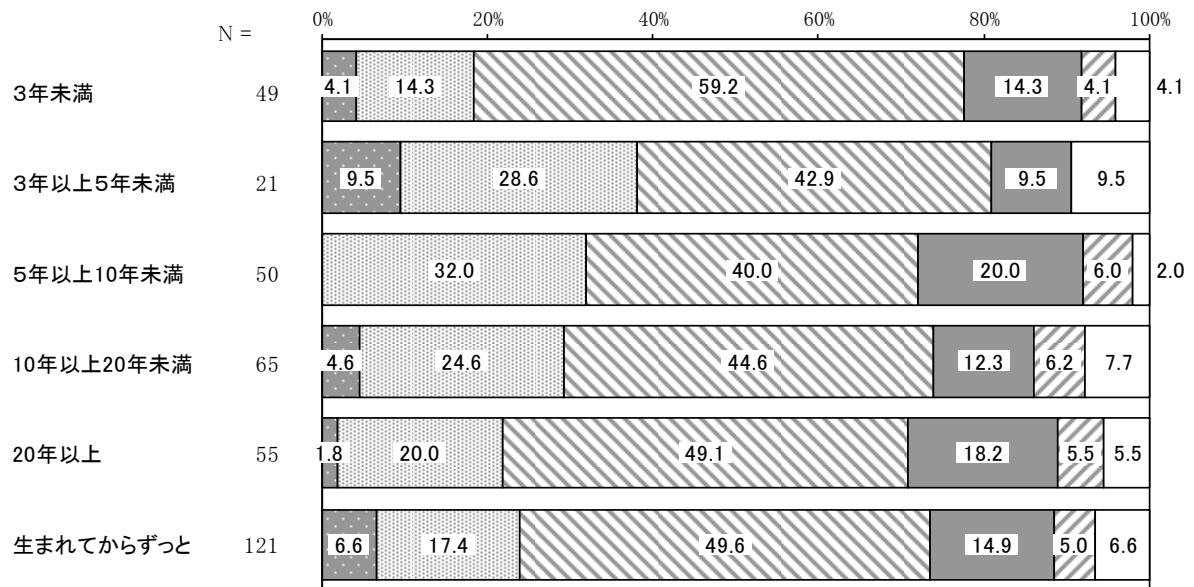
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合、“不満”の割合ともに高くなっています。



### 【居住年数別】

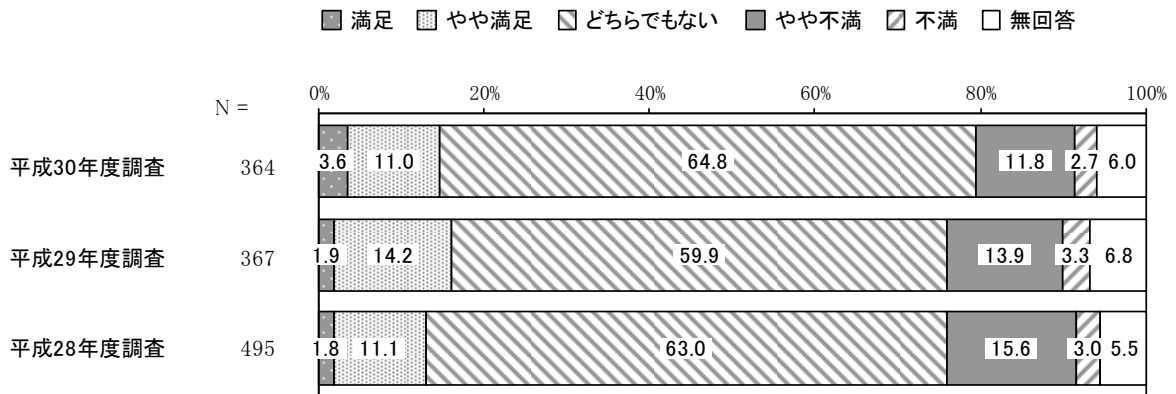
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約4割となっています。一方、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

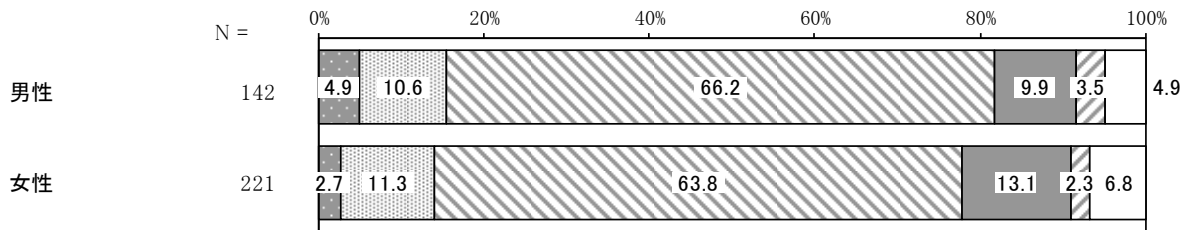
“満足”の割合が14.6%、“不満”の割合が14.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



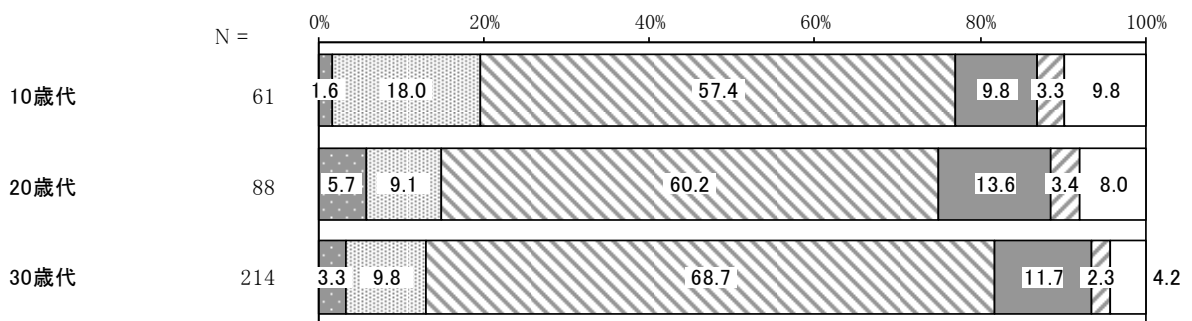
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



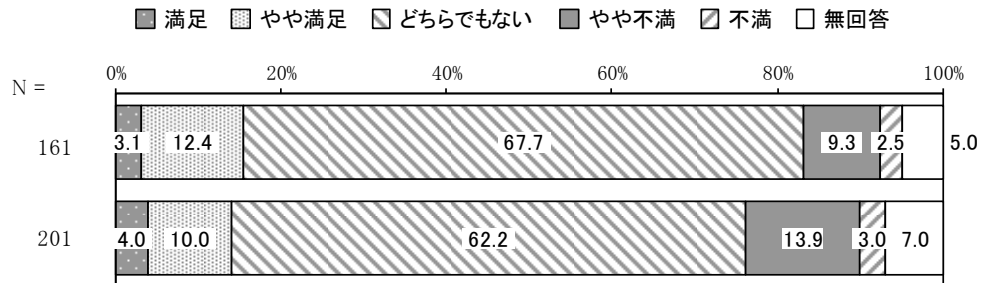
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で約2割となっています。



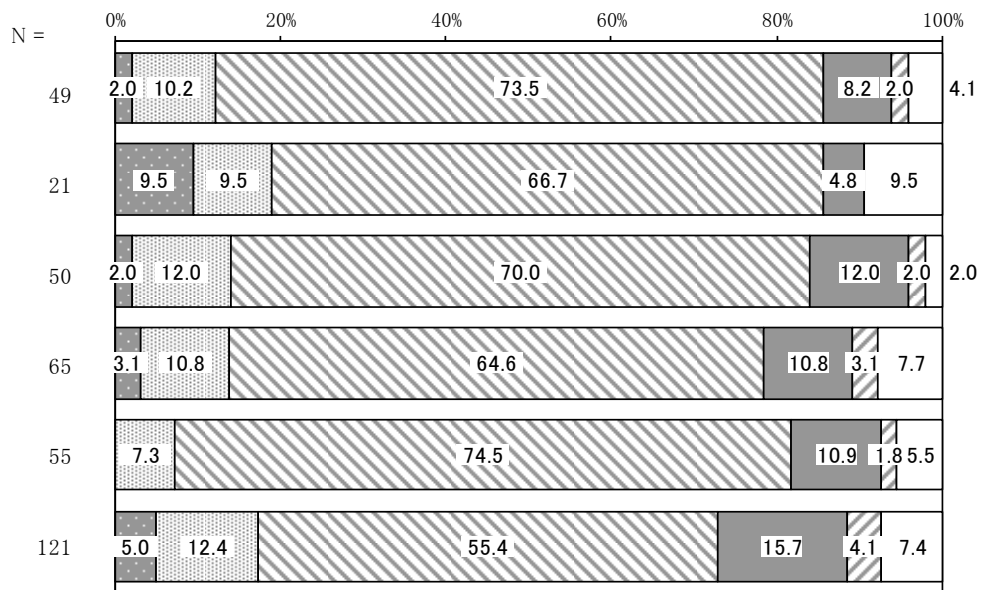
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



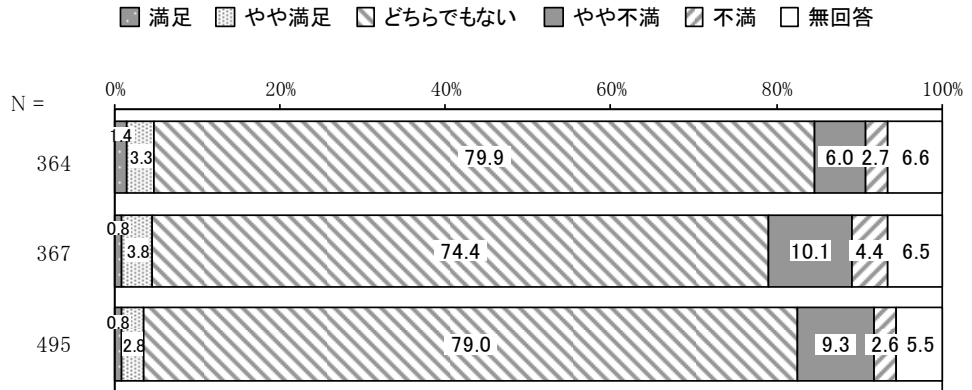
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。一方、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。



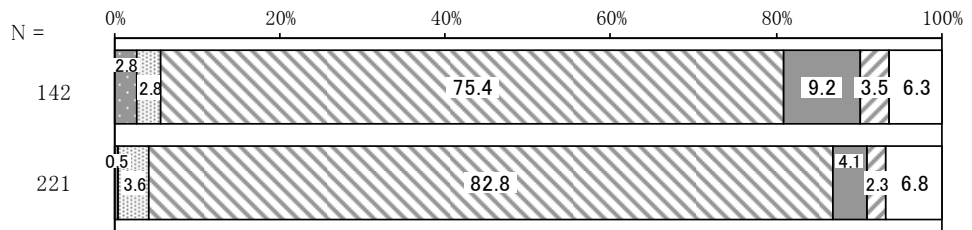
(10) 結婚への機会づくり

“満足”の割合が4.7%、“不満”の割合が8.7%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



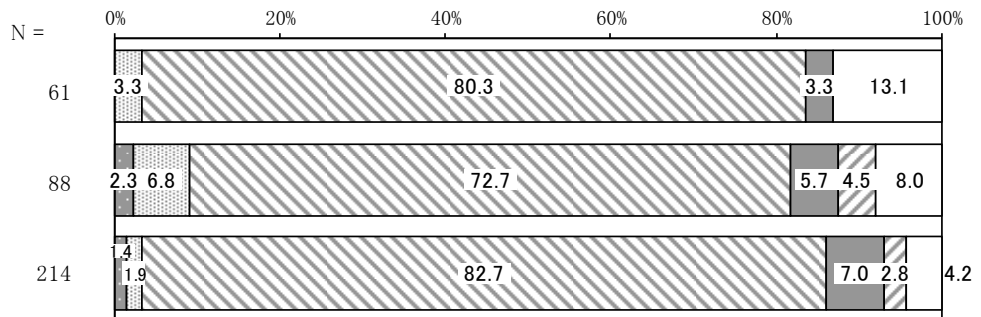
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約1割となっています。



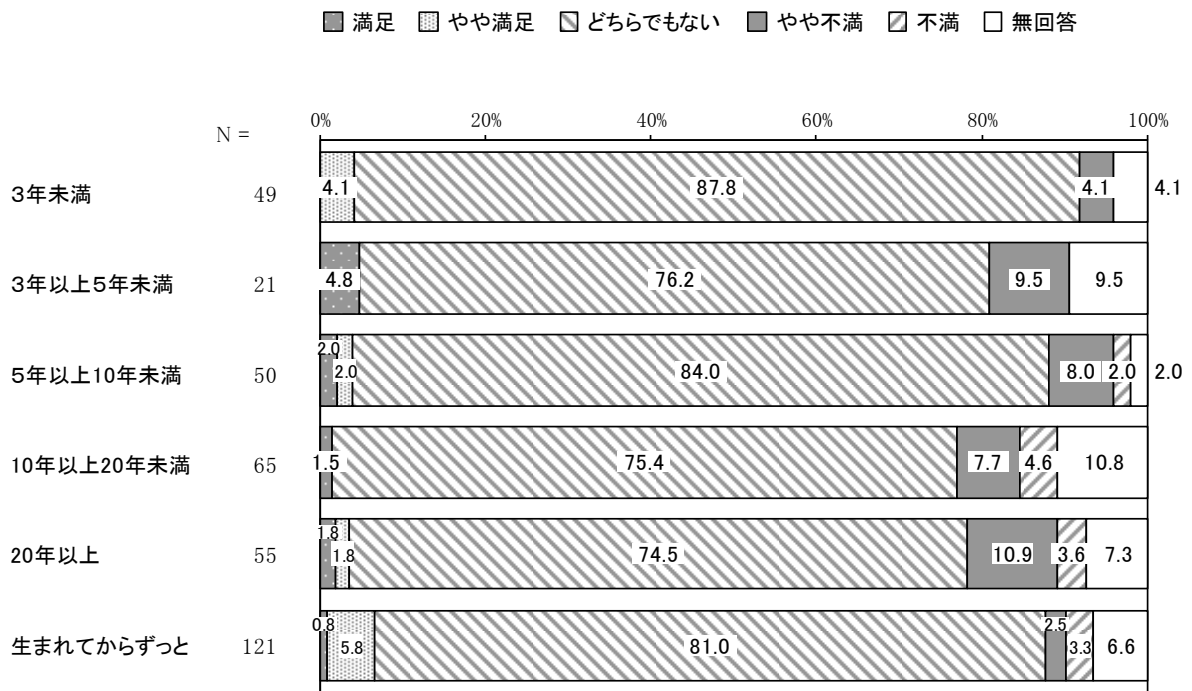
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、約1割となっています。



### 【居住年数別】

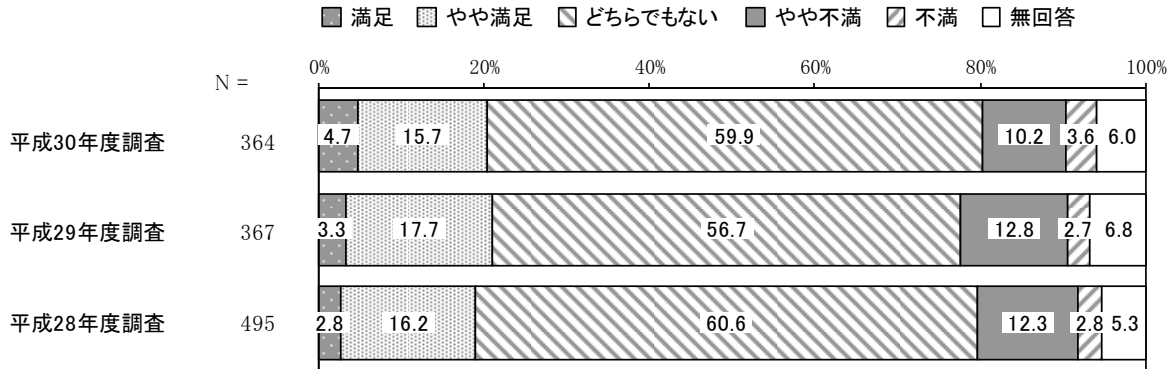
居住年数別で見ると、生まれてからずっとを除き、年数が長くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

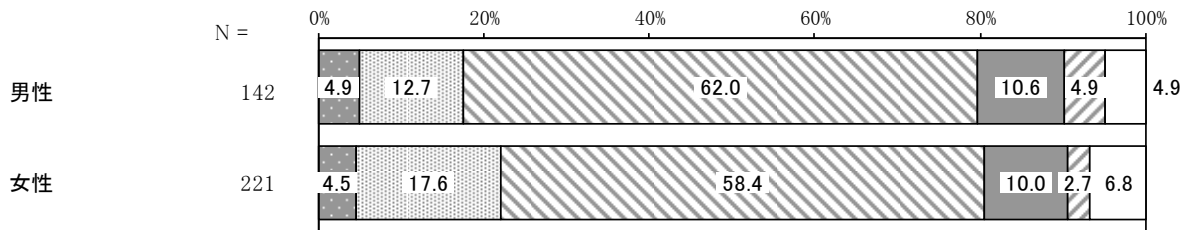
“満足”の割合が20.4%、“不満”の割合が13.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



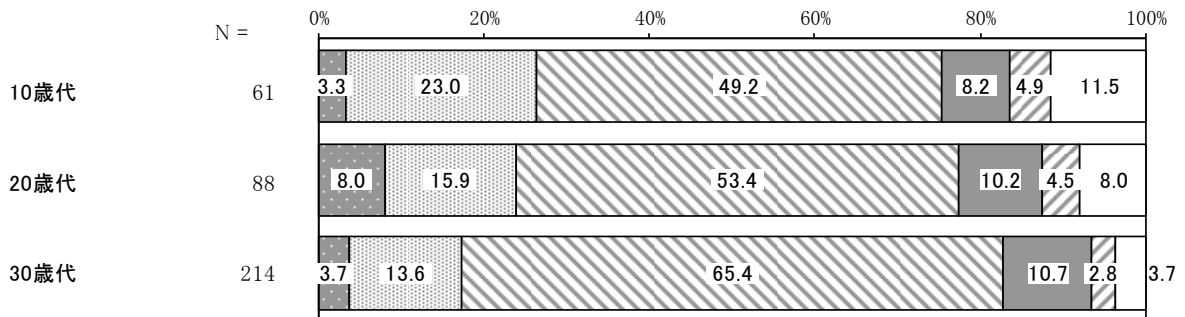
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

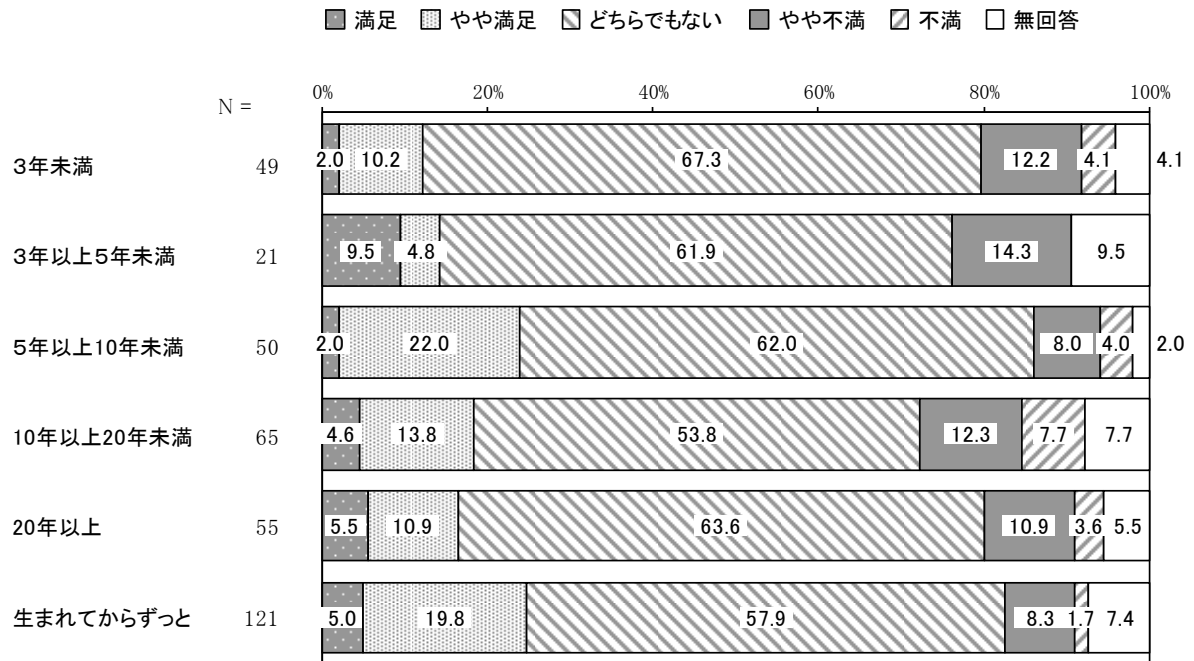
年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高くなっています。





### 【居住年数別】

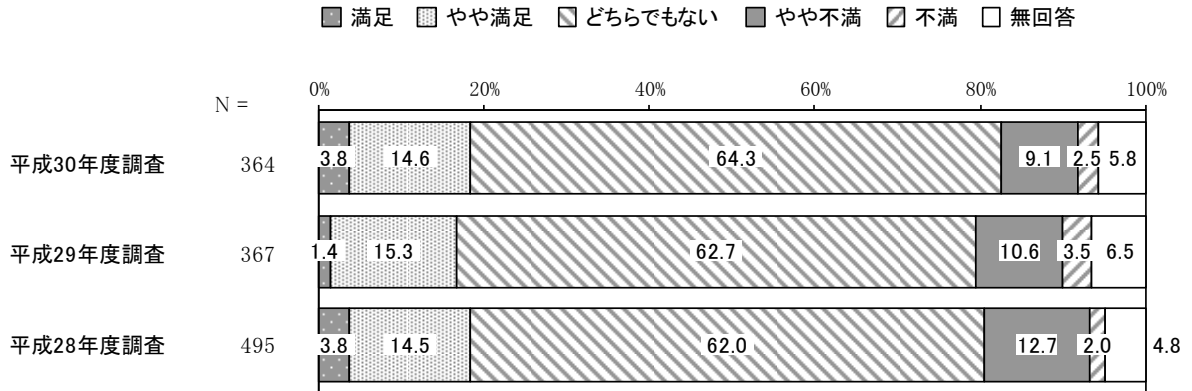
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

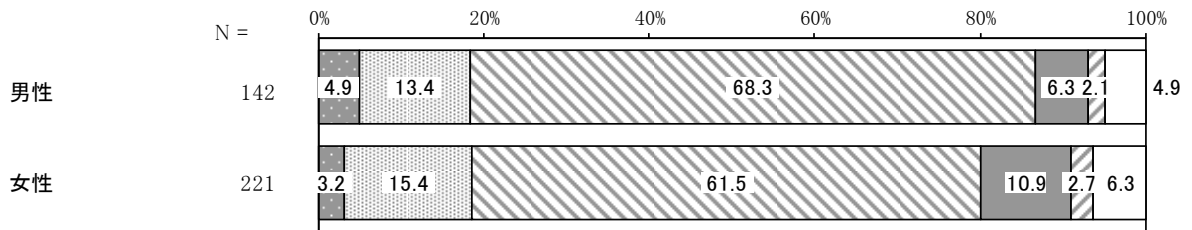
“満足”の割合が18.4%、“不満”の割合が11.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



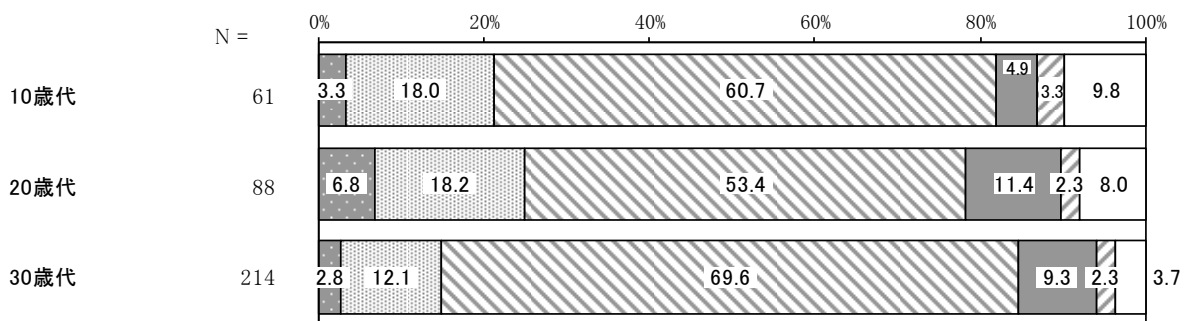
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“不満”の割合が高くなっています。



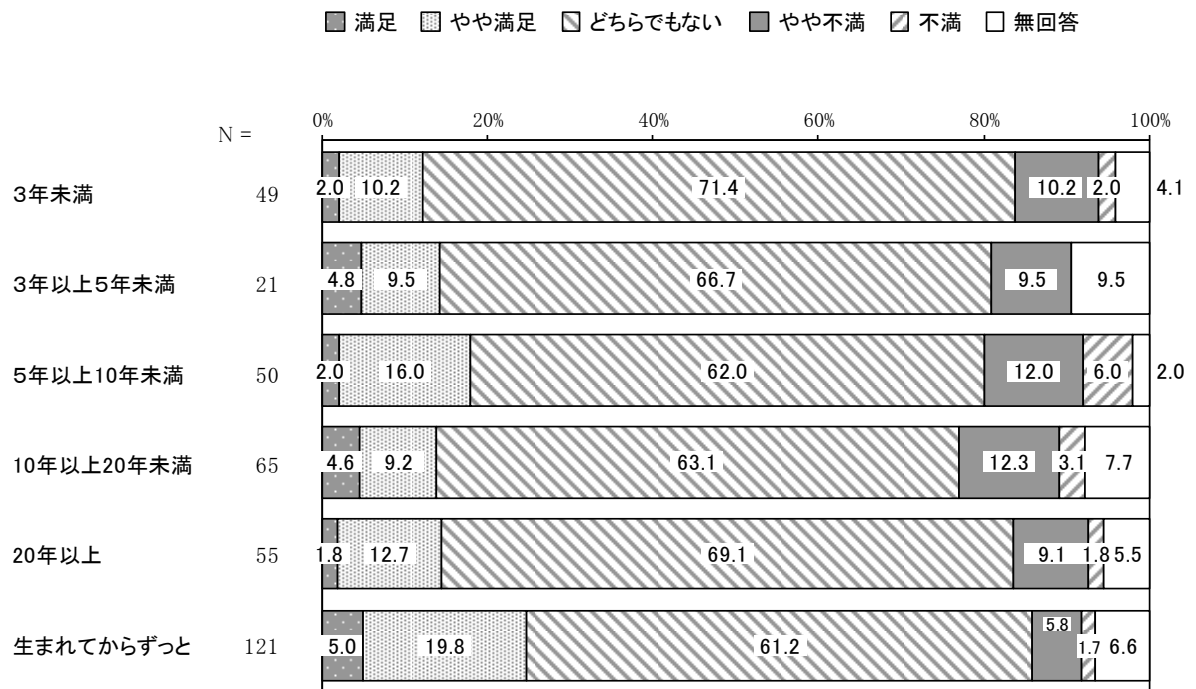
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“満足”の割合が低く、1割台半ばとなっています。



### 【居住年数別】

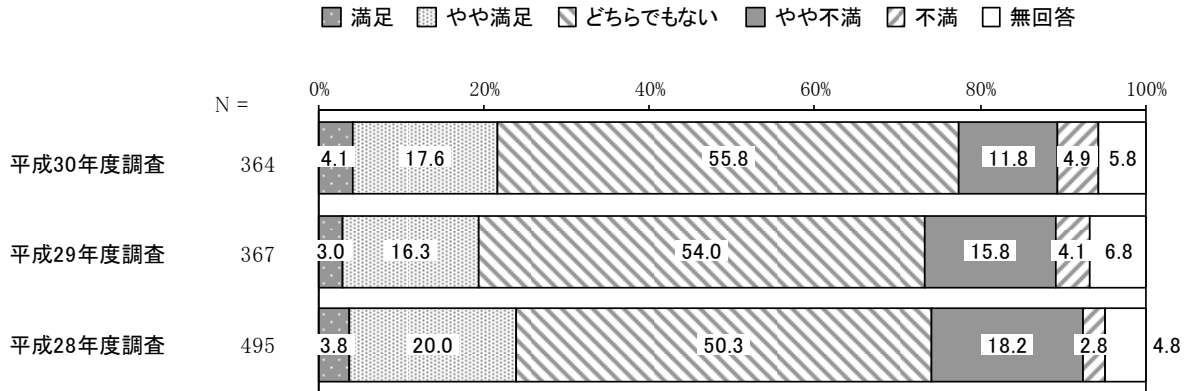
居住年数別で見ると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

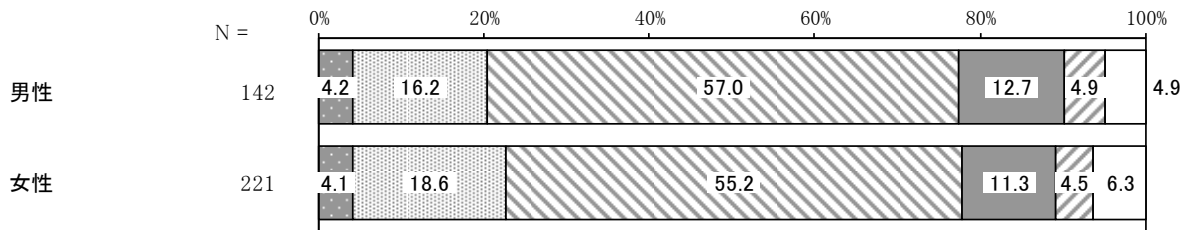
“満足”の割合が21.7%、“不満”の割合が16.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「どちらでもない」の割合が増加しています。



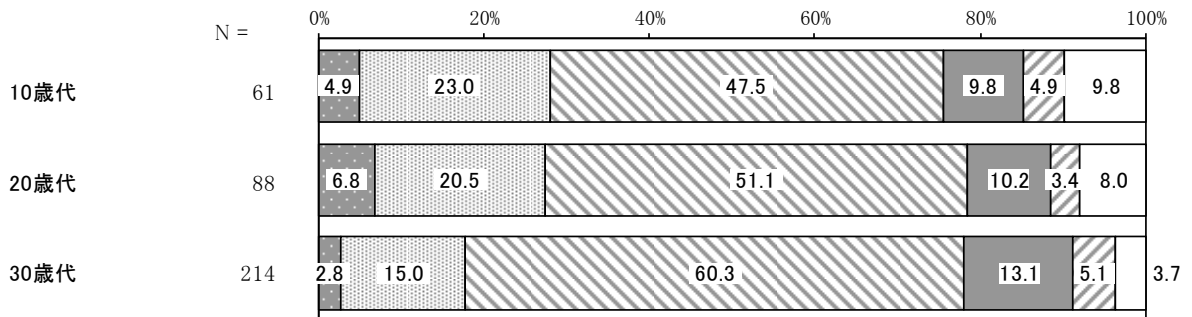
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



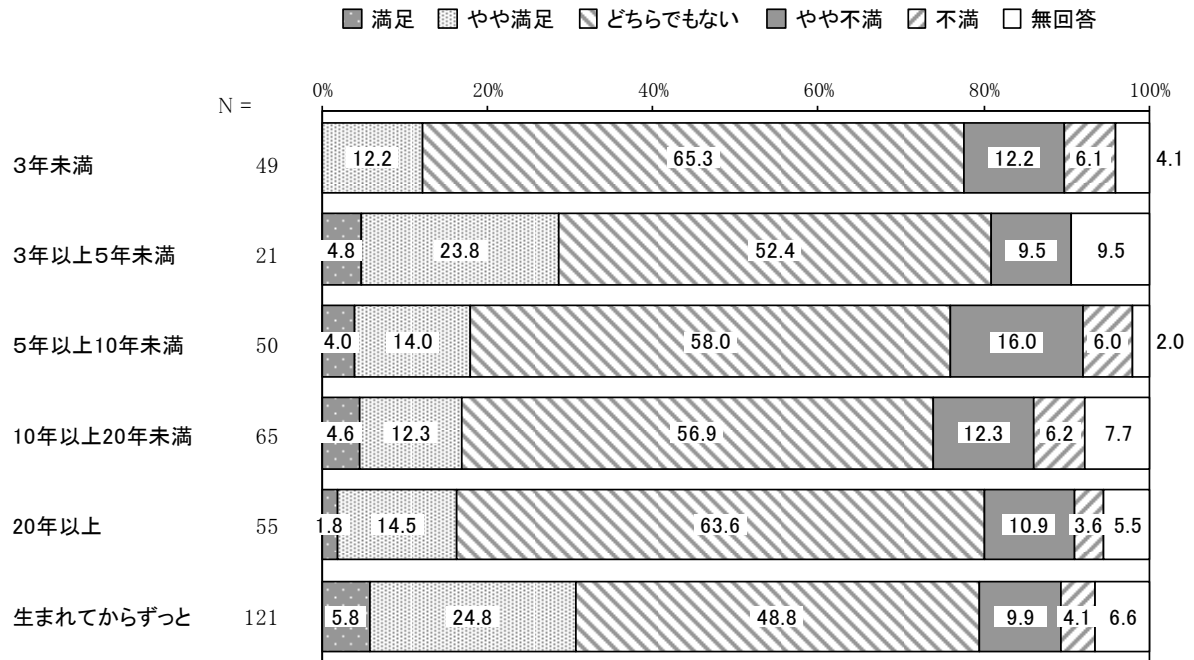
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“満足”の割合が低く、約2割となっています。



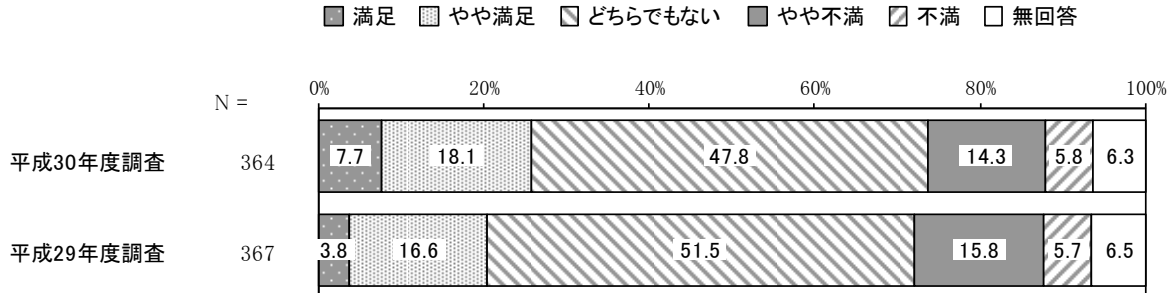
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、3年未満、5～20年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



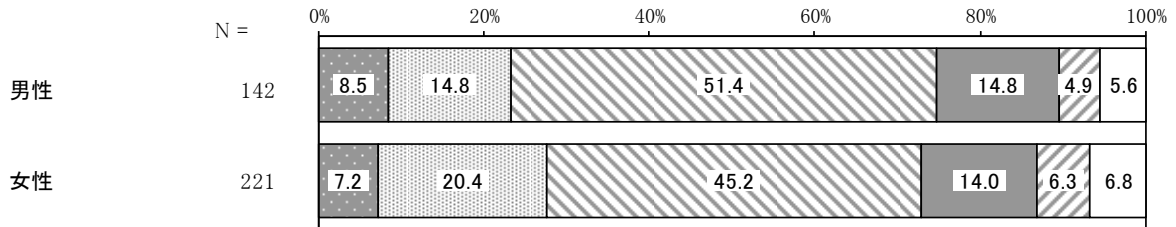
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“満足”の割合が25.8%、“不満”の割合が20.1%となっています。  
 平成29年度調査と比較すると、“満足”の割合が増加しています。



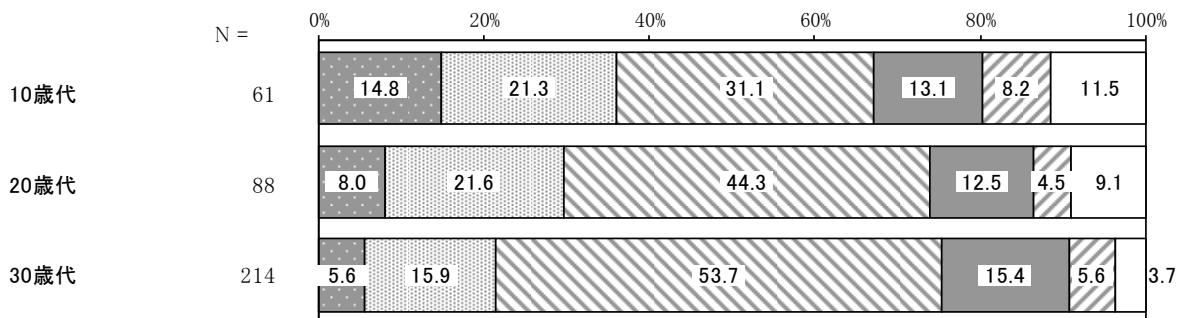
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



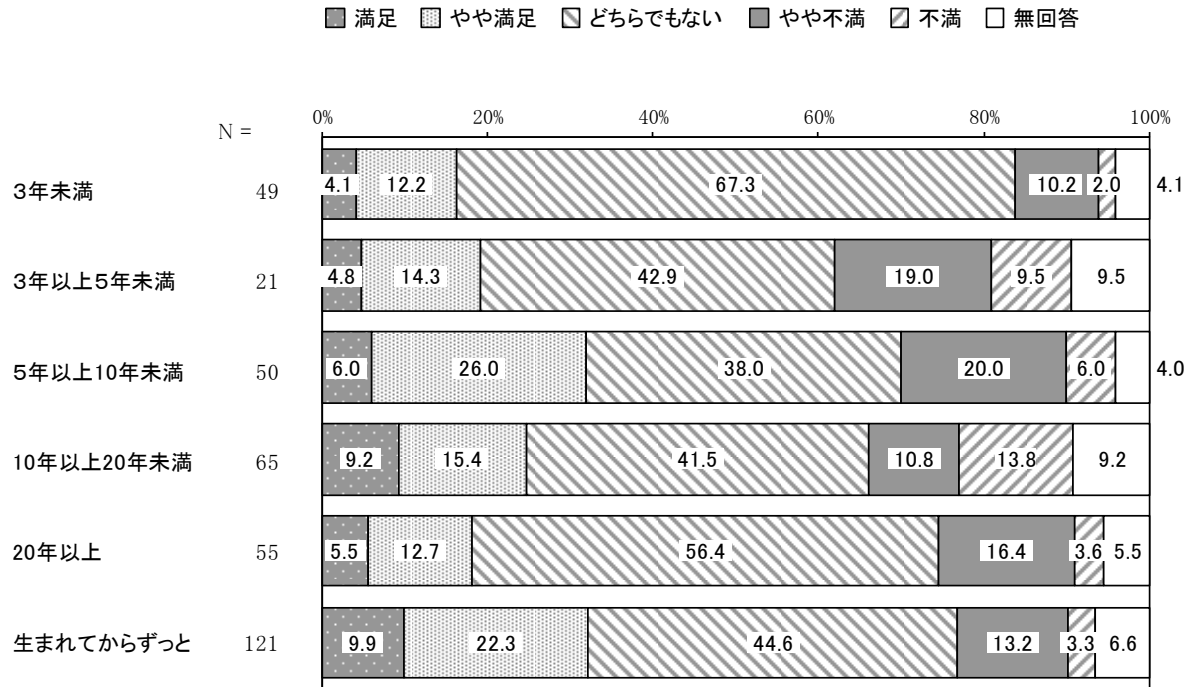
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で3割台半ばとなっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



## 【ポートフォリオによる分析】

### (1) 満足度・今後の重要性の得点化

14項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

#### ■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度	→	得点	重要度	→	得点
不満	→	-2点	重要ではない	→	-2点
やや不満	→	-1点	あまり重要ではない	→	-1点
どちらでもない	→	0点	どちらでもない	→	0点
やや満足	→	1点	やや重要	→	1点
満足	→	2点	重要	→	2点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

#### ■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

+1点×「やや満足(やや重要)」の回答数

+0点×「どちらでもない」の回答数

-1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数

-2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

#### ■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

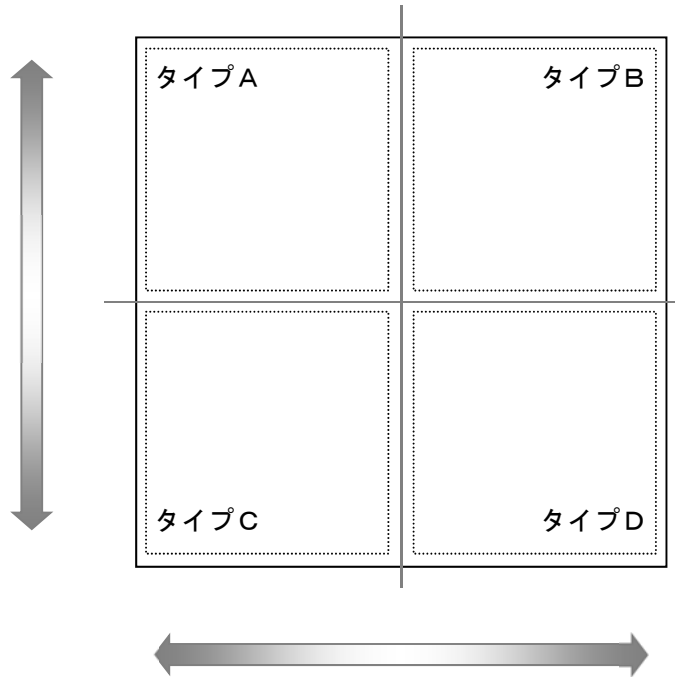
満足度		順位	重要度	
施策名	得点		得点	施策名
(6) 地域と市民の元気づくり	0.18	第1位	1.51	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり	0.09	第2位	1.49	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.08	第3位	1.37	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(5) 定住・移住の促進	-0.07	第12位	0.83	(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
(4) 市の魅力の向上と発信	-0.11	第13位	0.69	(5) 定住・移住の促進
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.13	最下位	0.33	(10) 結婚への機会づくり



## (2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

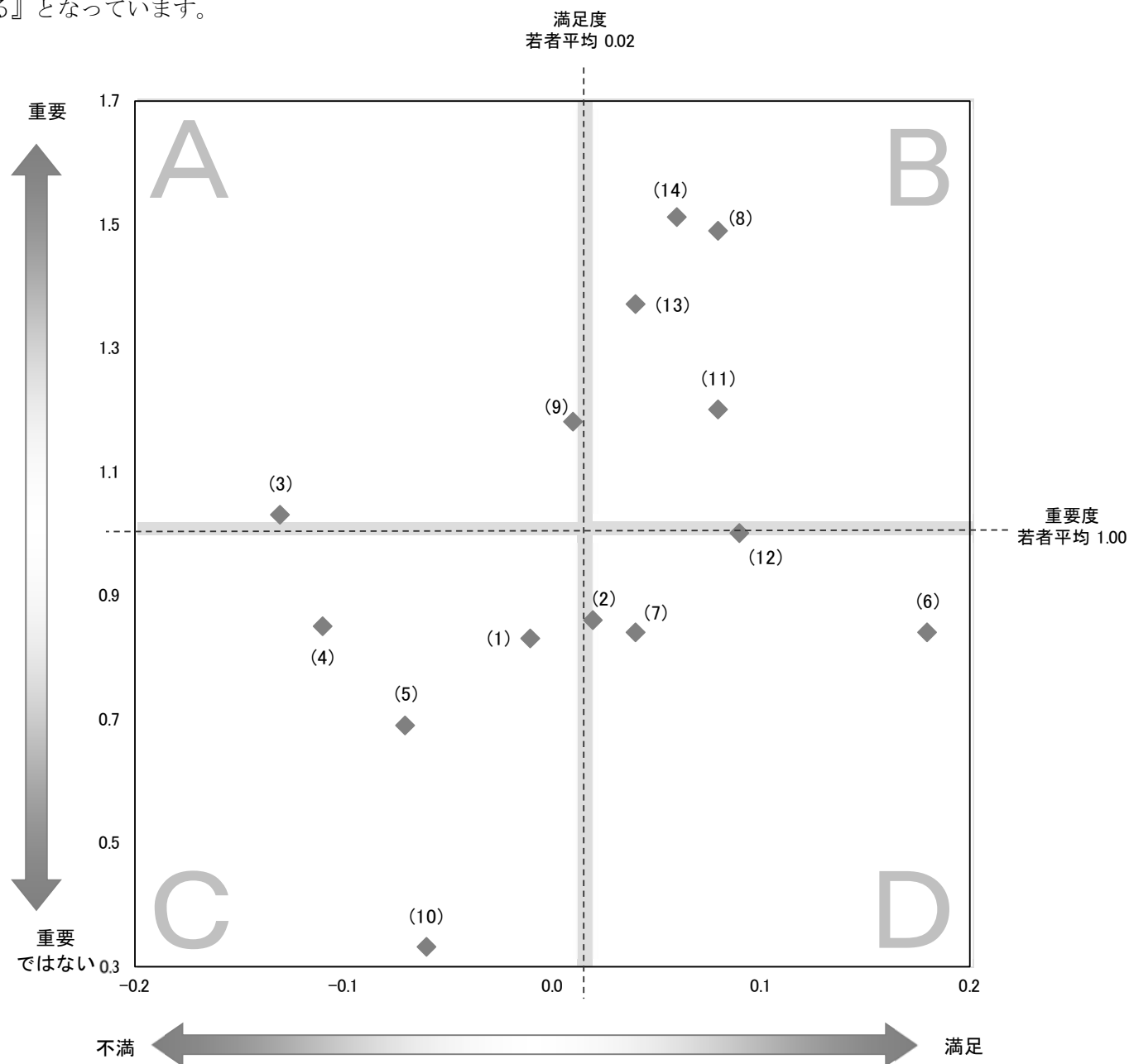
施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



- ◆タイプA      **満足度は低いが、重要度は高い**  
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆タイプB      **満足度は高く、重要度も高い**  
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆タイプC      **満足度は低く、重要度も低い**  
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆タイプD      **満足度は高いが、重要度は低い**  
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析 (N = 364)

満足度が高く、重要度も高い施策 (タイプB) は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

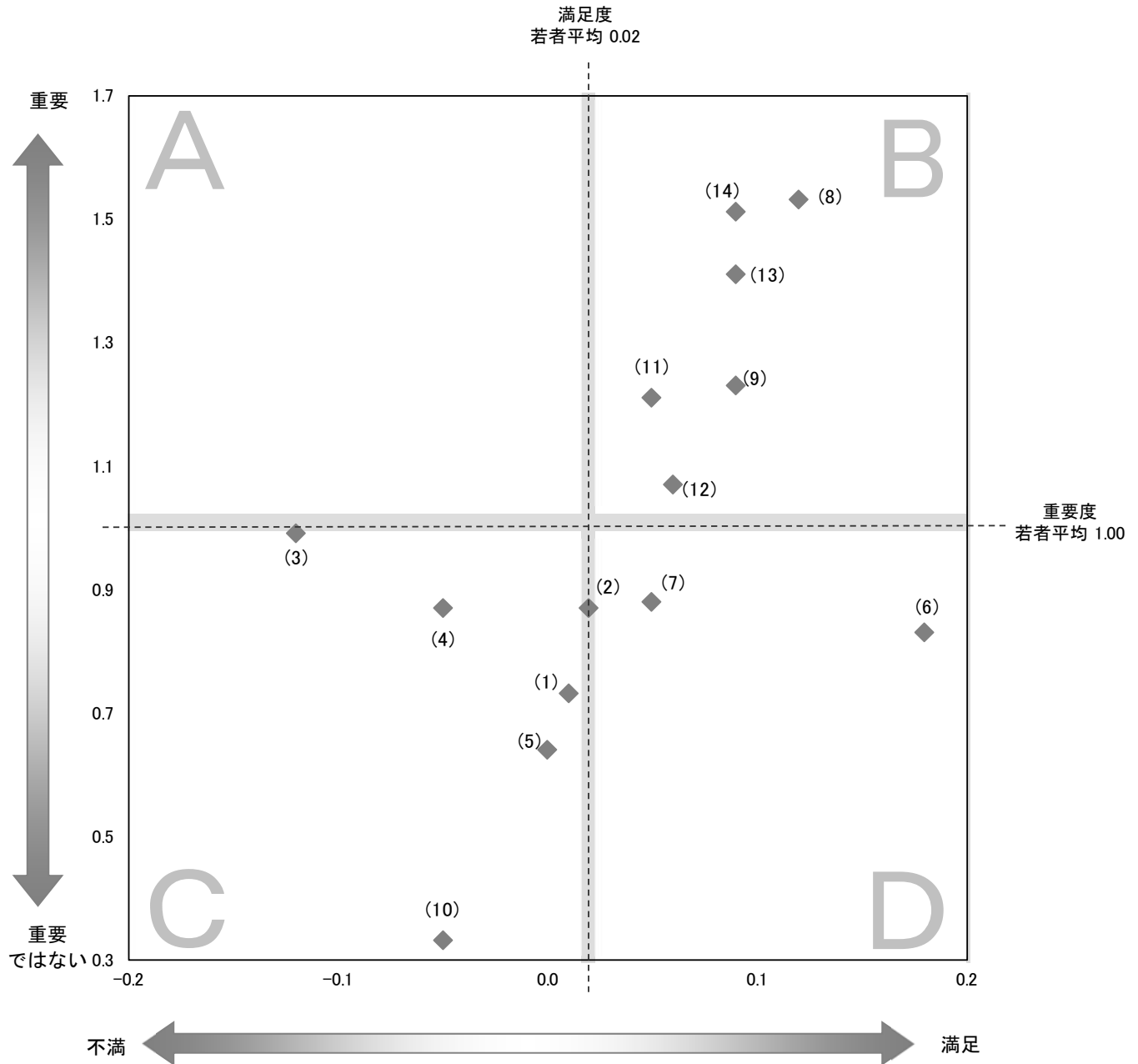


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもに寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

【問 14 ずっと可見市に住みたいと答えた人のみ】(N = 156)

満足度は低いですが、重要度が高い施策(タイプA)は、ありません。

また、満足度が高く、重要度も高い施策(タイプB)は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

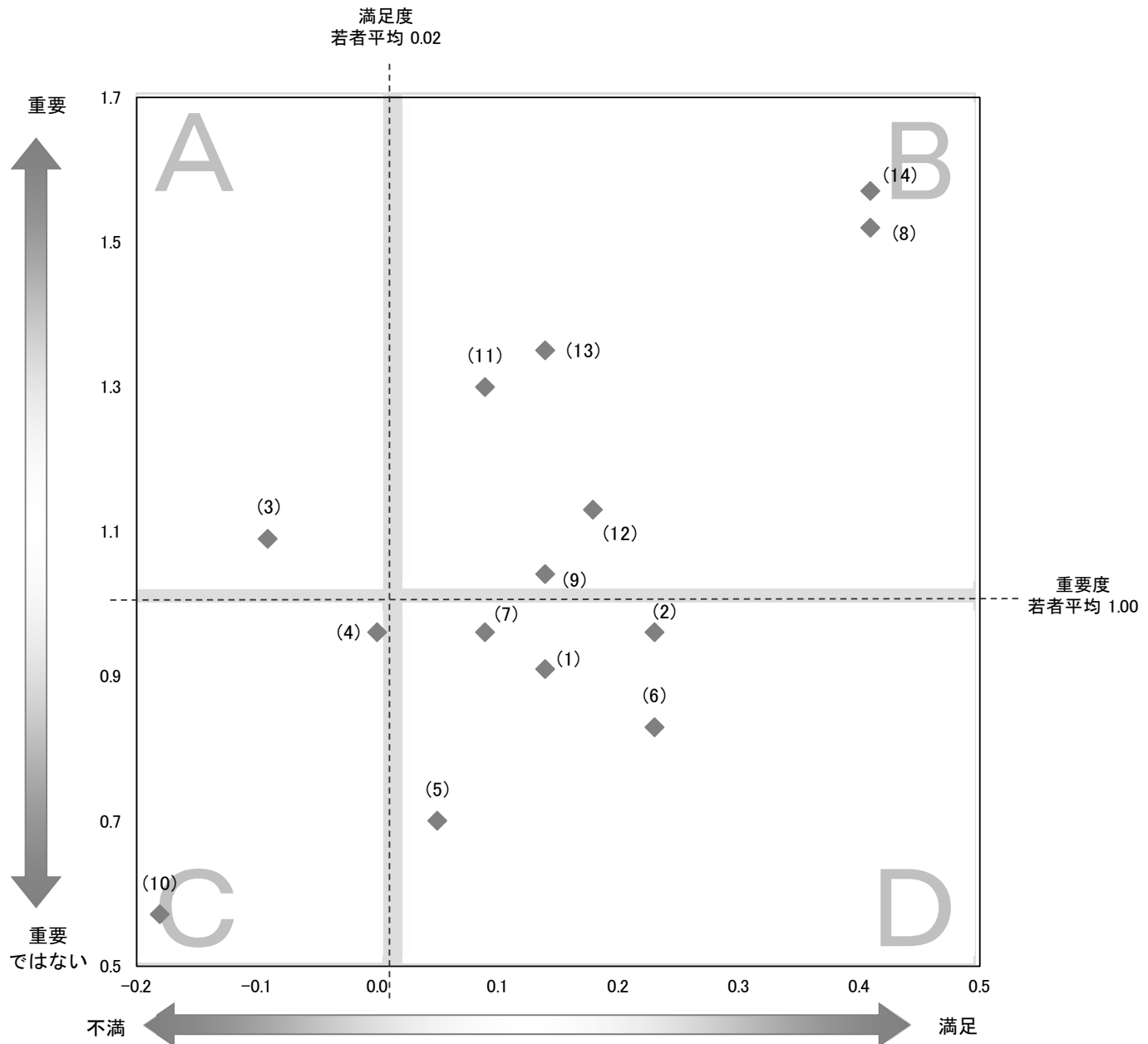


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

【問 14 可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいのみ】(N = 25)

満足度は低い、重要度が高い施策(タイプA)は、『(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築』となっています。

また、満足度が高く、重要度も高い施策(タイプB)は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

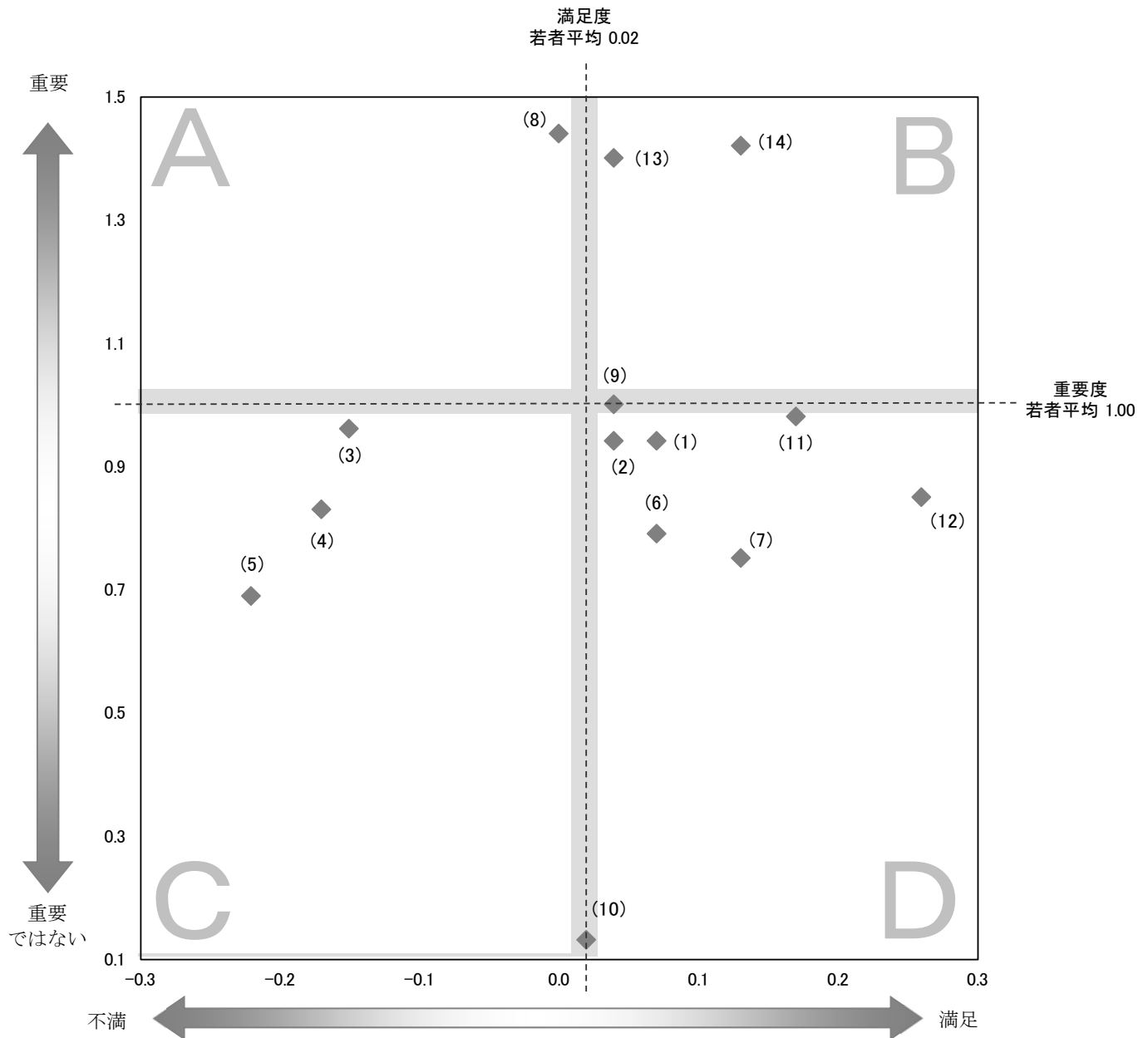


項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

【問 14 できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）】（N = 48）

満足度は低いが、重要度が高い施策（タイプA）は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』となっています。

また、満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。



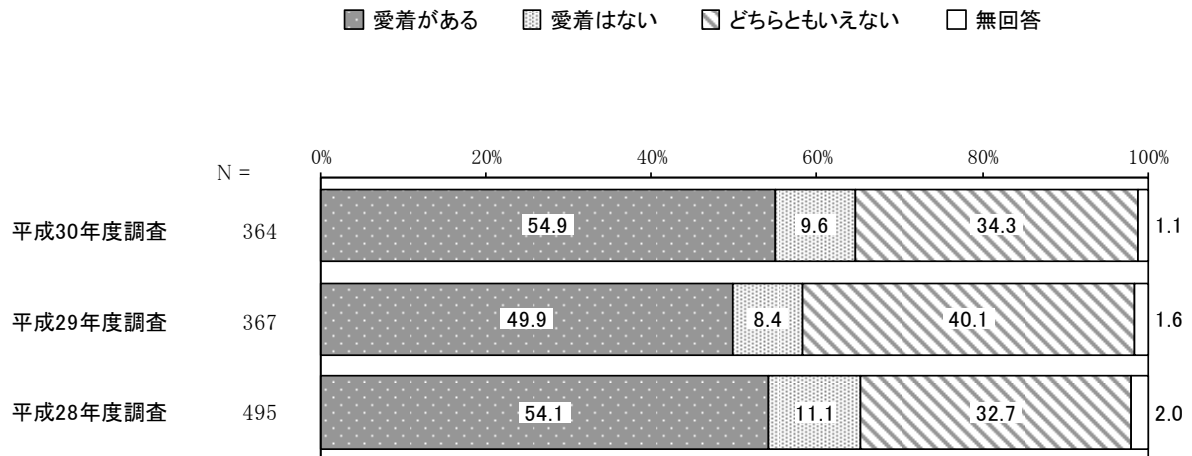
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 結婚への機会づくり
(4) 市の魅力の向上と発信	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

## (4) 可児市のイメージについて

### 問 13 可児市に愛着はありますか。

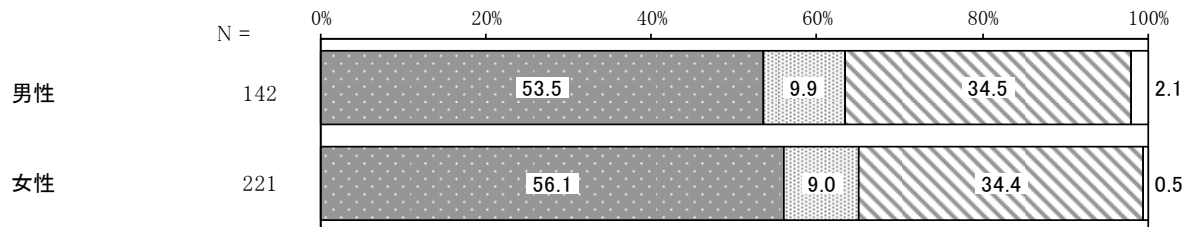
「愛着がある」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 34.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



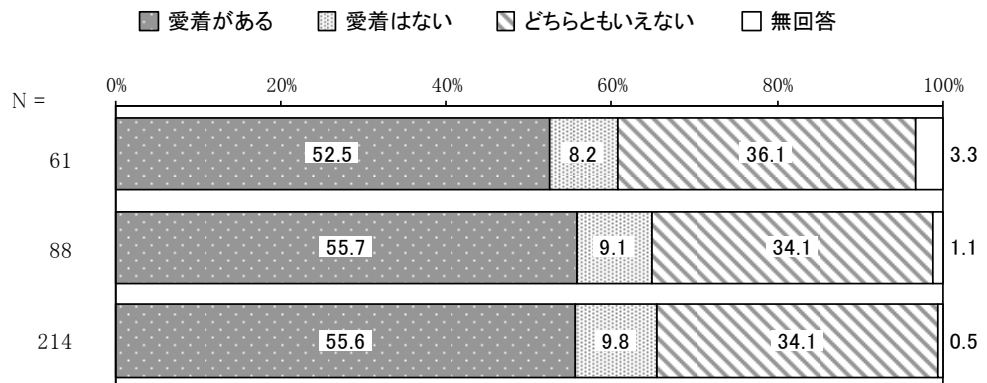
### 【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



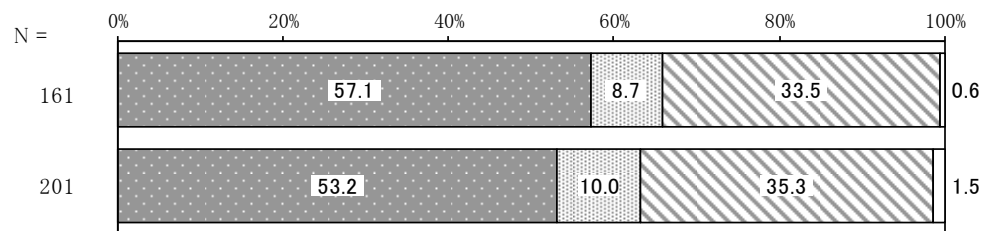
### 【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



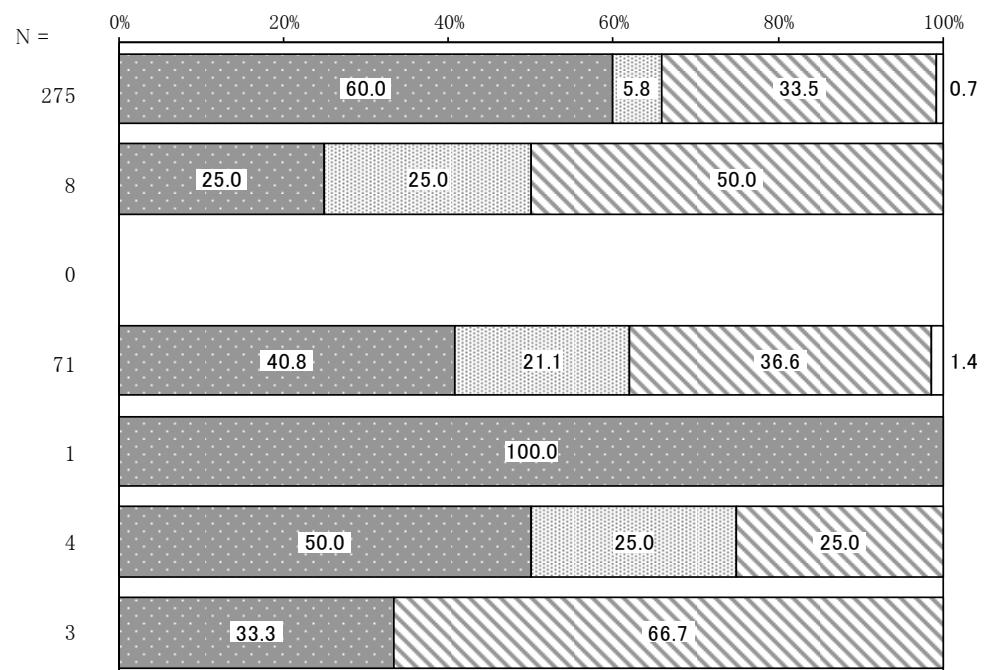
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



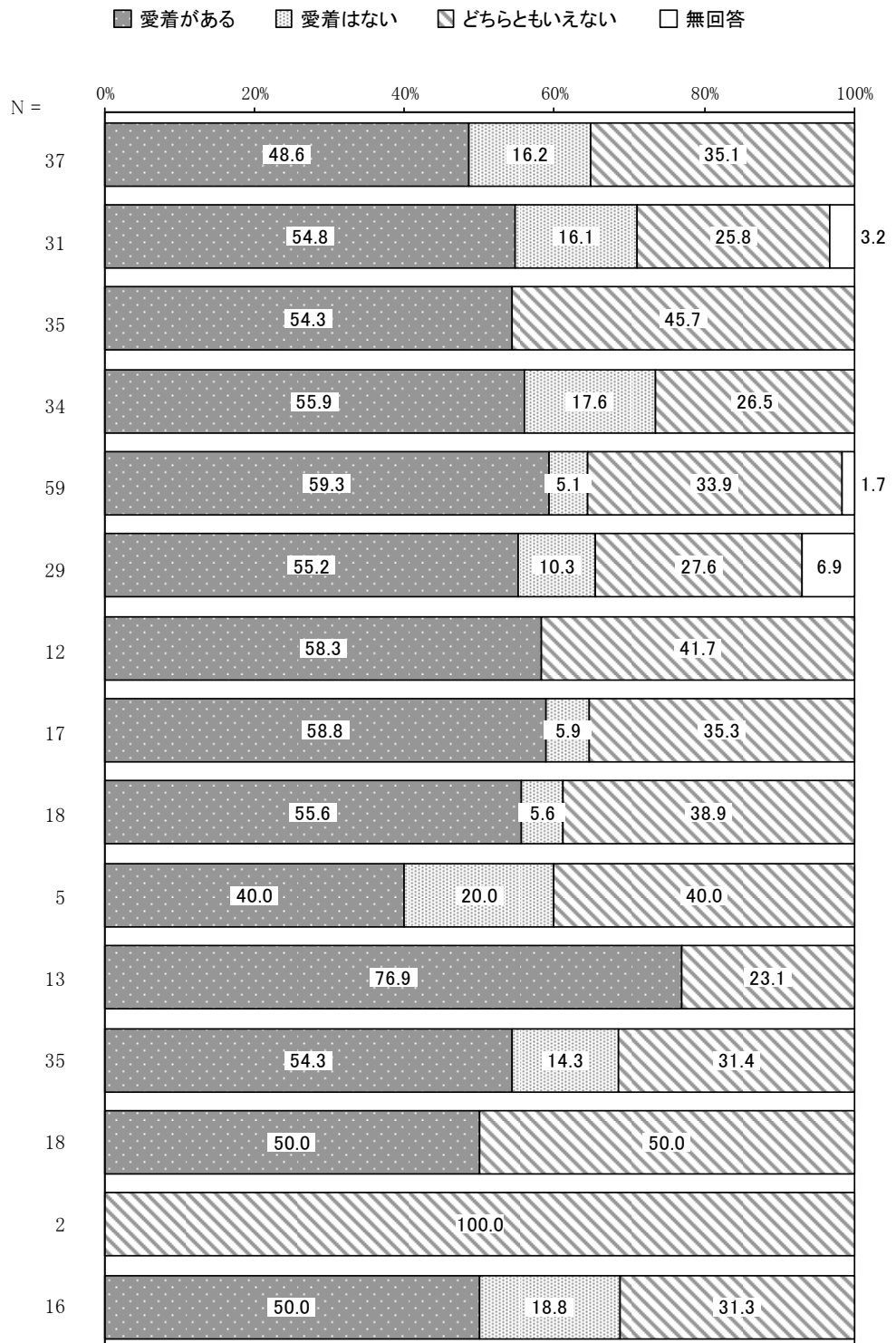
### 【住まいの形態別】

住まいの形態別でみると、他に比べ、戸建住宅（購入）で「愛着がある」の割合が高く、6割となっています。



### 【居住地区別】

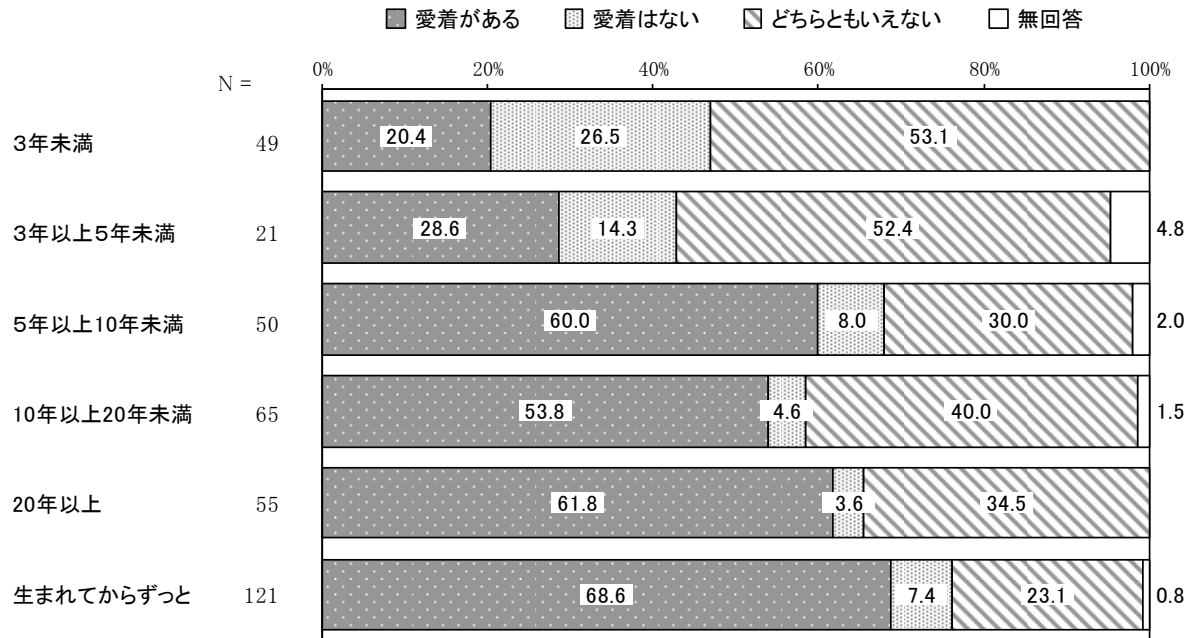
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、広見東で「愛着がある」の割合が高く、7割台半ばとなっています。





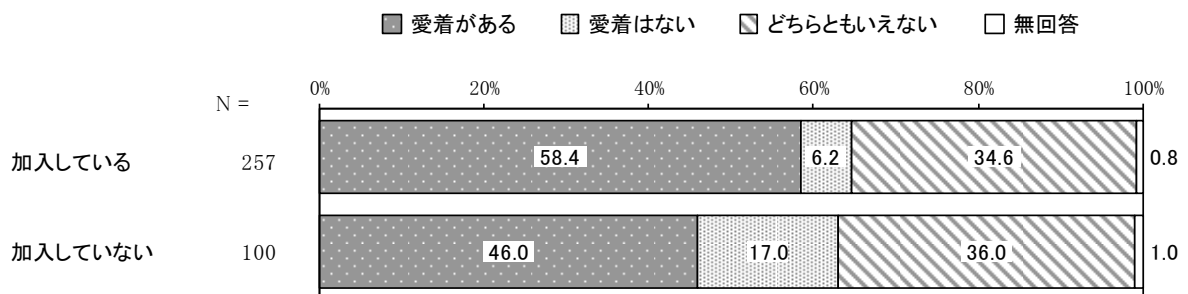
### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、生まれてからずっとで「愛着がある」の割合が高く、7割近くとなっています。一方、3年未満で「愛着はない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



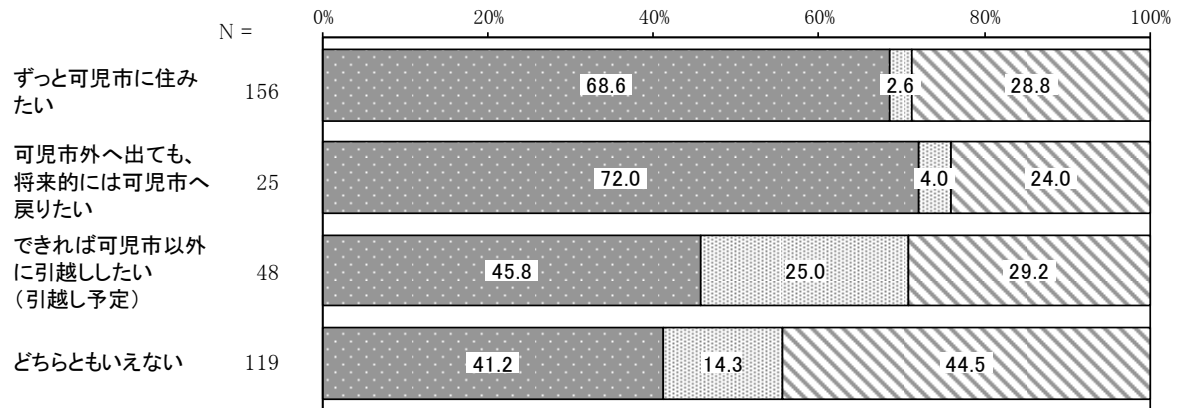
### 【自治会の加入の有無別】

自治会の加入の有無別で見ると、他に比べ、加入しているで「愛着がある」の割合が高く、6割近くとなっています。一方、加入していないで「愛着はない」の割合が高く、2割近くとなっています。



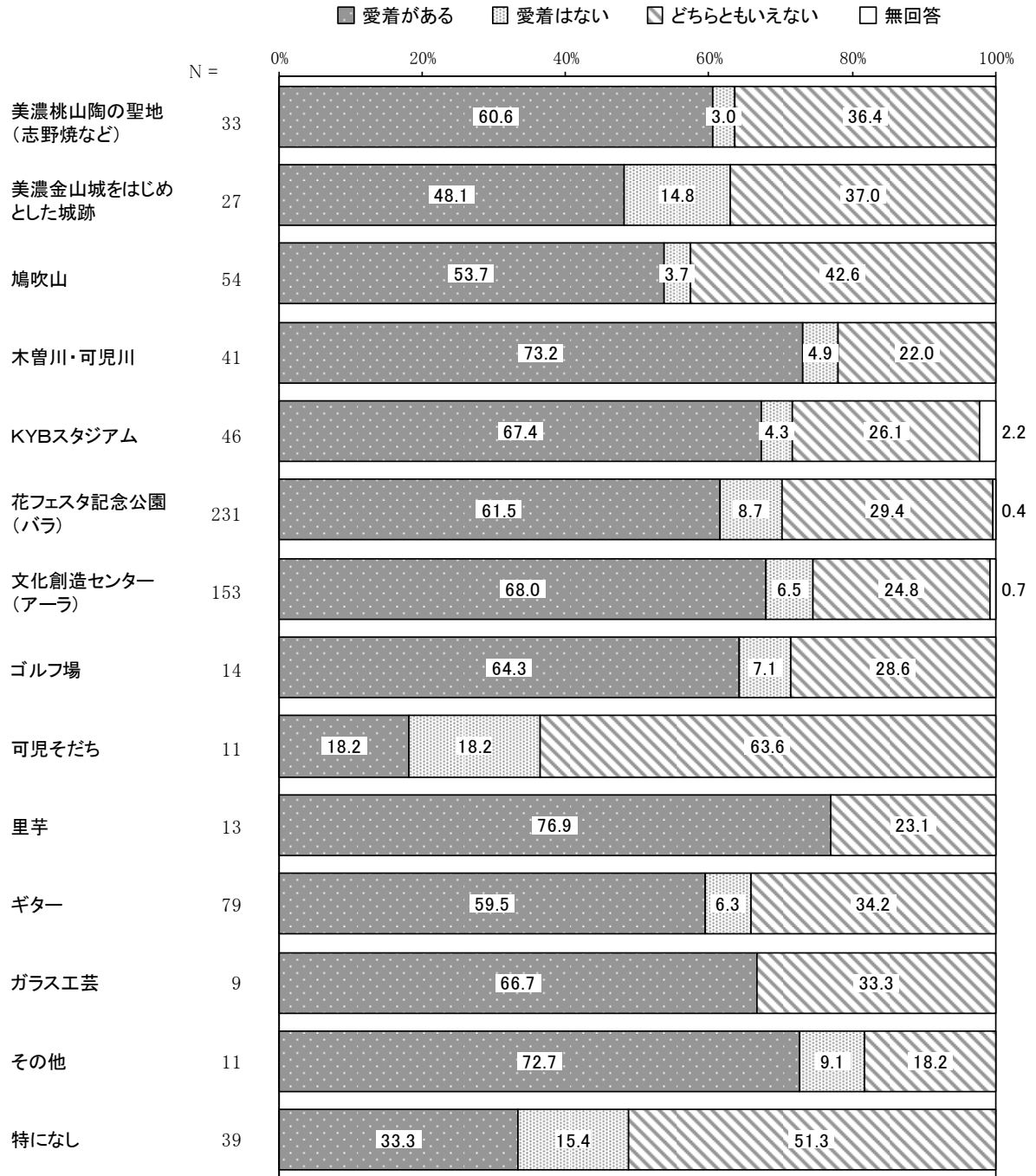
### 【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。一方、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



### 【自慢できる観光資源別】

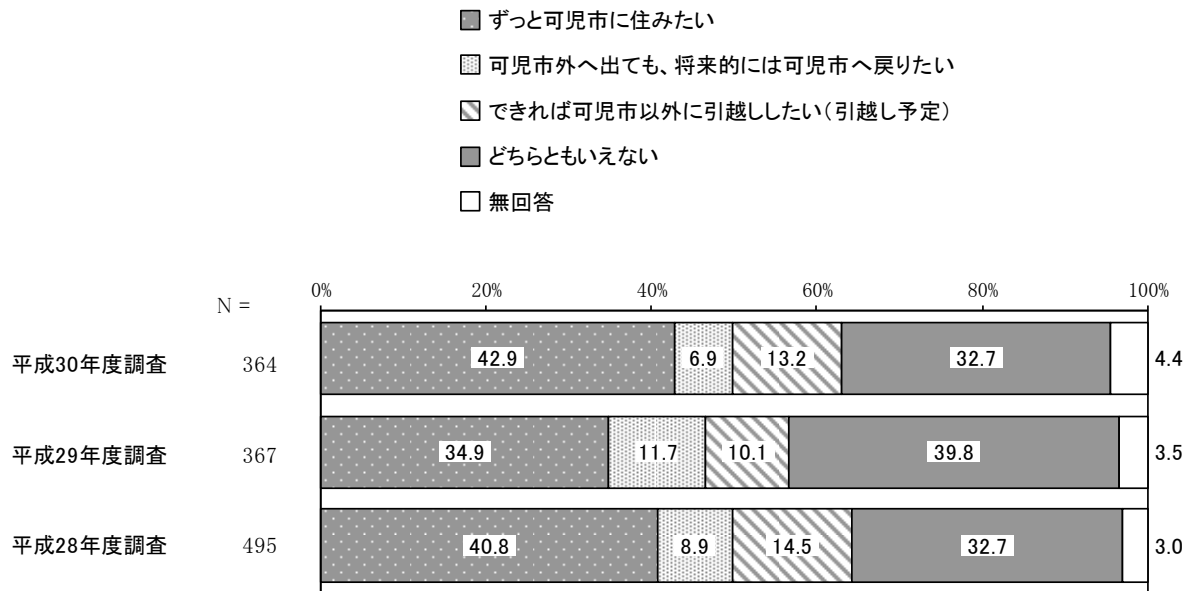
自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、里芋で「愛着がある」の割合が高く、7割台半ばとなっています。一方、可見そだちで「愛着はない」の割合が高く、約2割となっています。



**問 14 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)**

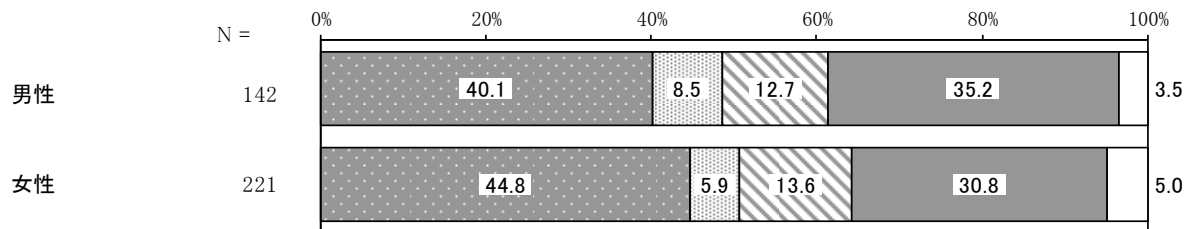
「ずっと可児市に住みたい」の割合が42.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が32.7%、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が13.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



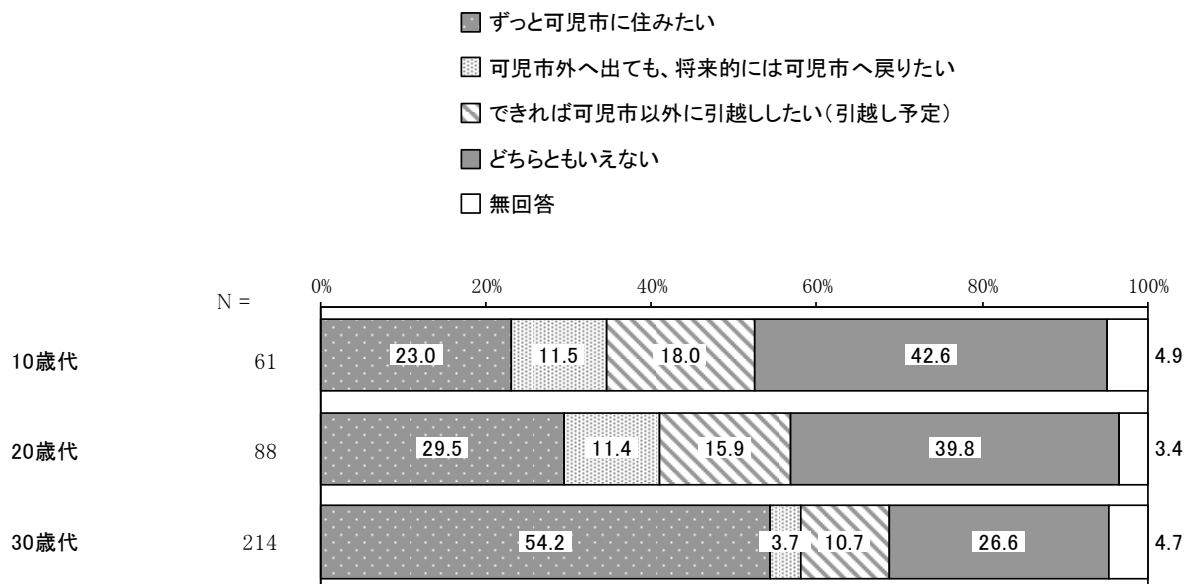
**【性別】**

性別で見ると、大きな差異はみられません。



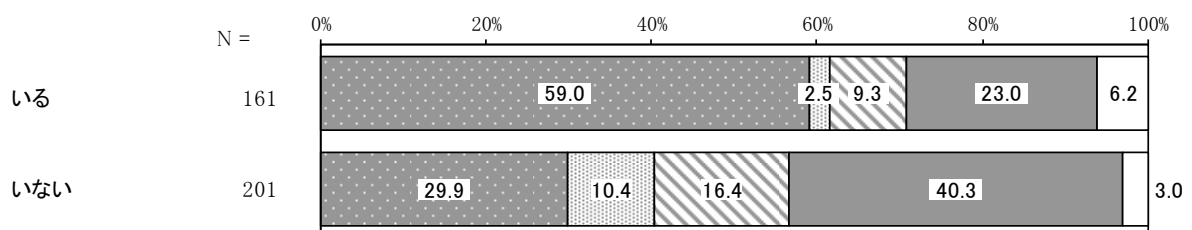
### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなっており、30歳代で5割台半ばとなっています。



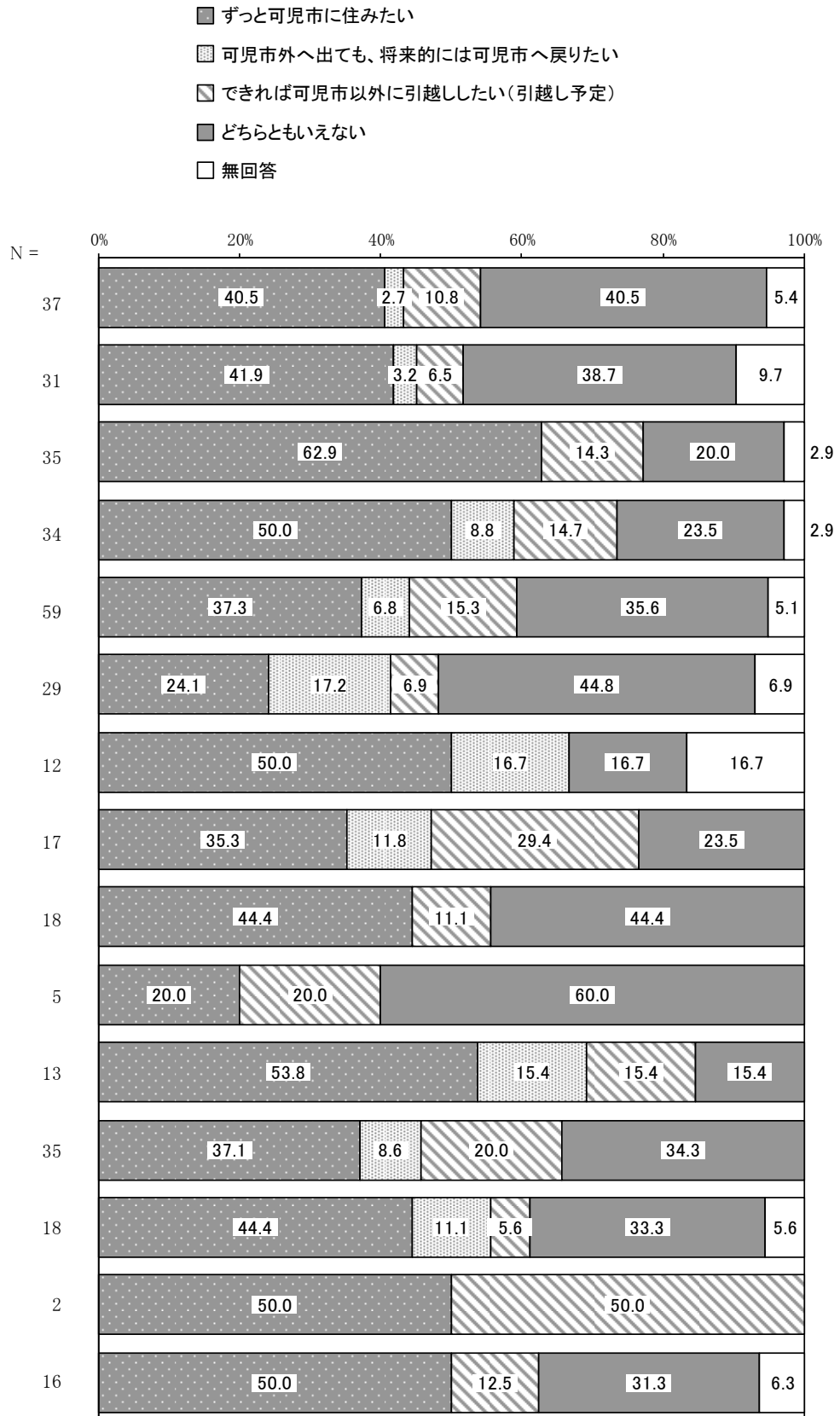
### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。一方、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい」「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



### 【居住地区別】

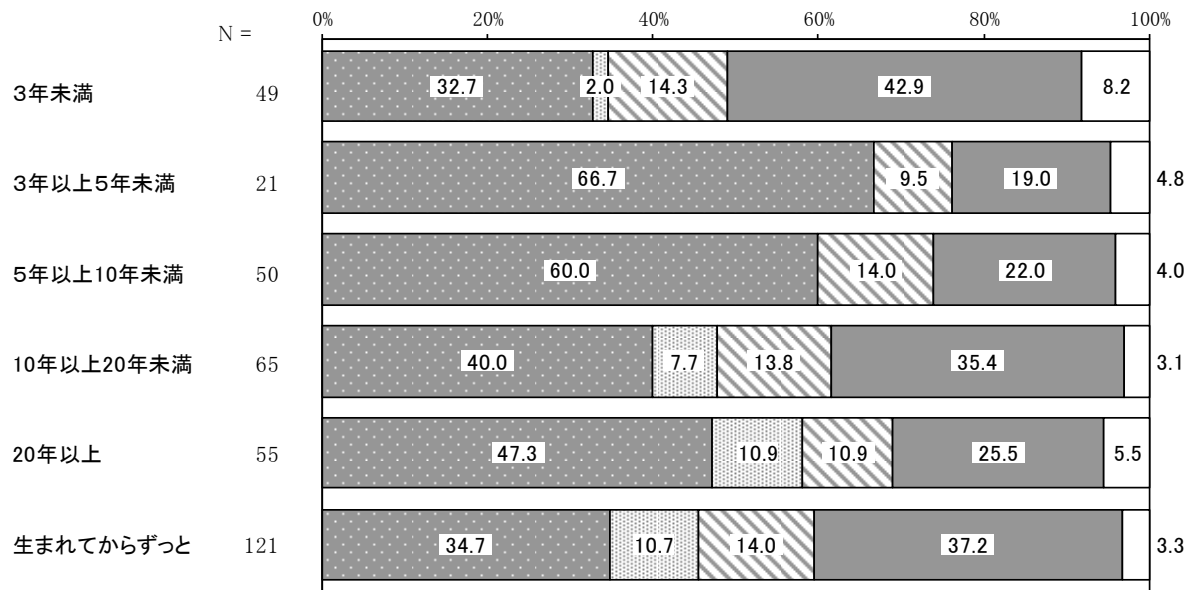
居住地区別で見ると、他に比べ、下恵土で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。一方、平牧で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、約3割となっています。



### 【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

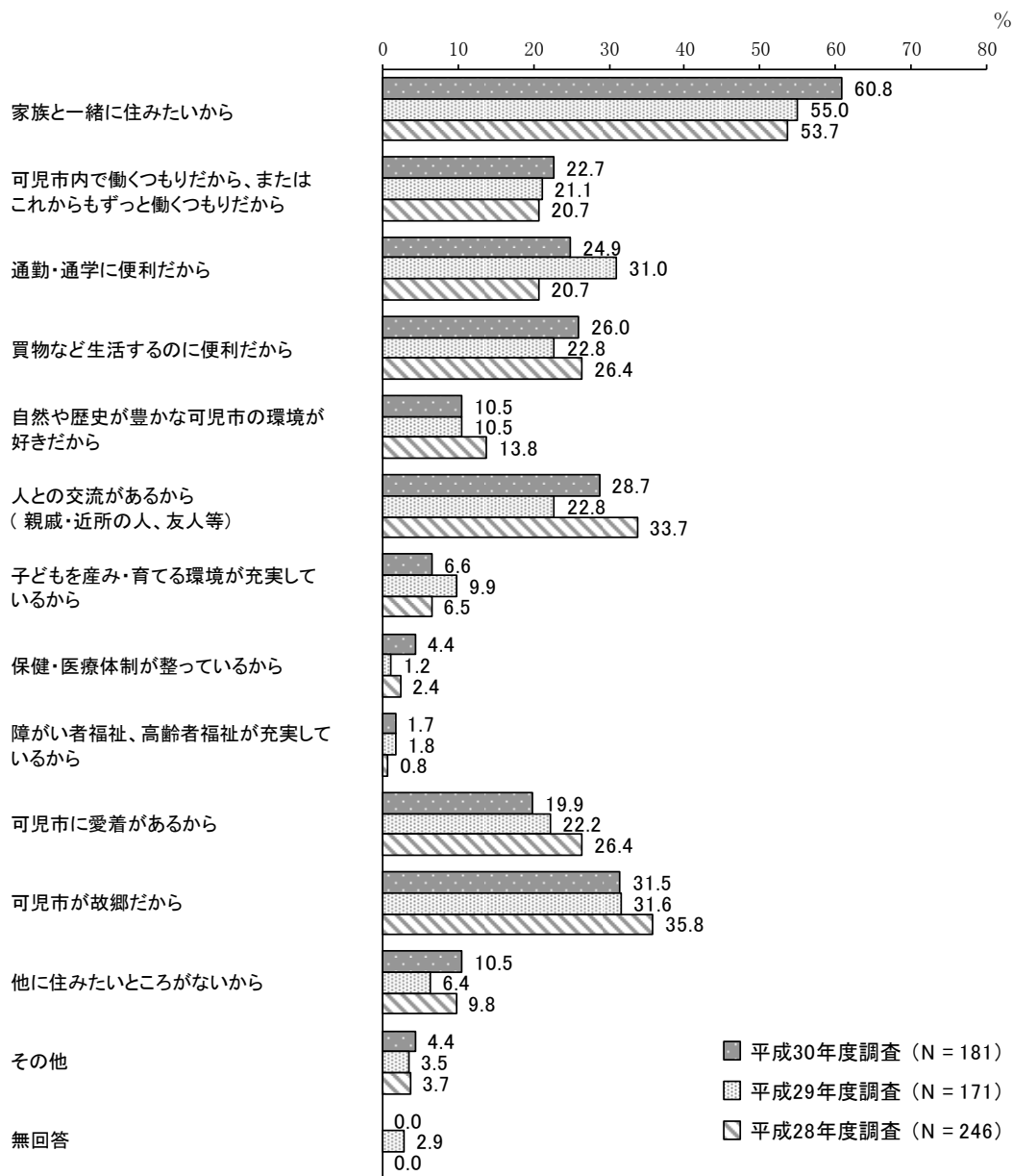
- ずっと可児市に住みたい
- ▨ 可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい
- ▧ できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)
- どちらともいえない
- 無回答



問15 問14で1または2(ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が60.8%と最も高く、次いで「可児市が故郷だから」の割合が31.5%、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が28.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「家族と一緒に住みたいから」の割合が増加しています。一方、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「可児市に愛着があるから」の割合が減少しています。





## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「可児市が故郷だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内でも働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	69	55.1	26.1	27.5	27.5	7.2	21.7	2.9	7.2	2.9	15.9	37.7	17.4	5.8	—
女性	112	64.3	20.5	23.2	25.0	12.5	33.0	8.9	2.7	0.9	22.3	27.7	6.3	3.6	—

## 【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「買物など生活するのに便利だから」の割合が、年齢が低くなるにつれ「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「保健・医療体制が整っているから」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内でも働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10歳代	21	61.9	28.6	23.8	9.5	23.8	28.6	—	14.3	—	33.3	47.6	9.5	—	—
20歳代	36	63.9	19.4	22.2	25.0	5.6	30.6	8.3	—	—	22.2	36.1	16.7	2.8	—
30歳代	124	59.7	22.6	25.8	29.0	9.7	28.2	7.3	4.0	2.4	16.9	27.4	8.9	5.6	—

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「通勤・通学に便利だから」「買物など生活するのに便利だから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族と一緒に住みたいから」「可児市が故郷だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が(親戚・近所の人、友人等)	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	99	58.6	21.2	29.3	31.3	8.1	34.3	9.1	3.0	1.0	20.2	26.3	5.1	7.1	—	
いない	81	64.2	24.7	19.8	19.8	12.3	21.0	3.7	6.2	2.5	18.5	38.3	17.3	1.2	—	

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、春里で「家族と一緒に住みたいから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、川合で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等)	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	16	56.3	31.3	25.0	31.3	—	31.3	12.5	6.3	6.3	18.8	6.3	6.3	12.5	—	—	—
川合	14	64.3	14.3	14.3	57.1	—	28.6	21.4	7.1	7.1	—	50.0	7.1	—	—	—	—
下恵土	22	54.5	22.7	27.3	50.0	9.1	4.5	13.6	—	—	13.6	18.2	22.7	4.5	—	—	—
土田	20	45.0	25.0	35.0	15.0	5.0	35.0	—	—	—	40.0	35.0	10.0	—	—	—	—
帷子	26	73.1	30.8	30.8	7.7	26.9	23.1	7.7	7.7	—	23.1	26.9	3.8	—	—	—	—
春里	12	83.3	8.3	25.0	8.3	16.7	33.3	—	—	—	33.3	58.3	16.7	—	—	—	—
姫治	8	87.5	37.5	12.5	12.5	12.5	37.5	—	12.5	—	25.0	37.5	12.5	—	—	—	—
平牧	8	62.5	25.0	25.0	25.0	12.5	12.5	—	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	—	—	—	—
桜ヶ丘ハイツ	8	50.0	12.5	12.5	37.5	—	50.0	12.5	12.5	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—
久々利	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見東	9	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	33.3	—	—	—	22.2	55.6	44.4	—	—	—	—
広見	16	68.8	25.0	12.5	31.3	—	37.5	6.3	—	—	18.8	25.0	6.3	6.3	—	—	—
中恵土	10	60.0	20.0	30.0	40.0	10.0	50.0	—	—	—	—	40.0	—	10.0	—	—	—
兼山	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—
不明	8	37.5	25.0	50.0	12.5	25.0	25.0	—	12.5	—	—	12.5	—	25.0	—	—	—

### 【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいで「家族と一緒に住みたいから」の割合が高く、特にずっと可児市に住みたいで約6割となっています。また、ずっと可児市に住みたいで「通勤・通学に便利だから」「買物など生活するのに便利だから」の割合が、可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいで「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから
ずっと可児市に住みたい	156	61.5	23.1	27.6	28.2	10.9	29.5	7.7
可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい	25	56.0	20.0	8.0	12.0	8.0	24.0	—

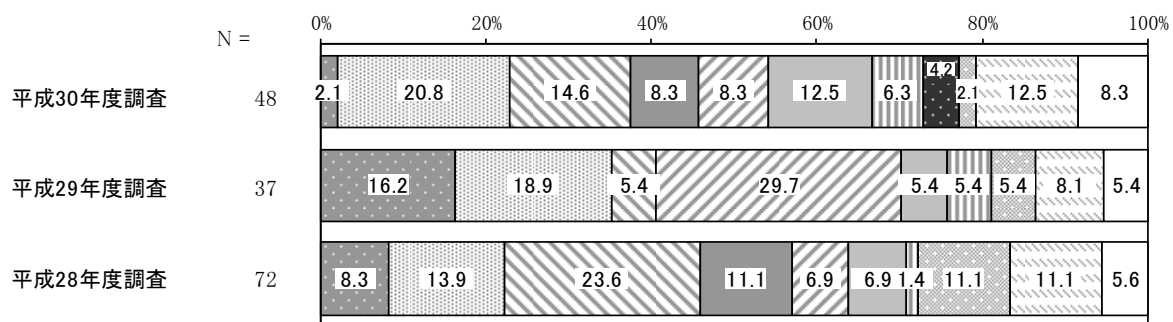
区分	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
ずっと可児市に住みたい	3.8	1.3	16.7	28.2	9.0	5.1	—
可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい	8.0	4.0	40.0	52.0	20.0	—	—

問 16 問 14 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が 20.8%と最も高く、次いで「通学・通勤に不便だから」の割合が 14.6%、「親との同居や結婚等の事情から」の割合が 12.5%となっています。

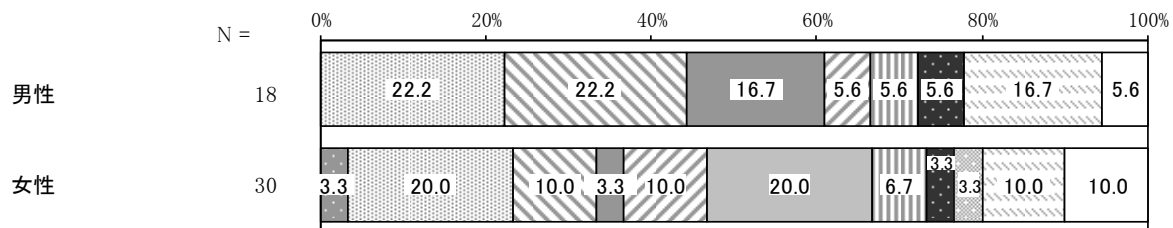
平成 28 年度調査と比較すると、「進学や仕事の事情(転勤等)から」「親との同居や結婚等の事情から」の割合が増加しています。一方、「可児市に働く場所がないから」「通学・通勤に不便だから」「故郷に戻るため」の割合が減少しています。

- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- ▧ 通学・通勤に不便だから
- 買物など生活するのに不便だから
- ▨ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- ▧ 親との同居や結婚等の事情から
- ▨ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▨ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- ▧ 故郷に戻るため
- ▨ その他
- 無回答



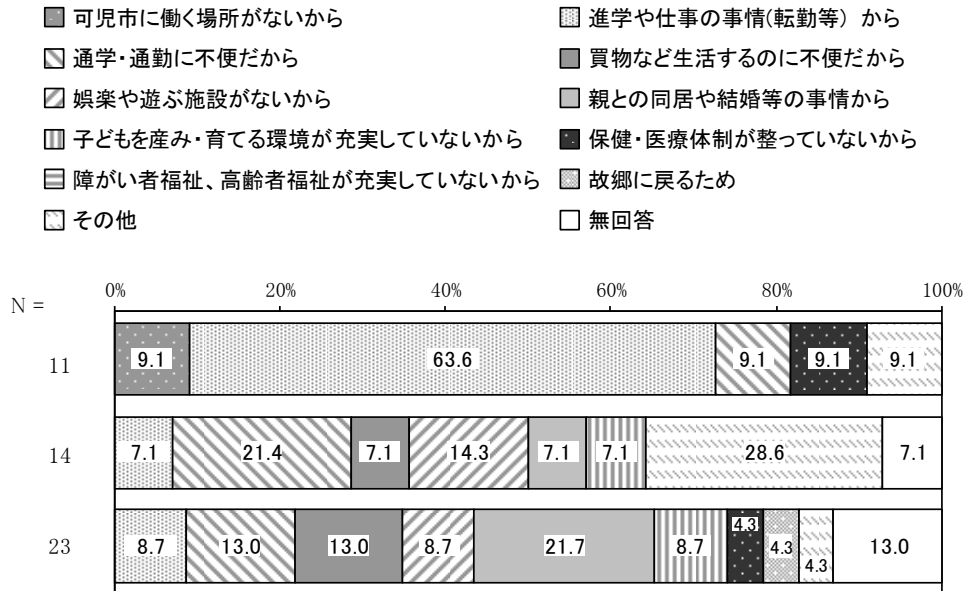
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通学・通勤に不便だから」「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高くなっています。



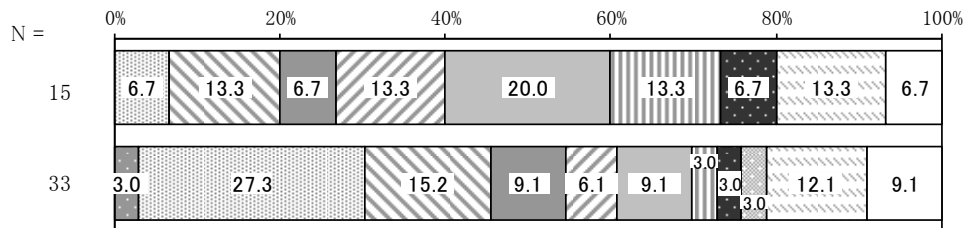
### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が高く、約6割となっています。また、20歳代で「通学・通勤に不便だから」の割合が、30歳代で「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高く、約2割となっています。



### 【子どもの有無別】

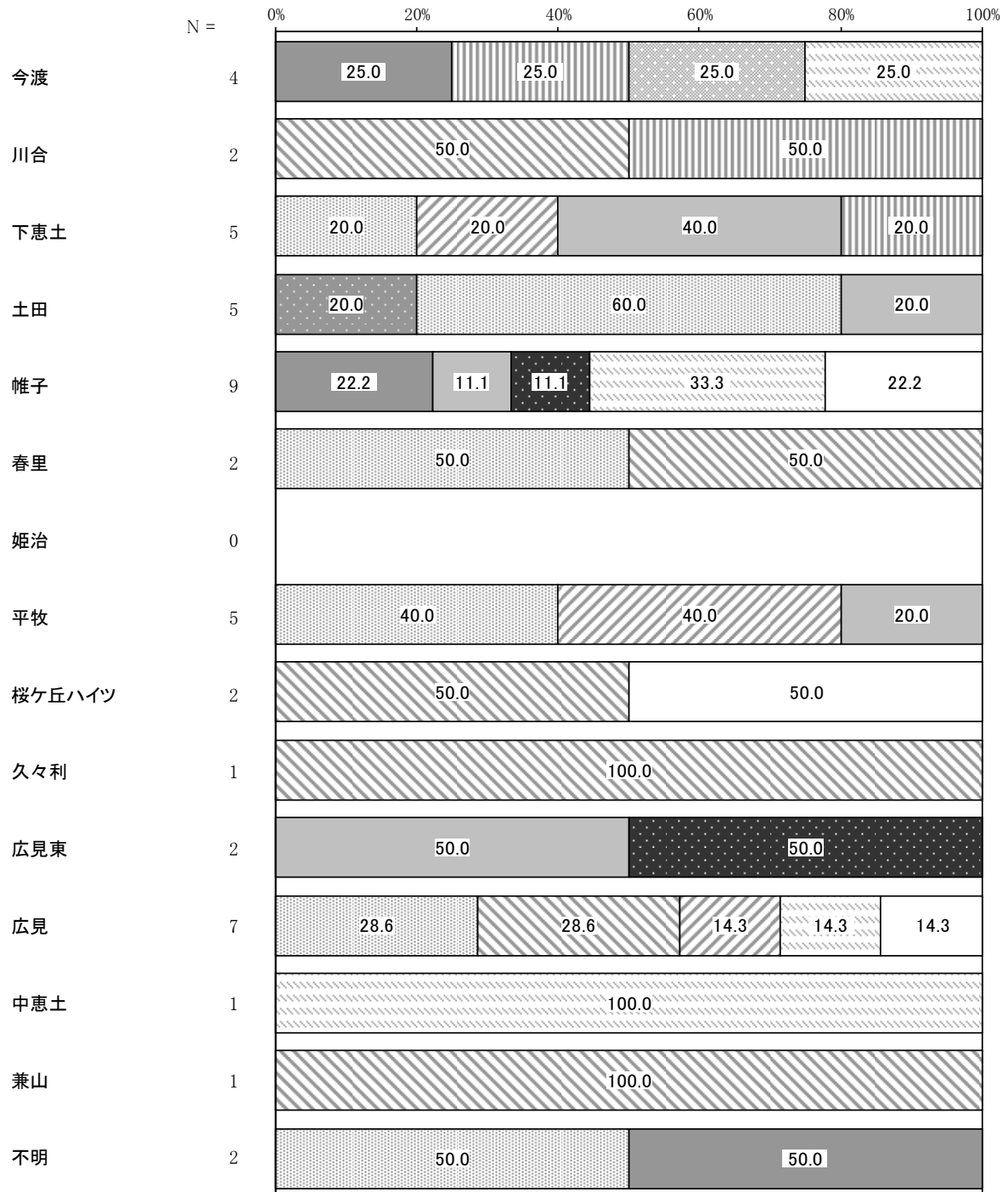
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「娯楽や遊ぶ施設がないから」「親との同居や結婚等の事情から」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が高くなっています。



## 【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

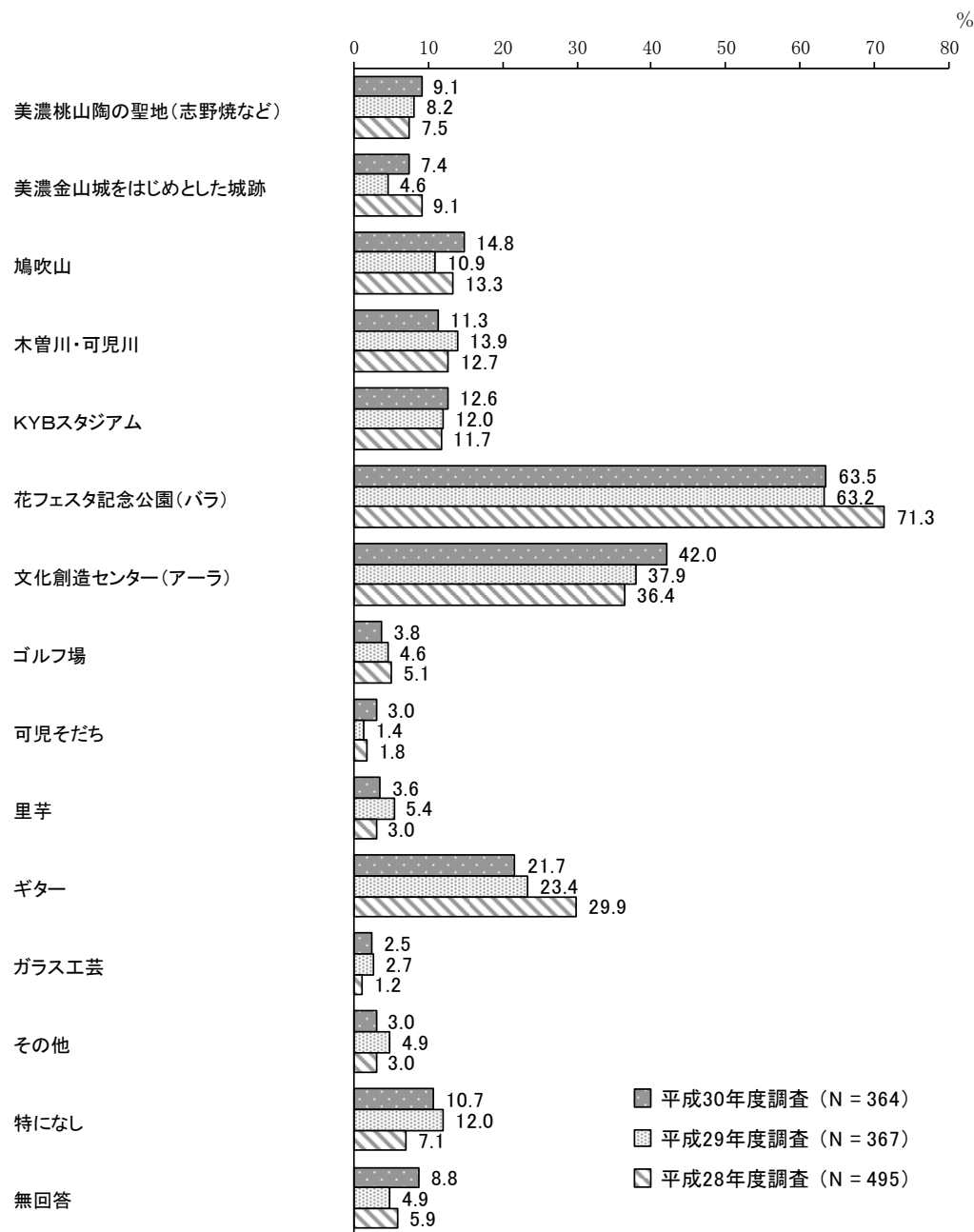
- 可見市に働く場所がないから
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等) から
- ▧ 通学・通勤に不便だから
- 買物など生活するのに不便だから
- ▩ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- ▨ 親との同居や結婚等の事情から
- ▨ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▨ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- ▨ 故郷に戻るため
- ▨ その他
- 無回答



問 17 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が63.5%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が42.0%、「ギター」の割合が21.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が増加しています。一方、「花フェスタ記念公園（バラ）」「ギター」の割合が減少しています。





【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「KYBスタジアム」「特になし」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	142	7.7	7.7	14.8	9.2	16.9	55.6	39.4	4.2	2.1	4.2	22.5	0.7	0.7	16.2	9.2
女性	221	10.0	7.2	14.9	12.2	10.0	68.3	43.9	3.6	3.2	3.2	21.3	3.6	4.5	7.2	8.6

【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10歳代	61	16.4	4.9	6.6	4.9	27.9	63.9	49.2	1.6	—	—	19.7	3.3	1.6	9.8	11.5
20歳代	88	11.4	3.4	18.2	14.8	9.1	69.3	51.1	2.3	2.3	5.7	18.2	2.3	3.4	10.2	4.5
30歳代	214	6.1	9.8	15.9	11.2	9.8	60.7	36.4	5.1	3.7	3.7	23.8	2.3	3.3	11.2	9.8

## 【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、広見で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、約8割となっています。また、春里で「文化創造センター（アーラ）」の割合が、土田で「鳩吹山」「KYBスタジアム」の割合が、平牧、広見東で「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 （バラ）	文化創造センター （アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	37	8.1	8.1	—	10.8	10.8	62.2	45.9	2.7	—	2.7	10.8	5.4	—	21.6	13.5
川合	31	3.2	—	16.1	12.9	12.9	71.0	48.4	3.2	—	3.2	22.6	3.2	—	9.7	3.2
下恵土	35	14.3	8.6	11.4	14.3	5.7	62.9	48.6	5.7	—	2.9	22.9	—	5.7	8.6	8.6
土田	34	8.8	8.8	52.9	23.5	29.4	64.7	41.2	2.9	2.9	—	20.6	—	5.9	2.9	—
帷子	59	3.4	6.8	27.1	10.2	15.3	59.3	42.4	3.4	1.7	5.1	20.3	1.7	5.1	10.2	6.8
春里	29	3.4	—	13.8	3.4	20.7	69.0	58.6	3.4	3.4	3.4	34.5	3.4	—	3.4	10.3
姫治	12	8.3	—	—	—	8.3	50.0	41.7	—	—	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	33.3
平牧	17	29.4	5.9	5.9	—	17.6	47.1	41.2	—	11.8	11.8	5.9	—	—	17.6	11.8
桜ヶ丘ハイツ	18	11.1	11.1	—	22.2	—	66.7	22.2	5.6	—	—	22.2	11.1	—	11.1	11.1
久々利	5	20.0	20.0	—	—	20.0	80.0	40.0	20.0	20.0	—	—	20.0	—	—	—
広見東	13	30.8	30.8	7.7	7.7	7.7	46.2	38.5	7.7	—	—	30.8	—	—	15.4	7.7
広見	35	5.7	5.7	—	11.4	8.6	82.9	40.0	8.6	8.6	5.7	28.6	—	5.7	8.6	5.7
中恵土	18	—	22.2	22.2	5.6	5.6	44.4	27.8	—	5.6	—	33.3	—	—	16.7	11.1
兼山	2	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	50.0
不明	16	18.8	—	6.3	12.5	6.3	62.5	37.5	—	—	6.3	12.5	—	6.3	12.5	12.5

【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、約7割となっています。また、5年以上10年未満で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：%

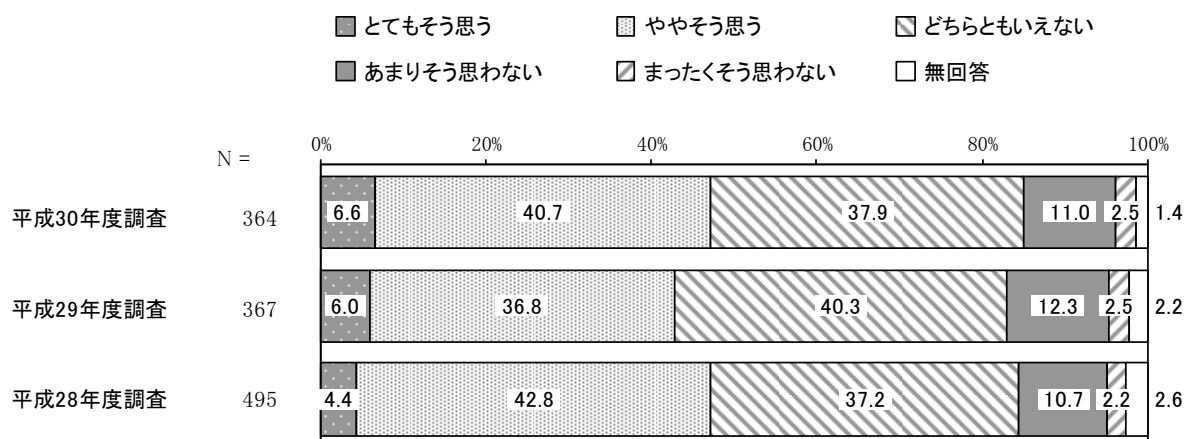
区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地 （志野焼など）	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 （バラ）	文化創造センター （アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	49	6.1	8.2	14.3	8.2	4.1	65.3	38.8	6.1	2.0	4.1	22.4	2.0	4.1	16.3	8.2
3年以上 5年未満	21	9.5	9.5	4.8	14.3	9.5	52.4	28.6	—	—	9.5	9.5	—	—	14.3	23.8
5年以上 10年未満	50	2.0	8.0	12.0	6.0	10.0	60.0	52.0	2.0	4.0	2.0	20.0	2.0	—	14.0	12.0
10年以上 20年未満	65	13.8	6.2	15.4	9.2	20.0	58.5	41.5	—	4.6	1.5	27.7	3.1	3.1	6.2	10.8
20年以上	55	5.5	7.3	14.5	14.5	3.6	69.1	34.5	5.5	3.6	7.3	21.8	1.8	1.8	16.4	5.5
生まれてから ずっと	121	12.4	7.4	18.2	12.4	18.2	65.3	44.6	5.8	1.7	2.5	21.5	2.5	5.0	6.6	5.8

## (5) 子育て環境について

### 問 18 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

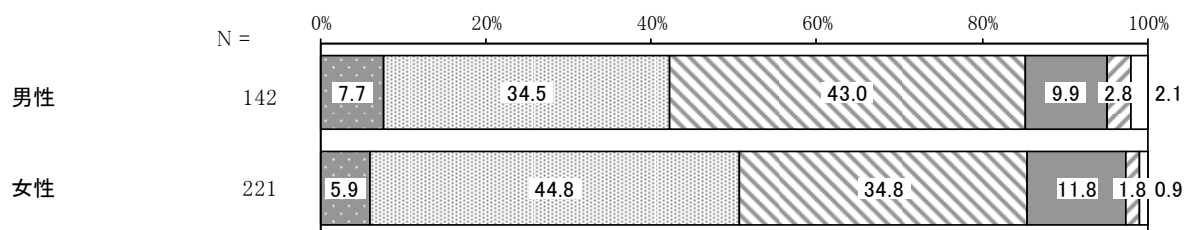
“そう思う”の割合が47.3%、「どちらともいえない」の割合が37.9%、“そう思わない”の割合が13.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



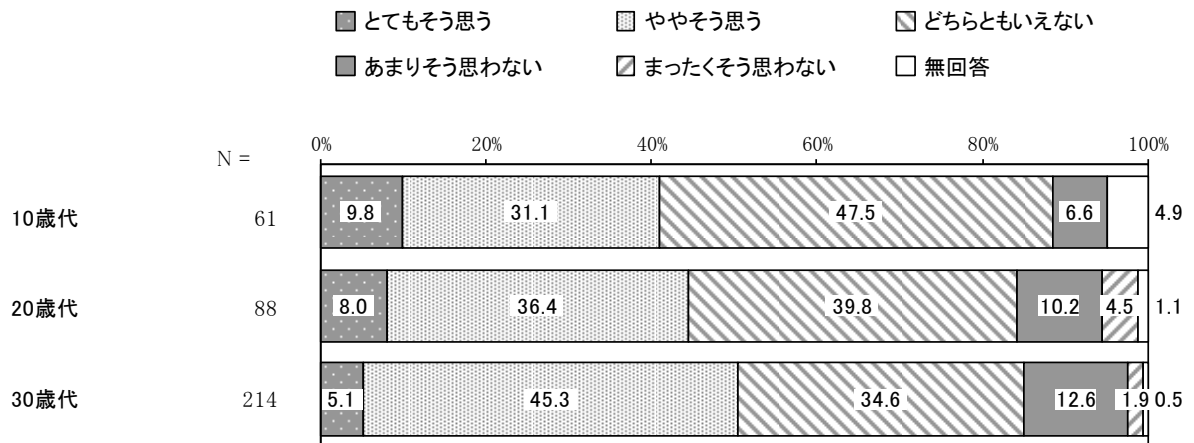
### 【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。



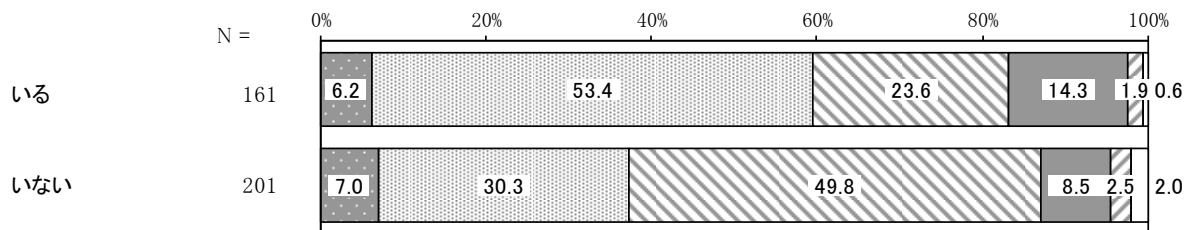
### 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、30歳代で約5割となっています。



### 【子どもの有無別】

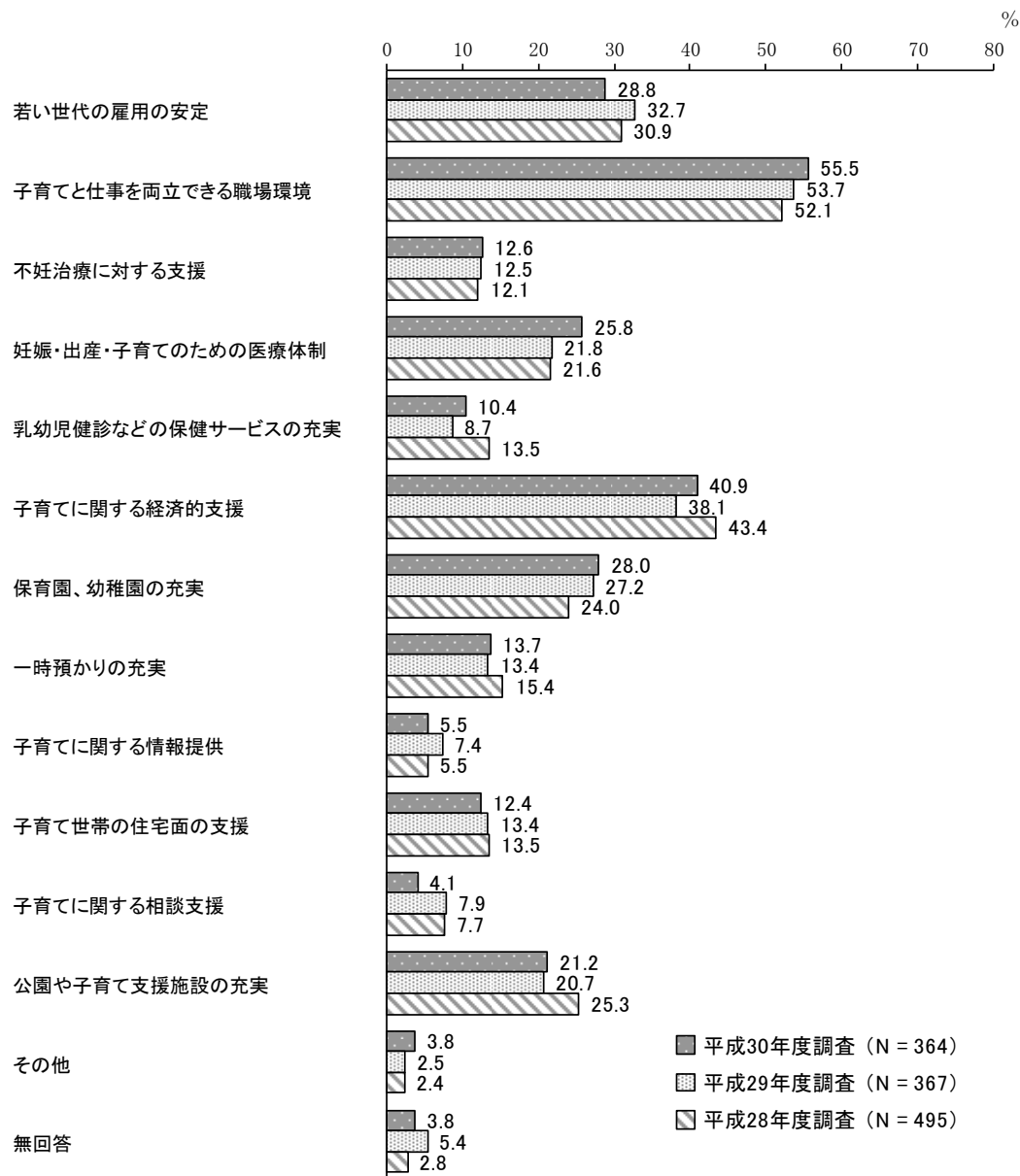
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。



問 19 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が55.5%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が40.9%、「若い世代の雇用の安定」の割合が28.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」「乳幼児健診などの保健サービスの充実」「一時預かりの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	142	40.1	47.9	6.3	24.6	4.2	40.8	28.2	10.6	3.5	12.7	4.9	19.7	2.1	6.3
女性	221	21.7	60.2	16.7	26.2	14.5	40.7	28.1	15.8	6.8	12.2	3.6	22.2	5.0	2.3

## 【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」「保育園、幼稚園の充実」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が、年代が低くなるにつれ「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	61	41.0	47.5	1.6	27.9	9.8	32.8	24.6	14.8	11.5	6.6	3.3	13.1	1.6	6.6
20歳代	88	34.1	54.5	11.4	23.9	14.8	42.0	26.1	17.0	4.5	8.0	4.5	18.2	4.5	4.5
30歳代	214	23.4	57.9	16.4	25.7	8.9	42.5	29.9	12.1	4.2	15.9	4.2	24.8	4.2	2.8

### 【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「子育てに関する経済的支援」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境 子育てと仕事を両立できる	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	161	18.6	61.5	13.0	25.5	11.8	51.6	29.2	11.8	5.0	16.8	4.3	28.6	4.3	0.6
いない	201	36.8	50.2	12.4	25.9	9.5	31.8	27.4	15.4	6.0	9.0	4.0	15.4	3.5	6.5

### 【職業別】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パート、家事専業で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	職場環境 子育てと仕事を両立できる	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	157	24.8	53.5	12.7	23.6	10.8	41.4	35.0	13.4	5.7	12.7	3.2	19.7	2.5	5.7
アルバイト・パート	63	25.4	73.0	14.3	28.6	6.3	46.0	27.0	14.3	1.6	12.7	6.3	31.7	4.8	—
派遣社員	9	33.3	44.4	22.2	22.2	—	55.6	44.4	11.1	—	11.1	—	22.2	—	—
嘱託・契約社員	9	33.3	66.7	11.1	—	11.1	33.3	—	11.1	—	33.3	11.1	11.1	33.3	—
自営業主・家族従業員	8	62.5	50.0	12.5	—	12.5	25.0	50.0	—	—	12.5	—	25.0	—	—
内職	2	50.0	—	50.0	100.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—
家事専業	29	13.8	69.0	17.2	24.1	20.7	55.2	10.3	17.2	6.9	13.8	—	34.5	—	—
学生	69	40.6	43.5	5.8	29.0	10.1	30.4	24.6	17.4	8.7	7.2	4.3	14.5	4.3	5.8
無職	11	45.5	27.3	9.1	54.5	18.2	45.5	9.1	—	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	—
その他	5	20.0	80.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0	20.0	—	—	20.0	—	—	20.0



### 【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたいで「子育てと仕事を両立できる職場環境」「乳幼児健診などの保健サービスの充実」「子育てに関する経済的支援」の割合が、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。また、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたいで「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が、ずっと可児市に住みたい、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「保育園、幼稚園の充実」「一時預かりの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

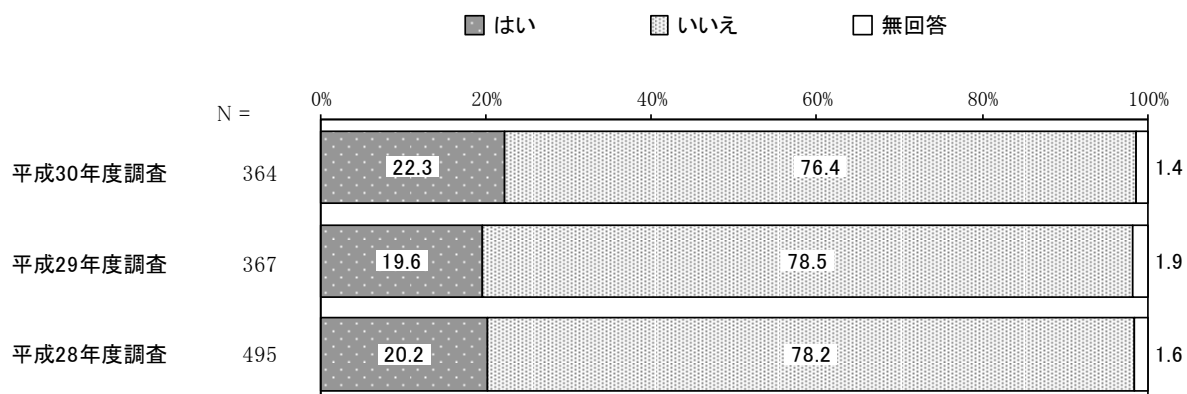
区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
ずっと可児市に住みたい	156	19.9	55.1	16.0	27.6	9.6	44.2	33.3
可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい	25	36.0	80.0	—	28.0	16.0	56.0	16.0
できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）	48	41.7	54.2	10.4	16.7	10.4	29.2	33.3

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
ずっと可児市に住みたい	13.5	5.1	14.7	2.6	19.9	3.2	1.9
可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい	8.0	—	—	4.0	20.0	4.0	4.0
できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）	16.7	4.2	16.7	4.2	16.7	8.3	6.3

## (6) 運動の推進について

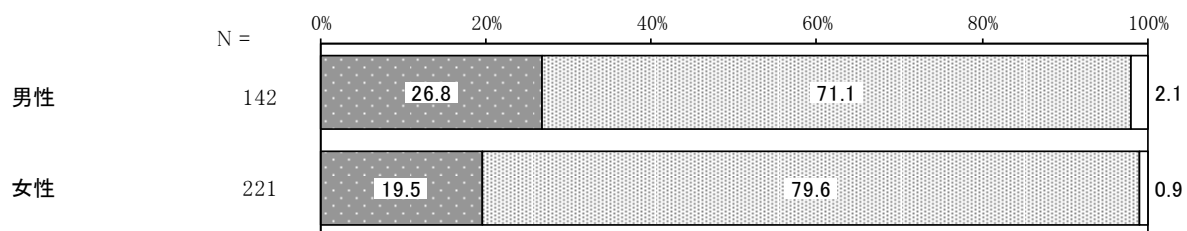
問 20 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する歩こう可児302運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ一市民一スポーツを推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が22.3%、「いいえ」の割合が76.4%となっています。  
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



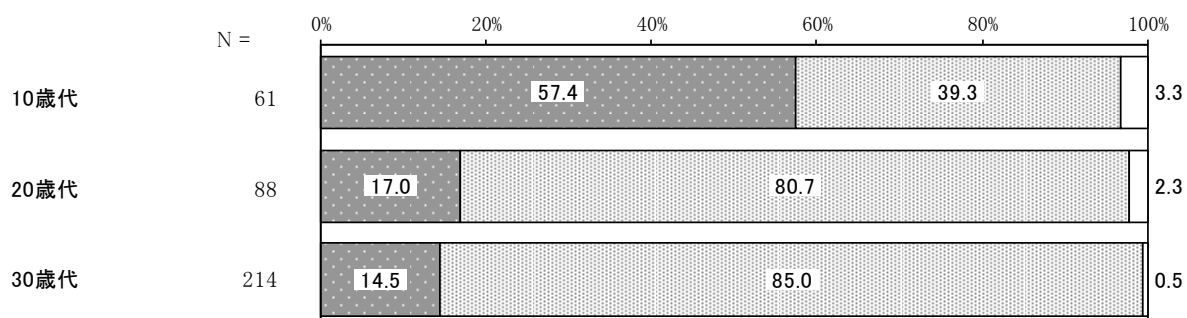
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



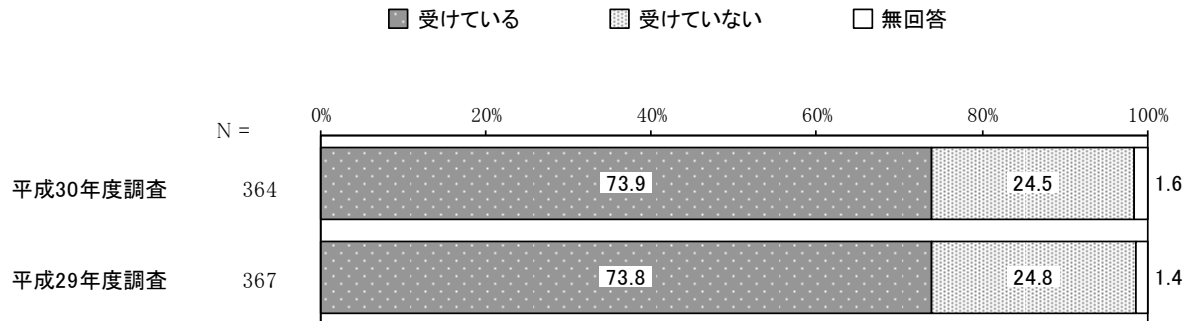
### 【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなっており、10歳代で約6割となっています。



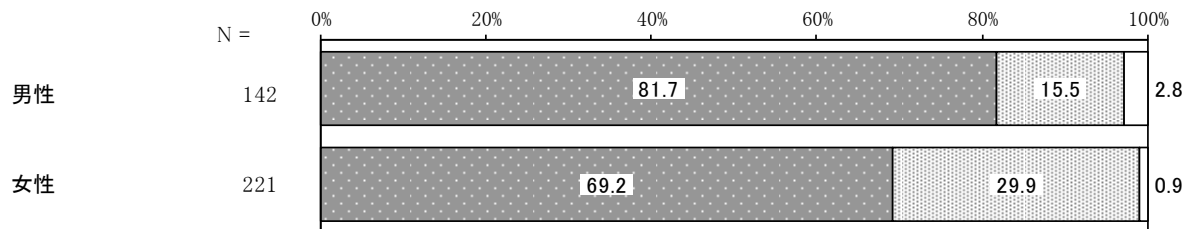
**問 21 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。**

「受けている」の割合が73.9%、「受けていない」の割合が24.5%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



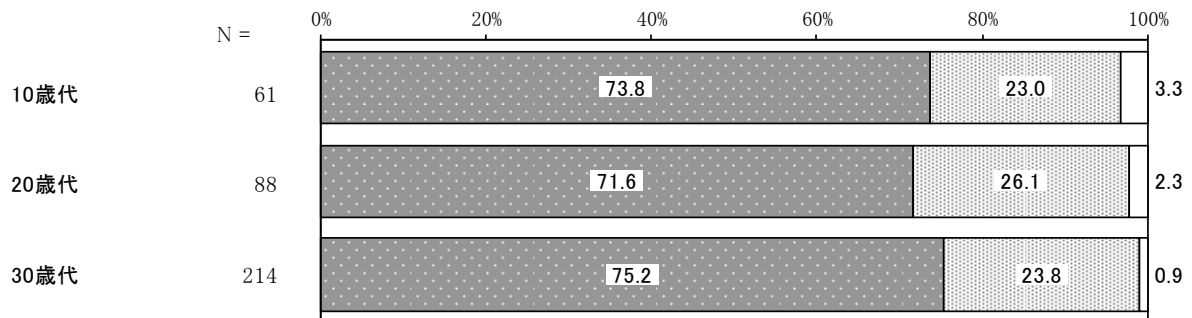
**【性別】**

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約8割となっています。



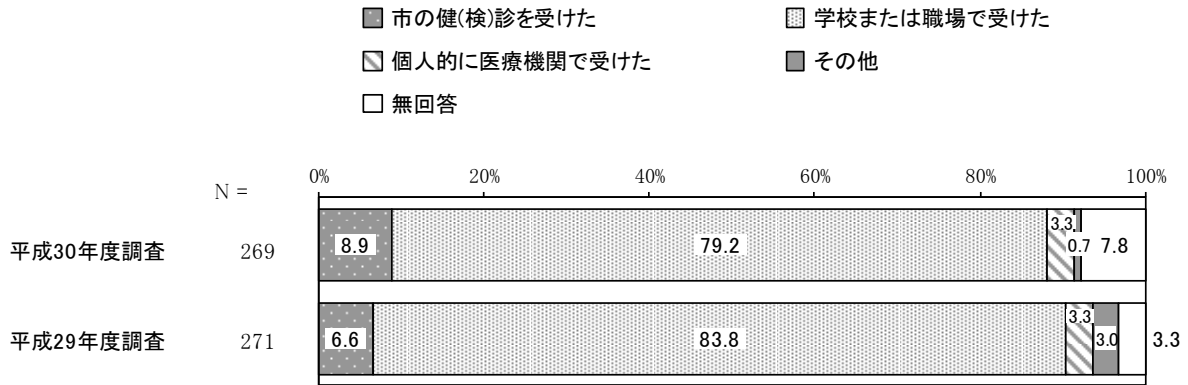
**【年代別】**

年代別でみると、大きな差異はみられません。



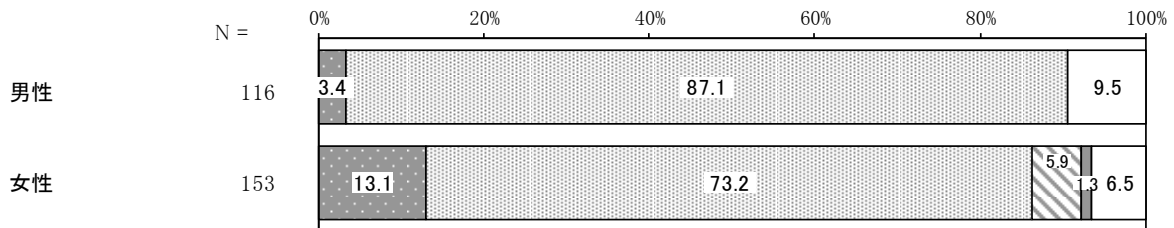
## 受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が79.2%と最も高くなっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



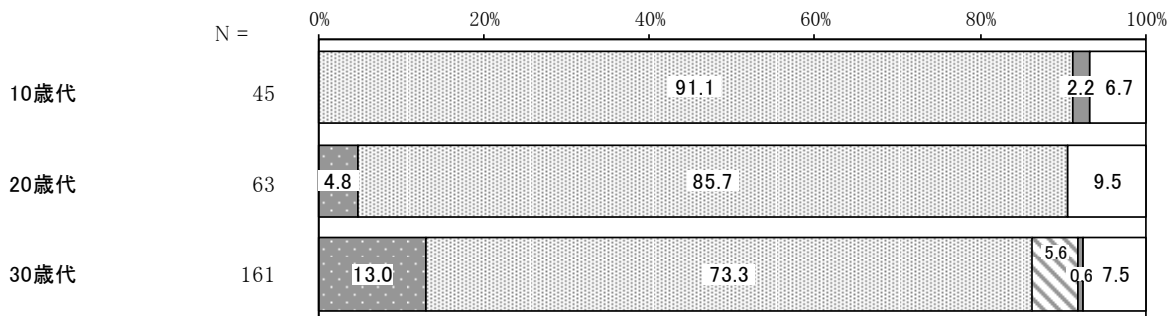
## 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、約9割となっています。また、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」の割合が高く、約1割となっています。



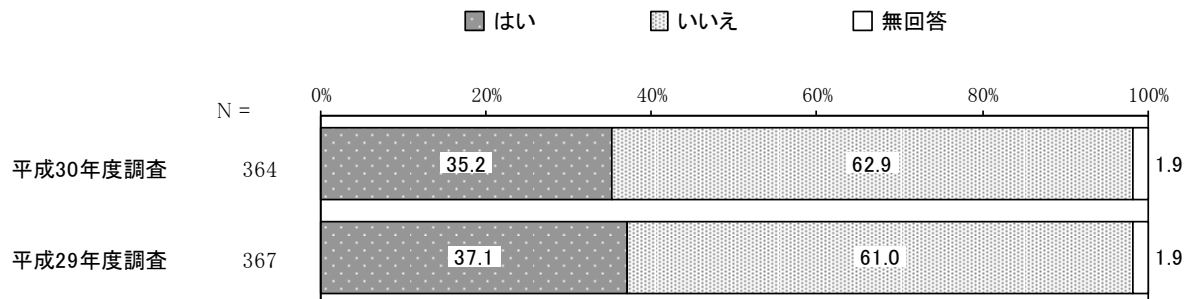
## 【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高く、10歳代で約9割となっています。



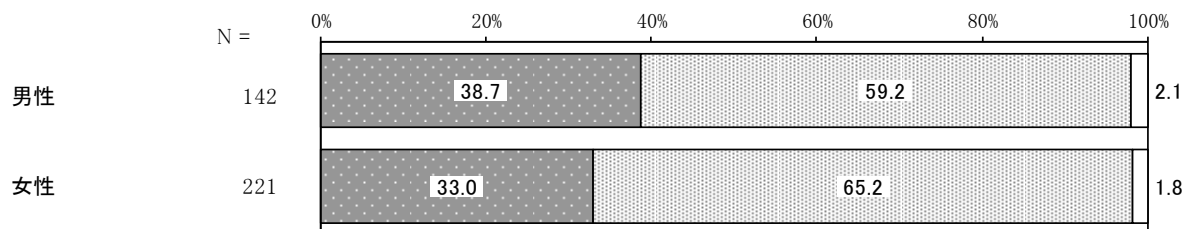
## 問 22 家庭で防災に関する取り組みをしていますか。

「はい」の割合が35.2%、「いいえ」の割合が62.9%となっています。  
平成29年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



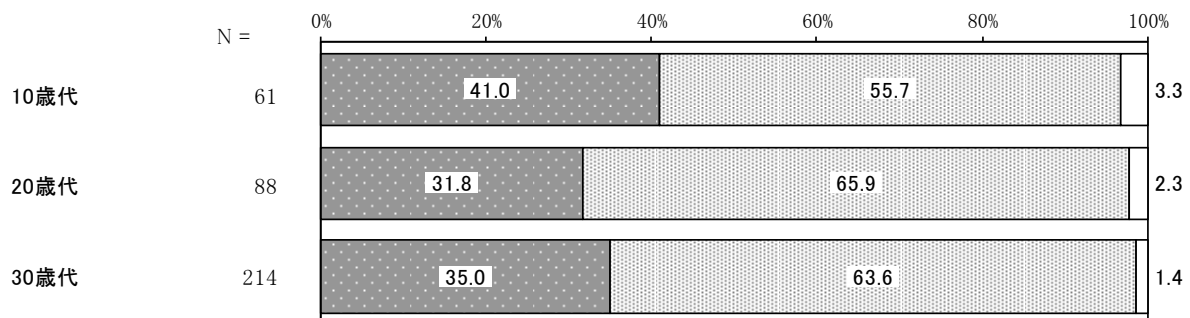
### 【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約4割となっています。



### 【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、約4割となっています。



可児市市民意識アンケート調査  
調査結果報告書

平成 30 年 9 月

発行：可児市 企画部 総合政策課